

三十七年法律第一號及同三十八年法律第十二號ニ依リ五分利付英貨公債  
二千三百萬磅ヲ募集ス

第二條 本公債ハ英國倫敦及佛國巴里ニ於テ引受人ヲ定メ引受發行セシム

第三條 本公債ノ元金ハ「明治八十年」三月十二日ニ於テ額面金額ヲ以テ之  
ヲ償還ス但シ「明治五十五年」三月十二日以後ハ政府ノ都合ニ依リ何時ニ  
テモ六箇月前ニ新聞紙ヲ以テ廣告シ其ノ全部又ハ一部ヲ償還スルコトヲ  
得

一部償還ノ場合ニハ橫濱正金銀行倫敦支店ニ於テ慣例ニ從ヒ抽籤ヲ執行  
シ當籤シタル公債證券ノ記番號ハ元金仕拂ノ期日ヨリ一箇月前ニ新聞紙  
ヲ以テ廣告スヘシ

第四條 本公債ノ利子ハ毎年三月十二日及九月十二日ニ於テ前六箇月分ヲ  
仕拂フヘシ

第五條 本公債ノ證券ハ無記名利札附トシ英貨ヲ以テ其ノ金額ヲ記載シ二  
十磅、百磅及二百磅ノ三種トス

第六條 英貨ト佛貨トノ換算率ハ英貨一磅ニ付佛貨二十五法二十五參ト  
ス

本公債ノ元金ヲ北米合衆國紐育ニ於テ仕拂フ場合ニ於テハ其ノ仕拂期  
日ニ於ケル紐育ノ倫敦爲替相場ニ依ル

第七條 本公債ノ發行價格ハ額面百磅ニ付九十九磅十志トス

第八條 本公債ノ元金ハ明治四十年三月ヨリ八月マテニ拂込ムヘシ

前項公債募集金ニ對シテハ明治四十年九月十二日ニ於テ全半箇年分ノ利  
子ヲ支拂フヘシ

第九條 明治三十七年五月及同年十一月英國倫敦及北米合衆國紐育ニ於テ  
募集シタル六分利付英貨公債ノ證券ハ額面計算ヲ以テ前條ノ拂込金ニ充

用スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十八年勅令第二百四十一號中明治三十七年五月及同年十一月英國倫  
敦及北米合衆國紐育ニ於テ募集シタル六分利付英貨公債二千二百萬磅ノ引  
換又ハ償還ニ充用スル爲發行スヘキ四分利付英貨公債二千五百萬磅ニ關ス  
ル規定ハ其ノ效力ヲ失フ

### ○英國倫敦ニ於テ募集スル公債ニ關 スル手續方法

明治三十二年五月三十一日  
大藏省令第二十二號

英國倫敦ニ於テ募集スル公債ニ關シ手續方法等左ノ通相定メ明治三十二年  
五月三十一日ヨリ施行ス

第一條 帝國四分利付英貨公債壹千萬磅ノ募集ハ橫濱正金銀行、「パリス」  
銀行、香港上海銀行及「チャータード」銀行ノ組織スル「シンヂケート」ヲ  
シテ之ヲ引受ケシム

第二條 此ノ公債證券ハ無記名利札付トシ英貨ヲ以テ其ノ金額ヲ記載シ五  
拾磅壹百磅及五百磅ノ三種トス

第三條 此ノ公債ノ利率ハ一箇年百分ノ四トス

第四條 此ノ公債ノ元金ハ明治三十二年一月一日ヨリ起算シ十箇年間据置  
キタル後四十五箇年間ニ抽籤法ニ依リ便宜之ヲ償還スヘシ

第五條 此ノ公債ノ利子ハ毎年六月十二日ニ於テ仕拂フヘシ

第六條 元金ノ拂込ハ明治三十二年六月ヨリ十月マテ六回トシ本年分ノ利  
子ハ十二月ニ於テ半箇年分ヲ仕拂フヘシ

### ○四分利付佛貨公債發行規程

明治四十三年四月三十日  
大藏省令第十九號

第一條 政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ五分利付內國債整理  
償還ノ爲佛國ニ於テ佛貨公債四億五千萬法ヲ發行ス

第二條 本公債ノ利子ハ一箇年百分ノ四トシ毎年五月十五日及十一月十五  
日ニ於テ前六箇月分ヲ仕拂フ

第三條 本公債ノ元金ハ「明治百三年」五月十五日ニ於テ額面金額ヲ以テ之  
ヲ償還ス但シ政府ハ六箇月前ノ豫告ヲ以テ「明治五十二年」五月十五日以  
後何時ニテモ其ノ全部又ハ一部ヲ償還スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ償  
還期日ハ利拂期日ト同一タルヘシ

前項但書ニ依ル一部償還ハ抽籤ヲ以テス

第四條 本公債ノ證券ハ無記名利札附トシ五百法、二千五百法及五千法ノ  
三種トス

第五條 本公債ノ發行價格ハ額面百法ニ付九十五法五十參トス

第六條 本公債ノ元金ハ明治四十三年五月十六日ニ全部ヲ拂込ムモノト  
ス

第七條 本公債ノ利子ハ明治四十三年五月十五日ヨリ之ヲ起算ス

附則

第一編 稅制 幣制 國債 第五章 國債 證券 四分利付佛貨公債發行規程

### ○第三回四分利付英貨公債發行 規程

明治四十三年五月六日  
大藏省令第二十四號

第一條 政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ倫敦株式取引所ニ登  
録セラレタル五分利付內國債ヲ整理償還スル爲英國ニ於テ英貨公債千  
萬磅ヲ發行ス

第二條 本公債ノ元金ハ「明治百三年」六月一日ニ於テ額面金額ヲ以テ之  
ヲ償還ス但シ「明治五十二年」六月一日以後ハ政府ノ都合ニ由リ何時ニテモ  
六箇月前ニ新聞紙ヲ以テ廣告シ其ノ全部又ハ一部ヲ償還スルコトヲ得

一部償還ノ場合ハ橫濱正金銀行倫敦支店ニ於テ慣例ニ從ヒ抽籤ヲ執行シ  
當籤シタル國債證券ノ番號ハ元金仕拂ノ期日ヨリ一箇月前ニ新聞紙ヲ以  
テ廣告スヘシ

第三條 本公債ノ利子ハ一箇年百分ノ四トシ毎年六月一日、十二月一日ニ  
於テ各前六箇月分ヲ仕拂フ

第四條 本公債ノ證券ハ無記名利札附トシ英貨ヲ以テ其ノ金額ヲ記載シ二  
十磅、五十磅、百磅及二百磅ノ四種トス

第五條 本公債ノ發行價格ハ額面百磅ニ付九十五磅トス

第六條 本公債ノ元金ハ明治四十三年五月ヨリ八月迄ニ拂込ムヘシ  
前項公債募集金ニ對シテハ明治四十三年六月一日ニ於テ額面百磅ニ付一  
磅ノ利子ヲ仕拂ヒ同年十二月一日ニ於テ全半箇年分ノ利子ヲ仕拂フ







利札繼足請求證券番號表

何 公 債

備考	枚數	番號	種類	面額	備考	枚數	番號	種類	面額
		至	白				至	白	

注意

- 四分利付佛英貨公債ト第三四分利付佛英貨公債トハ別紙トスルコト
- 證券券面種類別ニ番號順ニ記載スルコト
- 枚數欄ニハ各行枚數ノ外券面種類別ニ合計枚數ヲ記載スルコト
- 券面種類、番號及枚數ハアラビヤ數字ヲ以テ記載スルコト

○六分半利付米貨公債發行規程

大正十三年二月十三日  
大藏省令第三號



○米貨公債及英貨公債ノ發行ニ關スル件

大正十三年二月十三日(總理、大藏)  
勅令第十七號(大臣副署)

- 第一條 政府ハ震災善後公債法第一條及國債整理基金特別會計法第五條ノ規定ニ依リ北米合衆國紐育ニ於テ米貨公債一億五千萬弗及英國倫敦ニ於テ英貨公債二千五百萬磅ヲ發行ス
  - 第二條 前條ノ公債ノ元利金ノ償還及支拂ハ將來特種ノ歳入又ハ資産ヲ擔保トスル公債ヲ發行スル場合ニ於テハ該歳入又ハ資産ヲ以テ之ト同順位ニ擔保セラルモノトス
  - 第三條 第一條ノ公債ノ發行ニ付テハ本令ニ定ムルモノヲ除クノ外必要ナル事項ハ大藏大臣之ヲ定ム
- 附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

- 第一條 大正十三年勅令第十七號ニ依リ北米合衆國紐育ニ於テ發行スル公債ハ之ヲ六分半利付米貨公債ト稱ス
- 第二條 本公債ハ引受人ヲ定メ引受發行セシム
- 第三條 本公債ノ利率ハ一箇年百分ノ六半トス
- 第四條 本公債ノ元金ハ大正四十三年二月一日ニ於テ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス但シ大正二十八年二月一日以後ハ政府ノ都合ニ依リ何時ニテモ九十日前ニ新聞紙ヲ以テ廣告シ其ノ全部又ハ一部ヲ償還スルコトヲ得
- 第五條 前項但書ニ依リ一部償還ノ場合ハ橫濱正金銀行紐育支店ニ於テ慣例ニ從ヒ抽籤ヲ執行シ當籤シタル國債證券ノ番號ハ元金支拂ノ期日ヨリ一箇月前ニ新聞紙ヲ以テ廣告スヘシ
- 第六條 本公債ノ利子ハ毎年二月一日及八月一日ニ於テ各前六箇月分ヲ支拂フ
- 第七條 本公債ノ證券ハ無記名利札附トシ百弗、五百弗及一千弗ノ三種トス
- 第八條 本公債ノ發行價格ハ額面百弗ニ付九十二弗五十仙トス
- 第九條 本公債ノ引受人ハ大正十三年三月三日迄ニ其ノ引受ケタル公債ノ元金ヲ拂込ムヘシ
- 第十條 四分半利付英貨公債ハ額面二百磅ニ付左ノ價格ヲ以テ前條ノ拂込金ニ代用スルコトヲ得
- 第十一條 第一回四分半利付英貨公債



九百七十四弗七七仙〇〇三  
第二回四分利付英貨公債

九百七十八弗九十六仙八三八

- 第十條 政府ハ毎年左ノ金額ヲ支出シ本公債ノ元金ノ償還ニ充ツヘシ
- 一 大正十三年八月一日ヨリ起算シ五箇年間毎年五百萬弗
  - 二 前號ノ期間經過後ノ五箇年間毎年四百萬弗
  - 三 前二號ノ期間經過後償還期日ニ至ル迄毎年三百萬弗
- 前項ノ償還ハ大正二十八年二月一日前ニ於テハ買入銷却ノ方法ニ依リ同日以後ニ於テハ買入銷却又ハ抽籤償還ノ方法ニ依ル
- 第一項ノ金額ハ毎月分割シテ之ヲ支出シ其ノ支出金額ニ使用殘額アルトキハ遞次之ヲ爾後ノ月割支出額ニ充當ス

附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 〇六分利付英貨公債發行規程

大正十三年二月十三日  
大藏省令第四號

- 第一條 大正十三年勅令第十七號ニ依リ英國倫敦ニ於テ發行スル公債ハ之ヲ六分利付英貨公債ト稱ス
- 第二條 本公債ノ利率ハ一箇年百分ノ六トス
- 第三條 本公債ノ元金ハ大正四十八年七月十日ニ於テ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス但シ大正二十八年二月十三日以後ハ政府ノ都合ニ依リ何時ニテモ

九十日前ニ新聞紙ヲ以テ廣告シ其ノ全部又ハ一部ヲ償還スルコトヲ得  
前項但書ニ依ル一部償還ノ場合ハ橫濱正金銀行倫敦支店ニ於テ慣例ニ從ヒ抽籤ヲ執行シ當籤シタル國債證券ノ番號ハ元金支拂ノ期日ヨリ一箇月前ニ新聞紙ヲ以テ廣告スヘシ

- 第四條 本公債ノ利率ハ毎年一月十日及七月十日ニ於テ各前六箇月分ヲ支拂フ但シ大正十三年七月十日支拂ノ利率ハ額面百磅ニ付一磅十志トス
- 第五條 本公債ノ證券ハ無記名利札附トシ二十磅、二十五磅、五十磅、百磅及二百磅ノ五種トス
- 第六條 本公債ノ發行價格ハ額面百磅ニ付八十七磅十志トス
- 第七條 本公債ノ應募者ハ額面百磅ニ付左ノ區分ニ依リ拂込ヲ爲スヘシ
- 一 應募申込ノ際 五磅
  - 二 募入決定ノ際 二十磅
  - 三 大正十三年三月十七日 二十五磅
  - 四 大正十三年四月十四日 二十磅
  - 五 大正十三年五月十二日 十七磅十志
- 第八條ノ規定ニ依リ代用拂込ヲ爲ス場合ニ於テハ大正十三年二月二十日迄ニ其ノ拂込ヲ爲スヘシ
- 第八條 四分半利付英貨公債ハ額面百磅ニ付左ノ價格ヲ以テ前條ノ拂込ニ代用スルコトヲ得
- 一 第一回四分半利付英貨公債 百十三磅九志十片
  - 二 第二回四分半利付英貨公債 百十三磅九志九片
- 第九條 政府ハ大正十八年七月ヨリ本公債ノ償還期日ニ至ル迄六箇月毎ニ

九十万三千三百二十四磅ヲ支出シ本公債元利金ノ支拂ニ充ツヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 〇五分半利付英貨公債發行規程

昭和五年五月十二日  
大藏省令第九號

- 第一條 政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ノ規定ニ依リ第二回四分利付英貨公債償還ノ爲英國倫敦ニ於テ五分半利付英貨公債額面千二百五十萬磅ヲ發行ス
- 第二條 本公債ノ利率ハ一箇年百分ノ五半トス
- 第三條 本公債ノ元金ハ昭和十年七月一日以後六箇月毎ニ支出スル一定資金ヲ以テ昭和四十年五月一日迄三十箇年間ニ買入銷却又ハ抽籤償還ノ方法ニ依リ償還ヲ完了スルモノトス但シ昭和十五年五月十三日以後ハ政府ノ都合ニ依リ何時ニテモ九十日前ニ新聞紙ヲ以テ廣告シ未償還額ノ全部ヲ一時ニ償還スルコトヲ得
- 前項ノ抽籤ハ橫濱正金銀行倫敦支店ニ於テ之ヲ執行シ當籤シタル證券ノ番號ハ元金支拂ノ期日ヨリ一箇月前ニ新聞紙ヲ以テ之ヲ廣告スヘシ
- 第四條 本公債ノ利率ハ毎年一月一日及七月一日ニ於テ各前六箇月分ヲ支拂フ但シ昭和六年一月一日支拂ノ利率ハ額面百磅ニ付二磅十志トス
- 第五條 本公債ノ證券ハ無記名利札附トシ十磅、二十磅、百磅及二百磅ノ四種トス

### 〇五分半利付米貨公債發行規程

昭和五年五月十二日  
大藏省令第十號

- 第八條 第二回四分利付英貨公債（昭和六年一月一日渡利札添附）ハ額面金額ヲ以テ前條ノ拂込金ニ代用スルコトヲ得
- 第九條 本公債ノ元金及利率ハ橫濱正金銀行倫敦支店及紐育支店ニ於テ之ヲ支拂フ但シ紐育支店ニ於テ支拂ノ場合ノ換算率ハ英貨一磅ニ付米貨四弗八十六仙六五ノ割合トス
- 附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

- 第一條 政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ノ規定ニ依リ第二回四分利



付英貨公債償還ノ爲北米合衆國紐育ニ於テ五分半利付米貨公債額面七千  
百萬弗ヲ發行ス

第二條 本公債ハ引受人ヲ定メ引受發行セシム

第三條 本公債ノ利率ハ一箇年百分ノ五半トス

第四條 本公債ノ元金ハ昭和十年五月一日以後六箇月毎ニ支出スル一定資  
金ヲ以テ昭和四十年五月一日迄三十箇年間ニ買入銷却又ハ抽籤償還ノ方  
法ニ依リ償還ヲ完了スルモノトス但シ昭和十五年五月一日以後ハ政府ノ  
都合ニ依リ何時ニテモ九十日前ニ新聞紙ヲ以テ廣告シ未償還額ノ全部ヲ  
一時ニ償還スルコトヲ得

前項ノ抽籤ハ橫濱正金銀行紐育支店ニ於テ之ヲ執行シ當籤シタル證券ノ  
番號ハ元金支拂ノ期日ヨリ一箇月前ニ新聞紙ヲ以テ之ヲ廣告スヘシ

第五條 本公債ノ利子ハ毎年五月一日及十一月一日ニ於テ各前六箇月分ヲ  
支拂フ

第六條 本公債ノ證券ハ無記名利札附トシ一千弗ノ一種トス

第七條 本公債ノ發行價格ハ額面一千弗ニ付九百弗トス

第八條 本公債ノ引受人ハ昭和五年五月二十七日迄ニ引受額ニ對スル拂込  
ヲ爲スヘシ

第九條 第二回四分利付英貨公債(昭和五年七月一日渡以降利札添附)ハ  
額面二十磅ニ付九十九弗四十七仙ノ價格ヲ以テ前條ノ拂込金ニ代用スル  
コトヲ得

第十條 本公債ノ元金及利子ハ橫濱正金銀行紐育支店及倫敦支店ニ於テ之  
ヲ支拂フ但シ倫敦支店ニ於テ支拂フ場合ノ換算率ハ英貨一磅ニ付米貨四  
弗八十六仙六五ノ割合トス

附則

米穀需給調節特別會計法第四條ノ二ニ依リ發行スル米穀證券ノ額面金額  
ハ千圓、一萬圓及十萬圓ノ三種トス

第三條 米穀需給調節特別會計法第三條ニ依リ發行スル米穀證券ノ發行及  
交付ハ左記各號ノ定ムル所ニ依ル

一 本證券ハ買入米穀ノ受渡ヲ爲シタル日ヲ以テ之ヲ發行ス

二 本證券ハ其ノ發行日ノ屬スル年度ノ翌年度四月一日ニ額面金額ヲ以  
テ之ヲ支拂フ

三 本證券ニハ利子ヲ附セス

四 米穀需給調節特別會計法第四條ノ割引歩合ハ別ニ之ヲ告示ス

五 米穀賣渡人本證券ノ交付ヲ受ケントスルトキハ額面金額、枚數、發  
行日、交付ヲ受クヘキ國債事務取扱店及住所氏名(商號其ノ他ノ名  
稱)ヲ記載シタル請求書ニ米穀賣買契約ニ使用シタル印章ヲ捺捺シ之  
ヲ農林省ニ提出スヘシ

六 本證券ヲ交付スルトキハ農林省ハ別紙書式ノ米穀證券交付通知書ヲ  
米穀賣渡人ニ交付ス

七 米穀賣渡人ハ前條ノ米穀證券交付通知書ノ領收證欄内ニ式ノ如ク署  
名シ米穀賣買契約ニ使用シタル印章ヲ捺捺シ指定ノ取扱店ニ差出シ之  
ト引換ニ本證券ヲ受領スヘシ

第四條 米穀證券ヲ割引歩合入札ノ方法ニ依リ發行セントスルトキハ大藏  
省證券入札發行規程ノ各條項ヲ準用ス但シ同規程第二條ニ規定スル應募  
額ノ制限ニ付テハ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
別紙書式

第一編 稅制 幣制 國債 第五章 國債 證券 米穀證券發行規程

五九七

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### ○臨時國庫證券法

大正六年七月二十一日(總理、大藏  
大臣副署)  
法律第七號

改正 大正七年第一號、八年第一八號、一〇年第四五號

第一條 政府ハ輸出爲替資金ノ疏通ヲ圖リ又ハ「聯合國」ニ對スル輸出軍  
需品代金ノ決済ヲ便ニシ其ノ他「聯合國」ノ財政ヲ援助スル爲運用資金  
ノ必要アリト認ムルトキハ五年内ノ期限ヲ以テ臨時國庫證券ヲ發行スル  
コトヲ得其ノ借換ノ爲必要アルトキ亦同シ

第二條 臨時國庫證券ノ最高發行額ハ八億圓トス但シ借換ノ爲發行スルモ  
ノハ此ノ制限ヲ超過スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○米穀證券發行規程 昭和六年四月一日(農林大  
大藏省令第八號)(臣連署)

大正十年大藏省令第十七號米穀證券發行規程左ノ通改正ス

米穀證券發行規程

第一條 米穀需給調節特別會計法第三條及第四條ノ二ニ依リ發行スル證券  
ハ米穀證券トス

第二條 米穀需給調節特別會計法第三條ニ依リ發行スル米穀證券ノ額面金  
額ハ之ヲ一定セス

附則

米穀需給調節特別會計法第四條ノ二ニ依リ發行スル米穀證券ノ額面金額  
ハ千圓、一萬圓及十萬圓ノ三種トス

第三條 米穀需給調節特別會計法第三條ニ依リ發行スル米穀證券ノ發行及  
交付ハ左記各號ノ定ムル所ニ依ル

一 本證券ハ買入米穀ノ受渡ヲ爲シタル日ヲ以テ之ヲ發行ス

二 本證券ハ其ノ發行日ノ屬スル年度ノ翌年度四月一日ニ額面金額ヲ以  
テ之ヲ支拂フ

三 本證券ニハ利子ヲ附セス

四 米穀需給調節特別會計法第四條ノ割引歩合ハ別ニ之ヲ告示ス

五 米穀賣渡人本證券ノ交付ヲ受ケントスルトキハ額面金額、枚數、發  
行日、交付ヲ受クヘキ國債事務取扱店及住所氏名(商號其ノ他ノ名  
稱)ヲ記載シタル請求書ニ米穀賣買契約ニ使用シタル印章ヲ捺捺シ之  
ヲ農林省ニ提出スヘシ

六 本證券ヲ交付スルトキハ農林省ハ別紙書式ノ米穀證券交付通知書ヲ  
米穀賣渡人ニ交付ス

七 米穀賣渡人ハ前條ノ米穀證券交付通知書ノ領收證欄内ニ式ノ如ク署  
名シ米穀賣買契約ニ使用シタル印章ヲ捺捺シ指定ノ取扱店ニ差出シ之  
ト引換ニ本證券ヲ受領スヘシ

第四條 米穀證券ヲ割引歩合入札ノ方法ニ依リ發行セントスルトキハ大藏  
省證券入札發行規程ノ各條項ヲ準用ス但シ同規程第二條ニ規定スル應募  
額ノ制限ニ付テハ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
別紙書式

第一編 稅制 幣制 國債 第五章 國債 證券 米穀證券發行規程

五九七

米穀證券發行規程		決 號	
第 號	指 定 店	日 本 銀 行	受 取 人
	「何 店」	「何 店」	「氏 名」
發行日	昭和 年 月 日		
支拂期日	昭和 年 月 日		
右證券ハ前記指定ノ取扱店ニテ之ヲ受取ルヘシ		農林省農務局長「氏 名 印」	
前記ノ證券正ニ領收候也			
昭和 年 月 日	住 所		受取人「氏 名 印」

(裏面)

(注意事項)

一、受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印シ證券領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ取扱店ニ差出シ證券ノ交付ヲ受クヘシ

二、受取人カ代人ヲ以テ證券ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ本人ニ於テ本書委任欄内ニ適宜ノ事項ヲ記載シ記名捺印



スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出スヘシ此場合ニ於テ代人ハ  
本書ニ代人タルノ肩書ヲ附シ記名捺印スヘシ  
一、受取人ノ印章ハ賣買契約ニ使用シタル印鑑ト同一ノモ  
ノニ限ル

印紙 委任欄

表書證券ノ受取方ヲ 委任仕候也

昭和 年 月 日

### ○大藏省證券入札發行規程

昭和五年十二月五日  
大藏省令第二十四號

- 第一條 大藏省證券ヲ割引歩合入札ノ方法ニ依リ發行セントスルトキハ左  
記要項ヲ定メ之ヲ告示ス
- 一 發行豫定額
  - 二 證券ノ額面金額ノ種類
  - 三 發行日
  - 四 支拂期日
  - 五 申込締切日時

- 六 申込取扱店
- 七 申込保證金ニ關スル事項
- 八 募入決定ノ日
- 九 應募現金拂込期日

- 一〇 應募現金拂込場所
- 第二條 應募額ハ一口ニ付額面一萬圓又ハ其ノ倍數トス
- 第三條 應募者ハ應募額ニ對シ大藏大臣ノ定ムル割合ニ依ル保證金ヲ納付  
スヘシ但シ官廳、公共團體、銀行、信託會社及保險會社其ノ他取扱銀行  
ニ於テ確實ト認メタルモノノ應募申込ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 第四條 應募者ハ應募額及割引歩合ヲ記載シタル入札書ヲ封緘シテ申込取  
扱店ニ提出スヘシ
- 保證金ノ納付ヲ要スル應募者ハ前項ノ入札書ヲ提出スルト共ニ應募額ヲ  
記載シタル保證金拂込書ヲ添ヘ保證金ヲ納付スヘシ
- 割引歩合ノ異ナル數口ノ應募申込ヲ爲ス場合ニ於テハ入札書及保證金拂  
込書ハ各口毎ニ別紙ニ作成スヘシ
- 第五條 割引歩合ハ日歩ヲ以テ表示シモ位ニ止ムヘシ
- 第六條 入札書ハ締切後一定ノ日ニ於テ之ヲ開封シ割引歩合ノ低キモノヨ  
リ順次割當テ募入スルモノトス但シ各申込ニ對シ其ノ一部又ハ全部ヲ募  
入外トスルコトアルヘシ
- 募入決定アリタルトキハ直ニ之ヲ應募者ニ通知ス
- 第七條 保證金ハ募入ノ分ニ付テハ之ヲ拂込金ノ一部ニ充當シ募入外ノ分  
ニ付テハ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス
- 保證金ニハ利子ヲ附セス
- 第八條 募入ノ通知ヲ受ケ拂込期日ニ拂込ヲ爲ササルモノニ付テハ其ノ應

募申込ヲ無効トシ提供シタル保證金ハ之ヲ政府ノ所得トス  
第九條 應募者拂込ヲ爲シタルトキハ大藏省證券ヲ交付ス但シ領收證書ヲ  
交付シ追テ之ト引換ニ本證券ヲ交付スルコトアルヘシ

附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### ○貯蓄債券法

明治三十七年四月一日 (總理、大藏)  
法律第十八號 (大臣副署)

- 第一條 政府ハ日本勸業銀行ヲシテ貯蓄債券ヲ發行セシムルコトヲ得
- 第二條 貯蓄債券ハ無記名利札附ニシテ券面金額ヲ五圓トス
- 第三條 貯蓄債券ハ發行ノ翌年ヨリ二十年以内ニ毎年一回以上抽籤ヲ以  
テ之ヲ償還スヘシ
- 貯蓄債券ヲ償還スル場合ニハ割増金ヲ附與スルコトヲ得但シ割増金一箇  
ノ金額ハ券面金額ノ百倍以内トス
- 第四條 貯蓄債券ニ附スヘキ利子ノ割合ハ一箇年百分ノ四以内トシ毎年一  
回之ヲ仕拂フモノトス
- 第五條 貯蓄債券ニハ商法第九十九條乃至第二百五條ヲ適用セス
- 第六條 貯蓄債券及其ノ引換證ニハ印紙稅ヲ免除ス
- 第七條 日本勸業銀行ハ貯蓄債券ノ募集金ヲ大藏省預金部ニ預入ルヘシ
- 第八條 貯蓄債券ニハ日本勸業銀行法第四十條及第四十一條ヲ準用ス
- 第九條 貯蓄債券ノ發行額ハ一箇年三萬圓ヲ以テ限トス

第十條 本法ハ明治三十七年八月一日ヨリ之ヲ施行ス  
第十一條 本法ニ依ル債券ノ發行ハ非常特別稅法施行中ニ限ルモノトス

### ○復興貯蓄債券法

大正十三年七月二十二日 (總理、大藏)  
法律第十五號 (大臣副署)

- 第一條 政府ハ日本勸業銀行ヲシテ復興貯蓄債券ヲ發行セシムルコトヲ得
- 第二條 復興貯蓄債券ハ無記名トシテ券面金額ハ五圓又ハ十圓トス
- 第三條 復興貯蓄債券ハ割引又ハ利子據置ノ方法ニ依リ之ヲ賣出スモノト  
ス
- 割引金額及利子歩合ハ主務大臣之ヲ定ム
- 第四條 復興貯蓄債券ハ發行ノ翌年ヨリ二十年以内ニ毎年二回以上抽籤ヲ  
以テ之ヲ償還スヘシ
- 復興貯蓄債券ヲ償還スル場合ニハ割増金ヲ附與スルコトヲ得其ノ方法及  
金額ハ主務大臣之ヲ定ム
- 第五條 復興貯蓄債券ニハ商法第九十九條乃至第二百條ノ二ノ規定ヲ適  
用セス
- 第六條 復興貯蓄債券ニハ印紙稅ヲ、復興貯蓄債券ノ發行ニ依ル社債ノ登  
記ニハ登錄稅ヲ、復興貯蓄債券ノ利子ニハ所得稅ヲ課セス
- 第七條 日本勸業銀行ハ復興貯蓄債券ノ發行ニ依ル收入金ヲ大藏省預金部  
ニ預入ルヘシ
- 前項ノ預入ニ依ル資金ハ震災地ノ復興及地方産業ノ振興ノ必要ナル用途  
ニ之ヲ融通ス



第八條 復興貯蓄債券ノ模造ニ關シテハ通貨及證券模造取締法ヲ準用ス  
 第九條 復興貯蓄債券ニハ日本勸業銀行法第三十五條ノ二、第三十五條ノ三、第四十條及第四十二條ノ規定ヲ準用ス  
 第十條 復興貯蓄債券ハ其ノ發行ニ依ル收入金ニ億圓ニ達シタルトキ又ハ本法施行ノ日ヨリ五年ヲ經過シタルトキハ之ヲ發行セス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○震災ニ因ル喪失無記名國債證券ニ關スル法律

大正十三年七月二十二日 (總理、大藏、司) 法律第十四號 (法大臣副署)

第一條 大正十二年九月ノ震災ニ因リ滅失又ハ紛失シタル無記名國債證券ニ對シテハ本法ニ依リ新證券ヲ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ爲スコトヲ得  
 第二條 震災ノ當時前條ノ證券ヲ所有シ又ハ占有シタル者ハ本法施行後三個月内ニ限リ喪失國債證券審査會ニ其ノ所有シ又ハ占有シタル證券ノ滅失又ハ紛失ニ付査定ヲ求ムルコトヲ得但シ證券ノ名稱不明ナルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス  
 本法施行ノ際外國ニ居住スル者ニ付テハ前項ノ期間ハ之ヲ六月トス  
 第三條 證券滅失ノ査定ヲ受ケタル者ニ對シテハ政府ハ滅失ヲ査定シタル證券ニ相當スル新證券ヲ交付スルコトヲ得

證券紛失ノ査定ヲ受ケタル者ニ對シテハ政府ハ新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ニ因リテ生スルコトアルヘキ損失ヲ填補スル爲メ確實ナル擔保ヲ提供セシメ又ハ保證人ヲ立テシメ紛失ヲ査定シタル證券ニ相當スル新證券ヲ交付スルコトヲ得  
 前項ノ擔保及保證人ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第一項及第二項ノ場合ニ於テ證券ノ記號不明ナルモノニ付テハ同一名稱ノ證券中適宜ノ記號ノモノヲ交付スルコトヲ得

第四條 前條ノ規定ニ依リ新證券ヲ交付ヲ爲スヘキ場合ニ於テ滅失又ハ紛失シタル證券ノ償還期到來シタルトキハ政府ハ新證券ノ交付ニ代ヘ元利金ノ支拂ヲ爲ス

第五條 紛失ノ査定ヲ受ケタル證券ノ記號又ハ番號不明ナル場合ニ於テ新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ニ因リ政府ニ損失ヲ生シタルトキハ同一名稱ノ新證券ノ交付ヲ受ケ又ハ之ニ代ヘ元利金ノ支拂ヲ受ケタル者ニシテ記號又ハ番號不明ナル舊證券ニ付紛失ノ査定ヲ受ケタルモノノ新證券ノ額面金額又ハ元金額ニ按分シテ其ノ損失ヲ負擔ス

第六條 滅失又ハ紛失シタル同一證券ニ付第二條ノ規定ニ依ル査定ノ請求ニ以上アリタル場合ニ於テハ新證券ノ交付ハ請求者中震災ノ當時舊證券ヲ占有スヘキ權利アリタル者ニ之ヲ爲ス  
 滅失又ハ紛失シタル證券ニ付存シタル權利ハ新證券ニ付亦之ヲ行フコトヲ得  
 前二項ノ規定ハ第四條ノ元利金ニ付之ヲ準用ス

第七條 喪失國債證券審査會ハ審査ノ爲メ必要アリト認ムルトキハ證人又ハ鑑定人ノ訊問其ノ他ノ證據調ヲ爲スコトヲ得

第八條 喪失國債證券審査會ハ審査ノ爲メ必要アリト認ムルトキハ宣誓ヲ爲

サシメタル上當事者ヲ訊問スルコトヲ得  
 前項ノ規定ニ依リ宣誓ヲ爲シタル者虛偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處ス  
 前項ノ罪ヲ犯シタル者新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ受ケル前喪失國債證券審査會ニ其ノ事實ヲ申出テタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得  
 第九條 喪失國債證券審査會ハ第七條及前條第一項ノ規定ニ依ル證據調ヲ裁判所其ノ他ノ官廳ニ囑託スルコトヲ得  
 第十條 喪失國債證券審査會ノ組織及證據調其ノ他審査ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
 第十一條 第一條ノ證券ニシテ震災ノ當時政府ノ保管シタルモノニ付テハ第二條乃至前條ノ規定ニ拘ラス勅令ノ定ムル所ニ依リ新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ爲スコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(大正十三年勅令第二百八號ヲ以テ同年九月十五日ヨリ施行)

○喪失國債證券交付規則

大正十三年九月十三日 (總理、大藏) 勅令第二百七號 (大臣副署)

第一條 大正十三年法律第十四號第三條第二項ノ擔保ハ現金又ハ國債トシ其ノ額ハ新證券ノ額面金額ト其ノ償還期限ニ至ル迄ノ利息總額トヲ加ヘタル金額ヲ最下限トス但シ擔保提供者ニ於テ擔保トシテ提供シタル現金

○喪失國債證券ニ對スル新證券交付手續

大正十三年九月十五日 大藏省令第二十二號

第一條 大正十三年法律第十四號第二條ノ規定ニ依リ無記名國債證券ノ滅失又ハ紛失ノ査定ヲ受ケタル者新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ請求セムトスルトキハ左ノ事項ヲ記載シ且記名捺印シタル請求書ニ印鑑證明、査定書及第二條ノ契約書ヲ添ヘ日本銀行ニ提出スヘシ  
 一、國債ノ名稱及總金額



- 二、證券ノ額面金額ノ種類及枚數
  - 三、證券ノ記號及番號
  - 四、證券ノ元金償還期及附屬各利札面ニ記載セル利子支拂期
  - 五、提供スヘキ擔保ノ種類及數量又ハ保證人ノ住所氏名
  - 六、請求年月日
  - 七、請求者ノ住所
- 前項第二號乃至第四號ノ事項中不明ノモノアルトキハ其ノ旨ヲ記載スヘシ

**第二條** 新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ請求セムトスル者ハ政府力減失又ハ紛失ノ査定ヲ受ケタル證券ノ存在ヲ知リタル場合ニハ證券ノ額面金額及支拂期ノ經過シタル利札ノ金額並ニ支拂ヒタル元金又ハ利子ニ對スル支拂日以後年五分ニ相當スル金額ヲ直ニ辨償スヘキ旨ヲ約スルコトヲ要ス

**第三條** 擔保タル國債ノ處分ヲ要スルトキハ之ヲ公賣ニ付ス

**第四條** 擔保及保證人ニ關シテハ國債規則第六十二條第二項、第六十五條乃至第七十條、第七十二條、第七十四條及第七十五條ノ規定ヲ準用ス

**第五條** 國債證券ヲ保管シタル官廳大正十三年法律第十四號第十一條ノ規定ニ依リ新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ請求セムトスルトキハ證券權利者毎ニ左ノ事項ヲ記載シ且官印ヲ押捺シタル請求書ヲ主務大臣及大藏大臣ヲ經テ日本銀行ニ提出スヘシ

- 一、國債ノ名稱及總金額
- 二、證券ノ額面金額ノ種類及枚數
- 三、證券ノ記號及番號
- 四、證券ノ元金償還期及附屬各利札面ニ記載セル利子支拂期

五、證券保管ノ事由

六、證券ノ減失又ハ紛失事由

七、請求年月日

八、請求者ノ官職氏名

前項第二號乃至第四號ノ事項中不明ノモノアルトキハ其ノ旨ヲ記載スヘシ

**第六條** 日本銀行ニ於テ新證券ノ交付ニ代ヘ支拂フヘキ元利金ハ領收證書ト引換ニ之ヲ支拂フ

附則

本令ハ大正十三年九月十五日ヨリ之ヲ施行ス

### ○震災ニ因リ汚染又ハ毀損シタル無記名利札附國債證券引換ニ關スル件

大正十二年十月八日  
大藏省令第二十三號

大正十二年九月一日ノ震災ニ因リ汚染又ハ毀損シタル無記名利札附國債證券ノ引換ヲ請求スル場合ニ於テ該國債證券ノ附屬利札中欠缺セルモノアルトキハ當分ノ國債規則第十四條第一項ノ規定ニ依ル欠缺利札ノ金額ニ相當スル現金ヲ納付セシメヌ當該利札ノ欠缺セル代證券ヲ交付スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### ○朝鮮私設鐵道令ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル件

昭和十一年二月二十四日  
制令第三號

朝鮮私設鐵道令ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ公布ス

朝鮮私設鐵道令ニ於テ依ルコトヲ定メタル地方鐵道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關シテハ昭和九年法律第二十二號ニ依ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

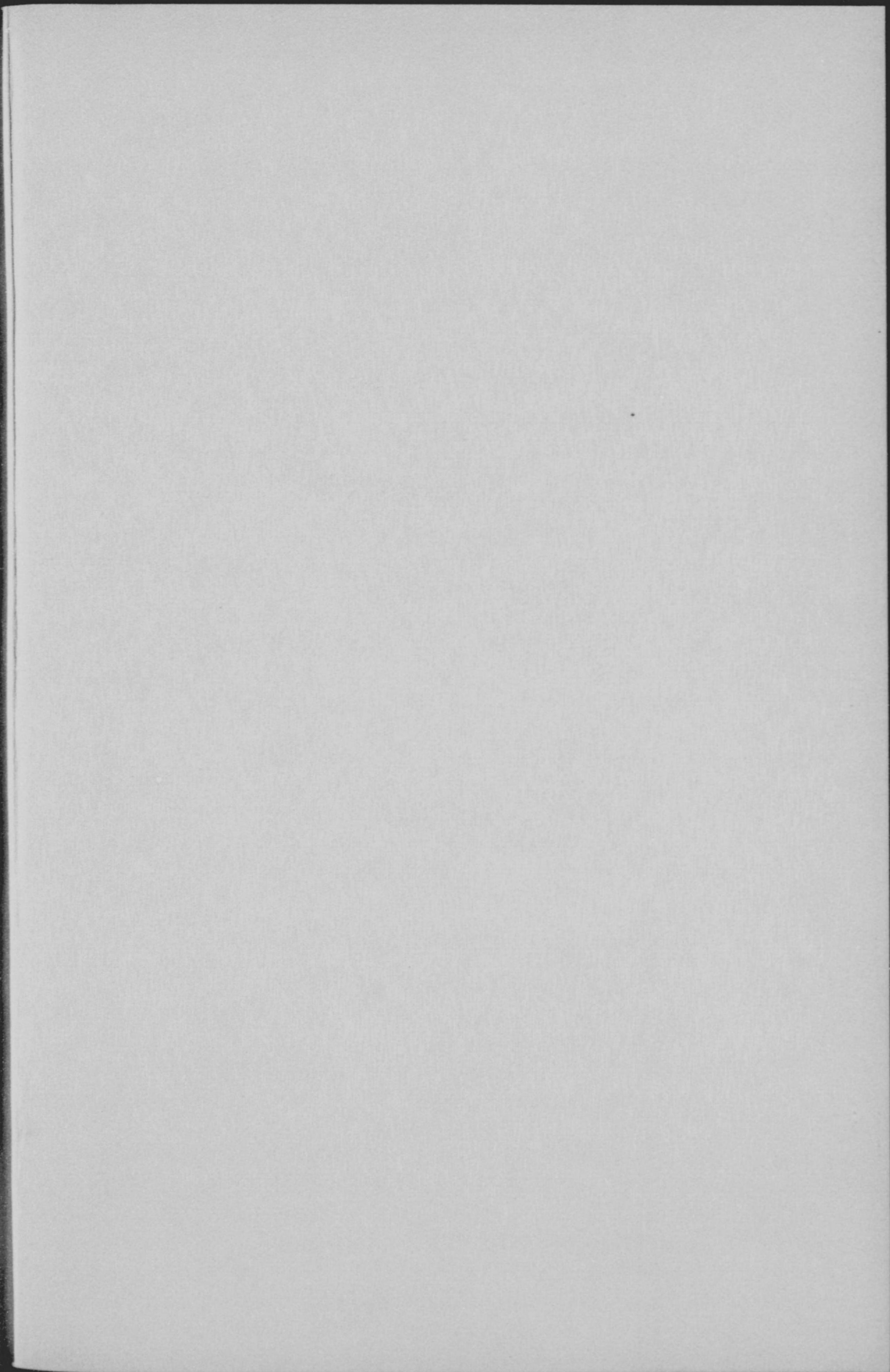
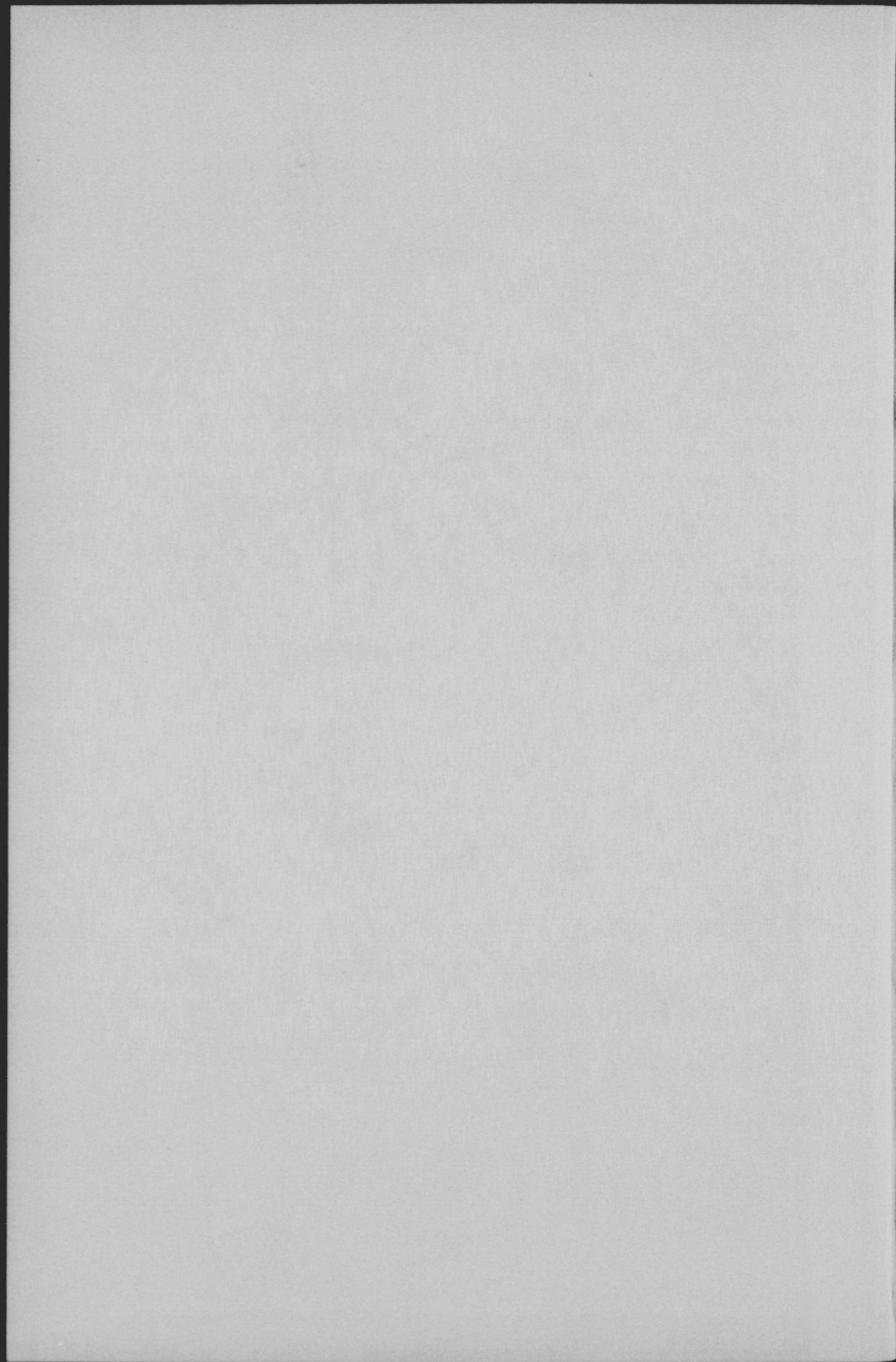




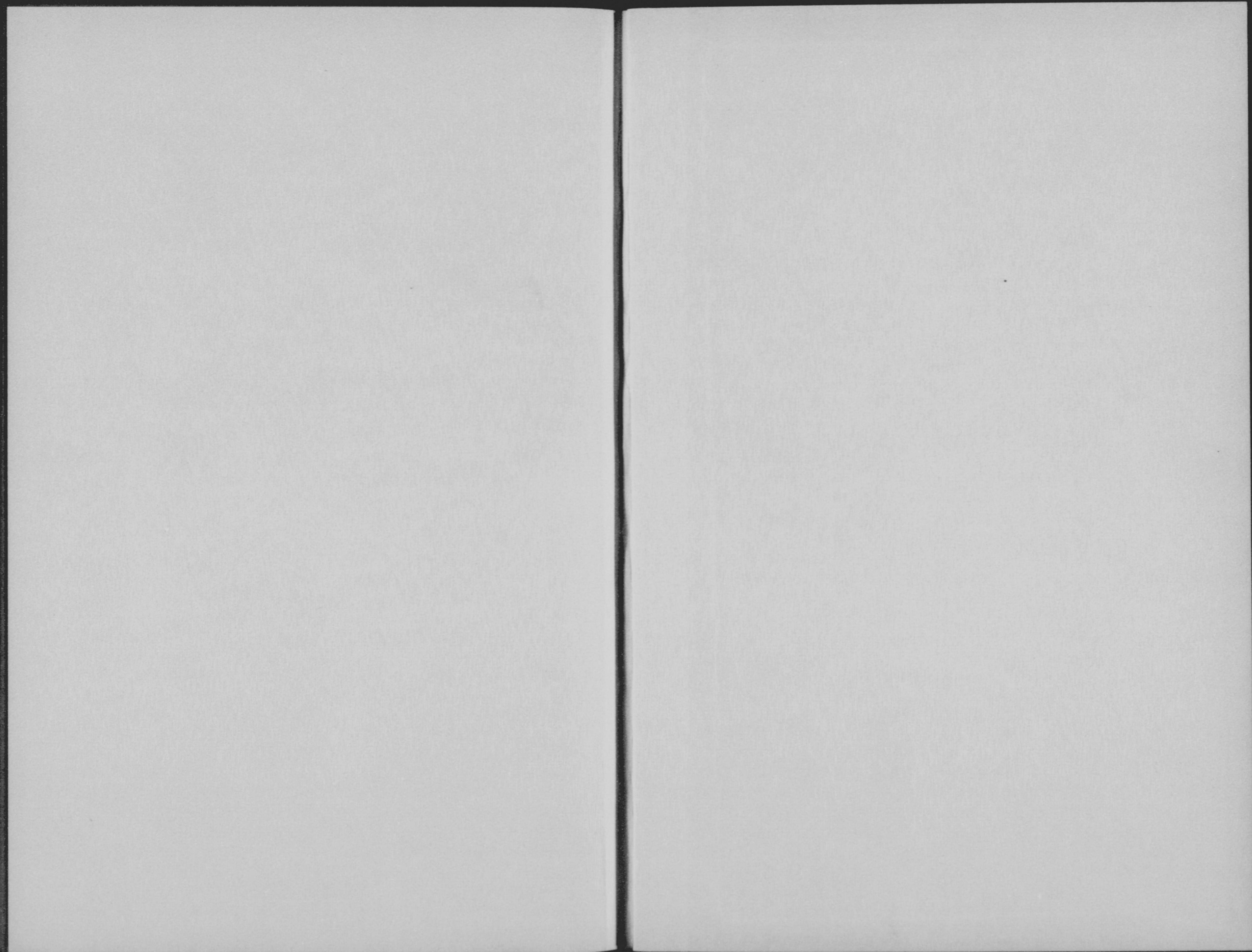


447070











447-11

帝国法令全集 8

財政編 (2)



## 第二編 專賣

### 第一章 煙草

#### ○煙草專賣法

明治三十七年四月一日  
法律第十四號

(總理、大藏  
大臣副署)

改正 明治四〇年第一二號、第五〇號

大正八年第三〇號、一〇年第一六號、一二年第一三號、一四年第二三號

第一條 煙草ノ製造ハ政府ニ專屬ス

第二條 煙草ハ政府及政府ノ命ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ輸入スルコトヲ得ス

第三條 煙草ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ耕作スルコトヲ得ス

第四條 煙草耕作ノ收穫シタル葉煙草ハ政府之ヲ收納ス

第五條 煙草ノ耕作區域ハ政府之ヲ定ム

第六條 政府ハ毎年耕作スヘキ煙草ノ種類、耕作段別及葉煙草ノ賠償價格ヲ定メ豫メ之ヲ公示ス

第七條 煙草ヲ耕作セムトスル者ハ毎年煙草苗床ノ位置及坪數、煙草耕作地ノ位置及段別、煙草ノ種類、本數、乾燥場及藏置場ヲ定メ政府ニ申請シ許可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ變更シ又ハ耕作ヲ廢止セムトスルトキ亦同シ

第八條 相續ニ因ルノ外煙草ノ耕作ヲ承繼セムトスルトキハ政府ノ許可ヲ受クヘシ

相續ニ依リ煙草ノ耕作ヲ承繼シタルトキハ政府ニ届出ヘシ

第九條 煙草耕作者ニ非サレハ煙草苗ヲ育成スルコトヲ得ス

煙草苗ノ讓渡及讓受ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受クヘシ

第十條 煙草耕作者ハ政府ノ定ムル方法及手續ニ依リ其ノ耕作ヲ完成スル義務ヲ負フ

第十一條 政府ハ收穫前ニ於テ葉煙草ノ收穫量目ヲ査定ス但シ査定ノ必要ナシト認ムルトキハ之ヲ省略スルコトヲ得

前項査定ノ場合ニ於テハ煙草耕作者ハ之ニ立會フヘシ若立會ハサルトキハ其ノ査定ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第十二條 煙草耕作者前條ノ量目ノ査定ニ不服ナルトキハ即時異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

異議ノ申立アリタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ二人以上ノ鑑定人ヲ選定シ其ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

異議申立人ノ主張ニ保ル葉煙草ノ量目ト前項決定額トノ差カ前條ノ査定額ト前項決定額トノ差ヨリ大ナルトキハ鑑定ニ關スル費用ハ異議申立人ノ負擔トス

第十三條 煙草耕作者第十一條ノ査定ヲ受クル場合ニ於テハ政府ノ許可ヲ受クルニ非サレハ其ノ査定前ニ於テ葉煙草ヲ採取シ又ハ幹根ヲ拔除スルコトヲ得ス第十二條ニ依リ異議ノ申立ヲ爲シタル者其ノ決定前ニ於テ亦同シ

第十四條 煙草耕作者一番葉ノ收穫ヲ終リタルトキハ直ニ其ノ幹根ヲ拔除シ其ノ幹ニ附著スル葉煙草ハ之ヲ廢棄スヘシ

種子ノ採取又ハ二番葉ノ收穫ヲ爲サムトスル者ハ政府ノ許可ヲ受クヘシ



前項ノ場合ニ於テ採取又ハ收穫ヲ終リタルトキハ第一項ノ處置ヲ爲スヘシ

第十五條 煙草耕作者ノ收穫シタル葉煙草ハ乾燥調理ノ後政府ニ納付スヘシ

納付ノ期日及場所ハ政府之ヲ定ム

煙草耕作者ノ收穫シタル葉煙草ニシテ政府ノ收納ニ適セサルモノハ政府ノ承認ヲ經テ之ヲ廢棄スヘシ

第十六條 煙草耕作者ノ納付シタル葉煙草ハ鑑定人ヲシテ之ヲ鑑定セシメ其ノ等級ニ依リ賠償金ヲ交付ス

煙草耕作者前項ノ鑑定ニ不服ナルトキハ再鑑定ヲ求ムルコトヲ得但シ賠償金ノ請求ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

再鑑定申立人ノ主張ニ係ル葉煙草ノ等級ト再鑑定等級トノ差カ第一項ノ鑑定等級ト再鑑定等級トノ差ヨリ大ナルトキハ再鑑定ニ關スル費用ハ其ノ申立人ノ負擔トス

再鑑定ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 煙草耕作者正當ノ事由ナクシテ政府ノ査定若ハ決定シタル量目以上ノ葉煙草ヲ納付セサルトキハ政府ハ其ノ不足額ニ對シ第十八條第二項ノ規定ニ準シテ算定シタル金額ノ三倍以下ヲ納付セシムルコトヲ得

第十八條 煙草耕作者私ニ耕作段別ヲ減少シ又ハ耕作ヲ廢止シタルトキハ政府ハ其ノ減作地又ハ廢作地ニ生産スヘキ葉煙草ノ價格ニ相當スル金額ヲ納付セシムルコトヲ得

前項葉煙草ノ價格ハ其ノ年ニ於ケル近傍類似煙草耕作地ノ葉煙草生産額及之ニ對スル賠償金額ヲ標準トシ之ヲ算定ス

第十九條 煙草耕作者其ノ耕作段別ヲ減少シ又ハ耕作ヲ廢止シタル場合ニ

於テ其ノ耕作ヲ承繼スル者ナキトキハ政府ハ其ノ現存スル煙草又ハ煙草苗ヲ廢棄セシムルコトヲ得

第二十條 煙草耕作者ノ葉煙草ハ其ノ耕作地、乾燥場、藏置場又ハ其ノ收納官署ノ外他ニ之ヲ運送スルコトヲ得ス

政府ハ必要ト認ムルトキハ葉煙草運送ノ通路及時間ヲ指定スルコトヲ得

第二十一條 政府ハ煙草耕作者ノ組織スル組合又ハ其ノ聯合組合ニ對シ專賣事務執行上必要ナル施設ヲ爲シ又ハ其ノ補助ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

前記ノ組合又ハ聯合組合ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ交付金ヲ下付スルコトヲ得

第二十條ノ三 煙草耕作者ノ耕作シタル煙草カ移植後收穫前ニ於テ風害、水害、雹害、旱害又ハ病害ニ罹リ著シキ損害ヲ被リタルトキハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ煙草耕作者ニ損害ノ一部ニ對スル補償金ヲ交付スルコトヲ得

第二十一條 公共團體又ハ私人ニ於テ試作場ヲ特設シ煙草ノ試作ヲ爲サムトスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ試作ニ關シテハ第四條、第七條、第九條、第十五條、第十六條第一項及第十九條ノ規定ヲ準用ス

第二十二條 製造煙草ハ政府又ハ政府ノ指定シタル煙草元賣捌人若ハ煙草小賣人ニ非サレハ之ヲ販賣スルコトヲ得ス

煙草賣捌人及煙草ノ販賣ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十三條 煙草小賣人ハ政府ノ定メタル價格ヲ以テスルニ非サレハ製造煙草ヲ消費者ニ販賣スルコトヲ得ス

第二十四條 煙草賣捌人ハ政府ノ封緘ヲ施シタル製造煙草ノ包裹ヲ開披シ

若ハ之ヲ改装シ又ハ包裹ノ破損シタル製造煙草ヲ販賣スルコトヲ得ス

第二十五條 輸出ノ爲葉煙草又ハ製造煙草ノ賣渡ヲ請求スル者アルトキハ政府ハ特ニ定メタル價格ヲ以テ之ヲ賣渡スルコトヲ得

前項煙草ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ帳簿ヲ調製シ其ノ營業ニ關スル事項ヲ記載スヘシ

輸出ニ供スル煙草ヲ製造セムトスル者ノ爲政府ハ一定ノ地域ニ於テ煙草自由倉庫ヲ設置シ又ハ其ノ設置ヲ特許スルコトヲ得

第二十六條 前條ニ依リ輸出ノ爲葉煙草又ハ製造煙草ヲ買受ケタル者ハ政府ノ指定シタル期間内ニ輸出免狀ニ外國仕向港ニ陸揚ヲ爲シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添ヘ政府ニ差出スヘシ

正當ノ事由ナクシテ前項ノ免狀及書類ヲ差出ササルトキハ政府ハ葉煙草ニ付テハ第二十九條製造煙草ニ付テハ第三十條ノ規定ニ依リ相當金額ヲ納付セシム

第二十七條 輸出ノ爲政府ヨリ買受ケタル葉煙草又ハ製造煙草ハ輸出前之ヲ他ニ讓渡シ又ハ消費スルコトヲ得但シ其ノ使用ニ適セサルニ至リタルモノハ政府ノ許可ヲ受ケテ之ヲ廢棄スルコトヲ得

第二十八條 輸出ノ爲政府ヨリ買受ケタル葉煙草又ハ製造煙草ノ輸出ヲ廢止シタルトキ又ハ買受ノ日ヨリ一箇年ヲ過キ之ヲ輸出セサルトキハ其ノ使用ニ適スルモノニ限リ政府之ヲ收納シ其ノ他ハ之ヲ廢棄セシム

前項ノ收納ヲ爲ストキハ鑑定人ヲシテ鑑定セシメ賠償金ヲ交付ス但シ其ノ賠償金ハ第二十五條ニ依リ賣渡價格ニ超過スルコトヲ得ス

第二十九條 本法ノ規定ニ依リ輸出シ、廢棄シ及收納セラレタル葉煙草並

現在葉煙草ノ總量目カ政府ヨリ買受ケタル葉煙草ノ總量目ニ比シ正當ノ

第二編 專賣 第一章 煙草 煙草專賣法

於テ其ノ耕作ヲ承繼スル者ナキトキハ政府ハ其ノ現存スル煙草又ハ煙草苗ヲ廢棄セシムルコトヲ得

第二十條 煙草耕作者ノ葉煙草ハ其ノ耕作地、乾燥場、藏置場又ハ其ノ收納官署ノ外他ニ之ヲ運送スルコトヲ得ス

政府ハ必要ト認ムルトキハ葉煙草運送ノ通路及時間ヲ指定スルコトヲ得

第二十一條 政府ハ煙草耕作者ノ組織スル組合又ハ其ノ聯合組合ニ對シ專賣事務執行上必要ナル施設ヲ爲シ又ハ其ノ補助ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

前記ノ組合又ハ聯合組合ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ交付金ヲ下付スルコトヲ得

第二十條ノ三 煙草耕作者ノ耕作シタル煙草カ移植後收穫前ニ於テ風害、水害、雹害、旱害又ハ病害ニ罹リ著シキ損害ヲ被リタルトキハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ煙草耕作者ニ損害ノ一部ニ對スル補償金ヲ交付スルコトヲ得

第二十一條 公共團體又ハ私人ニ於テ試作場ヲ特設シ煙草ノ試作ヲ爲サムトスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ試作ニ關シテハ第四條、第七條、第九條、第十五條、第十六條第一項及第十九條ノ規定ヲ準用ス

第二十二條 製造煙草ハ政府又ハ政府ノ指定シタル煙草元賣捌人若ハ煙草小賣人ニ非サレハ之ヲ販賣スルコトヲ得ス

煙草賣捌人及煙草ノ販賣ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十三條 煙草小賣人ハ政府ノ定メタル價格ヲ以テスルニ非サレハ製造煙草ヲ消費者ニ販賣スルコトヲ得ス

第二十四條 煙草賣捌人ハ政府ノ封緘ヲ施シタル製造煙草ノ包裹ヲ開披シ

事由ナクシテ不足シタルトキハ政府ハ輸出者ヲシテ其ノ不足額ニ對シ第二十五條ノ賣渡價格ニ相當スル金額ノ四倍以下ヲ納付セシム

第三十條 本法ノ規定ニ依リ輸出シ、廢棄シ及收納セラレタル製造煙草並現在製造煙草ノ總量目カ政府ヨリ買受ケタル製造煙草ノ總量目ニ比シ正當ノ事由ナクシテ不足シタルトキハ政府ハ輸出者ヲシテ其ノ不足額ニ對シ第二十三條ノ賣渡價格ト第二十五條ノ賣渡價格トノ差額ニ相當スル金額ノ二倍以下ヲ納付セシム

第三十一條 政府ハ標本ニ供スルモノニ限リ葉煙草ヲ交付シ又ハ煙草ノ輸入ヲ許可スルコトヲ得

標本ニ供スル煙草ハ政府ノ許可ヲ受ケ標本トシテ他ニ讓渡シ又ハ試驗ノ用ニ供シ又ハ廢棄スルノ外之ヲ處分スルコトヲ得ス

第三十二條 健康上若ハ習慣上缺クヘカラサル製造煙草ハ自用ニ供スルモノニ限リ自用者ニ於テ政府ノ許可ヲ受ケ之ヲ輸入スルコトヲ得

第三十三條 輸出ノ爲買受ケタル煙草ハ政府ノ許可ヲ受ケタル場所ニ非サレハ之ヲ藏置スルコトヲ得ス

第三十四條 何人ト雖本法ニ於テ認メタル場合ノ外葉煙草、政府ノ證票ヲ附セサル製造煙草又ハ煙草製造専用ノ器具機械及卷紙ヲ所持シ、讓渡シ若ハ讓受クルコトヲ得ス

前項ノ物件ハ本法ニ依リ沒收スル場合ノ外政府ニ於テ之ヲ處分ス

第三十五條 何人ト雖營業ノ目的ヲ以テ煙草ニ代用スヘキ物品ヲ製造シ又ハ販賣スルコトヲ得ス

第三十六條 煙草製造専用ノ器具機械及卷紙ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ製作シ、販賣シ又ハ藏置スルコトヲ得ス

第三十七條 煙草耕作者、試作者又ハ煙草製造専用ノ器具機械及卷紙ノ製



作者、販賣者若ハ設置者本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ政府ハ耕作、試作、藏置又ハ營業ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第三十八條 政府ハ煙草ノ苗床、耕作地、試作地、乾燥場、藏置場又ハ煙草苗、煙草若ハ煙草製造器具機械及卷紙ノ所在ト認ムル場所又ハ煙草苗、煙草若ハ煙草製造器具機械及卷紙ヲ検査シ又ハ監督上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

當該官吏ハ前項ノ検査ニ際シ必要ト認ムルトキハ關係人ヲシテ之ニ立會ハシムルコトヲ得

第三十九條 行政執行ノ手續ニ依リ費用ヲ納付セシムル場合ニ於テ義務者ニ交付スヘキ金額アルトキハ之ヲ差引スルコトヲ得

第四十條 本法ノ規定ニ依リ納付セシムヘキ金額ノ徵收ニ關シテハ國稅徵收法ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第四十一條 政府ノ命令又ハ許可ヲ受ケスシテ煙草ノ輸入ヲ圖リ若ハ其ノ輸入ヲ爲シタル者ハ其ノ煙草ノ價格ノ十倍ニ相當スル罰金ニ處シ其ノ煙草ヲ沒收ス但シ其ノ罰金額ハ百圓以下ノコトヲ得

前項ノ價格ハ其ノ煙草ノ生産地又ハ仕入地ニ於ケル原價ニ荷造費、運送費、保險料其ノ他輸入地ニ到著スル迄ノ諸費及輸入税ニ相當スル金額ヲ加ヘタルモノトス

第四十二條 第三條又ハ第九條第一項ニ違反シタル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル煙草又ハ煙草苗ハ之ヲ沒收ス許可ヲ受ケスシテ試作ヲ爲シタル者亦同シ

第四十三條 煙草耕作許可ヲ受ケサル土地ニ煙草ヲ耕作シ若ハ煙草苗ヲ育成シ又ハ許可ヲ受ケサル種類ノ煙草ヲ耕作シ又ハ許可ヲ受ケスシテ煙草苗ヲ讓渡シ若ハ讓受ケタルトキハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ

犯罪ニ係ル物品並其ノ原料、製造器具機械及卷紙ハ之ヲ沒收ス

第六十條 第三十六條ニ違反シタル者又ハ權利者不明ノ煙草製造専用ノ器具機械及卷紙ヲ所持シタル者ハ三十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル煙草製造専用ノ器具機械及卷紙ハ之ヲ沒收ス

第六十一條 本法ノ犯罪ニ係ル物件ヲ他ニ讓渡シ若ハ消費シタルトキ又ハ其ノ物件ニシテ他ニ所有者アル爲沒收スルコトヲ得サルトキハ其ノ價格ニ相當スル金額ヲ追徴ス

第六十二條 當該官吏ノ尋問ニ對シ虛偽ノ答辯ヲ爲シ又ハ當該官吏ノ職務執行ヲ拒ミ又ハ之ヲ忌避シ又ハ之ニ支障ヲ加ヘタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第六十三條 煙草耕作者、試作者、煙草賣捌人、煙草製造専用ノ器具機械及卷紙ノ製作者、販賣者若ハ藏置者又ハ煙草輸出者力未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者ハ刑法ノ減輕、再犯加重及數罪併發ノ例ヲ用キス

第六十五條 煙草耕作者、試作者、煙草賣捌人、煙草製造専用ノ器具機械及卷紙ノ製作者、販賣者若ハ藏置者又ハ煙草輸出者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人、其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免カルルコトヲ得

第六十六條 明治三十三年法律第五十二號ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

- 第五十條 第二十三條又ハ第二十四條ニ違反シタル者ハ五圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス
第五十一條 煙草輸出者帳簿ヲ調製セス又ハ其ノ記載ヲ怠リ若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
第五十二條 第二十七條ニ違反シタル者ハ三十圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル煙草ハ之ヲ沒收ス之ヲ讓受ケタル者亦同シ
第五十三條 第三十一條第二項ニ違反シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ煙草ヲ讓受ケタル者亦同シ
第五十四條 第三十二條ニ依リ輸入シタル煙草ヲ他ニ讓渡シタル者ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル煙草ハ之ヲ沒收ス
第五十五條 第三十三條ニ違反シタル者ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス情ヲ知リテ藏置ノ場所ヲ供與シタル者亦同シ
第五十六條 許可ヲ受ケサル者ノ耕作若ハ試作シタル葉煙草又ハ煙草耕作者、試作者ニ非サル者ノ育成シタル煙草苗又ハ權利者ノ不明ナル葉煙草若ハ煙草苗ヲ所持スル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草若ハ煙草苗ハ之ヲ沒收ス
第五十七條 第三十四條第一項ニ違反シテ製造煙草ヲ所持シ、讓渡シ又ハ讓受ケタル者ハ煙草賣捌人ニ在リテハ百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ他ノ者ニ在リテハ十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル製造煙草ハ之ヲ沒收ス
第五十八條 私ニ煙草ヲ製造シ又ハ製造ノ準備ヲ爲シタル者ハ百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル煙草及煙草製造器具機械及卷紙ハ之ヲ沒收ス
第五十九條 第三十五條ニ違反シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ

犯罪ニ係ル煙草又ハ煙草苗ハ之ヲ沒收ス

第四十三條 煙草耕作許可ヲ受ケサル場所ニ葉煙草ヲ乾燥シ又ハ藏置シタルトキハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草ハ之ヲ沒收ス

情ヲ知リテ前項ノ場所ヲ供與シタル者ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十四條 第十三條ニ違反シタル者ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草ハ之ヲ沒收ス

第四十五條 第十四條及第十九條ニ依リ葉煙草ヲ廢棄スヘキ者其ノ葉煙草ヲ收穫シ又ハ種子ヲ採取シタルトキハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草又ハ種子ハ之ヲ沒收ス

第四十六條 天災其ノ他避クヘカラサル事變ニ依ルニ非スシテ第二十條第一項ニ違反シ又ハ政府ノ指定シタル通路若ハ時間ニ依ラスシテ葉煙草ヲ運送シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草ハ之ヲ沒收ス

第四十七條 煙草耕作者正當ノ事由ナクシテ政府ノ指定シタル納付期日ニ葉煙草ヲ納付セサルトキハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十八條 政府ニ納付スヘキ葉煙草ヲ他ニ讓渡シ又ハ消費シ又ハ隱蔽シタル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草ハ之ヲ沒收ス之ヲ讓受ケタル者亦同シ

情ヲ知リテ葉煙草隱蔽ノ場所ヲ供與シタル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十九條 煙草賣捌人ニ非スシテ製造煙草ヲ販賣シ又ハ販賣ノ準備ヲ爲シタル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル製造煙草ハ之ヲ沒收ス

其ノ犯罪ニ係ル物品並其ノ原料、製造器具機械及卷紙ハ之ヲ沒收ス

第六十條 第三十六條ニ違反シタル者又ハ權利者不明ノ煙草製造専用ノ器具機械及卷紙ヲ所持シタル者ハ三十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル煙草製造専用ノ器具機械及卷紙ハ之ヲ沒收ス

第六十一條 本法ノ犯罪ニ係ル物件ヲ他ニ讓渡シ若ハ消費シタルトキ又ハ其ノ物件ニシテ他ニ所有者アル爲沒收スルコトヲ得サルトキハ其ノ價格ニ相當スル金額ヲ追徴ス

第六十二條 當該官吏ノ尋問ニ對シ虛偽ノ答辯ヲ爲シ又ハ當該官吏ノ職務執行ヲ拒ミ又ハ之ヲ忌避シ又ハ之ニ支障ヲ加ヘタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第六十三條 煙草耕作者、試作者、煙草賣捌人、煙草製造専用ノ器具機械及卷紙ノ製作者、販賣者若ハ藏置者又ハ煙草輸出者力未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者ハ刑法ノ減輕、再犯加重及數罪併發ノ例ヲ用キス

第六十五條 煙草耕作者、試作者、煙草賣捌人、煙草製造専用ノ器具機械及卷紙ノ製作者、販賣者若ハ藏置者又ハ煙草輸出者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人、其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免カルルコトヲ得

第六十六條 明治三十三年法律第五十二號ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

- 第六十七條 第三十七條ニ違反シタル者ハ三十圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル煙草又ハ煙草苗ハ之ヲ沒收ス之ヲ讓受ケタル者亦同シ
第六十八條 第三十八條ニ違反シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル煙草製造器具機械及卷紙ハ之ヲ沒收ス
第六十九條 第三十九條ニ違反シタル者ハ其ノ煙草ノ價格ノ十倍ニ相當スル罰金ニ處シ其ノ煙草ヲ沒收ス但シ其ノ罰金額ハ百圓以下ノコトヲ得
第七十條 第四十條ニ違反シタル者ハ其ノ煙草ノ生産地又ハ仕入地ニ於ケル原價ニ荷造費、運送費、保險料其ノ他輸入地ニ到著スル迄ノ諸費及輸入税ニ相當スル金額ヲ加ヘタルモノトス
第七十一條 第四十一條ニ違反シタル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル煙草又ハ煙草苗ハ之ヲ沒收ス許可ヲ受ケスシテ試作ヲ爲シタル者亦同シ
第七十二條 第四十二條ニ違反シタル者ハ三十圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル煙草又ハ煙草苗ハ之ヲ沒收ス
第七十三條 第四十三條ニ違反シタル者ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル煙草又ハ煙草苗ハ之ヲ沒收ス
第七十四條 第四十四條ニ違反シタル者ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草又ハ種子ハ之ヲ沒收ス
第七十五條 第四十五條ニ違反シタル者ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草又ハ種子ハ之ヲ沒收ス
第七十六條 第四十六條ニ違反シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草ハ之ヲ沒收ス
第七十七條 第四十七條ニ違反シタル者ハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス
第七十八條 第四十八條ニ違反シタル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草ハ之ヲ沒收ス之ヲ讓受ケタル者亦同シ
第七十九條 第四十九條ニ違反シタル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル製造煙草ハ之ヲ沒收ス



第六十七條 間接國稅犯則者處分法ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ違反事件ニ之ヲ準用ス但シ同法ニ定メタル職務ヲ行フ官吏ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

第六十八條 本法ハ明治三十七年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二十二條第二項及第七十三條ハ本法發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際ニ於ケル煙草製造業者ハ明治三十八年三月三十一日迄刻煙草ノ製造ニ限リ其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得

前項刻煙草ノ製造及其ノ原料ニ供スル葉煙草ノ賣買ニ關シテハ明治三十八年三月三十一日迄本法ノ規定ヲ適用セス仍葉煙草專賣法ヲ適用ス

第六十九條 本法施行ノ際ニ於ケル葉煙草耕作者ハ本法ニ依ル煙草耕作者ト看做ス

第七十條 左記ノ物件ハ政府之ヲ徵收シ之ニ對シ補償金ヲ交付ス

一 明治三十七年六月三十日ニ現在スル煙草製造専用ノ器具機械及卷紙但シ刻煙草製造専用ノモノヲ除ク

二 明治三十八年三月三十一日ニ現在スル刻煙草製造専用ノ器具機械

三 明治三十八年三月三十一日ニ現在スル葉煙草

第七十一條 本法施行ノ際政府ノ保管ニ係ル輸出葉煙草ニ關シテハ本法施行後ト雖仍葉煙草專賣法ヲ適用ス

第七十二條 明治三十七年六月三十日ニ現在スル刻煙草以外ノ煙草製造業者ノ所有ニ係ル葉煙草ハ明治三十八年三月三十一日迄ハ刻煙草製造業者若ハ葉煙草賣買業者ニ限リ之ヲ讓渡シ又ハ之ヲ所有スルコトヲ得但シ外國產葉煙草ニ限リ明治三十七年七月二十日迄ニ其ノ買上ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

第七十三條 本法發布ノ際ニ現在スル煙草製造用ノ建物、其ノ敷地及其ノ製造場備附ノ煙草製造用ノ器具機械ハ政府ニ於テ之ヲ徵收スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ニ對シ補償金ヲ交付ス

政府ハ本法發布ノ後煙草製造業者ノ營業場ニ就キ前項ニ依リ徵收スヘキ物件ヲ調査シ徵收目錄ヲ調成ス

徵收目錄ハ本法發布後六十日以内ニ之ヲ所有者ニ告知ス

前項ノ告知後ハ所有者ハ政府ノ承認ヲ受ケルニ非サレハ徵收目錄ニ記載シタル物件ヲ處分スルコトヲ得ス

第七十四條 煙草製造業者ノ所有ニ係ル煙草ノ製造及裝置ニ使用スヘキ物件並其ノ現ニ使用スル煙草製造及裝置用器具機械ニシテ第七十條ノ規定ニ該當セサルモノハ其ノ買上ヲ政府ニ請求スルコトヲ得但シ刻煙草以外ノ煙草製造業者ニ在リテハ明治三十七年六月三十日ニ現在スルモノニ限リ刻煙草製造業者ニ在リテハ明治三十八年三月三十一日ニ現在スルモノニ限ル

前項ニ依リ買上ヲ請求シ得ヘキ物件ノ種類數量並器具機械ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十五條 政府ハ煙草製造業者ニ對シ其ノ請求ニ依リ煙草賣渡代金ノ二割ニ相當スル金額ヲ交付シ其ノ額金五百圓ニ滿タサル者ニ對シテハ金五百圓ヲ交付ス但シ刻煙草製造用ノ建物及其ノ敷地ヲ所有スル者ニシテ其ノ建物及敷地ノ全部ノ徵收又ハ買上ヲ受ケサル者ニ對シテハ尙交付金ニ相當スル金額ノ六分ノ一ヲ増給ス

政府ハ葉煙草賣買業者又ハ外國產原料ヲ以テ外國若ハ内地ニ於テ製造シ且商標ヲ有スル煙草ノ全國一手販賣業者ニ對シ其ノ請求ニ依リ煙草賣渡代金ノ一割ニ相當スル金額ヲ交付シ其ノ額金二百五十圓ニ滿タサル者ニ

對シテハ金二百五十圓ヲ交付ス但シ刻煙草製造業者兼テタル葉煙草賣買業者カ自己ノ製造用ニ供シタル葉煙草ノ代金ハ本項ノ煙草賣渡代金中ニ算入スルコトヲ得サルモノトス

煙草製造業者ニシテ煙草賣買業者ニ指定セラレタルモノニ對シテハ前項ノ規定ヲ適用セス

第一項ニ依リ交付スヘキ金額ハ總計金九百十萬圓ヲ以テ限度トス若此ノ金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額ヲ各自ニ按分シテ之ヲ減少ス

第二項ニ依リ交付スヘキ金額ハ總計金二百萬圓ヲ以テ限度トス若此ノ金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額ヲ各自ニ按分シテ之ヲ減少ス

第一項及第二項ノ賣渡代金ハ明治三十五年ヨリ明治三十六年ニ至ル二箇年間ノ賣渡代金ノ平均高ニ依リ明治三十五年二月以後ニ其ノ營業ヲ開始シタル者ハ明治三十六年ノ賣渡高ニ依ル

第一項ニ依リ煙草製造業者トアルハ刻煙草以外ノ煙草製造業者ニ在リテハ明治三十六年一月三十一日以前ヨリ明治三十七年六月三十日ニ至ル迄、刻煙草製造業者ニ在リテハ明治三十六年一月三十一日以前ヨリ明治三十八年三月三十一日ニ至ル迄其ノ營業ヲ繼續シタルモノニ限ル但シ家督相續人カ被相續人ノ營業期間ト看做ス

第二項ニ依リ煙草賣買業者又ハ外國產原料ヲ以テ外國若ハ内地ニ於テ製造シ且商標ヲ有スル煙草ノ全國一手販賣業者トアルハ明治三十六年一月三十一日以前ヨリ明治三十八年三月三十一日ニ至ル迄其ノ營業ヲ繼續シタルモノニ限ル但シ家督相續人カ被相續人ノ營業期間ト看做ス

ルモノニ限ル但シ家督相續人カ被相續人ノ營業期間ト看做ス

國產原料ヲ以テ外國若ハ内地ニ於テ製造シ且商標ヲ有スル煙草ノ全國一手販賣業者ヲ繼續シタル場合ニ於テ被相續人ノ營業期間ト看做ス

第二編 專賣 第一章 煙草 煙草專賣法

第六十一條 第七十五條ニ依ル交付金ノ請求ハ刻煙草以外ノ煙草製造業者ニ在リテハ明治三十七年九月三十日迄ニ、刻煙草製造業者ニ在リテハ明治三十八年六月三十日迄ニ葉煙草賣買業者又ハ外國產原料ヲ以テ外國若

業期間ト看做ス

第七十六條 第七十五條第一項及第二項ノ賣渡代金ハ確實ナリト認ムル帳簿書類ニ依リ政府之ヲ決定ス

第七十七條 第七十條、第七十三條ノ補償價格及第七十二條、第七十四條ノ買上價格ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議整ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

前項ノ決定ニ對シ不服アル者ハ十日以内ニ其ノ申立ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ハ更ニ鑑定人ノ意見ヲ徵シ之ヲ決定ス

第七十八條 第七十條第一號ノ物件ヲ所有スル者ハ明治三十七年七月五日迄ニ、同條第二號ノ物件ヲ所有スル者ハ明治三十八年四月五日迄ニ其ノ種類數量ヲ政府ニ申告スヘシ此ノ期限ヲ過キ申告ヲ爲ササルトキハ其ノ物件ノ藏置ニ關シテハ第三十六條及第六十條ヲ適用ス

前項ニ依リ申告ヲ爲シタル物件ノ藏置ニ關シテハ之カ徵收ヲ終ル迄第三十六條ヲ適用セス

第七十九條 第七十條第三號ノ物件ヲ所有スル者ハ明治三十八年四月五日迄ニ其ノ種類數量ヲ政府ニ申告スヘシ此ノ期限ヲ過キ申告ヲ爲ササルトキハ其ノ物件ノ藏置ニ關シテハ第五十六條ノ例ニ依リ處分ス

第八十條 第七十四條ニ依ル物件買上ノ請求ハ刻煙草以外ノ煙草製造業者ニ在リテハ明治三十七年七月五日迄ニ、刻煙草製造業者ニ在リテハ明治三十八年四月五日迄ニ之ヲ爲スヘシ

第八十一條 第七十五條ニ依ル交付金ノ請求ハ刻煙草以外ノ煙草製造業者ニ在リテハ明治三十七年九月三十日迄ニ、刻煙草製造業者ニ在リテハ明治三十八年六月三十日迄ニ葉煙草賣買業者又ハ外國產原料ヲ以テ外國若

對シテハ金二百五十圓ヲ交付ス但シ刻煙草製造業者兼テタル葉煙草賣買業者カ自己ノ製造用ニ供シタル葉煙草ノ代金ハ本項ノ煙草賣渡代金中ニ算入スルコトヲ得サルモノトス

煙草製造業者ニシテ煙草賣買業者ニ指定セラレタルモノニ對シテハ前項ノ規定ヲ適用セス

第一項ニ依リ交付スヘキ金額ハ總計金九百十萬圓ヲ以テ限度トス若此ノ金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額ヲ各自ニ按分シテ之ヲ減少ス

第二項ニ依リ交付スヘキ金額ハ總計金二百萬圓ヲ以テ限度トス若此ノ金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額ヲ各自ニ按分シテ之ヲ減少ス

第一項及第二項ノ賣渡代金ハ明治三十五年ヨリ明治三十六年ニ至ル二箇年間ノ賣渡代金ノ平均高ニ依リ明治三十五年二月以後ニ其ノ營業ヲ開始シタル者ハ明治三十六年ノ賣渡高ニ依ル



ハ内地ニ於テ製造シ且商標ヲ有スル煙草ノ全國一手販賣業者ニ在リテハ  
明治四十年十二月三十一日迄ニ之ヲ爲スヘシ

第八十二條 本法施行ノ際現在スル製造煙草又ハ刻煙草製造業者ノ明治三  
十八年三月三十一日迄ニ製造シタル刻煙草ハ本法ノ規定ニ依ラス之ヲ所  
持シ、讓渡シ又ハ讓受クルコトヲ得

政府ハ必要ト認メタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ製造煙草ニ包  
裹ヲ施サシメ竝一定ノ證票ヲ貼附セシムルコトヲ得

前項ニ依ル命令ニ違反シ包裹ヲ施サス又ハ證票ヲ貼附セサル製造煙草ニ  
關シテハ第三十四條及第五十七條ヲ準用ス

第八十三條 煙草製造業者又ハ製造煙草ヲ販賣スル者ハ明治三十七年六月  
三十日ニ於テ現ニ其ノ所持ニ係ル刻煙草以外ノ製造煙草ノ種類數量ヲ明  
治三十七年七月十日迄ニ政府ニ申告スヘシ

刻煙草製造業者ハ明治三十八年三月三十一日ニ於テ現ニ其ノ所持ニ係ル  
刻煙草ノ種類數量ヲ翌月十日迄ニ政府ニ申告スヘシ

第八十四條 本法施行後政府ノ賣渡ササル製造煙草ヲ販賣スル者ハ營業ニ  
關スル帳簿ヲ調製シ明治三十七年七月以後毎月末日ニ於ケル製造煙草ノ  
種類數量及其ノ月ノ受拂高ヲ翌月五日迄ニ政府ニ申告スヘシ

第八十五條 第八十三條及第八十四條ノ規定ニ違反シタル者ハ二圓以上二  
十圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十六條 葉煙草專賣法ニ違反シタル者ニハ本法施行後ト雖仍同法ヲ適  
用ス

第八十七條 本法ハ勅令ヲ以テ指定シタル島嶼ニハ之ヲ施行セス  
本法ヲ施行セサル地ト本法施行地トノ間ニ於ケル煙草ノ移入移出ニ關シ  
テハ別ニ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本令ハ明治四十二年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

○煙草專賣法施行細則

明治三十七年五月二十八日  
大藏省令第十九號

改正 明治三十七年第四號、四〇年第一九號、四一年第三七號、四二年第四五號、  
四三年第三二號、第四三號

大正一〇年第四一號、一一年第四九號、一二年第九號

第一條 煙草ヲ耕作セムトスル者ハ地方專賣局長ノ定ムル期間内ニ第一號  
書式ノ申請書ヲ所管地方專賣局長ニ差出シ許可ヲ受クヘシ

前項耕作ノ許可ヲ受ケタル者ニハ第二號書式ノ許可證ヲ交付スヘシ

第二條 地方專賣局長ハ左ノ順序ニ依リ煙草ノ耕作ヲ許可スヘシ  
一 前年ニ於テ煙草ノ耕作、乾燥、調理、包裝、品質等他ノ模範トナル  
ヘキモノト認メラレタル者

二 前年迄煙草ノ耕作ヲ繼續シタル者

三 本年新規耕作ヲ申請セル者

第三條 地方專賣局長ハ耕作許可申請ニ係ル段別カ申請者ノ資力及其ノ耕  
作上ノ設備ニ比シテ適當ナリト認ムルトキハ其ノ段別ヲ減少シテ許可ス  
ルコトアルヘシ

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ煙草耕作者タルコトヲ得ス  
一 煙草賣捌人

第二編 專賣 第一章 煙草 煙草專賣法施行細則

政府ノ外本法ヲ施行セサル地ヨリ煙草ヲ本法施行地ニ移入スルコトヲ得  
ス犯シタル者ハ十圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル煙草ハ之  
ヲ沒收ス

第八十八條 明治三十八年ニ於テハ煙草製造業者及葉煙草賣買業者ニ係ル  
免許料ハ之ヲ徵收セス

明治三十七年ニ於ケル刻煙草以外ノ製造業者ニ係ル免許料ハ其ノ十二分  
ノ六ヲ還付ス

第八十九條 第七十條、第七十三條ノ補償金、第七十二條、第七十四條ノ  
買上金及第七十五條ノ交付金ニ充ツル爲政府ハ國庫債券ヲ發行スルコト  
ヲ得

第七十五條ノ交付金ハ國庫債券ヲ以テ之ヲ給付ス但シ五十圓未満ノ端數  
ハ現金ヲ以テ之ヲ給付ス

第七十條、第七十三條ノ補償金及七十二條、第七十四條ノ買上金ハ本  
人ノ請求ニ依リ國庫債券ヲ以テ給付スルコトアルヘシ

國庫債券ニ對シテハ一箇年百分ノ五ノ利子ヲ附シ發行ノ年ヨリ七箇年以  
内ニ之ヲ償還ス但シ第七十五條第二項ニ依リ交付スル國庫債券ニ限リ發  
行ノ年ヨリ十箇年以内ニ之ヲ償還ス

國庫債券ニ關シテハ本條ニ規定スルモノノ外整理公債條例ニ準據ス

附則 (大正一四法律第三三號)

本法ハ大正十四年四月一日以後ニ生シタル損害ニ關スル分ヨリ之ヲ適用ス

○勅令第二百一十一號(明治四十二年五月一日) (總理、大藏、  
內務大臣副署)

朕煙草專賣法ヲ樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
煙草專賣法ハ之ヲ樺太ニ施行ス

二 煙草製造専用ノ器具機械又ハ卷紙ノ製作者、販賣者又ハ藏置者

三 煙草ノ輸出又ハ移出ヲ業トスル者

四 前各號ノ一ニ該當スル者ト同一ノ家ニ在ル者又ハ其ノ同居者

第五條 地方專賣局長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ煙草耕作ヲ許可セ  
サルコトアルヘシ

一 煙草ニ關スル法令ニ違反シタル者

二 煙草耕作ノ成績不良ナリシ者

三 不適當ト認ムル場所ニ煙草ヲ耕作セムトスル者

四 取締上不便ト認ムル場所ニ煙草ノ耕作、乾燥又ハ藏置ヲ爲サムトス  
ル者

五 段別五畝未満ノ土地ニ煙草ヲ耕作セムトスル者

六 其ノ他煙草耕作者タルニ不適當ナリト認ムル者

第六條 煙草耕作者苗床ノ場所、坪數、煙草耕作地ノ場所、段別、煙草ノ  
種類、本數、乾燥場及藏置場ヲ變更増減シ又ハ耕作ヲ廢止セムトスルト  
キハ第一號書式ニ準シ所管地方專賣局長ニ申請シ許可ヲ受クヘシ

第七條 相續ニ因ルノ外煙草ノ耕作ヲ承繼セムトスル者ハ其ノ耕作許可證  
並第三號書式ノ申請書ヲ所管地方專賣局長ニ差出シ許可ヲ受クヘシ

相續ニ因リ其ノ耕作ヲ承繼シタルトキハ其ノ耕作許可證並第四號書式ノ  
申告書ヲ所管地方專賣局長ニ差出シ耕作許可證ノ交付ヲ受クヘシ

第八條 煙草耕作者其ノ耕作段別ノ減少又ハ耕作廢止ノ許可ヲ受ケタルト  
キ其ノ現存スル煙草又ハ煙草苗ハ當該官吏ノ承認ヲ受ケ相當ノ處置ヲ爲  
スヘシ煙草專賣法第三十七條ニ依リ耕作ノ許可ヲ取消サレタルトキ亦同  
シ

第九條 煙草耕作者煙草苗ノ讓渡又ハ讓受ヲ爲サムトスルトキハ第五號書  
式



第二編 專賣 第一章 煙草 煙草專賣法施行細則

式ノ申請書ヲ所管地方專賣局ニ差出シ許可ヲ受クヘシ

第十條 煙草耕作者其ノ許可證ヲ亡失シタルトキハ直ニ事由ヲ具シ之カ再  
交付ヲ所管地方專賣局ニ申請スヘシ

第十一條 左ニ掲クル事項ハ地方專賣局長ノ指示スル所ニ從フヘシ

- 一 種子ノ採收
  - 二 苗床ノ設備及其ノ管理
  - 三 播種期
  - 四 移植期
  - 五 畦間株間ノ距離
  - 六 腋芽ノ摘搔
  - 七 心止
  - 八 其ノ他ノ耕作方法
  - 九 葉分ノ選別
  - 十 乾燥方法
  - 十一 葉數ノ方法
  - 十二 一把ノ葉數
  - 十三 一包ノ把數又ハ量目
  - 十四 結束材料
  - 十五 包裝ノ方法
- 第十二條 煙草ノ移植ヲ了シタルトキハ殘存セル煙草苗ハ直ニ廢棄スヘシ  
但シ移植後三週間ヲ限リ豫備苗トシテ必要ノ本數ヲ保存スルコトヲ得
- 第十三條 煙草耕作者ハ其ノ耕作地一箇所毎ニ字、地番、氏名及許可番號  
ヲ記シタル目標ヲ設クヘシ
- 第十四條 煙草專賣法第十一條ノ規定ニ依リ葉煙草ノ收穫量目ヲ査定セム

該官吏ノ承認ヲ經テ之ヲ廢棄スヘシ

第二十四條 葉煙草納付ノ場所及期日ハ地方專賣局長之ヲ定メ豫メ公示ス  
ヘシ

第二十五條 煙草耕作者納付ノ爲葉煙草ヲ運送スルトキハ耕作許可證ヲ携  
帶スヘシ  
前項ノ許可證ハ納付ノ際之ヲ所管地方專賣局ニ提出シ葉煙草ノ納付量  
目、賠償金等ノ記入ヲ受クヘシ

第二十六條 煙草耕作者ノ納付セムトスル葉煙草ニシテ乾燥、調理、包裝  
ノ不完全ナルモノハ耕作者ヲシテ更ニ相當ノ處理ヲ爲サシムヘシ

第二十七條 煙草耕作者煙草專賣法第十六條ニ依リ再鑑定ヲ求ムトスル  
トキハ賠償金ノ請求前ニ於テ第七號書式ニ依リ其ノ不服ノ要領ヲ所管地  
方專賣局長ニ申出ツヘシ

第二十八條 第二十七條ニ依リ再鑑定ノ申立アリタルトキハ地方專賣局長  
ハ二人以上ノ鑑定人ヲ選定シ其ノ意見ヲ徵シ之ヲ決定シ第八號書式ノ決  
定書ヲ申立人ニ交付スヘシ  
前項ノ鑑定人ハ少クトモ其ノ半數ヲ專賣局員以外ヨリ選定スヘシ

第二十九條 地方專賣局長ハ取締上必要ト認メタルトキハ煙草耕作者ニ對  
シ葉煙草運送ノ通路及時間ヲ指定スルコトヲ得

第三十條 公共團體又ハ私人ニ於テ試作場ヲ特設シ煙草ノ試作ヲ爲サムト  
スルトキハ第一號書式ニ準シタル申請書ヲ所管地方專賣局ニ差出シ許可  
ヲ受クヘシ  
前項試作ノ許可ヲ受ケタル者ニハ第二號書式ニ準シタル許可證ヲ交付ス  
ヘシ

第三十一條 輸出ノ爲葉煙草又ハ製造煙草ノ賣渡ヲ請求セムトスル者ハ第  
二編 專賣 第一章 煙草 煙草專賣法施行細則

トスルトキハ地方專賣局長ハ査定ヲ受クヘキ煙草耕作者、煙草耕作區域  
及査定期日ヲ定メ豫メ之ヲ公示スヘシ

第十五條 煙草耕作者當該官吏ノ査定シタル量目ニ對シ異議ノ申立ヲ爲サ  
ムトスルトキハ即時異議申立簿ニ其ノ不服ノ要領ヲ記入シ捺印スヘシ

第十六條 煙草專賣法第十二條第二項ニ依リ選定スヘキ鑑定人ハ地方專賣  
局長ニ於テ少クトモ其ノ半數ヲ專賣局員以外ヨリ選定スルモノトス

第十七條 地方專賣局長煙草專賣法第十二條第二項ニ依リ決定ヲ爲シタル  
トキハ第六號書式ノ決定書ヲ異議申立人ニ交付スヘシ

第十八條 煙草耕作者災害其ノ他ノ事故ニ因リ其ノ耕作煙草ニ損害ヲ受ケ  
タルトキハ其ノ事由ヲ具シ所管地方專賣局ニ届出ツヘシ

第十九條 枯葉、不熟葉、蝕損葉、立枯等アルトキハ煙草耕作者ハ當該官  
吏ニ申出テ其ノ指揮ヲ受ケ相當ノ處置ヲ爲スヘシ

第二十條 煙草耕作者種子採取ノ爲母木ヲ保存セムトスルトキハ其ノ種  
類、本數ヲ定メ豫メ所管地方專賣局長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十一條 葉煙草ハ其ノ種類、乾燥法、葉分、品質、葉莖ニ依リ區分調  
理スヘシ

第二十二條 前條ノ葉分ハ總テ左ノ區分ニ依ルヘシ  
一 土葉  
二 中葉  
三 本葉  
四 天葉  
前項ノ葉分ニ依リ難キモノハ雜葉トスヘシ

第二十三條 乾燥調理ノ際生シタル葉屑等ニシテ收納ニ適セサルモノハ當  
九號書式ノ輸出煙草賣渡申請書ヲ專賣局長官ニ差出シ其ノ指定スル煙草  
專賣官署ニ代金ヲ納付シ現品ヲ引取ルヘシ若シ十日以内ニ現品ヲ引取ラ  
サルトキハ相當保管料ヲ徵ス

輸出ノ爲買受タル葉煙草ノ代金一回三千圓以上製造煙草ノ代金一回二千  
圓以上ニ達スル者ハ代金納付ノ擔保トシテ國債ヲ提供シテ代金ノ延納ヲ  
請求スルコトヲ得

輸出ノ爲常時葉煙草又ハ製造煙草ノ買受ヲ爲ス者代金納付ノ擔保トシテ  
豫メ國債ヲ提供シ置クトキハ其國債ノ價格ニ達スル迄代金ノ延納ヲ請求  
スルコトヲ得但シ毎回ノ買受代金ハ前項ノ額ヲ下ラサルコトヲ要ス

葉煙草又ハ製造煙草ノ代金納付ノ擔保ヲ提供スル者ハ無記名國債證券ニ  
在リテハ之ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ提出シ登錄國債ニ提出ニ在リテハ  
擔保ノ登錄ヲ受ケ其ノ登錄濟通知書ヲ提出スヘシ登錄國債ニシテ乙種國  
債登錄簿ニ登錄シタル者ハ尙記名國債證券ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ提  
出スヘシ

第二項及第三項ノ場合ニ於テ其ノ買受代金ハ現品領收濟ノ日ヨリ起算シ  
六箇月以内ニ完納スヘシ

輸出ノ爲葉煙草又ハ製造煙草ノ買受ヲナシタル者代金納付期日迄ニ買受  
代金ヲ納付セサルトキハ年五分ノ割合ヲ以テ遅延利息ヲ徵スルコトアル  
ヘシ

輸出ノ爲煙草ヲ買受ケタル者煙草ノ藏置場ヲ變更セムトスルトキハ所管  
【煙草收納所】ニ申出テ許可ヲ受クヘシ

第三十二條 輸出ノ爲葉煙草又ハ製造煙草ヲ買受ケタル者ハ輸出後專賣局  
長官ノ指定シタル期間内ニ輸出免狀並外國仕向港ニ陸揚ヲ爲シタルコト  
ヲ證スヘキ書類ヲ專賣局ニ差出スヘシ

第三十三條 輸出ノ爲葉煙草又ハ製造煙草ヲ買受ケタル者ハ輸出後專賣局  
長官ノ指定シタル期間内ニ輸出免狀並外國仕向港ニ陸揚ヲ爲シタルコト  
ヲ證スヘキ書類ヲ專賣局ニ差出スヘシ

第三十四條 輸出ノ爲葉煙草又ハ製造煙草ヲ買受ケタル者ハ輸出後專賣局  
長官ノ指定シタル期間内ニ輸出免狀並外國仕向港ニ陸揚ヲ爲シタルコト  
ヲ證スヘキ書類ヲ專賣局ニ差出スヘシ



第三十三條 輸出ノ爲葉煙草又ハ製造煙草ヲ買受ケタル者ハ帳簿ヲ調製シ少クトモ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 葉煙草ノ買入年月日、拂出(輸出、納付)年月日、包裝番號、種類、葉分、量目、代金及仕向先
- 二 葉煙草ノ改裝年月日、元包裝番號、元量目、改裝番號及改裝量目
- 三 製造煙草ノ買受年月日、拂出(輸出、納付)年月日、種類、名稱、數量(本數別又)代金及仕向先

第三十四條 輸出ノ爲買受ケタル葉煙草又ハ製造煙草ニシテ其ノ使用ニ適セサルニ至リ之ヲ廢棄セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ所管地方專賣局ニ申出テ許可ヲ受ケヘシ

第三十四條ノ二 輸出ノ爲買受ケタル葉煙草又ハ製造煙草ニシテ仕向地ニ陸揚前盜難火災等ニ因リテ滅失シタルトキハ直ニ所管地方專賣局ニ届出ツヘシ

第三十五條 標本ニ供スル爲葉煙草ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ第十號書式ノ申請書ヲ所管地方專賣局ニ差出スヘシ

第三十六條 標本ニ供スル爲葉煙草又ハ製造煙草ノ輸入ヲ爲サムトスル者ハ第十一號書式ノ申請書ヲ專賣局ニ差出シ許可ヲ受ケヘシ

第三十七條 第三十五條及第三十六條ノ標本煙草ヲ標本トシテ他ニ讓渡サムトスルトキハ第十二號書式ノ申請書ヲ所管地方專賣局ニ差出シ許可ヲ受ケヘシ

第三十八條 煙草專賣法第三十二條ニ依リ製造煙草ヲ輸入セムトスル者ハ第十三號書式ノ申請書ヲ專賣局ニ差出シ許可ヲ受ケヘシ

第三十九條ノ賣渡價格トノ差額ニ相當スル金額ノ二倍以下ヲ其ノ煙草ノ代金ヲ納付シタル專賣官署ニ納付セシム

第四十二條 移出者ハ第三十三條ノ規定ニ準シ帳簿ノ調製記載ヲ爲スヘシ移出者帳簿ヲ調製セス又ハ其ノ記載ヲ怠リ若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十二條ノ二 第三十四條及第三十四條ノ二ノ規定ハ移出ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 煙草製造専用ノ器具機械又ハ卷紙ヲ製作シ販賣シ又ハ藏置セムトスル者ハ第十四號又ハ第十五號書式ノ申請書ヲ所管地方專賣局ニ差出シ許可ヲ受ケヘシ

前項ノ許可ヲ受ケタル者其ノ業ヲ廢セムトスルトキハ其ノ旨所管地方專賣局ニ届出ツヘシ

第四十四條 煙草製造専用ノ器具機械又ハ卷紙ノ製作者又ハ販賣者ハ帳簿ヲ調製シ少クトモ器具機械又ハ卷紙ノ種類、數量、代金、製作月日又ハ買受月日、買受先、賣渡月日、賣渡先ヲ記載スヘシ

第四十五條 煙草、煙草製造専用ノ器具機械又ハ卷紙ノ運送ヲ委託セラレタル者ハ其ノ運送中ハ委託者ノ代理人トナリタルモノト看做ス

附則

第四十六條 本省令ハ煙草專賣法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
第四十七條 明治三十年大藏省令第十六號葉煙草再鑑定規程及明治三十四年大藏省令第四號葉煙草專賣法施行細則ハ本省令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス但シ煙草專賣法附則第六十八條第二項ニ依リ刻煙草ノ製造ヲ業トスル者及葉煙草ノ賣買ヲ業トスル者ニ對シテハ仍舊葉煙草專賣法施行細則ヲ適用ス

第三十九條 煙草專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル爲葉煙草又ハ製造煙草ノ賣渡ヲ請求スル者アルトキハ專賣局長官ハ特ニ定メタル價格ヲ以テ之ヲ賣渡スコトヲ得

第四十條 第三十一條ノ規定ハ移出ノ場合ニ之ヲ準用ス  
第四十條ノ二 移出ノ爲買受ケタル葉煙草又ハ製造煙草ハ移出前之ヲ他ニ讓渡シ又ハ消費スルコトヲ得ス但シ其ノ使用ニ適セサルニ至リタルモノハ政府ノ許可ヲ受ケテ之ヲ廢棄スルコトヲ得

前項ニ違反シタル者ハ三十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス  
第四十條ノ三 移出ノ爲買受ケタル葉煙草又ハ製造煙草ノ移出ヲ廢止シタルトキ又ハ買受ノ日ヨリ一箇年ヲ過キ之ヲ移出セサルトキハ其ノ使用ニ適スルモノニ限り政府之ヲ收納シ其ノ他ハ之ヲ廢棄セシム

前項ノ收納ヲ爲ストキハ鑑定人ヲシテ鑑定セシメ賠償金ヲ交付ス但シ其ノ賠償金ハ第三十九條ニ依リ賣渡價格ニ超過スルコトヲ得ス

鑑定人ハ專賣局長官之ヲ選定ス  
第四十條ノ四 移出ノ爲買受ケタル葉煙草又ハ製造煙草ハ政府ノ許可ヲ受ケタル場所ニ非サレハ之ヲ藏置スルコトヲ得ス

前項ニ違反シタル者ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス情ヲ知リテ藏置ノ場所ヲ供與シタル者亦同シ

第四十一條 移出ノ爲ニ葉煙草又ハ製造煙草ヲ買受ケタル者ハ移出免狀並仕向地ニ陸揚ヲ爲シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ買受後專賣局長官ノ指定シタル期間内ニ其ノ買受ヲ爲シタル煙草專賣官署ニ差出スヘシ

正當ノ事由ナクシテ仕向地ニ陸揚ヲ爲シタル數量力買受ヲ爲シタル數量ヨリ少キトキハ移出者ヲシテ其ノ不足額ニ對シ葉煙草ニ付テハ第三十九條ノ賣渡價格ニ相當スル金額ノ四倍以下製造煙草ニ付テハ其ノ定價ト第

第四十八條 煙草專賣法第八十三條ニ依リ申告書ハ第十六號書式ニ依リ所管地方專賣局ニ差出スヘシ

第四十九條 煙草專賣法第八十四條ニ依リ調製スヘキ帳簿ニ關シテハ第三十三條ノ規定ヲ準用ス

明治三十七年七月以後ニ於ケル毎月末日現在製造煙草ノ種類、數量及其ノ月ノ受拂高ハ第十七號書式ニ依リ翌月五日迄ニ所管地方專賣局ニ申告スヘシ

(第一號書式) 煙草耕作許可申請書  
前年許可番號第 號

住 所 職業氏 名印 年 月 日 生 年 月

町村	大字	字	地番	段別	畦間	株間	本數	事由
合	計	何箇所						

- 一 種類 何
- 一 乾燥區分 何干(何々葉ハ何干何葉ハ何干)
- 一 苗床所在地及坪數 町(村)大字、字、地番、何坪
- 一 貯藏場何々 (居宅構内又ハ町(村)大字、字、地番(何誰所有))



第二編 專賣 第一章 煙草 煙草專賣法施行細則

一 乾燥場何々 (何建物) (住宅構内又ハ町(村)大字、字、地番(何誰所有))

要例

- 一筆ノ土地ニシテ煙草ノ耕作ニ箇所以上ニ分ルルモノハ地番ノ下ニ(ノ内イ、ロ等)適宜ノ符號ヲ附シ仍段別以下各欄共區別記載シ又數筆ノ土地ニシテ其ノ耕作一箇所トナルモノハ其ノ地番ヲ列記シ本數、段別ハ合計シテ記載スヘシ
- 耕作ノ場所ニ依リ種類ノ異ルモノハ種類ノ項ヲ除キ地番ノ下ニ「種類」ノ一欄ヲ増設シ之カ區分ヲ爲スヘシ
- 耕作ノ場所ニ依リ乾燥法ノ異ルモノハ其ノ旨事由欄ニ記載スヘシ
- 田ニ耕作セムトスルモノハ段別ノ上ニ「地目」ノ一欄ヲ増設シ之カ區分ヲ爲スヘシ
- 實播ノトキハ苗床所在地及坪數ノ項ヲ除キ單ニ實播ト記載スヘシ
- 二番葉ノ收穫ヲ爲サムトスルモノハ事由欄ニ箇所毎ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ
- 會社ノ申請ニ付テハ氏名ノ箇所ニハ會社名ヲ記載シ且代表者之ニ署名捺印スヘシ
- 八 未成年者、禁治産者ニ在リテハ法定代理人之ニ連署捺印スヘシ

(第二號書式)

第)

明治 年

煙草耕作許可證 住所 氏名

町村		許 可 事 項		計 劃	
町	村	許	可	事	項
大字	字	地番	段別	畦間	株間
				本數	量目
					事由

何干(何々葉ハ何干、何葉ハ何干)

一 種類

一 乾燥區分

一 苗床所在地及坪數

一 貯藏場何々

一 乾燥場何々

一 要例

- 一筆ノ土地ニシテ煙草ノ耕作ニ箇所以上ニ分ルルモノハ地番ノ下ニ(ノ内)二字ヲ記載シ適宜ノ符號ヲ附シ之カ區分ヲ爲シ又ハ數筆ノ土地ニシテ其ノ耕作一箇所トナルモノハ其ノ地番ハ列記シ本

(第三號書式)

煙草耕作承継許可申請書 住所 何々

年月日

住所

承継者氏

生年月

地方專賣局長宛

許可番號

町	村	大字	字	地番	段別	本數
計				何箇所		

(第三面)

領收	月日	包	數	量	目	賠償金
	日				一、五〇〇	八、七五〇
					、、、、	、、、、

(第四面)

注意

一 耕作許可條件ノ變更ヲ申請スル場合ニハ其ノ申請書ニ本證ヲ添付

第二編 專賣 第一章 煙草 煙草專賣法施行細則







輸出先	何國何々
輸出見込期日	何月何日
貯藏場	

年月日 住所 職業氏 名印

專賣局長官宛

(第十號書式)

種類	葉分	等級	數量

一事由 何々 住所 職業氏 名印

年月日 地方專賣局長宛

(第十一號書式)

標本葉(製造)煙草輸入許可申請書

產地種類(名稱) 數量 原價格

一事由 何々 住所 職業氏 名印

年月日 專賣局長官宛

(第十二號書式)

標本葉(製造)煙草讓渡讓受許可申請書

產地種類(名稱) 數量 一事由

年月日 住所 讓渡者氏 名印

地方專賣局長宛

(第十三號書式)

製造煙草輸入許可申請書

種類 名稱 數量 原價格 仕入地 一事由 何々 住所

年月日 住所 讓受者職業氏 名印

專賣局長官宛

(第十四號書式)

煙草製造専用ノ器具(機械、卷紙)製作(販賣)營業許可申請書

- 一 種類
- 一 一箇年間ノ製造見込高(取扱見込高)
- 一 營業ノ場所
- 一 營業期間 自何年 至何年
- 一 事由 何々

年月日 住所 職業氏 名印

地方專賣局長宛

要例 會社ノ申請ニ付キテハ氏名ノ箇所ニハ會社名ヲ記載シ且代表者之ニ署名捺印スヘシ

(第十五號書式)

煙草製造専用ノ器具(機械卷紙)藏置許可申請書

- 一 種類
  - 一 所有者住所氏名
  - 一 藏置事由
- 年月日 住所 氏 名印
- 地方專賣局長宛
- (第十六號書式)

刻煙草以外ノ製造煙草(刻煙草)現在高申告書

明治三十七年六月三十日(明治三十八年三月三十一日)ニ於テ所持スル製造

第二編 專賣 第一章 煙草 煙草專賣法施行細則

煙草左ノ通

種類	類	一箇ノ本數(一箇ノ量目)	箇數	本數(量目)
ビン	ヘット			
吉野				
金天狗				
計				

年月日 營業場所所在地 煙草販賣者(製造業者)氏 名印

地方專賣局長宛

(第十七號書式)

明治 年 月 製造煙草受拂現在高申告書

種類	類	一箇ノ本數(一箇ノ量目)	受拂	現
梅花		五十匁	箇數(量目)	箇數(量目)
松葉		百匁	箇數(量目)	箇數(量目)
竹葉		五十匁	箇數(量目)	箇數(量目)







- 四 程度ヲ勘案シ平年作物ニ對スル被害歩合ヲ記載スヘシ  
申請前法定ノ災害ニ因リ收穫ノ見込ナク政府ノ許可ヲ受ケ耕作段別  
ヲ減少シ又ハ耕作ヲ廢止シタル者アルトキハ其ノ廢減作地ニ對スル  
事實ハ之ヲ被害地欄ニ記載シ摘要欄ニ其ノ廢減作ノ事由ヲ生シタル  
月日及移植月日ヲ附記スヘシ
- 五 無被害地ニハ被害ナキ箇所ノ合計段別ノミヲ記載シ摘要欄ニ其ノ箇  
所數ヲ附記スヘシ
- 六 總耕作段別ニ對スル被害程度ハ被害箇所毎ノ段別ニ各其ノ歩合ヲ乘  
シ之ヲ集計シ總段別ニテ除シ算出スヘシ

### ○葉煙草耕作地區域

明治三十三年十一月十二日 (大藏大臣) 勅令第三百九十六號 (臣副署)

朕葉煙草耕作地區域ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

【葉煙草專賣法第五條】ニ依リ葉煙草耕作地區域別表ノ通之ヲ定ム

(別表)

葉煙草耕作地區域表

千葉縣

安房郡ノ内

- 九重村 稻都村 瀧田村 國府村 健田村
- 千歲村 豐田村

- 君津郡ノ内 小糸村 秋元村 三島村
- 夷隅郡ノ内 古澤村
- 千町村 長生郡ノ内 一宮町 土陸村
- 東葛飾郡ノ内 野田町 關宿町 梅郷村 福田村 旭村
- 七福村 川間村 木間ヶ瀬村 二川村
- 埼玉縣 北葛飾郡ノ内 寶珠花村
- 秩父郡ノ内 大宮町 小鹿野町 横瀬村 高篠村 原谷村
- 皆野村 三澤村 白鳥村 樋口村 野上村
- 國神村 下吉田村 大田村 尾田蒔村 長若村
- 影森村 久那村
- 群馬縣 多野郡ノ内 藤岡町 新町 鬼石町 神流村
- 吉井町 八幡村 美土里村 平井村 美九里村
- 小野村 入野村 日野村
- 北甘樂郡ノ内 富岡町 福島町 黒岩村 高瀬村 額部村

- 秋畑村 小幡村 新屋村 岩平村 小野村
- 群馬郡ノ内 片岡村
- 勢多郡ノ内 敷島村
- 利根郡ノ内 桃野村 湯ノ原村 久賀村 川田村
- 茨城縣 猿島郡ノ内 岩井町 境町 櫻井村 靜村 長田村
- 八俣村 幸島村 猿島村 森戸村 生子菅村
- 逆井山村 七重村 杵掛村 弓馬田村 飯島村
- 神大實村 七郷村 中川村 長須村
- 結城郡ノ内 下結城村 名崎村 安靜村 大形村 岡田村
- 飯沼村 菅原村 大花羽村 西豐田村 豐岡村
- 北相馬郡ノ内 菅生村 坂手村 内守谷村
- 東茨城郡ノ内 上中妻村 下中妻村 中妻村 渡里村 飯富村
- 山根村 石塚村 小松村 西郷村 塚村
- 岩船村 澤山村 伊勢畑村
- 西茨城郡ノ内 笠間町 大原村 大池田村 七倉村 北山内村

- 西山内村 南山内村 東那珂村 北那珂村 西那珂村
- 那珂郡ノ内 大宮町 國田村 戸多村 芳野村 木崎村
- 瓜連村 靜村 大場村 上野村 大賀村
- 玉川村 鹽田村 山方村 檜澤村 小瀨村
- 野口村 長倉村 八里村 盛郷村
- 久慈郡ノ内 大子町 太田町 機初村 世矢村 幸久村
- 佐竹村 郡戸村 久米村 金郷村 世喜村
- 金砂村 天下野村 高倉村 染和田村 山田村
- 譽田村 佐都村 河内村 中里村 賀美村
- 小里村 生瀬村 宮川村 黒澤村 依上村
- 佐原村 袋田村 上小川村 下小川村 諸富野村
- 多賀郡ノ内 豐浦町 河原子町 坂上村 國分村 鮎川村
- 高鈴村 日立村 日高村
- 栃木縣 那須郡 上三川町 横川村 平石村 瑞穂野村 本郷村
- 河内郡ノ内 明治村 雀宮村 委川村 國本村 富屋村
- 篠井村 羽黒村 緒島村 古里村 田原村
- 上野郡ノ内 上野村



北大飼村	南大飼村	委村	中村	物部村
下都賀郡ノ内	南大飼村	委村	中村	物部村
稻葉村	益子町	茂木町	七井村	逆川村
芳賀郡ノ内	益子町	茂木町	七井村	逆川村
眞岡町	田野村	市羽村	南高根澤村	祖母井村
山前村	小貝村	大内村	南高根澤村	祖母井村
須藤村	清原村	大内村	南高根澤村	祖母井村
水橋村	清原村	大内村	南高根澤村	祖母井村
鹽谷郡ノ内	氏家町	喜連川町	泉村	筈根村
矢板町	氏家町	喜連川町	泉村	筈根村
船生村	玉生村	大宮村	阿久津村	北高根澤村
熱田村	片岡村	大宮村	阿久津村	北高根澤村
福島縣	片岡村	大宮村	阿久津村	北高根澤村
石川郡	竹貫村	宮本村		
東白川郡ノ内	竹貫村	宮本村		
鮫川村	三坂村	宮本村		
石城郡ノ内	三坂村	宮本村		
川前村	小野新町	常葉町	御木澤村	高野村
田村郡ノ内	小野新町	常葉町	御木澤村	高野村
三春町	小泉村	巖江村	中妻村	宮城村
逢隈村	小泉村	巖江村	中妻村	宮城村
高瀬村	守山村	谷田川村	二瀬村	御館村
中郷村	蘆澤村	七郷村	飯豊村	夏井村
瀧根村	大越村	山根村	片曾根村	美山村

移村	瀬川村	澤石村	文珠村	要田村
安達郡ノ内	瀬川村	澤石村	文珠村	要田村
和木澤村	白岩村	小濱村	新殿村	旭村
南會津郡ノ内	白岩村	小濱村	新殿村	旭村
田島町	旭田村	檜原村	檜澤村	荒海村
二川村	長江村	檜原村	檜澤村	荒海村
北會津郡ノ内	長江村	檜原村	檜澤村	荒海村
川南村	門田村	大戸村		
大沼郡ノ内	門田村	大戸村		
高田町	永井野村	旭川村	藤川村	本郷村
赤澤村	新鶴村	田川村	水玉岡村	川路村
河沼郡ノ内	新鶴村	田川村	水玉岡村	川路村
若宮村	坂本村	柳津村	倉戸村	飯谷村
高寺村	片門村	東松村	新郷村	千咲村
宮城縣	片門村	東松村	新郷村	千咲村
登米郡ノ内	錦織村	米谷村		
米川村	錦織村	米谷村		
東磐井郡ノ内	折壁村	矢越村	小梨村	八澤村
千厩町	折壁村	矢越村	小梨村	八澤村
大津保村	藤澤村	黄海村	薄衣村	奥玉村
勢清水村	門崎村	長坂村	猿澤村	摺澤村
澁民村	興田村	大原村		
江刺郡ノ内	興田村	大原村		

米里村	内川目村	外川目村	龜ヶ森村
稗貫郡ノ内	内川目村	外川目村	龜ヶ森村
大迫町	内川目村	外川目村	龜ヶ森村
紫波郡ノ内	内川目村	外川目村	龜ヶ森村
赤澤村	佐比内村		
上閉伊郡ノ内	達曾部村		
宮守村	達曾部村		
二戸郡ノ内	達曾部村		
金田一村	達曾部村		
青森縣	達曾部村		
三戸郡ノ内	名久井村	留崎村	向村
三戸町	名久井村	留崎村	向村
北海道	名久井村	留崎村	向村
幌別郡ノ内	名久井村	留崎村	向村
幌別村	名久井村	留崎村	向村
秋田縣	名久井村	留崎村	向村
雄勝郡ノ内	西成瀬村	駒形村	川連村
東成瀬村	西成瀬村	駒形村	川連村
稻庭村	皆瀬村	須川村	小野村
平鹿郡ノ内	皆瀬村	須川村	小野村
山内村	皆瀬村	須川村	小野村
由利郡ノ内	皆瀬村	須川村	小野村
直根村	川内村	笹子村	
山形縣	川内村	笹子村	

米澤市	東根町	西郷村	大倉村	東郷村
北村山郡ノ内	東根町	西郷村	大倉村	東郷村
楯岡町	東根町	西郷村	大倉村	東郷村
高崎村	山口村	田麥野村	大富村	小田島村
長瀨村	山口村	田麥野村	大富村	小田島村
東村山郡ノ内	成生村	津山村	千布村	
天童町	成生村	津山村	千布村	
東田川郡ノ内	成生村	津山村	千布村	
黒川村	廣瀬村	泉村	手向村	
南置賜郡ノ内	廣瀬村	泉村	手向村	
南原村	萬世村	山上村	上長井村	
新潟縣	萬世村	山上村	上長井村	
北蒲原郡ノ内	安田村	大和村	分田村	小島村
水原町	安田村	大和村	分田村	小島村
堀越村	安野村	京ヶ瀬村	駒林村	長場村
越岡村	安野村	京ヶ瀬村	駒林村	長場村
中蒲原郡ノ内	新津町	新關村	滿日村	阿賀浦村
五泉町	新津町	新關村	滿日村	阿賀浦村
巢本村	木津村	横越村	澤海村	
西蒲原郡ノ内	木津村	横越村	澤海村	
赤塚村	五十嵐濱村	木山村	河西村	西川村
仁ヶ村	五十嵐濱村	木山村	河西村	西川村
内野村	稻島村	松野尾村	越前濱村	角田濱村
三島郡ノ内	稻島村	松野尾村	越前濱村	角田濱村







知多郡ノ内	有松町	大高町	緒川村	吉田村	森岡村
	大府村	横根村	北崎村	共和村	長草村
	名和村	荒尾村	大田村	富木島村	
愛知郡ノ内	鳴海町	鳥野村	彌富村	廣路村	千種村
	鍋屋上野村	田代村	猪子石村	高社村	植田村
	平針村	香久山村	諸和村	春木村	香掛村
	豐明村	白山村	岩崎村	岩作村	長湫村
	幡野村	上郷村	山口村		
東春日井郡ノ内	勝川町	小牧町	味美村	春日井村	片山村
	外山村	岩崎村	久保一色村	味岡村	池林村
	大野村	大草村	陶村	田樂村	下原村
	八幡村	小木田村	和爾良村	柏井村	小野村
	志談村	上志談味村	鎌五村	不二村	玉川村
	神坂村	内津村	高間村	二城村	小幡村
	大森村	印場村	新居村	八白村	水野村
掛川村					
丹羽郡ノ内	犬山町	富成村	樂田村	羽黒村	岩田村
	今井村	池野村	善師野村	岩橋村	高雄村
北設樂郡ノ内	稻橋村	武節村			

岐阜縣	海津郡	惠那郡ノ内	上村	下原田村	串原村
			可兒郡ノ内	池田村	
			唯子村		
			稻葉郡ノ内	北長森村	日野村
			南長森村	前宮村	鷺沼村
			蘇原村		各務村
			岩村		芥見村
三重縣	度會郡ノ内	宇治山田町	田丸町	宮本村	御園村
		北濱村	小俣村	有田村	東外城村
		下外城田村	内城田村		城田村
		多氣郡ノ内	明星村	五ヶ谷村	
		飯南郡ノ内	一志郡ノ内	大石村	粥見村
			竹原村	八知村	太郎生村
			多氣村		伊勢地村
			名賀郡ノ内	藏持村	花垣村
			名張町		古山村

猪田村	依那古村	神戸村	美濃波多村
阿山郡ノ内			
上野町	小田村	城南村	花之木村
新居村	三田村	中ノ瀬村	府中村
友生村			山田村
鈴鹿郡ノ内			
井田川村	高津瀬村	久間田村	深伊澤村
庄内村	川崎村		椿村
三重郡ノ内			
小山田村	水澤村	櫻村	菰野村
鷺川原村	縣村	保々村	竹永村
員辨郡ノ内			
治田村	東藤原村		
滋賀縣			
愛知郡ノ内			
西小枝村	角井村	豐椋村	
神崎郡ノ内			
八日市町	御園村	建部村	
蒲生郡ノ内			
安土村	老蘇村	市邊村	中野村
野洲郡ノ内			玉緒村
速野村	中洲村	兵主村	中里村
福井縣			
大野郡ノ内			北里村

大野町	勝山町	小山村	乾側村	下庄村
上莊村	阪谷村	富田村	平泉寺村	猪野瀬村
村岡村	北谷村	野向村	荒土村	北郷村
鹿谷村	遅羽村			
吉田郡ノ内	浄法寺村	上志比村		
石川縣				
江沼郡ノ内				
西谷村				
能美郡ノ内				
別宮村	河野村	吉原村	尾口村	中海村
宮内村				
石川郡ノ内				
鶴來町	藏山村	河内村	吉野谷村	額村
富樫村	野村	崎浦村		
富山縣				
婦負郡ノ内				
西吳羽村	細入村			
上新川郡ノ内				
新保村	大久保村	大澤野村	下夕村	船崎村
下新川郡ノ内				
舟見町	下立村	内山村	愛本村	山崎村
京都府				
相樂郡ノ内				











久喜宮村	高木村	朝倉村	宮野村	福成村
大庭村	志波村	三奈木村	蟻城村	福田村
金川村	立石村	上秋月村	安川村	
浮羽郡ノ内				
吉井町	田主丸町	大石村	山春村	梅子村
浮羽村	千年村	福富村	江南村	船越村
水分村	川會村	柴刈村	水繩村	竹野村
宗像郡ノ内				
赤間町	津屋崎町	吉武村	河東村	池野村
神湊村	田島村	岬村	東郷村	宮田村
野坂村	神興村	上西郷村	宮地村	下西郷村
勝浦村				
佐賀縣				
藤津郡ノ内				
南鹿島村	能古見村	古枝村	八本木村	七浦村
北鹿島村	西嬉野村	東嬉野村	吉田村	
長崎縣				
北松浦郡ノ内				
田平村	星鹿村	御厨村		
南高來郡ノ内				
島原町	湊町	島原村	杉谷村	三會村
大三東村	湯江村	多比良村	千々岩村	小濱村
北串山村	南串山村	加津佐村	口ノ津村	南有馬村
北有馬村	西有家村	東有家村	堂崎村	布津村

深江村	安中村			
熊本縣				
球磨郡ノ内				
人吉町	西村	一武村	免田村	大村
藍田村	川村	中原村	上村	木上村
葦北郡ノ内				
水俣村				
上益城郡ノ内				
木山町	秋津村	白水村	津森村	廣安村
福田村				
飽託郡ノ内				
龍田村	黒髮村	清水村	川上村	大江村
供合村	廣畑村	小山戸島村	健軍村	
菊池郡ノ内				
大津町	原水村	津田村	瀬田村	陳内村
平眞城村	護川村	合志村	西合志村	
阿蘇郡ノ内				
高森町	馬見原町	古城村	坂梨村	南小國村
北小國村	錦野村	野尻村	山西村	草部村
白水村	色見村	波野村	産山村	菅尾村
柏村				
大分縣				
日田郡ノ内				
豆田町	隈町	三花村	大鶴村	夜明村

光岡村	朝日村	三芳村	五和村	高瀬村
直入郡ノ内				
竹田町	豐岡村	岡本村	玉來村	松本村
入田村	姫嶽村	宮砥村	柏原村	萩村
菅生村	宮城村	城原村	明治村	白丹村
久住村	都野村	長湯村	下竹田村	
大野郡ノ内				
川登村	田野村	野津市村	戸上村	南野津村
菅尾村	百枝村	三重村	新田村	白山村
合川村	牧口村	南緒方村	長谷川村	上緒方村
小富士村	緒方村	上井田村	西大野村	今市村
田中村	中井田村	養老村	大野村	柴原村
井田村	犬飼村	長谷村	土師村	
北海道郡ノ内				
白杵町	下ノ江村	海邊村	下北津留村	上北津留村
中白杵村	上南津留村	下南津留村	市濱村	上浦村
下浦村	青江村	津組村		
大分郡ノ内				
戸次村	吉野村			
東國東郡ノ内				
竹田津村	上伊美村			
西國東郡ノ内				
西眞玉村	上眞玉村	中眞玉村	白野村	三浦村
岬村	三重村			

宇佐郡ノ内	豐川村			
横山村				
宮崎縣				
西臼杵郡ノ内				
高千穂村	上野村	岩戸村	三ヶ所村	田原村
兒湯郡ノ内				
下穂北村	都於郡村	上穂北村		
東諸縣郡ノ内				
高岡村	穆佐村	倉岡村	木脇村	木庄村
八代村				
宮崎郡ノ内				
生目村	瓜生野村			
鹿兒島縣				
鹿兒島郡				
日置郡				
川邊郡				
揖宿郡				
大島郡				
出水郡ノ内				
阿久根村	野田村	高尾野村	上出水村	大川内村
中出水村	下出水村			
薩摩郡ノ内				
隈之城村	永利村	入來村	高江村	平佐村
樋脇村	下東郷村	上東郷村	東水引村	西水引村



第二編 專賣 第一章 煙草 專賣局官吏携帶證票樣式

高城村	山崎村	宮之城村	鶴田村	大村
佐志村	永野村	黒木村	蘭平田村	
始良郡ノ内				
加治木村	重富村	蒲生村	山田村	帖佐村
西襲山村	東襲山村	福山村	敷根村	國分村
西國分村	東國分村	清水村		
贈喉郡ノ内				
大崎村	東志布志村	西志布志村		
肝屬郡ノ内				
花岡村	新城村	鹿屋村	始良村	大始良村
高山村	西串良村	東串良村	垂水村	牛根村
佐多村	大根占村	小根占村	田代村	
熊毛郡ノ内				
北種子村	中種子村	南種子村		
沖繩縣				
那覇區				
首里區				
島尻郡				
中頭郡				
國頭郡				
八重山郡				

○專賣局官吏携帶證票樣式

明治四十年九月二十七日  
大藏省令第三十九號

改正 大正一一年第四九號

專賣局官吏ニ於テ検査、取締其ノ他監督上必要ノ處分ヲ爲ス際携帶スヘキ  
證票ノ樣式左ノ通相定ム

用紙 厚紙 縱 曲尺三寸 横 曲尺二寸

(裏)	(何)地方專賣局在勤 官氏 名
(表)	(何)第 號 專賣局官吏證票 專賣局印

附則

[台八]

本令ハ明治四十年十月一日ヨリ施行ス  
明治三十六年九月大藏省令第二十三號租製樟腦、樟腦油專賣法施行細則第二十二條及明治三十八年四月大藏省令第二十二號鹽專賣法施行細則第三十九條ハ之ヲ削除シ明治三十七年六月大藏省令第二十二號ハ之ヲ廢止ス

○煙草賣捌規則

昭和六年六月十五日  
大藏省令第十七號

改正 昭和九年第三二號、第三五號

第一條 煙草小賣人ハ政府ヨリ製造煙草ヲ買受ケ之ヲ消費者ニ賣渡スモノトス

煙草小賣人ハ競落ニ因リ製造煙草ヲ取得シ又ハ第二十六條第一項ノ製造煙草ヲ讓受ケ之ヲ消費者ニ賣渡スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨煙草販賣官署長ニ申告スルコトヲ要ス

政府ハ特殊ノ場合ニ於テ製造煙草ヲ特定メタル價格ヲ以テ直接消費者ニ賣渡スコトアルヘシ

第二條 煙草小賣人ハ必要ニ應シ五年以内ノ期間ヲ以テ地方專賣局長之ヲ指定ス

煙草小賣人ノ指定ヲ受ケムトスル者ハ第一號書式ニ依リ地方專賣局長ニ申請スヘシ但シ法人ニ在リテハ其ノ定款又ハ寄附行爲及代表者ノ氏名ヲ記載シタル書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第二編 專賣 第一章 煙草 煙草賣捌規則

[台八]

第三條 煙草小賣人タル法人其ノ定款若ハ寄附行爲又ハ代表者ヲ變更シタルトキハ直ニ其ノ旨地方專賣局長ニ申告スヘシ

第四條 煙草小賣人死亡シ又ハ隱居シタル場合ニ於テハ其ノ相續人ハ地方專賣局長ニ申告シ殘期間其ノ營業ヲ承繼スルコトヲ得但シ第六條ニ依リ煙草小賣人ニ指定スルコトヲ得サル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ申告ハ煙草小賣人死亡ノ場合ニ在リテハ死亡ノ日ヨリ二月内ニ、隱居ノ場合ニ在リテハ隱居ノ日ヨリ二月内ニ隱居者ノ連署ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

前二項ノ規定ハ煙草小賣人タル法人合併ニ因リ消滅シタル場合ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ合併ヲ證スル書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第五條 煙草小賣人ト同一ノ家ニ在ル者相續ニ因リノ外殘期間其ノ營業ヲ承繼セムトスルトキハ煙草小賣人ノ連署ヲ以テ地方專賣局長ニ申請シ其ノ許可ヲ受ケヘシ

第六條 左ニ掲クル者ハ煙草小賣人ニ指定スルコトヲ得ス

一 煙草專賣法第四十一條、第四十一條ノ二、第四十八條乃至第五十條、第五十二條、第五十四條乃至第六十條ニ依リ處罰又ハ處分ヲ受ケ二年ヲ經サル者

二 鹽專賣法第二十五條、第三十條ノ二乃至第三十一條ニ依リ處罰又ハ處分ヲ受ケ二年ヲ經サル者

三 租製樟腦、樟腦油專賣法第十五條又ハ第十六條ニ依リ處罰又ハ處分ヲ受ケ二年ヲ經サル者

四 前三號ニ該當スル者ノ外第二十二條又ハ第二十五條ニ依リ煙草小賣人ノ指定ヲ取消サレ二年ヲ經サル者  
法人ノ場合ニ於テハ前項各號ノ事實ノ有無ハ法人又ハ其ノ代表者ニ付之

六四一



ヲ定ム

未成年者又ハ禁治産者ノ場合ニ於テハ第一項各號ノ事實ノ有無ハ未成年者禁治産者又ハ其ノ法定代理人ニ付之ヲ定ム但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七條 地方專賣局長煙草小賣人ヲ指定スルニ當リテハ左ノ順序ニ依ル一 公務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ法律ニ依リ恩給ヲ受ケタル者又ハ之ヲ受ケル者

二 公務ノ爲死亡シタル者ノ遺族ニシテ法律ニ依リ扶助料ヲ受ケル者

三 專賣局職員又ハ傭人ニシテ職務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ退職シ職員扶助令又ハ傭人扶助令ニ依リ扶助料ヲ受ケタル者又ハ職務ノ爲死亡シタル專賣局職員又ハ傭人ノ遺族ニシテ職員扶助令又ハ傭人扶助令ニ依リ扶助料ヲ受ケタル者

四 專賣局職工ニシテ職務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ退職シ專賣局共済組合規則ニ依リ給付ヲ受ケタル者若ハ之ヲ受ケル者又ハ職務ノ爲死亡シタル專賣局職工ノ遺族ニシテ同規則ニ依リ給付ヲ受ケタル者

五 專賣局職工トシテ十年以上勤続シ退職シタル者

第六條 煙草小賣人ノ營業所ハ一人一箇所トス但シ地方專賣局長必要ト認メタルトキハ同一人ニ付二箇所以上ノ營業所ノ設置ヲ許可スルコトアルヘシ

第九條 煙草小賣人出賣ヲ爲サムトスルトキハ第二號書式ニ依リ煙草販賣官署長ニ申請シ許可ヲ受クヘシ

第十條 煙草小賣人ハ其ノ營業所ニ製造煙草ノ定價表、軒看板及第四號雛形ノ標札ヲ掲クヘシ但シ地方專賣局長其ノ必要ナシト認メタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 煙草小賣人ハ帳簿ヲ調製シ買受ケタル製造煙草ノ買受年月日、種類、名稱、包裹別數量、代金及代金ノ月計、累計ヲ記載スヘシ第一條第二項ノ規定ニ依リ取得シタル製造煙草ニ付亦同シ

第十九條 製造煙草左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ煙草小賣人ハ煙草販賣官署ニ之カ引換ヲ請求スルコトヲ得

一 品質惡變シタルトキ  
二 包裹破損若ハ汚染シタルトキ  
三 前二號ノ外政府ニ於テ販賣ニ適セサルモノト認メタルトキ  
前項引換ノ原因カ政府ノ責ニ歸スヘキ場合又ハ不可抗力ニ因ル場合ヲ除クノ外煙草小賣人ハ製造煙草ノ價格ノ減少ニ相當スル金額ヲ納付スヘシ  
前二項ノ規定ハ第一條第三項ノ規定ニ依リ賣渡シタル製造煙草ニ付之ヲ準用ス

第二十條 煙草小賣人其ノ營業ヲ廢止セムトスルトキハ其ノ旨地方專賣局長ニ申告スヘシ二箇所以上ノ營業所ヲ有スル煙草小賣人其ノ一箇所又ハ數箇所ヲ廢止セムトスルトキ亦同シ

第二十一條 煙草小賣人出賣ヲ廢止セムトスルトキハ其ノ旨煙草販賣官署長ニ申告スヘシ

セシムヘシ

煙草小賣人自ラ出賣ヲ爲ス場合ニ於テハ出賣證票ヲ携帯スヘシ  
第十條 煙草小賣人煙草自働發賣機ヲ設置セムトスルトキハ第三號書式ニ依リ地方專賣局長ニ申請シ許可ヲ受クヘシ

煙草自働發賣機ニハ之ヲ設置シタル煙草小賣人ノ氏名及營業所ノ位置ヲ標記スヘシ

第十一條 煙草小賣人ハ地方專賣局長ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ營業所ノ位置又ハ煙草自働發賣機ノ構造若ハ位置ヲ變更スルコトヲ得ス

第十二條 政府ヨリ煙草小賣人ニ賣渡ス製造煙草ノ代金ハ定價ニ對シ別ニ定ムル所ノ割引歩合ニ依リ之ヲ算定ス

第十三條 製造煙草ノ賣渡ヲ受ケムトスル者ハ其ノ種類、名稱、包裹別數量ヲ煙草販賣官署ニ申出テ其ノ賣渡ヲ受ケタルトキハ直ニ代金ヲ納付シ引渡場所ニ於テ現品ヲ引取ルヘシ

第十四條 政府ヨリ煙草小賣人ニ賣渡ス製造煙草ハ煙草小賣人ノ營業所ニ於テ之ヲ引渡スモノトス但シ地方專賣局長ノ定メタル場所又ハ煙草販賣官署ニ於テ引渡スコトアルヘシ

第十五條 政府ヨリ直接消費者ニ賣渡ス製造煙草ハ煙草販賣官署ニ於テ之ヲ引渡スモノトス但シ地方專賣局長ノ定メタル場所ニ於テ引渡スコトアルヘシ

第十六條 地方專賣局長ハ煙草小賣人ノ營業所ノ設備、營業所ニ備ヘ置クヘキ製造煙草ノ種類、名稱、包裹別數量、製造煙草ノ保存方法其ノ他製

第二十二條 左ノ場合ニ於テ地方專賣局長ハ煙草小賣人ノ指定ヲ取消スコトヲ得

一 第六條第一項第一號乃至第三號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキ  
二 第二十五條第二項ノ規定ニ依リ營業ヲ停止セラレタル者其ノ停止期間中ニ於テ營業ヲ爲シタルトキ  
三 正當ノ事由ナクシテ一月以上營業ヲ爲ササルトキ若ハ正當ノ事由ナクシテ三月以上煙草販賣官署ヨリ買受ヲ爲ササルトキ又ハ買受代金一年百圓未滿ナルトキ

煙草小賣人カ法人ナル場合ニ於テハ前項第一號ノ事實ノ有無ハ法人又ハ其ノ代表者ニ付之ヲ定ム

煙草小賣人カ未成年者又ハ禁治産者ノ場合ニ於テハ第一項第一號ノ事實ノ有無ハ未成年者、禁治産者又ハ其ノ法定代理人ニ付之ヲ定ム但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 左ノ場合ニ於テ地方專賣局長ハ煙草自働發賣機設置ノ許可ヲ取消スコトヲ得

一 設置豫定期間内ニ煙草自働發賣機ノ設置ヲ爲ササルトキ  
二 煙草自働發賣機ノ設備不完全ナルトキ

第二十四條 左ノ場合ニ於テ煙草販賣官署長ハ出賣ノ許可ヲ取消スコトヲ得

一 正當ノ事由ナクシテ出賣ヲ爲ササルトキ  
二 正規ノ證票ヲ携帯セシテ出賣ヲ爲シ又ハ爲サシメタルトキ  
第二十五條 煙草小賣人左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス



第二編 專賣 第一章 煙草 煙草賣捌規則

- 一 第十一條ニ違反シタルトキ又ハ地方專賣局長ノ許可ヲ受ケスシテ營業所若ハ煙草自働發賣機ヲ設置シタルトキ
  - 二 煙草販賣官署長ノ許可ヲ受ケスシテ出賣ヲ爲シタルトキ
  - 三 本令又ハ地方專賣局長カ本令ニ依リ指示シタル事項ニ違反シ當該官吏ノ注意ヲ受クルモ尙之ニ從ハサルトキ
- 前項ノ場合ニ於テハ罰金又ハ科料ニ處セス地方專賣局長ハ煙草小賣人ノ指定ヲ取消シ又ハ一定ノ期間其ノ營業ヲ停止スルコトヲ得
- 第二十六條** 煙草小賣人死亡シ營業ヲ承繼スル者ナキトキ、指定期間滿了シ引續キ指定セラレサルトキ、指定ヲ取消サレタルトキ又ハ營業ヲ廢止シタルトキハ現存スル製造煙草ハ事實ノ發生後三十日以内ニ煙草販賣官署ニ之カ買戻ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル買戻價格ハ現行定價ヨリ煙草小賣人ヘノ現行割引歩合ニ相當スル金額ヲ控除シタルモノトス
- 前項ノ規定ニ依リ買戻ヲ請求シタル製造煙草ニシテ政府ノ責ニ歸スヘキ事由又ハ不可抗力ニ因ラスシテ第十九條第一項各號ノ一ニ該當スルニ至リタルモノアルトキハ拂戻スヘキ金額ヨリ價格減少ニ相當スル金額ヲ控除ス
- 第二十七條** 地方專賣局ノ煙草販賣區域ハ別表ニ定ムル地域ヲ除クノ外地方專賣局ノ管轄區域ニ依リ煙草販賣官署ノ煙草販賣區域ハ專賣局長官ノ定ムル所ニ依ル
- 本令中地方專賣局長ニ提出スヘキ書類ハ所屬煙草販賣官署ヲ經由スヘシ

附則

- 第二十八條** 本令ハ昭和六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 第二十九條** 明治四十二年大藏省令第二十七號煙草賣捌規則ハ之ヲ廢止ス

捺印スヘシ

- 二 申請者法人ナル場合ニ於テ申請書ニ記載シタル代表者以外ニ代表者アルトキハ其ノ氏名ヲ記載シタル書類ヲ添付スヘシ
- 三 豫定營業所附近ノ略圖ヲ添付スヘシ
- 四 豫定營業所ニシテ劇場、學校、會社、停車場構内等他人ノ管理ニ屬スルトキハ其ノ管理者ノ同意書ヲ添付スヘシ
- 五 現在營業ノ種類ハ詳細ニ記載シ且豫定營業所ニ於テ申請者以外ノ者カ營業ヲ有スル場合ハ之ヲ區分併記スヘシ

(第二號書式)

煙草小賣人出賣許可申請書

出賣場所 何々

一 出賣期間 自年月日 至年月日

前記ノ通出賣許可相成度申請候也

年月日

營業所 府縣 郡市 區 町 村 大字 字 番地  
煙草小賣人 氏 名印

煙草專賣官署長宛

備考 申請者二箇所以上ノ營業所ヲ有スル場合ハ出賣人所屬ノ營業所ヲ記載スヘシ

(第三號書式)

煙草自働發賣機設置許可申請書

第二編 專賣 第一章 煙草 煙草賣捌規則

**第三十條** 從前ノ規定ニ依リ指定ヲ受ケ本令施行ノ際現ニ煙草小賣人タル者ハ本令ニ依リ指定ヲ受ケタル煙草小賣人ト看做ス

從前ノ規定ニ依リ爲シタル許可、指示其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

**第三十一條** 本令施行前許可セラレタル製造煙草買受代金ノ延納ニ付テハ尙從前ノ規定ニ依ル

**第三十二條** 本令施行前煙草元賣捌人カ政府ヨリ買受ケタル製造煙草ニシテ本令施行ノ際其ノ所有ニ係ルモノハ從前ノ規定ニ依リ之カ買戻ヲ請求ヲ爲スコトヲ得

(第一號書式)

煙草小賣人指定申請書

一 現在營業ノ種類 何々業

一 煙草小賣營業所豫定位置 府縣 郡市 區 町村 大字 字 番地

前記營業所ニ於テ煙草小賣人ニ指定相成度申請候也

年月日 住所 府縣 郡市 區 町村 大字 字 番地 氏 名印

年月日 氏 名印

地方專賣局長宛

備考 一 申請者無能力者ナル場合ハ法定代理人、保佐人又ハ夫之ニ連署

一 設置スヘキ位置

府縣 郡市 區 町村 大字 字 番地

一 設置豫定期間 前記ノ場所ニ煙草自働發賣機ヲ設置致度候ニ付許可相成度別紙發賣機構造設計書相添申請候也

年月日

營業所 府縣 郡市 區 町 村 大字 字 番地  
煙草小賣人 氏 名印

年月日 氏 名印

地方專賣局長宛

備考 一 設置ノ場所ハ最詳細ニ記述シ附近ノ略圖ヲ添付スヘシ

二 設置豫定期間ハ許可ヲ受ケタル日ヨリ設置完了迄ニ要スル期間ヲ記載スヘシ

三 申請者無能力者ナル場合ハ第一號書式備考一ヲ準用ス

四 申請者二箇所以上ノ營業所ヲ有スル場合ハ煙草自働發賣機所屬ノ營業所ヲ記載スヘシ

(第四號書式)

煙草小賣所

府縣 郡市 區 町村 大字 字 番地

煙草小賣人 氏 名



第二編 專賣 第一章 煙草 煙草賣捌規則

備考

寸法ハ地方專賣局長適宜之ヲ定メ必要アルトキハ横式トナスコトヲ得

別表  
左表ノ區域ハ地方專賣局ノ管轄區域ニ拘ラス當該欄記載ノ地方專賣局ノ煙草販賣區域トス

地方專賣局	販賣區域
東京	沖繩縣 島尻郡沖大東島
水戸	茨城縣 筑波郡大穂村、旭村、吉沼村、眞壁郡河間村、中村、五所村
宇都宮	群馬縣 利根郡走城根村大字根利字砥澤、東村大字平川字平瀧
大阪	沖繩縣 島尻郡南大東島、北大東島
岡山	山口縣 阿武郡地福村、徳佐村、嘉年村、彌富村、小川村、田万崎村、須佐町
坂出	香川縣 木田郡奥鹿村、田中村、香川郡安原村、鹽江村、安原上西村、綾歌郡美合村、愛媛縣 越智郡宮窪村、大字友浦字四坂島、宇摩郡金田村、川瀧村、富郷村、金沙村、新立村、上山村

○煙草專賣法第四十條ニ依リ國稅徵收法ヲ準用スル場合ニ關スル件

明治三十七年六月十六日 (大藏大) 勅令第百六十九號 (臣副署)

煙草專賣法第四十條ニ依リ國稅徵收法ノ規定ヲ準用スル場合ニハ其ノ施行ニ關シ國稅徵收法施行規則ヲ準用ス

附則  
本令ハ明治三十七年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

○煙草專賣法ニ依リ國稅徵收法準用ノ場合其施行細則ヲ準用スルノ件

明治三十七年六月十七日 大藏省令第二十六號

改正 明治三十九年第一五號 大正一一年第四九號  
煙草專賣法第四十條ニ依リ國稅徵收法ノ規定ヲ準用スル場合ニハ其ノ施行ニ關シ國稅徵收法施行細則ヲ準用ス  
國稅徵收法施行細則ニ依リ稅務署長ニ關スル職務ヲ行フヘキ官吏ハ地方專賣局長トス

第二編 專賣 第一章 煙草 煙草賣捌法關係規則 煙草包裹內カード廣告取扱ニ關スル件

福岡	福岡縣 山門郡山川村
熊本	熊本縣 葦北郡日奈久町、二見村、田浦村、大野村、白石、鹿兒島縣 天月、白木、吉尾村、百濟來村、出水郡東長島村、西長島村
鹿兒島	宮崎縣 西臼杵郡諸塚村

○大藏省告示第百五十四號(昭和六年六月十五日)

改正 昭和一一年第三二九號

昭和六年大藏省令第十七號煙草賣捌規則第十二條ノ割引歩合及同規則第一條第三項ノ價格左ノ通相定メ昭和六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

- 第一條 煙草賣捌規則第十二條ノ割引歩合左ノ如シ
- 一 輸入葉卷煙草、同紙卷煙草、移入葉卷煙草、同紙卷煙草及專賣局製造葉卷煙草ニシテ百本當ノ定價ノ百八圓以上ノモノ 定價ノ百分ノ十七
  - 二 輸入葉卷煙草、同紙卷煙草、移入葉卷煙草、同紙卷煙草及專賣局製造葉卷煙草、同兩切紙卷煙草ニシテ百本當ノ定價ノ二圓以上八圓未満ノモノ並葉卷、紙卷以外ノ輸入製造煙草、移入製造煙草 定價ノ百分ノ十二
  - 三 前二號以外ノ製造煙草 定價ノ百分ノ九

第二條 煙草賣捌規則第一條第三項ノ價格ハ定價ノ百分ノ九十一トス

附則  
明治四十五年五月大藏省告示第六十八號ハ之ヲ廢止ス

[台八]

[台八]

○煙草專賣法ヲ施行セサル地方ニ關スル件

明治三十七年四月二十九日 (大藏大) 勅令第百三十三號 (臣副署)

改正 大正一一年第七六號

煙草專賣法第八十七條ニ依リ左ノ島嶼ニハ當分ノ内同法ヲ施行セス

- 一 北海道廳管下得撫郡、新知郡、占守郡、紗那郡、振別郡、擇捉郡、藥取郡
- 一 東京府管下南島島
- 一 鹿兒島縣管下硫黃島、黑島、竹島、口之島、臥蛇島、平島、中之島、惡石島、寶島、諏訪之瀨島、沖永良部島、與論島
- 一 沖繩縣管下伊平屋島、伊是名島、具志川島、野甫島、久米島、前慶良間島、前島、後慶良間島、阿嘉島、慶留間島、栗國島、渡名喜島、鳥島、多良間島、水納島、波照間島、與那國島

○專賣局製造煙草包裹內カード廣告取扱ニ關スル件

昭和八年十一月二十五日 大藏省令第二十九號

六四七



專賣局製造煙草包裝内カード廣告取扱ニ關スル件左ノ通定ム  
專賣局ハ一定ノ廣告料ヲ徵シ製造煙草包裝ニカードヲ挿入スル方法ニ依リ  
廣告ノ取扱ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ廣告料並廣告ノ取扱ニ關スル規程ハ專賣局長官之ヲ定メ廣告料ハ之  
ヲ官報ニ廣告スヘシ

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

第二章 鹽

○鹽專賣法 明治三十八年一月一日(總理、農商務、大藏大臣副署) 法律第十一號

改正 明治三十九年第一五號、四一年第五九號

- 第一條 政府ハ鹽ノ專賣權ヲ有ス
- 第二條 政府ハ便宜ノ地ニ鹽取扱所ヲ設置シ鹽ノ收納及賣渡ヲ取扱ハシム
- 第三條 鹽及鹹水ハ政府又ハ政府ノ命ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ外國ヨリ輸入シ又ハ本法ヲ施行セサル地ヨリ移入スルコトヲ得ス
- 智利硝石、「カイニツト」、「シルヴェイニツト」、「ボリハリツト」、「キーゼリツト」、「ガルナリツト」、「ハルトザルツ」其ノ他ノ礦物ニシテ其ノ百分中四十以上ノ鹽化曹達ヲ含有スルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ變性ヲ施スニ非サレハ之ヲ外國ヨリ輸入シ又ハ本法ヲ施行セサル地ヨリ移入スルコトヲ得ス
- 第四條 鹽及鹹水ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ製造スルコトヲ得ス
- 第五條 政府ヨリ賣渡シタル鹽ニ非サレハ所有シ、所持シ、讓渡シ、質入シ又ハ消費スルコトヲ得ス但シ納付期日前若ハ正當ノ事由ニ因リ納付ヲ遅延シタル場合ニ於テ又ハ製造者ノ自家用ノ爲所有、所持スルハ此ノ限ニ在ラス
- 鹹水ハ之ヲ讓渡シ、質入シ又ハ鹽製造以外ノ用途ニ使用スルコトヲ得ス但シ鹽製造者ニ讓渡スルハ此ノ限ニ在ラス

[台八]

第六條 政府ハ製鹽地ノ區域又ハ鹽ノ製造期間若ハ生産高ヲ制限スルコトヲ得

前項ニ依ル制限ハ鹽ノ試製ニ之ヲ適用セス

第七條 鹽製造者ノ製造シタル鹽ハ政府之ヲ收納ス但シ命令ノ定ムル制限數量以内ノ鹽ニシテ鹽製造者ノ自家用ニ供スルモノ又ハ政府ヨリ賣渡シタル鹽ニ依リ再製シタル鹽ハ此ノ限ニ在ラス

第八條 鹽ノ賠償價格ハ政府之ヲ定メ豫メ公示スヘシ

第九條 鹽ヲ製造セムトスル者ハ製鹽ノ方法、採鹹地名、地番、製鹽段別、製鹽場、貯藏場及一年ノ生産見込高ヲ定メ政府ニ申請シ許可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第十條 鹽ノ製造業ト鹽ノ賣捌業トハ同一ノ場所ニ於テ相兼スルコトヲ得ス但シ政府ノ賣渡シタル鹽ニ依リ再製スルハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 相續ニ因リ鹽ノ製造ヲ承繼シタルトキハ其ノ旨政府ニ届出ツヘシ

相續ニ因ルノ外鹽ノ製造ヲ承繼セムトスルトキハ政府ノ許可ヲ受クヘシ  
第十二條 鹽製造者鹽ノ製造ヲ廢止セムトスルトキハ少クトモ一箇月前ニ政府ニ申告スヘシ但シ政府ノ許可ヲ受ケテ製造ヲ廢止スルハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 鹽製造者本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキハ政府ハ製造ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第十四條 鹽製造者鹽ヲ製造シタルトキハ總テ之ヲ政府ニ納付スヘシ但シ第七條但書ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス

政府ハ鹽製造者ヲシテ前項ニ依リ納付スヘキ鹽ヲ其ノ指定シタル者ニ引渡スヘキコトヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府力鹽ノ數量ヲ定メ

引渡ヲ命シタルトキ製造者之ヲ政府ニ納付シタルモノト看做ス

第十五條 鹽製造者鹽ヲ納付シタルトキハ政府ハ鑑定人ヲシテ其ノ品質ヲ鑑定セシメ相當ノ賠償金ヲ交付スヘシ

製造者前項ノ鑑定ニ不服ナルトキハ再鑑定ヲ求ムルコトヲ得但シ賠償金ノ請求ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

再鑑定ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 鹽製造者ノ納付セムトスル鹽ニシテ其ノ品質甚シク粗惡ナルモノニ付テハ政府ハ更ニ相當ノ處理ヲ爲シタル上納付スヘキコトヲ命スルコトヲ得

第十七條 政府ハ鹽ノ製造又ハ包裝ノ方法、納付場所、納付期日及其ノ運搬通路ヲ定ムルコトヲ得

第十八條 鹽ハ政府又ハ政府ノ指定シタル鹽元賣捌人若ハ鹽小賣人ニ非サレハ之ヲ販賣スルコトヲ得ス

鹽賣捌人及鹽ノ販賣ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條 政府ハ定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ爲スヘシ

前項ノ定價ハ賠償金ヲ交付シテ收納シタル鹽ニ付テハ賣渡當時ノ品質ニ相當スル賠償金ニ一石ニ付金二圓五十錢又ハ百斤ニ付金一圓四十八錢ノ割合ノ金額ヲ加算シタルモノヲ超エテ之ヲ定ムルコトヲ得ス

第二十條 左ニ掲クル場合ニ於テハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ特ニ定メタル價格ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ爲スコトヲ得

- 一 外國ニ輸出シ又ハ本法ヲ施行セサル地ニ移出スル爲賣渡ヲ請求スル者アリタルトキ
- 二 命令ヲ以テ指定スル用途ニ使用スル爲賣渡ヲ請求スル者アリタルトキ



三 前各號ノ外特ニ命令ヲ以テ定メタル場合ニ該當スルトキ  
前條又ハ前項第三號ニ依リ賣渡シタル鹽ニシテ外國ニ輸出シ、本法ヲ施  
行セサル地ニ移出シ又ハ命令ノ定ムル用途ニ使用セラレタルトキハ命令  
ノ定ムル所ニ依リ交付金ヲ下付ス

第二十條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ鹽賣捌人ノ販賣スル鹽ノ價格ヲ制  
限スルコトヲ得

第二十一條 鹽賣捌人ハ鹽ニ他物ヲ混和シテ販賣スルコトヲ得ス

第二十二條 鹽製造者及鹽賣捌人ハ帳簿ヲ調製シ政府ノ指示ニ從ヒ營業ニ  
關スル要件ヲ記載スヘシ

第二十三條 當該官吏ハ採鹹地、製鹽場、貯藏場其ノ他鹽ノ所在ト認ムル  
場所ニ立入り鹹水、鹽、器具、器械、建築物又ハ帳簿書類ヲ検査スルコ  
トヲ得

當該官吏監督上必要ト認ムルトキハ前項ノ物件ニ封印ヲ施スコトヲ得

第二十四條 當該官吏ハ運搬中ニ在ル鹽ヲ検査シ其ノ出所及到着先ヲ質問  
スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ當該官吏監督上必要ト認メタルトキハ其ノ運搬ヲ停止  
シ又ハ荷物若ハ船車ニ封印ヲ施スコトヲ得

第二十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處  
シ其ノ犯罪ニ係ル鹽ハ之ヲ沒收ス既ニ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ第十  
八條ノ賣渡定價ニ相當スル金額ヲ追徴ス

一 第三條、第四條又ハ第五條ニ違反シタル者

二 許可ヲ受ケサル土地ニ於テ鹽ヲ製造シタル者

三 情ヲ知リテ政府ヨリ賣渡ササル鹽ヲ讓受ケタル者

第二十六條 鹽製造者正當ノ事由ナクシテ政府ノ指定シタル者ニ引渡ヲ爲

ササルトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス政府ノ指定シタル運搬通  
路ニ依ラスシテ鹽ヲ運搬シタルトキ亦同シ

第二十七條 鹽製造者政府ノ定メタル製造期間外ニ於テ鹽ヲ製造シ又ハ政  
府ノ許可シタル場所以外ニ於テ鹽ヲ製造シ若ハ貯藏シタルトキハ五圓以  
上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル鹽ハ之ヲ沒收ス情ヲ知リテ其ノ  
場所ヲ供與シタル者亦同シ

第二十八條 前條ニ該當スル場合ヲ除ク外鹽製造者許可ヲ受ケスシテ第  
九條ニ依リ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シタルトキハ三十圓以上三十圓以下  
ノ罰金ニ處ス

第二十九條 第十條ニ違反シタル者ハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條 第十一條又ハ第十二條ニ違反シタル者ハ二十圓以上二十圓以下ノ  
罰金ニ處ス

第三十條ノ二 鹽賣捌人第二十條【ノ二】ノ制限ヲ超エテ鹽ヲ販賣シタル  
トキハ五圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條ノ三 鹽賣捌人ニ非スシテ鹽ヲ販賣シ又ハ販賣ノ準備ヲ爲シタル  
者ハ十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル鹽ハ之ヲ沒收ス

第三十一條 鹽賣捌人第二十一條ノ規定ニ違反シタルトキハ五圓以上五十  
圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ犯罪ニ係ル物件ハ之ヲ沒收ス

第三十二條 鹽製造者又ハ鹽賣捌人其ノ營業ニ關スル帳簿ヲ調製セ又ハ  
其ノ記載ヲ怠リ若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキハ三十圓以上三十圓以下ノ  
罰金ニ處ス

第三十三條 當該官吏ノ尋問ニ對シ虚偽ノ答辯ヲ爲シ又ハ當該官吏ノ職務  
執行ヲ拒ミ、之ヲ忌避シ若ハ之ニ支障ヲ加ヘタル者ハ三十圓以上三十圓以  
下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第三十四條 政府ヨリ賣渡ササル鹽ニシテ犯人以外ノ所有ニ係ルモノハ政  
府之ヲ收納ス此ノ場合ニ於テハ他物ヲ混和シタル鹽ヲ除ク外第十五條  
ニ準シ賠償金ヲ交付ス

第三十五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタル者ニハ  
刑法ノ減輕【再犯加重及數罪併發】ノ例ヲ用キス

第三十六條 鹽製造者、鹽賣捌人カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本法  
又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ當業者ニ適用スヘキ罰則ハ之  
ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル  
未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十七條 鹽製造者又ハ鹽賣捌人ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、  
雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル  
命令ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出サルノ故ヲ以テ處罰ヲ免  
カルコトヲ得ス

第三十八條 間接國稅犯則者處分法及明治三十三年法律第五十二號ノ規定  
ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

間接國稅犯則者處分法中收稅官吏及稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官  
吏ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十九條 鹽製造者其ノ製造ノ許可ヲ取消サレ又ハ鹽製造者若ハ鹽賣捌  
人其ノ業務ヲ廢止スルモ製鹽場、貯藏場又ハ販賣場ニ鹽ノ現在スル間ハ  
仍本法ノ規定ヲ適用ス

第四十條 本法ニ依リ收納シタル鹽ノ賠償金ノ仕拂ニ關シテハ主任ノ官吏  
ニ現金前渡ヲ爲スコトヲ得

第四十條ノ三 鹹水ニ關シテハ第六條、第九條乃至第十三條、第二十二條、  
第二十四條、第二十五條、第二十七條乃至第三十條、第三十二條、第三

十六條、第三十七條及第三十九條ノ規定ヲ準用ス

第四十一條 本法ハ明治三十八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第四十四條  
第四項及第四十五條ハ此ノ限ニ在ラス

第四十二條 本法ハ勅令ヲ以テ指定シタル地方ニ之ヲ施行セス

第四十三條 本法施行ノ際鹽消費者ノ所有ニ係ル鹽ニ關シテハ第五條ヲ適  
用セス

第四十四條 本法施行ノ際製造者ノ所有又ハ所持スル鹽ハ政府ニ納付スヘ  
シ此ノ場合ニ於テハ第十五條ニ準シ賠償金ヲ交付ス

本法施行ノ際販賣ノ目的ヲ以テ所有シ又ハ所持スル鹽ニ付テハ百斤ニ付  
金一圓三十錢ノ割合ニ依リ鹽稅ヲ納ムヘシ

前項ノ鹽ヲ所有シ又ハ所持スル者ハ其ノ數量及所在ヲ政府ニ申告スヘシ  
申告ヲ怠リ又ハ不正ノ申告ヲ爲シタルトキハ其ノ數量ニ對スル稅金ノ三  
倍ニ相當スル罰金ニ處ス

鹽稅ノ徵收ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二項ニ依ル納稅濟ノ鹽ハ政府ノ賣渡シタル鹽ト看做ス

納稅期日前ニ於ケル鹽ノ所有又ハ所持ニ關シテハ第五條ヲ適用セス

第四十五條 本法發布前ヨリ鹽ヲ製造スル者ハ本法發布ノ日ヨリ三箇月以  
内ニ命令ノ定ムル所ニ依リ許可ヲ受クヘシ

前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第九條ニ依リ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

第四十六條 本法施行ノ際鹽ヲ製造スル者ハ本法施行ノ日ヨリ一箇月以內  
ニ本法ニ依リ許可ヲ受クヘシ其ノ期間内ハ鹽ノ製造ヲ爲スコトヲ得



○鹽專賣法施行細則

明治三十八年四月一日  
大藏省令第二十二號

改正 明治三十八年第三六號、三十九年第九號、第一二號、四〇年第二號、第三九號、四一年第二一號  
大正七年第三一號、一二年第四九號

- 第一條 鹽ヲ製造セムトスル者ハ製鹽ノ方法、採鹹地名、地番、製鹽段別、製鹽場、鹹水又ハ鹹砂貯藏場、製鹽貯藏場及一箇年ノ生産見込數量ヲ定メ所轄地方專賣局ニ製造ノ許可ヲ出願スヘシ
- 鹽ノ試製ヲ爲サムトスル者及政府ヨリ賣渡シタル鹽ヲ再製セムトスル者ハ其ノ旨ヲ記シ第一項ニ準シ所轄地方專賣局ニ製造ノ許可ヲ出願スヘシ
- 新ニ鹽田ヲ作り鹽ヲ製造セムトスル者ハ鹽田ヲ作ラムトスル際鹽田ニ依ラスシテ鹽ヲ製造セムトスル者ハ其ノ設備ニ著手セムトスル際第一項ノ出願ヲ爲スヘシ
- 第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ地方專賣局ハ鹽ノ製造ヲ許可セサルコトヲ得
  - 一 採鹹セムトスル場所カ製鹽ニ適當ナラスト認ムルトキ
  - 二 鹽專賣法又ハ同法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者カ出願シタルトキ
  - 三 取締上不便ト認ムル場所ニ於テ製鹽セムトスルトキ
  - 四 鹽ノ生産高ヲ制限スル必要アルトキ
- 第三條 所轄地方專賣局ニ於テ必要ト認メ製鹽場、鹹水又ハ鹹砂貯藏場、製鹽貯藏場ノ圖面又ハ製造用器具、器械ノ目錄ヲ提出スヘキコトヲ命シタルトキハ製鹽製造者ハ之ヲ提出スルコトヲ要ス

〔台八〕

前項ノ圖面又ハ目錄ニ記載シタル事項ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ都度所轄地方專賣局ニ申告スヘシ

- 第四條 鹽製造者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ事由ヲ具シ所轄地方專賣局ニ出願シ許可ヲ受クヘシ
  - 一 製鹽ノ方法ヲ變更セムトスルトキ
  - 二 採鹹地ヲ變更シ又ハ製鹽段別ヲ増減セムトスルトキ
  - 三 製鹽場、鹹水又ハ鹹砂貯藏場、製鹽貯藏場ヲ新設又ハ移轉セムトスルトキ
  - 四 一箇年ノ生産見込數量ヲ變更セムトスルトキ
- 第五條 相續ニ因リ鹽ノ製造ヲ承繼シタルトキハ相續人ヨリ其ノ旨所轄地方專賣局ニ申告スヘシ
- 相續ニ因ルノ外鹽ノ製造ヲ承繼セムトスルトキハ製造者及承繼者連署シ所轄地方專賣局ニ出願シ許可ヲ受クヘシ但シ地方專賣局ニ於テ正當ノ事由アリト認メタルトキハ製造者ノ連署ヲ要セス
- 第六條 鹽製造者鹽ノ製造ヲ廢止セムトスルトキハ少クとも一箇月前ニ所轄地方專賣局ニ申告スヘシ
- 前項ノ期間ヲ經過セスシテ鹽ノ製造ヲ廢止セムトスルトキハ所轄地方專賣局ニ廢止ノ許可ヲ出願スヘシ
- 第七條 鹽製造者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ所轄地方專賣局ニ申告スヘシ
  - 一 製鹽場、鹹水又ハ鹹砂貯藏場、製鹽貯藏場ヲ改築又ハ増築シタルトキ
  - 二 災害ニ因リ採鹹地、製鹽場、鹹水又ハ鹹砂貯藏場、製鹽貯藏場ニ異動ヲ生シタルトキ

〔台八〕

- 三 住所又ハ氏名若ハ名稱ヲ變更シタルトキ
- 第八條 鹽製造者鹽ノ製造ヲ廢止シ又ハ休止シタルトキ現存スル鹹水又ハ鹹砂ハ專賣官吏ノ承認ヲ受ケ之ヲ處分スヘシ
- 第九條 鹽製造者製鹽場所在市町村ニ現住セサルトキハ鹽專賣法ニ關スル事務ヲ處理セシムル爲管理人ヲ定メ鹽製造者及管理人連署シ所轄地方專賣局ニ申告スヘシ
- 第十條 鹽製造者ハ製鹽場ニ一箇年ノ製鹽見込數量、製造者又ハ管理人ノ住所、氏名、許可ノ年月日ヲ記載シタル標札ヲ掲クヘシ
- 第十一條 一 鹽ノ賠償價格ハ毎年十二月ニ於テ其ノ翌年ニ適用スヘキモノヲ定メ之ヲ告示スヘシ但シ翌年中ニ於テ特殊ノ事情アリタルトキハ之ヲ變更スルコトヲ得
- 第十二條 鹽專賣法第六條第一項ニ依リ鹽ノ製造期間又ハ生産高ヲ制限スル必要アルトキハ地方專賣局長ハ鹽ノ製造期間又ハ生産高ヲ定メ之ヲ鹽製造者ニ通知スヘシ
- 第十三條 鹽製造者鹽ヲ製造シタルトキハ少クとも二日ヲ經過シタル後之ヲ所轄地方專賣局ニ納付スヘシ
- 地方專賣局長ハ必要アリト認ムルトキハ鹽專賣法第十七條ニ依リ鹽ノ納付期日ヲ指定スルコトヲ得
- 第十四條 地方專賣局長ハ特ニ鹽製造者ヲ指定シ一定ノ期間毎ニ其ノ製造シタル鹽ノ數量ヲ地方專賣局ニ申告セシムルコトヲ得
- 地方專賣局長ハ前項ノ鹽製造者ニ對シ鹽ノ數量ヲ定メ之ヲ其ノ指定シタル者ニ引渡スヘキコトヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ鹽製造者ハ地方專賣局長ノ定メタル期日及場所ニ於テ之ヲ其ノ指定シタル者ニ引渡スヘシ

- 第十四條 鹽製造者前條ニ依リ地方專賣局長ノ定メタル期日又ハ場所ニ於テ鹽ノ引渡ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ所轄地方專賣局ニ出願シ許可ヲ受クヘシ
- 第十五條 鹽製造者ハ代理人ヲ以テ鹽ノ納付ヲ爲スコトヲ得
- 運送業者カ鹽製造者又ハ其ノ代理人ヨリ納付ノ爲鹽ノ運送ヲ委託セラレタルトキハ運送中ハ其ノ代理人ト爲リタルモノト看做ス
- 第十六條 鹽製造者ノ納付スヘキ鹽ニハ一定ノ包裝ヲ施スヘシ但シ地方專賣局長ハ包裝ヲ施ササル鹽ノ納付ヲ許可スルコトヲ得
- 包裝ノ方法、重量及一包裝ノ鹽數量ハ所轄地方專賣局長ノ定ム
- 第十七條 鹽ノ品質ハ其ノ含有スル鹽化曹達ノ量ニ依リテ之ヲ定メ左ノ五等ニ區分ス
  - 一等 含有鹽化曹達量百分ノ九十以上
  - 二等 含有鹽化曹達量百分ノ八十五以上
  - 三等 含有鹽化曹達量百分ノ八十以上
  - 四等 含有鹽化曹達量百分ノ七十五以上
  - 五等 含有鹽化曹達量百分ノ七十以上
- 前項鹽化曹達ノ量ハ可檢物ノ量ヨリ其ノ含有スル水及夾雜物ノ量ニ左ノ係數ヲ乘シタルモノヲ控除シテ之ヲ定ム
  - 一 水 一、一
  - 二 夾雜物 一、二

- 第十八條 鹽製造者ノ納付セムトスル鹽ニシテ前條五等ノ品質ニ達セサルトキハ地方專賣局長ハ製造者ヲシテ更ニ相當ノ處理ヲ爲サシムヘシ但シ第十三條第二項ノ場合ニ於テ地方專賣局長ノ指定シタル者カ引取ヲ承諾シタルトキハ此ノ限ニ在ラス



第十九條 鹽製造者鹽ヲ納付シタルトキハ地方專賣局ハ其ノ品質ヲ鑑定シ相當ノ賠償金ヲ交付ス

第二十條 鹽製造者前條ノ鑑定ニ不服アルトキハ其ノ要領ヲ具シ即時再鑑定ヲ求ムルコトヲ得

再鑑定ノ申立アリタルトキハ地方專賣局長ハ二人以上ノ鑑定人ヲシテ分析鑑定ヲ爲サシメ之ヲ決定スヘシ

再鑑定決定シタルトキハ其ノ決定書ヲ作り再鑑定申立人ニ交付スヘシ再鑑定ノ結果ニ依ル品質ノ等級カ最初鑑定シタル等級ヨリ上進セザルトキハ再鑑定ニ關スル費用ハ申立人ノ負擔トス

第二十一條 鹽製造者災害ニ因リ納付前ノ鹽ニ損害ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ事由ヲ具シ所轄地方專賣局ニ申告スヘシ

第二十二條 鹽製造者ノ自家用ニ供スル鹽ニシテ政府ニ納付スルコトヲ要セザルモノハ一箇年一人ニ付キ二十斤以内トス但シ一家ヲ通シテ一箇年三百斤ヲ超過スルコトヲ得ス

第二十三條 鹽製造者其ノ製造シタル鹽ノ一部ヲ自家用ニ供セムトスルトキハ豫メ申告シテ專賣官吏ノ検査ヲ受ケ政府ニ納付スヘキ鹽ト區別シテ貯藏スヘシ

第二十四條 鹽製造者政府ヨリ賣渡シタル鹽ヲ鹹水ニ混和シテ鹽ヲ製造シタルトキハ其ノ製造シタル鹽ノ全部ヲ政府ニ納付スヘシ但シ專賣官吏ノ検査ヲ受ケ混和鹽及製造鹽ノ數量ニ付其ノ承認ヲ得タルトキハ混和鹽ノ數量ニ相當スル製造鹽ハ政府ニ納付スルコトヲ要セス

第二十五條 鹹水ノミヲ以テ鹽ヲ製造スル者政府ヨリ賣渡シタル鹽ノ再製ヲ兼營スルトキハ政府ヨリ賣渡シタル鹽、之ヲ以テ製造シタル鹽及鹹水ノミヲ以テ製造シタル鹽ヲ各別ニ區分シテ貯藏スヘシ

第四十一條 本令ハ鹽專賣法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四十二條 鹽專賣法施行ノ際製造者ノ所有又ハ所持スル鹽ハ明治三十八年六月三十日迄ニ之ヲ鹽務局ニ納付シ又ハ鹽務局長ノ指定シタル者ニ引渡スヘシ

○鹽賣捌規則

明治四十一年四月二十九日 大藏省令第二十號

改正 明治四一年第三八號、四三年第九號、四四年第八號、四五年第一五號

大正二年第二號、第三〇號、三年第三號、五年第七號、九年第五三號、一一年第四六號、一五年第三〇號

第一條 鹽元賣捌人ハ政府ヨリ鹽ヲ買受ケ之ヲ鹽小賣人ニ賣渡スモノトス鹽小賣人ハ鹽元賣捌人ヨリ鹽ヲ買受ケ之ヲ消費者ニ賣渡スモノトス

鹽元賣捌人ハ他ノ元賣捌人ト鹽ヲ賣買シ又ハ一回千斤以上ニ限リ直接消費者ニ鹽ヲ賣渡スコトヲ得

鹽賣捌人ハ特ニ鹽專賣官署ノ認許シタル場合ニ限リ鹽賣捌人ニ非サル者ヨリ鹽ヲ買受クルコトヲ得

第二條 鹽元賣捌人及鹽小賣人ハ必要ニ應シ五箇年以内ノ期間ヲ以テ專賣局長官之ヲ指定ス

燒鹽其ノ他特殊ノ鹽及外國ヨリ輸入シ又ハ鹽專賣法ヲ施行セザル地ヨリ移入スル鹽ニ付テハ專賣局長官ハ特ニ其ノ賣捌人ヲ指定スルコトヲ得

第三條 鹽賣捌人死亡又ハ隱居ノ場合ニ於テハ其ノ相續人ハ專賣局長官ニ申告シテ殘期間其ノ營業ヲ承繼スルコトヲ得但シ第六條ニ依リ鹽賣捌人ニ指定セララルコトヲ得サル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ申告ハ鹽賣捌人死亡又ハ隱居ノ日ヨリ一箇月以内ニ之ヲ爲スコト

第二十六條 政府ヨリ賣渡シタル鹽ノ再製ヲ爲ス者ハ一箇月毎ニ其ノ再製シタル鹽ノ數量ヲ所轄地方專賣局ニ申告スヘシ

第二十七條 乃至第三十六條 削除

第三十七條 鹽製造者ハ少クとも毎日左ノ事項ヲ帳簿ニ記載スヘシ

一 採取シタル鹹水ノ容量及比重

二 煎蒸シタル鹹水ノ容量及比重

三 蒸上ケタル釜數及鹽ノ數量

四 政府ニ納付シタル鹽ノ數量、等級、納付月日

五 自家用トシテ検査ヲ受ケタル鹽ノ數量

六 讓渡シタル鹹水ノ容量、比重、價額、讓渡月日及讓受人

七 讓受ケタル鹹水ノ容量、比重、價額、讓受月日及讓渡人

鹹水ノミノ製造ヲ爲ス者ハ少クとも毎日前項第一號及第六號ノ事項ヲ帳簿ニ記載スヘシ

政府ヨリ賣渡シタル鹽ヲ再製スル者ハ少クとも毎日左ノ事項ヲ帳簿ニ記載スヘシ

一 買入レタル鹽ノ數量、價額、買入月日、買入先

二 使用シタル原料鹽ノ數量

三 製造シタル鹽ノ數量

四 賣渡シタル鹽ノ數量、價額、賣渡月日及賣渡先

第三十八條、第三十九條 削除

第四十條 本令中地方專賣局ニ屬スル事務ハ地方專賣局出張所アル地方ニ於テハ地方專賣局出張所之ヲ行フ

第四十條ノ二 鹹水ノ製造ニ關シテハ第一條乃至第十一條ノ規定ヲ準用ス

附則

ヲ要ス

ヲ要ス

第四條 削除

第五條 鹽賣捌人タラムトスル者ハ第一號書式ニ據リ申請スヘシ但シ法人ニ在リテハ定款ヲ添付スルコトヲ要ス

鹽元賣捌人タル法人其ノ定款ヲ變更セムトスルトキハ專賣局長官ノ承認ヲ受ケヘシ

鹽小賣人タル法人其ノ定款ヲ變更シタルトキハ其ノ旨專賣局長官ニ届出ツヘシ

第六條 左ニ掲クル者ハ鹽元賣捌人ニ指定セララルコトヲ得ス

一 鹽專賣法第二十五條乃至第二十七條、第十九條、第三十條ノ二乃至第三十一條ニ依リ處罰又ハ處分ヲ受ケ二箇年ヲ經サル者

二 煙草專賣法第四十一條乃至第四十二條第四十八條乃至第五十條第五十二條第五十四條乃至第六十條ニ依リ處罰又ハ處分ヲ受ケ二箇年ヲ經サル者

三 粗製樟腦、樟腦油專賣法第十五條又ハ第十六條ニ依リ處罰又ハ處分ヲ受ケ二箇年ヲ經サル者

四 身代限處分ヲ受ケ債務ノ辨濟ヲ終ヘサル者又ハ家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ確定スルニ至ル迄ノ者

五 國稅滯納處分ヲ受ケ又ハ之ニ準シタル處分ヲ受ケ一箇年ヲ經サル者

六 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者若ハ禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ裁判確定スルニ至ル迄ノ者

七 第二十一條又ハ第二十一條ノ二ニ依リ鹽賣捌人ノ指定ヲ取消サレ二箇年ヲ經サル者

前項第一號乃至第三號又ハ第七號ニ該當スル者ハ鹽小賣人ニ指定セララル

前項第一號乃至第三號又ハ第七號ニ該當スル者ハ鹽小賣人ニ指定セララル



ルコトヲ得ス

法人ノ場合ニ於テハ第一項各號ノ事實ノ有無ハ法人、法人ノ業務ヲ執行スル者又ハ法人ヲ代表スル者ニ付之ヲ定ム

第七條 鹽元賣捌人ト鹽小賣人トハ互ニ相兼スルコトヲ得ス

第八條 鹽賣捌人ノ營業所ハ一人一箇所トス但シ專賣局長官ハ必要ト認めル場合ニ於テ二箇所以上ノ營業所ヲ設置シ許可シ又ハ命スルコトアルヘシ

第八條ノ二 鹽元賣捌人鹽貯藏所ヲ設置セムトスルトキハ第一號書式ノ二ニ依リ專賣局長官ニ申請シ其ノ許可ヲ受クヘシ

第九條 鹽賣捌人ハ他ノ鹽賣捌人ト其ノ營業所及鹽貯藏所ヲ同シタスルコトヲ得ス

第十條 鹽賣捌人ハ專賣局長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ其ノ營業所又ハ鹽貯藏所ヲ變更スルコトヲ得ス

第十一條 鹽賣捌人ハ左記ニ依リ算定シタル金額ヲ超エテ鹽ヲ販賣スルコトヲ得ス  
一 鹽元賣捌人ハ政府ノ賣渡シタル價格ニ營業利益及營業所又ハ鹽貯藏所ニ至ル鹽運賃ヲ加ヘタルモノ

二 鹽小賣人ハ前號ニ依リ鹽元賣捌人ノ賣渡スヘキ價格ニ營業利益及營業所ニ至ル鹽運賃ヲ加ヘタルモノ

前項ノ營業利益ノ算定方法ハ專賣局長官之ヲ定メ鹽運賃ハ地方專賣局長之ヲ認定シ鹽賣捌人ニ通知ス

第十二條 削 除  
第十三條 鹽ノ賣渡ヲ受ケムトスル者ハ其ノ種類、等級、包裝ノ區分及數量ヲ買受クル者其ノ代金納付期日迄ニ之ヲ納付セサルトキハ年六分ノ割合ヲ以テ遅延利息ヲ徵スルコトアルヘシ

第十六條 鹽元賣捌人ハ第四號及第五號書式ノ帳簿ヲ調製シ鹽ノ受拂ヲ明確ニ記載スヘシ  
鹽小賣人ハ帳簿ヲ調製シ鹽ヲ買受ケタルトキハ其ノ買受先、買受年月日並其ノ種類、等級、包裝ノ區分、數量、代金及運賃ヲ記載スヘシ

第十八條 鹽賣捌人ハ營業所ノ見易キ場所ニ其ノ販賣スル鹽ノ價格表及第七號錐形ニ據ル標札ヲ掲クヘシ  
第十八條ノ二 鹽元賣捌人鹽貯藏所ヲ設置シタルトキハ其ノ見易キ場所ニ氏名及鹽貯藏所タルコトヲ明記シタル標札ヲ掲クヘシ

第十八條ノ三 地方專賣局長ハ鹽賣捌人ノ店舗ノ設備、鹽保存ノ方法、店舗ニ備ヘ置クヘキ鹽ノ種類、等級、包裝ノ區分、數量及其ノ供給方ニ付指示スルコトヲ得

第十九條 削 除

第二十條 鹽元賣捌人ニシテ其ノ營業ヲ廢止セムトスルトキハ廢業ノ日ヨリ三十日以前ニ其ノ旨ヲ專賣局長官ニ申告スヘシ二箇所以上ノ營業所又ハ一箇所以上ノ鹽貯藏所ヲ有スル鹽元賣捌人其ノ一箇所又ハ數箇所ヲ廢止セムトスルトキ亦同シ

前項ノ期間ヲ經過セスシテ其ノ營業又ハ營業所若クハ鹽貯藏所ヲ廢止セムトスルトキハ專賣局長官ノ許可ヲ受クヘシ

鹽小賣人ニシテ其ノ營業ヲ廢止セムトスルトキハ豫メ其ノ旨ヲ專賣局長官ニ申告スヘシ二箇所以上ノ營業所ヲ有スル鹽小賣人其ノ一箇所又ハ數箇所ヲ廢止セムトスルトキ亦同シ

第二十一條 左ノ場合ニ於テ專賣局長官ハ鹽賣捌人ノ指定ヲ取消スコトヲ得

量ヲ鹽販賣官署ニ申出ツヘシ

第十四條 鹽ヲ買受クル者ハ其ノ代金納付ノ擔保トシテ國債ヲ提供シタルトキハ專賣局長官ハ三箇月以内代金ノ延納ヲ許可スルコトヲ得

外國ニ輸出シ又ハ鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル爲鹽ヲ買受クル者其ノ代金納付ノ擔保トシテ國債ヲ提供シタルトキハ其ノ輸出又ハ移出スヘキコトヲ確認シタル場合ニ限り專賣局長官ハ三箇月以内代金ノ延納ヲ許可スルコトヲ得

常時鹽ノ買受ヲ爲ス者代金納付ノ擔保トシテ國債ヲ豫メ提供シ置クトキハ專賣局長官其ノ價額ニ達スル迄代金ノ延納ヲ許可スルコトヲ得

前三項ニ依リ延納ヲ許可スルハ其ノ一回ノ買受代金三百圓以上ノ場合ニ限ル但シ鹽專賣法第十四條第二項ニ依リ指定引渡ノ場合及鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

代金納付ノ擔保ヲ提供スル者ハ無記名國債證券ヲ提供ニ在リテハ之ヲ供託シ其ノ供託物受入ノ記載アル供託書ヲ提出シ登錄國債ノ提供ニ在リテハ擔保ノ登錄ヲ受ケ其ノ登錄通知書ヲ提出スヘシ登錄國債ニシテ乙種國債登錄簿ニ登錄シタルモノハ尙記名國債證券ヲ供託シ其ノ供託物受入ノ記載アル供託書ヲ提出スヘシ

第十五條 削 除

第十六條 鹽ノ賣渡請求者其ノ賣渡ヲ受ケタルトキハ直ニ代金ヲ納付シ又ハ擔保物ヲ提供シ現品ヲ引取ルヘシ若シ五日以内ニ之ヲ引取ラサルトキハ相當保管料ヲ徵ス但シ鹽販賣官署ニ於テ契約ヲ解除シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

鹽販賣官署所在地以外ニ於テ鹽ヲ賣渡シタルトキハ買受人ハ直ニ現品ヲ引取ルヘシ

得

一 第十一條第一項ニ違反シタルトキ  
二 鹽元賣捌人第六條第一項各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキ  
三 鹽元賣捌人鹽販賣官署ヨリノ鹽買受代金一箇年三千圓未滿ナルトキ  
四 鹽元賣捌人正當ノ事由ナクシテ納付期日ヲ過キ仍鹽買受代金ヲ完納セサルトキ

五 鹽小賣人第六條第一項第一號乃至第三號ニ該當スルニ至リタルトキ  
六 鹽賣捌人正當ノ事由ナクシテ三箇月以上引續キ營業ヲ爲ササルトキ  
法人力鹽賣捌人ニ指定セラレタル場合ニ於テ前項第二號又ハ第五號ノ事實ノ有無ハ法人、法人ノ業務ヲ執行スル者又ハ法人ヲ代表スル者ニ付之ヲ定ム

第二十一條ノ二 鹽賣捌人左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス  
一 第五條第二項ニ違反シタルトキ  
二 專賣局長官ノ命シタル場所ニ營業所ヲ設置セサルトキ  
三 第九條ニ違反シタルトキ又ハ專賣局長官ノ指定シタル場所以外ニ營業所又ハ鹽貯藏所ヲ設置シタルトキ

四 本規則ニ違反シ當該官吏ノ注意ヲ受クルモ尙之ニ從ハサルトキ  
前項第一號乃至第三號ノ場合ニ於テハ罰金又ハ科料ニ處セス直ニ鹽賣捌人ノ指定ヲ取消スコトヲ得

第二十二條 鹽賣捌人死亡又ハ隱居シ其ノ營業ヲ承繼スル者ナキトキ、指定期間滿了シ引續キ指定セラレサルトキ又ハ其指定ヲ取消サレ若ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ現存スル鹽ハ事實ノ發生後三十日以内ニ鹽賣捌人ニ讓渡スコトヲ得

〔台 八〕



第二編 專賣 第二章 鹽 鹽賣捌規則

第二十三條 鹽賣捌人ノ指定申請又ハ其ノ廢止、變更ニ關スル書類ハ其ノ地所轄ノ地方專賣局又ハ其ノ出張所ニ提出スヘシ

鹽賣捌人ノ鹽買受ニ關スル請求ハ專賣局長官ノ指定シタル鹽販賣官署ニ之ヲ爲スヘシ

鹽賣捌人ニ非サル者ノ鹽買受ニ關シテハ何レノ鹽販賣官署ニ請求スルモ妨ナシ

附則

本令ハ明治四十一年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本令中鹽賣捌人ノ指定及其ノ申請ニ關スル規定ハ本令發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(第一號書式)

鹽元賣捌人(又ハ鹽小賣人)指定申請書

一 現在營業ノ種類

何々業

一 鹽賣捌營業所豫定位置

本店 府縣 郡市 町村 字 番地

支店 府縣 郡市 町村 字 番地

前記營業所ニ於テ鹽元賣捌人(又ハ鹽小賣人)ニ指定相成度申請候也

住所

年月日

氏

生年月日

名

專賣局長官宛

備考

一 會社又ハ組合ノ指定申請ニ付テハ氏名ノ箇所ニ會社名又ハ組合名ヲ記載シ代表者之ニ署名捺印シ且定款ヲ添附スヘシ

二 無能力者ノ指定申請ニ付テハ法定代理人之ニ連署捺印スヘシ

(第一號書式ノ二)

鹽貯藏所設置許可申請書

一 設置スヘキ位置

前記ノ場所ニ鹽貯藏所設置致度候ニ付許可相成度申請候也

住所

年月日

鹽元賣捌人 氏

生年月日

名

專賣局長官宛

備考

一 設置ノ場所ハ詳細ニ記述シ記述ノ足ラサル所ハ地圖ヲ添附スヘシ

二 無能力者ノ申請ニ付テハ法定代理人之ニ連署捺印スヘシ

(第二號書式)、(第三號書式) 削除

(第四號書式)

鹽買受帳

月	日	全數量	單價(一包裝ノ價格)	全價格	運賃(當百斤)	買受先
月	日					
月	日					
計						

備考

一、本帳ハ鹽ノ種類、等級、包裝毎ニ口座ヲ設クヘシ

二、補助簿其ノ他ノ方法ニ依リ賣渡先別ニ其ノ量目代金ヲ計算シ賣渡先欄ヲ省略スルコトヲ得

三、本帳ハ毎月月計ヲ付シ二箇月目ヨリハ累計ヲ付スヘシ

四、本帳ハ營業所一箇所毎ニ調製整理スヘシ

五、本帳ハ便宜横式ト爲スコトヲ妨ケス

六、本帳ハ便宜買受帳ト併合シ差引現在高欄ヲ設クルコトヲ妨ケス

(第六號書式) 削除

(第七號雛形)

○ 鹽元賣捌所 (又ハ鹽小賣所)

鹽元賣捌人(又ハ鹽小賣人) 何 某本店(又ハ何々支店)

備考

一、本標札ハ本地ノ儘トシ文字ハ墨書スヘシ

二、鹽元賣捌人ノ標札ハ横一尺縱四尺五寸トス

三、鹽小賣人ノ標札ハ横七寸縱二尺トス

累計	本月賣渡高	翌月越高

備考

一、本帳ハ鹽ノ種類、等級、包裝別ニ口座ヲ設クヘシ

二、本帳ニハ毎月月計ヲ付シ二箇月目ヨリ累計ヲ付スヘシ

尙鹽賣渡帳ノ月計ト對比シ其ノ越高ヲ記入スヘシ

三、本帳ハ營業所一箇所毎ニ調製整理スヘシ

四、本帳ハ便宜横式ト爲スコトヲ妨ケス

(第五號書式)

鹽賣渡帳

月	日	全數量	單價(一包裝ノ價格)	全價格	賣渡先
月	日				
月	日				
計					

第二編 專賣 第二章 鹽 鹽賣捌規則



○特別用鹽規則 大正五年八月八日 (總理、大藏) 勅令第百九十七號 (大臣副署)

改正 大正七年第二〇號、第四〇二號

第一條 鹽專賣法第十九條第一項第二號ノ規定ニ依リ特別定價ヲ以テ賣渡スコトヲ得ル鹽ハ左ノ用途ニ使用スルモノニ限ル

一 化學的藥品、人造色素製造用

二 石鹼製造用

三 獸皮保存用

四 鐵業、製鋼用

五 室業用

六 肥料、選種、家畜用

七 蛙、鱒、鱒、鯨、臘脂獸鹽藏用

前項第一號ニ掲ケル化學的藥品ノ種類ハ大藏大臣之ヲ定ム

第二條 鹽專賣法第十九條第一項第三號ノ規定ニ依リ特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ爲スハ左ノ場合ニ限ル

一 鹽賣捌人ニ非サル者一回ニ付一萬斤以上鹽ノ賣渡ヲ請求シタルトキ

二 鹽元賣捌人カ大藏大臣ノ定ムル制限價格以內ニ於テ鹽ノ販賣ヲ爲ササル場合ニ鹽小賣人カ鹽ノ賣渡ヲ請求シタルトキ

第三條 外國ニ輸出スル爲メハ第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スル爲メ特別定價ニ依ル鹽ノ賣渡ヲ請求スルコトヲ得ル者ハ輸出者又ハ第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スル漁獲者ニ限ル

生鮮ナル蛙、鱒、鱒、鯨又ハ臘脂獸ヲ鹽藏スル者ハ之ヲ漁獲者ト看做ス

第四條 外國ニ輸出シ又ハ第一條第一項第一號若ハ第七號ノ用途ニ使用スル爲メ賣渡シタル鹽ノ輸出數量又ハ使用數量カ賣渡數量ニ對シ正當ノ事由ナクシテ不足シタルトキ

一 外國ニ輸出スル爲メハ第一條第一項第一號若ハ第七號ノ用途ニ使用スル爲メ賣渡シタル鹽ニ付其ノ目的ヲ變更シタルトキ

二 外國ニ輸出スル爲メハ第一條第一項第一號若ハ第七號ノ用途ニ使用スル爲メ賣渡シタル鹽ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ提出スヘキ書類ヲ期間內ニ提出セサルトキ

三 外國ニ輸出スル爲メハ第一條第一項第一號若ハ第七號ノ用途ニ使用スル爲メ賣渡シタル鹽ノ輸出數量又ハ使用數量カ賣渡數量ニ對シ正當ノ事由ナクシテ不足シタルトキ

前項使用鹽ノ數量ノ計算標準ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依ル

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ專賣官署ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ追徵金ヲ徵收ス

一 外國ニ輸出スル爲メハ第一條第一項ノ用途ニ使用スル爲メ賣渡シタル鹽又ハ前條第一項第二號但書ノ規定ニ依リ變性ヲ施シタル鹽ニ付其ノ目的ヲ變更シタルトキ

二 外國ニ輸出スル爲メハ第一條第一項第一號若ハ第七號ノ用途ニ使用スル爲メ賣渡シタル鹽ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ提出スヘキ書類ヲ期間內ニ提出セサルトキ

三 外國ニ輸出スル爲メハ第一條第一項第一號若ハ第七號ノ用途ニ使用スル爲メ賣渡シタル鹽ノ輸出數量又ハ使用數量カ賣渡數量ニ對シ正當ノ事由ナクシテ不足シタルトキ

四 前條第四號又ハ第五號ノ規定ニ依リ交付金ノ下付ヲ受ケタル鹽藏魚介類ヲ輸入若ハ移入シ又ハ製成醬油ヲ輸入シタルトキ

五 虛偽ノ書類又ハ陳述ニ因リ交付金ノ下付ヲ受ケタルトキ

六 命令ノ定ムル所ニ依リ鹽ノ賣渡請求又ハ輸出申告ノ爲提出スヘキ書類ニ記載シタル輸出港、輸出先、使用場所、使用方法、漁獲物ノ種類、出漁船、鹽積載船、寄港地又ハ鹽ノ運搬方法ヲ變更シタルトキ

前項ノ追徵金額ハ第一條第一項又ハ鹽專賣法第十九條第一項第一號ノ規定ニ依リ賣渡シタル鹽ニ付テハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其ノ定價ト鹽專賣法第十八條第一項ノ規定ニ依リ賣渡定價トノ差額及其ノ五分ノ二、前條第一項ノ規定ニ依リ交付金ノ下付ヲ受ケタル鹽ニ付テハ交付金額及其ノ五分ノ二ニ相當スル金額ノ範圍內ニ於テ大藏大臣之ヲ定ム

第八條 前條ノ追徵金ニ關シテハ國稅徵收法及國稅徵收法施行規則ヲ準用ス

ル鹽ニ付テハ專賣官署ハ賣渡請求數量ニ依リ賣渡請求者ヲシテ其ノ定價ト鹽專賣法第十八條第一項ノ規定ニ依ル賣渡定價トノ差額ノ全部又ハ一部ニ相當スル擔保ヲ提供セシムルコトヲ得

第五條 第一條第一項第一號乃至第六號ノ用途ニ使用スル爲メ賣渡シタル鹽ニ付テハ專賣官署ハ其ノ用途ニ從ヒ買受人ノ費用ヲ以テ鹽ノ變性ヲ施スヘシ但シ第一條第一項第一號ノ用途ニ使用スル爲メ賣渡シタル鹽ニ付擔保ヲ提供セシメタルトキハ變性ヲ施ササルコトヲ得

第六條 第二條又ハ鹽專賣法第十八條第一項ノ規定ニ依リ賣渡シタル鹽ノ左ノ目的ニ供シタル者ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ交付金ノ下付ヲ專賣官署ニ請求スルコトヲ得

一 外國ニ輸出シタルトキ

二 第一條第一項第一號乃至第五號ノ用途ニ使用シタルトキ但シ專賣官署力使用者ノ申請ニ因リ前條ノ規定ニ準シ鹽ノ變性ヲ施シタルトキハ其ノ用途ニ使用シタルモノト看做ス

三 第一條第二項第七號ノ用途ニ使用シタルトキ

四 其ノ鹽ヲ以テ鹽藏シタル鱈、鯖、鰻、乾鰯又ハ乾鮑ヲ外國ニ輸出シ又ハ鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出シタルトキ

五 其ノ鹽ヲ以テ製成シタル醬油ヲ輸出シタルトキ

前項第一號又ハ第二號ノ場合ニ於ケル交付金額ハ鹽專賣法第十八條第一項ノ規定ニ依ル鹽ノ賣渡定價ヨリ賠償價格、購買價格又ハ生産費ヲ控除シタル金額ノ範圍內ニ於テ大藏大臣之ヲ定ム但シ内地鹽ニ付テハ大藏大臣ノ適當ト認ムル標準鹽ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ得

第一項第三號乃至第五號ノ場合ニ於ケル交付金額ハ使用鹽ノ數量ニ依リ前項ノ規定ニ準シ大藏大臣之ヲ定ム

第九條 鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽ノ特定定價賣渡及交付金下付ニ付テハ本令中外國輸出鹽ニ關スル規定ヲ、鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル第六條第一項第四號ノ鹽藏魚介類ノ交付金下付ニ付テハ本令中外國輸出鹽藏魚介類ニ關スル規定ヲ準用ス

第十條 第一條第一項第一號若ハ第七號又ハ第六條第一項第三號若ハ第四號ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ專賣官署ノ検査ヲ受クヘシ但シ專賣官署ノ検査ヲ受ケ難キ場合ニ於テハ稅務署、警察官署又ハ專賣局長官ノ適當ト認ムル官公衙ノ検査ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

附則 本令ハ大正五年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前交付金ノ下付ヲ受クヘキ事由又ハ追徵金ヲ徵收スヘキ事由ヲ生シタルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

○特別用鹽規則施行細則 大正五年八月八日 大藏省令第十九號

改正 大正七年第七號、第四五號、九年第二六號、第五四號、一〇年第一三號、一一年第四九號 昭和二年第三號

第一條 特別用鹽規則第一條第一項第一號ノ規定ニ於テ化學的藥品ト稱スルハ鹽酸、炭酸曹達、重炭酸曹達、苛性曹達、硫酸曹達、クロール、次亞クロール酸曹達、クロール酸曹達、クロールアムモニウム、クロール



亞鉛、昇汞、ニトロベンツォール、ニトロトルオール、ニトロキシロー  
ル、ニトロフエノール、ニトラニリン、アニリン、スルフォン酸、炭化  
珪素、ヒドロ亜硫酸鹽ヲ謂フ

第二條 外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第一項ノ用途ニ使用ス  
ル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケムトスル者ハ鹽ノ種類、等級、數量、目的ヲ記載シ  
タル賣渡請求書ヲ專賣官署ニ提出スヘシ但シ外國ニ輸出スルモノニ在リ  
テハ輸出港及輸出先、特別用鹽規則第一條第一項第一號ノ用途ニ使用ス  
ルモノニ在リテハ使用場所及使用方法、同規則第一條第二號乃至  
第六號ノ用途ニ使用スルモノニ在リテハ使用場所、同規則第一條第一項  
第七號ノ用途ニ使用スルモノニ在リテハ使用場所、漁獲物ノ種類、出漁  
船名、鹽積載船名、寄港地名及鹽ノ運搬方法ヲ記載スヘシ

第三條 特別用鹽規則第四條ノ規定ニ依リ提供スヘキ擔保物ハ國債トス  
無記名國債證券ヲ擔保トシテ提供スルトキハ之ヲ供託シ其ノ供託受領證  
ヲ專賣官署ニ提出スヘシ

登錄國債ヲ擔保トシテ提供スルトキハ擔保ノ登錄ヲ受ケ其ノ登錄濟通知  
書ヲ專賣官署ニ提出スヘシ乙種國債登錄簿ニ登錄シタルモノニ在リテハ  
尙記名國債證券ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ提出スヘシ

第四條 前條ニ依リ提供シタル擔保ハ其ノ鹽ヲ外國ニ輸出シ若ハ化學的藥  
品製造用、漁獲物鹽藏用ニ供シタルコトヲ證明セラレタルトキ又ハ其ノ  
不足額ニ對スル追徴金ヲ納付シタルトキ之ヲ解除ス

第五條 特別用鹽規則第五條ノ規定ニ依リ變性ハ鹽ノ重量百ニ對シ左ノ割  
合以上左記物品ノ一ヲ混和シテ之ヲ行フ

- 一 化學的藥品、人造色素製造用
- 二、五 發煙鹽酸

純硫酸	二
酸性硫酸曹達	二
硫酸曹達	三ニ純硫酸〇、二五ヲ混シタルモノ
硫酸曹達	六
苛性曹達	二、五
曹達灰	三
石灰	三
晒粉	一
滿俺鐵	一、五
酸化鐵	〇、一
鐵粉	〇、一
黑鉛	一
骸炭粉末	二
石炭粉末	二
木炭粉末	一
コールタール	〇、〇一
石油	一
色素廢液	〇、五
石鹼製造用	一
曹達灰	五
石鹼粉末	一、五
石油	〇、五
的列並油	〇、三

〔台八〕

- 椰子油 五
- 獸皮保存用 一、五
- 石鹼粉末 〇、五
- 石油 〇、五
- 四 鑛業、製鋼用
- 硫酸鐵 四
- 石灰 五
- 滿俺鐵 一、五
- 酸化鐵 〇、一
- 硫化鐵 五
- 金、銀、銅鑛ノ粉末又ハ其ノ汰物 五
- 石油 〇、五
- 木炭粉末 一、五
- 石炭粉末 二、五
- 五 窒業用
- 曹達灰 五
- 石灰 五
- 石油 〇、五
- 六 肥料、選種、家畜用
- 硫酸曹達 六ニ灰四ヲ混シタルモノ
- 石灰 五ニ灰四ヲ混シタルモノ
- 魚油 一ニ油煙〇、〇五ヲ混シタルモノ
- コールタール 〇、〇一

第六條 外國ニ輸出スル爲若ハ特別用鹽規則第一條第一項第七號ノ用途ニ  
使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽又ハ同規則第一條第一項第一號ノ用途ニ使  
用スル爲賣渡ヲ受ケ同規則第五條但書ノ規定ニ依リ變性ヲ施ササル鹽ヲ  
運搬シ又ハ貯藏スルトキハ其ノ他ノ鹽ト之ヲ區別スヘシ  
前項ノ場合ニ於テ必要ト認メタルトキハ當該官吏ハ其ノ鹽ニ封印ヲ施シ  
又ハ之ヲ護送スルコトアルヘシ

第七條 外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第一項ノ用途ニ使用ス  
ル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者賣渡請求書ニ記載シタル目的ヲ變更セムトス  
ルトキハ其ノ事由ヲ具シ賣渡專賣官署ニ變更ノ許可ヲ出願スヘシ但シ外  
國ニ輸出スル者又ハ特別用鹽規則第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スル  
者ニ讓渡セムトスルトキハ讓受人ノ連署ヲ要ス

第五條ノ規定ニ依リ變性ヲ施シタル鹽ニシテ特別用鹽規則第一條第一項  
第二號乃至第六號ノ用途中相互ノ變更ニ付テハ前項ノ出願ヲ要セス賣渡  
專賣官署ニ其ノ旨ヲ申告スヘシ

外國ニ輸出スル爲若ハ特別用鹽規則第一條第七號ノ用途ニ使用ス  
ル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ同規則第一條第一項第一號乃至第六號ノ用途ニ  
使用シ又ハ使用スル者ニ讓渡シ又ハ特別用鹽規則第一條第一項第一號ノ  
用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケ同規則第五條但書ノ規定ニ依リ變性ヲ施サ  
サル鹽ヲ同規則第一條第一項第二號乃至第六號ノ用途ニ使用シ又ハ使用  
スル者ニ讓渡スルノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テハ第五條ノ規定ヲ準用ス



第八條 外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第一項ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者賣渡請求書ニ記載シタル輸出港、輸出先、使用場所、漁獲物ノ種類、出漁船、鹽積載船又ハ鹽ノ運搬方法ヲ變更セムトスルトキハ賣渡專賣官署ニ其ノ旨ヲ申告スヘシ

特別用鹽規則第一條第一項第一號ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケ同規則第五條但書ノ規定ニ依リ變性ノ免除ヲ受ケタル者賣渡請求書ニ記載シタル使用方法ヲ變更セムトスルトキハ賣渡專賣官署ニ其ノ旨ヲ申告スヘシ其ノ使用方法ヲ變更セムトスル者ニ讓渡セムトスルトキ亦同シ此ノ場合ニ於テハ讓受人ノ連署ヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ專賣官署ノ指揮ニ依リ第五條ノ規定ニ準シ其ノ鹽ノ變性ヲ受クヘシ

第九條 外國ニ輸出スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ外國ニ輸出セムトスルトキハ其ノ輸出申告書ニ關稅法施行規則第三十四條ニ記載セル事項ノ外少クトモ鹽ノ種類、等級及內國寄港地名ヲ記載スヘシ

第十條 外國ニ輸出スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ賣渡ノ日ヨリ六箇月以內ニ左ノ書類ヲ賣渡專賣官署ニ提出スヘシ

- 一 輸出免狀又ハ外國ニ輸出シタルコトヲ證明スヘキ書類
  - 二 外國ニ陸揚シタルコトヲ證明スヘキ書類
- 專賣官署カ正當ノ事由アリト認メタルトキハ前項ノ期間ヲ一箇年迄延長スルコトヲ得

鹽ヲ輸出シタル後海難ニ因リ滅失シタル場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證明スヘキ書類ヲ以テ第一項第二號ノ書類ニ代フルコトヲ得

第十一條 特別用鹽規則第一條第一項第一號ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケ同規則第五條但書ノ規定ニ依リ變性ノ免除ヲ受ケタル者ハ鹽使用

ノ際鹽使用濟證明申請書ヲ使用地所轄專賣官署ニ提出シ當該官吏ノ立會檢査ヲ經テ鹽使用濟證明書ノ交付ヲ受クヘシ

第十二條 特別用鹽規則第一條第七號ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者漁獲物ヲ鹽藏シタルトキハ使用鹽ノ種類、等級、漁獲物ノ種類、數量、漁獲及鹽藏ノ場所及時期、漁獲物ノ仕向先ヲ記載シタル鹽使用濟證明申請書ヲ鹽藏地所轄專賣官署ニ提出シ鹽藏物ノ檢査ヲ經テ鹽使用濟證明書ノ交付ヲ受クヘシ但シ鹽專賣法施行地外ニ於テ鹽藏シタルトキハ其ノ申請書ヲ賣渡專賣官署又ハ豫メ其ノ官署ノ指定シタル專賣官署ニ提出スヘシ

前項ニ依リ鹽藏物ノ檢査ハ專賣官署所在地又ハ專賣官署ノ指定シタル地ニ於テ之ヲ行フ

專賣官署ノ證明スル鹽使用濟數量ハ鹽藏物ノ重量百ニ對シ左ノ割合ヲ以テ之ヲ計算ス但シ其ノ計算シタル鹽ノ數量カ賣渡シタル鹽ノ數量ニ超過スルトキハ其ノ賣渡數量ニ依ル

- 内地鹽ヲ使用シタルモノ
- 鹽 鮭 四十五
- 鹽 鱒 五十五
- 鹽 鱒 二十五
- 有骨開鱈 三十二
- 無骨開鱈 四十
- 遠洋ニ於テ漁獲鹽藏シタル無骨開鱈 八十
- 鹽 鮭 赤肉 二十七
- 鹽 鮭 尾羽 四十
- 鹽 漬 臘 腸 獸 百

内地鹽以外ノ鹽ヲ使用シタルモノ

- 鹽 鮭 四十三
- 鹽 鱒 五十二
- 鹽 鱒 二十四
- 有骨開鱈 三十
- 無骨開鱈 三十八
- 遠洋ニ於テ漁獲鹽藏シタル無骨開鱈 七十六
- 鹽 鮭 赤肉 二十六
- 鹽 鮭 尾羽 三十八
- 鹽 漬 臘 腸 獸 九十五

内地鹽ト内地鹽以外ノ鹽トヲ混用シタル鹽藏物ニ付テハ内地鹽ヲ使用シタルモノトシテ計算ス

第十三條 特別用鹽規則第一條第一項第一號ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケ同規則第五條但書ノ規定ニ依リ變性ノ免除ヲ受ケタル者又ハ同規則第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ賣渡ノ日ヨリ一箇年以內ニ專賣官署ノ交付シタル鹽使用濟證明書ヲ賣渡專賣官署ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ賣渡ノ日ヨリ一箇年以內ニ鹽全部ノ使用濟證明書ヲ提出スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ未使用鹽ニ付一箇年毎ニ專賣官署ノ承認ヲ申請シ未使用鹽證明書ノ交付ヲ受ケ之ヲ賣渡專賣官署ニ提出スヘシ但シ特別用鹽規則第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スルモノニ限リ其ノ未使用鹽カ鹽專賣法施行地内ニ在ルトキハ其ノ地所轄專賣官署、所轄專賣官署ノ檢査ヲ受ケ難キ場合ニ於テハ所轄稅務署、所轄專賣官署又ハ稅務署ノ檢査ヲ受ケ難キ場合ニ於テハ所轄警察官署、鹽專賣法

施行地外ニ在ルトキハ專賣局長官ノ適當ト認ムル官公衙ノ檢査ヲ經テ未使用鹽證明書ノ交付ヲ受ケ之ヲ提出シテ專賣官署ノ證明書ニ代フルコトヲ得

第十四條 外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第一項ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル鹽ヲ外國輸出及特別用鹽規則第一條第一項ノ用途以外ニ供シ又ハ供スル者ニ讓渡スルコトヲ許可スルトキハ專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其ノ定價ト鹽專賣法第十八條第一項ノ規定ニ依リ賣渡定價トノ差額及其ノ五分ノ一ニ相當スル金額ヲ追徵ス

外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル内地收納鹽以外ノ鹽ヲ同規則第一條第二號乃至第七號ノ用途ニ供スルコトヲ許可スルトキハ專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ各特別定價ノ差額ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第十五條 外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第一項ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其ノ定價ト鹽專賣法第十八條第一項ノ規定ニ依リ賣渡定價トノ差額及其ノ五分ノ二ニ相當スル金額ヲ追徵ス

- 一 許可ヲ受ケスシテ其ノ鹽ヲ外國輸出及特別用鹽規則第一條第一項ノ用途以外ニ供シ又ハ供スル者ニ讓渡シタルトキ
- 二 第十條又ハ第十三條ノ規定ニ依リ提出スヘキ書類ヲ其ノ期間内ニ提出セサルトキ

外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第七號ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者若ハ同規則第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケ同規則第五條但書ノ規定ニ依リ變性ノ免除ヲ受ケタル者ノ其ノ目的ニ供シタル鹽ノ數量カ賣渡數量ニ對シ不足シタル場合



第二編 專賣 第二章 鹽 特別用鹽規則施行細則

ニ於テ正當ノ事由チシト認メタルトキハ專賣官署ハ其ノ不足額ニ對シ前項ノ金額ヲ追徴ス

第十六條 外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第一項ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其ノ定價ト鹽專賣法第十八條第一項ノ規定ニ依ル賣渡定價トノ差額ニ相當スル金額ヲ追徴ス

一 外國ニ輸出スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ特別用鹽規則第一條第一項ノ用途ニ供シタルトキ

二 特別用鹽規則第一條第一項第一號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ外國輸出又ハ同規則第一條第一項第二號乃至第七號ノ用途ニ供シタルトキ

三 特別用鹽規則第一條第一項第二號乃至第六號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ外國輸出又ハ同規則第一條第一項第一號、第七號ノ用途ニ供シタルトキ

四 特別用鹽規則第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ外國輸出又ハ同規則第一條第一項第一號乃至第六號ノ用途ニ供シタルトキ

五 外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ外國輸出又ハ同規則第一條第一項ノ用途ニ供スル者ニ讓渡シタルトキ

六 特別用鹽規則第一條第一項第一號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル規則第五條但書ノ規定ニ依リ變性ヲ施ササル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ外國輸出又ハ同規則第一條第一項第二號乃至第七號ノ用途ニ供スル者ニ讓渡シタルトキ

- 鹽漬鰯 四十三
- 鹽漬鯖 三十四
- 鹽漬鰺 三十八
- 鹽水漬鰯及鯖 四十九
- 乾鰯 二十五
- 明鰯 四十一
- 灰鰯 二十二

特別用鹽規則第六條第一項第五號ノ規定ニ依ル製成醬油ノ使用鹽數量ハ製成醬油一石ニ對シ内地鹽四十八斤、八五ノ割合ヲ以テ計算ス但シ假置場ニ於テ製成シタル醬油ニ付テハ其ノ製成醬油一石ニ對スル使用鹽數量ノ割合ニ依ル

第二十條 特別用鹽規則第六條第一項第一號、第四號又ハ第五號ノ規定ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ其ノ輸出申告書ニ關稅法施行規則第三十四條ニ記載セル事項ノ外少クトモ鹽ノ種類、等級、鹽藏魚介類又ハ製成醬油ノ種類及內國寄港地名ヲ記載スヘシ

第二十一條 特別用鹽規則第六條第一項第一號第四號又ハ第五號ノ規定ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ交付金下付申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ之ヲ輸出港所轄專賣官署ニ提出スヘシ但シ同規則第六條第一項第四號ノ規定ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ特ニ專賣官署ノ承認ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外使用鹽檢定書ヲモ添附スヘシ

- 一 輸出免狀又ハ外國ニ輸出シタルコトヲ證明スヘキ書類
- 二 外國ニ陸揚シタルコトヲ證明スヘキ書類
- 鹽、鹽藏魚介類又ハ製成醬油ヲ輸出シタル後海難ニ因リ滅失シタル場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證明スヘキ書類ヲ以テ前項第二號ノ書類ニ代フルコト

第二編 專賣 第二章 鹽 特別用鹽規則施行細則

七 第八條ノ規定ニ違反シタルトキ

八 第二條又ハ第九條ノ規定ニ依ル鹽ノ賣渡請求書又ハ輸出申告書ニ記載シタル寄港地以外ノ內國沿岸ニ寄港シタルトキ但シ海難其ノ他已ムヲ得サル事故アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 特別用鹽規則第七條ノ規定ニ依ル追徴金ニ關シテハ國稅徵收法施行細則ヲ準用ス

國稅徵收法施行細則ニ依リ稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官吏ハ地方專賣局長又ハ地方專賣局出張所長トス

第十八條 外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第一項ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ニ關スル規定ハ其ノ鹽ノ轉得者ニ之ヲ準用ス

第十九條 特別用鹽規則第六條第一項第四號ノ規定ニ依ル鹽藏魚介類ニ對スル使用鹽ノ數量ハ鹽藏魚介類ノ重量百ニ對シ左ノ割合ヲ以テ計算ス此ノ場合ニ於テハ第十二條第三項但書、同條第四項及第二十八條第三項但書ノ規定ヲ準用ス

- 鹽漬鰯 四十六
  - 鹽漬鯖 三十六
  - 鹽漬鰺 四十
  - 鹽水漬鰯及鯖 五十二
  - 乾鰯 二十六
  - 明鰯 四十三
  - 灰鰯 二十三
- 内地鹽以外ノ鹽ヲ使用シタルモノ

トヲ得

第一項但書ノ規定ニ依ル使用鹽檢定書ノ交付ヲ請求セムトスル者ハ第二十六條又ハ第二十七條ノ規定ニ準シ鹽ノ檢定ヲ受クヘシ

第一項ノ場合ニ於テ其ノ使用鹽カ内地收納鹽以外ノモノニシテ使用鹽檢定書ヲ添附セサルモノナルトキハ交付金下付申請書ニ内地再製鹽ニ在リテハ鹽ノ種類、其ノ他ノ鹽ニ在リテハ鹽ノ種類、等級ヲ説明スヘキ書類ヲモ添附スヘシ但シ輸出製成醬油ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三項ニ依リ使用鹽ノ檢定ヲ受ケタル者ト其ノ鹽藏魚介類ノ輸出者ト異ナルトキハ第一項ノ交付金下付申請書ニ其ノ事由ヲ記載シ鹽、鹽藏魚介類又ハ魚介類ノ讓受ニ關スル證明書類ヲモ添附スヘシ

第二十二條 特別用鹽規則第六條第一項第四號又ハ第五號ノ規定ニ依リ交付金ノ下付ヲ受ケタル鹽藏魚介類又ハ製成醬油ヲ輸入シタルトキハ輸入港所轄專賣官署ニ於テ其ノ輸入者ヨリ交付金ニ相當スル金額ヲ追徴ス

前項ニ依リ追徴金ヲ納入シタル後ニ非サレハ輸入者ハ其ノ鹽藏魚介類又ハ製成醬油ヲ稅關ヨリ引取ルコトヲ得ス

第二十三條 特別用鹽規則第六條第一項第二號ノ規定ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ交付金下付申請書ニ鹽使用證明書又ハ鹽變性證明書ヲ添附シ之ヲ使用地又ハ變性地所轄專賣官署ニ提出スヘシ但シ其ノ鹽カ内地收納鹽以外ノモノナルトキハ内地再製鹽ニ在リテハ鹽ノ種類、其ノ他ノ鹽ニ在リテハ鹽ノ種類、等級ヲ證明スヘキ書類ヲモ添附スヘシ

第二十四條 前條ノ鹽使用證明書ノ交付ヲ請求セムトスル者ハ鹽使用ノ際、申請書ヲ使用地所轄專賣官署ニ提出スヘシ

前條ノ鹽變性證明書ノ交付ヲ請求セムトスル者ハ鹽使用前、申請書ヲ鹽ノ所在地所轄專賣官署ニ提出スヘシ

- 鹽、鹽藏魚介類又ハ製成醬油ヲ輸出シタル後海難ニ因リ滅失シタル場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證明スヘキ書類ヲ以テ前項第二號ノ書類ニ代フルコト







ムトスル者ハ移出申告書ヲ移出地所轄專賣官署ニ提出スヘシ  
 前項ノ申告アリタルトキハ專賣官署ハ其ノ鹽ノ數量ヲ檢定スヘシ  
**第三十四條** 漁獲者ニ非サル者生鮮ナル鮭、鱒、鱒、鯨又ハ臘肉獸ヲ鹽藏  
 セムトスルトキハ其ノ使用鹽ニ付本令中漁獲者ニ關スル規定ヲ準用ス但  
 シ第十二條及第二十八條ノ鹽使用證明ニ關スル申請書ニハ漁獲物ノ買入  
 先ヲモ記載スヘシ

附則

本令ハ特別用鹽規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○製鹽地整理ニ關スル法律

昭和四年四月五日 (總理、大藏) 法律第五十二號 (大臣副署)

**第一條** 鹽專賣法第六條ノ規定ニ依リ製鹽地ノ區域ヲ制限スル場合ニ於テ  
 ハ政府ハ鹽ノ種類、製造方法ヲ區別シテ之ヲ制限スルコトヲ得  
 製鹽地ノ區域ノ制限ニ依リ鹽ノ製造ヲ禁止シタルトキハ政府ハ禁止ノ際  
 ニ於ケル鹽製造者、製鹽地ノ所有者、現ニ鹽ノ製造ニ専用スル建物設備  
 器具器械ノ所有者ニ對シ其ノ請求ニ依リ命令ノ定ムル所ニ從ヒ交付金ヲ  
 交付ス  
 前項ノ鹽製造者ハ昭和四年三月以前ニ於テ鹽製造ノ許可ヲ受ケ製造禁止  
 ノ際現ニ其ノ製造ヲ爲ス者ニ限ル但シ昭和四年四月以後相續ニ因リ鹽ノ

製造ヲ承繼シタル場合ニ於テハ被相續人ノ受ケタル製造ノ許可ハ相續人  
ニ於テ之ヲ受ケタルモノト看做ス

昭和四年三月ニ於ケル實況ニ依リ鹽ノ製造ヲ廢止シタルモノト認ムベキ  
製鹽地ニ付テハ鹽製造者、製鹽地及之ニ附屬スル建物設備器具器械ノ所  
有者ニ對シ第二項ノ交付金ヲ交付セズ

第二條 交付金ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一 鹽製造者ニ對シテハ製鹽地一年間納付鹽賠償金額(鹹水ヲ買受ケ鹽  
ノ製造ヲ爲ス者ニ付テハ其ノ買受代金ヲ控除シタル金額)ノ三割五分  
ニ相當スル金額鹹水ヲ賣渡シタルモノアルトキハ其ノ賣渡代金ハ之ヲ  
納付鹽賠償金ト看做ス

二 製鹽地所有者ニ對シテハ製鹽地ノ價額ヨリ鹽製造禁止後ニ於ケル其  
ノ見込價額ヲ控除シタル金額

三 鹽製造専用ノ建物設備器具器械ノ所有者ニ對シテハ建物設備器具器  
械ノ價額ヨリ鹽製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額ヲ控除シタル金額

**第三條** 前條ノ納付鹽賠償金額ハ大正十四年ヨリ昭和二年ニ至ル三年ノ納  
付鹽賠償金額ノ平均ニ依リ之ヲ定ム但シ三年中鹽ノ製造ヲ繼續セザル  
年、製鹽地ノ納付鹽若ハ鹹水ノ數量ヲ區分シ難キ年又ハ納付鹽及賣渡鹹  
水ナキ年アルトキハ之ヲ除キタル年ノ納付鹽賠償金額ノ平均ニ依リ平均  
ナキトキハ其ノ除クベキ事故ナキ年ノ納付鹽賠償金額ニ依ル  
大正十四年ヨリ昭和二年ニ至ル三年共ニ前項但書ニ規定スル事故アル製  
鹽地ノ納付鹽賠償金額ハ政府之ヲ決定ス

**第四條** 製鹽地ノ價額及鹽製造禁止後ニ於ケル製鹽地ノ見込價額ハ鑑定人  
ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

昭和四年法律第五十二號施行規則

**第一條** 鹽製造ヲ禁止スベキ地域内ニ於ケル製鹽地及鹽製造ニ専用スル建  
物設備器具器械ノ所有者ハ禁止告示後三十日內ニ別記様式第一號乃至第  
三號ニ依リ其ノ物件ノ目錄ヲ所轄專賣官署ニ提出スベシ

前項ノ目錄提出後其ノ記載事項ニ増減變更アリタルトキハ其ノ都度申告  
スベシ

**第二條** 昭和四年法律第五十二號ニ依リ交付金ノ交付ヲ請求セムトスル者  
ハ鹽製造禁止後三十日內ニ別記様式第四號乃至第七號ニ依リ交付金交付  
申請書ヲ所轄專賣官署ニ提出スベシ

前項ノ申請書ニハ計算ノ基礎及必要ナル説明ヲ附記シ且別記様式第四號  
ノ申請書ニハ鹽製造許可書又ハ鹽製造承繼許可書ヲ、第五號ノ申請書ニ  
ハ土地臺帳原本ヲ、第六號ノ申請書ニハ建物ノ配置圖面ヲ添付スベシ

**第三條** 昭和四年法律第五十二號中製鹽地ト稱スルハ左ノ各號ノモノヲ謂  
フ但シ鹽製造者ノ住居ニ供用スル土地ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 採鹹地(玉土手、濱溝、水開、沼井ヲ含ム)
- 二 鹹水貯藏場敷地(鹹水溜ヲ含ム)
- 三 煎蒸場敷地
- 四 煎蒸場ト同一構内ニ於テ現ニ鹽ノ製造ニ供用スル土地
- 五 以上各號ノ土地ニ近接スル場所ニ於テ現ニ鹽ノ製造ニ供用スル土地

**第四條** 交付金ヲ交付スベキ建物ハ前條ノ製鹽地ニ於テ現ニ鹽ノ製造ニ供  
用スル左ノ各號ノモノニ限ル但シ製鹽期間中鹽製造以外ノ用途ニ兼用ス  
ルモノハ之ヲ除ク

- 一 煎蒸場及其ノ附屬建物
- 二 鹽、製鹽原料、製鹽材料、製鹽副產物又ハ製鹽用設備器具器械ノ藏

○製鹽地整理ニ關スル法律施行規則

昭和四年五月十四日 大藏省令第六號

昭和四年法律第五十二號施行規則左ノ通定ム



置場

三 鹽製造者ノ事務所、濱子部屋、修理場、製鹽検査場  
一棟ノ建物ヲ區分シ其ノ一部分ヲ前項各號ノ一ニ供用スルモノハ其ノ部  
分ニ限リ交付金ヲ交付ス

第五條 左ニ掲グル種類ニ屬スル製鹽用設備器具器械ニ付テハ交付金ヲ交  
付ス但シ其ノ數量ハ專賣局長官之ヲ決定ス

一 海水、鹹水、苦汁ノ濃縮装置及之ト聯接スル装置  
二 原動機關(附屬唧筒共)、溶解槽、沈澱槽、結晶槽及其ノ据付装置、  
傳動装置、汽管、水管

三 淡水、海水、鹹水、苦汁ノ汲揚、排除又ハ輸送装置(水車ヲ含ム)

四 海水、鹹砂、鹹水、鹽、苦汁ノ貯藏用容器及其ノ据付装置

五 海水、鹹水、苦汁ノ濾過装置

六 鐵釜、石釜

七 竈、煙道、煙突、蒸氣拔

八 岸先場、居出場、貯鹽設備

九 鹽、鹽土、製鹽材料又ハ製鹽副産物ノ運搬装置

第六條 左ニ掲グル種類ニ屬スル製鹽用器具ニシテ交付金ヲ交付スベキ品  
目及其ノ數量ハ專賣局長官之ヲ決定ス

一 鹽田地盤、沼井、鹹水溜ノ修理ニ用フルモノ

二 鹽田面ノ爬起ニ用フルモノ

三 撒砂ノ撒布、播均シニ用フルモノ

四 撒潮ニ用フルモノ

五 鹹砂ヲ集ムルニ用フルモノ

六 鹹砂ノ掘込ニ用フルモノ

七 鹹砂ヲ均スニ用フルモノ  
八 鹹水ノ浸出ニ用フルモノ  
九 鹹水ヲ集ムルニ用フルモノ  
十 鹹砂ノ掘出シニ用フルモノ  
十一 鹹水、苦汁ノ注入ニ用フルモノ  
十二 釜中ノ泡、石灰ノ除去ニ用フルモノ  
十三 釜中ノ鹽ノ播集メ、掘出シニ用フルモノ  
十四 鹽揚又ハ苦汁ノ除去ニ用フルモノ  
十五 鹽割、鹽切ニ用フルモノ  
十六 鹽ヲ運ブニ用フルモノ  
十七 鹽ノ秤量、包裝ニ用フルモノ  
十八 燃料ヲ焚クニ用フルモノ  
十九 濾過材料ノ篩別、取替ニ用フルモノ  
二十 釜掃除ニ用フルモノ  
二十一 製鹽用設備器具器械ノ修理ニ用フルモノ  
二十二 製鹽検査ニ用フルモノ  
第七條 建物設備器具器械ノ所有者ニシテ交付金ノ交付ヲ請求セムトスル者鹽  
製造禁止告示後建物設備器具器械ヲ修繕、改造又ハ増設セムトスルトキハ所  
轄專賣官署ノ承認ヲ受クベシ此ノ場合ニ於テ其ノ價額ヲ増加シタルトキ  
ハ其ノ部分ニ對シ交付金ヲ交付セズ  
第八條 製鹽地建物設備器具器械ノ所有者ニシテ交付金ノ交付ヲ請求セム  
トスル者鹽製造禁止後其ノ物件ヲ讓渡シ又ハ其ノ位置、形狀ヲ變更セム  
トスルトキハ所轄專賣官署ノ承認ヲ受クベシ其ノ請求ヲ爲シタル者亦同  
ジ

相續ニ因リ前項ノ物件ヲ取得シタル者ハ直ニ其ノ旨ヲ所轄專賣官署ニ申  
告スベシ

相續ニ因リ昭和四年法律第五十二號第二條第一號ノ交付金ノ請求又ハ受  
領ヲ爲サムトスル者亦前項ニ同ジ

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ當該物件ニ付テハ交付金ヲ  
交付セズ

一 第七條又ハ第八條第一項若ハ第二項ノ規定ニ違反シタルトキ

二 交付金ヲ交付スベキ物件ガ之ニ對シ交付金額決定前ニ滅失シタル  
トキ又ハ甚シク毀損シテ其ノ效用ヲ失ヒタルトキ

前項ノ規定ハ正當ノ事由ナクシテ第二條ニ定メタル期間ニ交付金交付申  
請書ヲ提出セザル場合ニ之ヲ準用ス

第十條 昭和四年法律第五十二號第二條第一號ノ鹹水買受又ハ賣渡代金及

第三條第二項ノ納付鹽賠償金額ハ專賣局長官之ヲ決定ス

第十一條 昭和四年法律第五十二號第四條ノ鑑定人ハ二人以上トシ專賣局  
長官之ヲ選定ス

前項ノ鑑定人ハ少クトモ其ノ半數ヲ專賣官吏以外ノ者ヨリ選定スベシ

第十二條 所轄專賣官署ハ製鹽地ニ關スル左ノ事項ヲ鑑定資料トシテ鑑定  
人ニ提示スベシ

一 昭和四年法律第五十二號第三條ニ依ル納付鹽賠償金額

二 土地賃賃價格調査法ニ依リ決定シタル製鹽地ノ賃賃價額

三 製鹽地ノ實際ノ賃賃價額

四 附近ニ於ケル類地賣買ノ實例

鑑定人昭和四年法律第五十二號第四條ノ製鹽地ノ價額ヲ鑑定シタルトキ  
ハ其ノ計算ノ基礎ヲ明ニスベシ

第二編 專賣 第二章 鹽 製鹽地整理ニ關スル法律施行規則

第十三條 鹽製造禁止後利用ノ爲加工ヲ要スル製鹽地ニ在リテハ成工後ノ  
見込價額ヨリ見込工費及成工後ノ見込價額ヨリ見込工費ヲ減ジタル金額  
ニ對スル成工見込期間ニ於ケル年五分ノ利ヲ減ジタル金額ヲ以テ製造  
禁止後ニ於ケル製鹽地ノ見込價額トシテ鑑定スベシ

第十四條 昭和四年法律第五十二號第四條ノ決定ハ專賣局長官之ヲ爲ス  
前項ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ決定書ヲ作り之ヲ申請者ニ交付スベ  
シ

第十五條 前條ノ決定ニ對シ不服ノ申立ヲ爲サムトスル者ハ決定書受領ノ  
日ノ翌日ヨリ起算シ十日内ニ不服ノ事由ヲ具シ專賣局長官ヲ經テ大藏大  
臣ニ裁定ノ請求ヲ爲スベシ

第十六條 大藏大臣前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ第十一條ニ依リ選定シタ  
ル鑑定人以外ノ者ヨリ二人以上ノ鑑定人ヲ選定シ再鑑定ヲ爲サシム

前項ノ鑑定人ハ少クトモ其ノ半數ヲ專賣官吏以外ノ者ヨリ選定ス

大藏大臣前條ノ請求ニ對シ裁定ヲ爲シタルトキハ其ノ裁定書ヲ作り之ヲ  
申請者ニ交付ス

第十七條 鑑定人ノ意見一致セザルトキハ各鑑定人ノ鑑定シタル價額ノ平  
均ヲ以テ鑑定價額トス

第十八條 政府ハ鑑定人ヲシテ自己、親族又ハ後見雇備同居其ノ他利害關  
係アル者ノ利害關係ヲ有スル物件ニ付鑑定ヲ爲サシメザルコトヲ得

第十九條 昭和四年法律第五十二號第六條但書ニ依リ鹽製造者ニ對シ現金  
ヲ以テ交付スル額ハ總交付金額ノ七分ノ六トス

第二十條 交付金ノ交付請求者ニ對シ交付金ヲ交付セムトスルトキハ專賣  
局長官ハ別記様式第八號ニ依リ交付金交付通知書ヲ發スベシ

第二十一條 鹽製造ヲ禁止シタル際鹽製造者ノ所有スル鹹水ハ所轄專賣官

第二編 專賣 第二章 鹽 製鹽地整理ニ關スル法律施行規則



第二編 專賣 第二章 鹽 製鹽地整理ニ關スル法律施行規則

署ノ認可ヲ受ケ其ノ指定シタル期間ニ限リ之ヲ製鹽スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ製鹽造者ハ遲滞ナク其ノ數量、焚上期間及製鹽造見込高ヲ申告スベシ

製鹽造ヲ禁止シタル際現存スル未納付鹽ハ禁止後二日內ニ、前項ニ依リ製造シタル鹽ハ製造後五日內ニ所轄專賣官署ニ其ノ數量ヲ申告シ其ノ指定シタル期日內ニ之ヲ納付スベシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別記

第一號様式

製鹽地目錄		昭和何年何月何日		何府何郡何町何大字何字何何番地	
專賣局長官宛		何縣何市何村何		某印	
製鹽造者氏名	製造方法	種類	製鹽地場所	番地目	段
					町
					別

備考

一 種類欄ニハ煎熬場敷地、鹽貯藏場敷地、鹹水貯藏場敷地、採鹹地等ノ區分ヲ記入スベシ但シ同一地番內ニ在ルモノハ其ノ種類ヲ併記スルモ妨ナシ

二 製造者又煎熬場ヲ異ニスル毎ニ煎熬場敷地、鹽貯藏場敷地、鹹水貯藏場敷地、採鹹地等ヲ區分スベシ

三 製鹽地場所欄ニハ市町村大字字及釜屋名ヲ記入スベシ

四 二以上ノ專賣官署ノ所屬區域ニ涉リ製鹽地ヲ有スル者ニ在リテハ本目錄末尾ニ他ノ目錄提出官署名ヲ朱記スベシ

第二號様式

鹽製造專用建物目錄		昭和何年何月何日		何府何郡何町何大字何字何何番地	
專賣局長官宛		何縣何市何村何		某印	
鹽製造者氏名	製造方法	建物場所種類	構造棟數	坪數	建設費
					建設年月
					年月

備考

- 一 建物場所欄ニハ市町村大字字地番及釜屋名ヲ記入スベシ
- 二 種類欄ニハ煎熬場、鹽貯藏場、鹹水貯藏場等ノ區分ヲ記入スベシ
- 三 構造欄ニハ階數(平屋建、二階建)、屋根(瓦葺、板葺、柿葺、杉皮葺、草葺、葎、鐵板葺等)、骨組(木造瓦張、木造板張、木造塗屋、煉瓦造、コンクリート造、石造、土造、簀ノ子張造)板、葎、葎、竹ノモ、伏小屋造(骨組及屋根ヲ含ム等)ノ區分ヲ記入スベシ
- 四 坪數欄ニハ右傍ニ建坪數ヲ、左傍ニ延坪數ヲ記入スベシ
- 五 二以上ノ專賣官署ノ所屬區域ニ涉リ建物ヲ有スル者ニ在リテハ本目錄末尾ニ他ノ目錄提出官署名ヲ朱記スベシ

第三號様式

鹽製造專用設備器具器械目錄		昭和何年何月何日		何府何郡何町何大字何字何何番地	
專賣局長官宛		何縣何市何村何		某印	
鹽製造者氏名	造煎熬場所種類	品目	箇數	現在新調又ハ新調又ハ場所購入費	購入年月

第四號様式

昭和四年法律第五十二號第二條第一號交付金交付申請書

昭和四年法律第五十二號第二條第一號ノ交付金交付相成度同年大藏省令第六號第二條ニ依リ申請候也

(何通ノ内第何號何枚)

第二編 專賣 第二章 鹽 製鹽地整理ニ關スル法律施行規則



昭和何年何月何日

何府何郡何町大字何字何番地

專賣局長官宛

何

某

鹽製造者住所氏名

何府何郡何町大字何字何番地

某

煎 蒸 場 場 所

何縣何市何町大字何字何番地

製 造 許 可 年 月 日

何年何月何日

昭和四年三月以前製造承繼年月日

何年何月何日

昭和四年四月以後相續ニ因ル承繼年月日

昭和何年何月何日

製 造 方 法

入濱(揚濱)鹽田臺取(箕取)直接火力使用(餘熱利用)又ハ海水直煮製鹽

自 作 小 作 區 分

年 納 付 鹽 量

月 納 付 鹽 量

氏 當該製鹽地ニ於ケル 鹽製造者 名

納 付 鹽 量 賠 償 金 額 數

斤 圓

賣 渡 鹹 水 量 賣 渡 代 金 數

石 圓

買 受 鹹 水 量 買 受 代 金 數

石 圓

差 引 金 額

大正十四年

至 自 何 何 月 月

至 自 何 何 月 月

至 自 何 何 月 月

至 自 何 何 月 月

計

甲 某

大正十五年

至 自 何 何 月 月

至 自 何 何 月 月

至 自 何 何 月 月

計

乙 某

至 自 何 何 月 月

至 自 何 何 月 月

至 自 何 何 月 月

計

丙 某

製鹽地段別異動其  
ノ他事故欄

申請者 己 某 人

備考

- 一 本申請書ハ煎蒸場毎ニ調製シ二通以上ノ申請書ヲ提出スベキトキハ提出官署毎ニ各種申請書ヲ通ジタル總通數及番號ヲ附記スベシ
- 二 法定代理人又ハ委任ニ因ル代理人ニ依リ本申請書ヲ爲ストキハ其ノ權限ヲ證スベキ書類ヲ添附スベシ
- 三 相續ニ因リ本申請書ヲ爲ストキハ相續ノ事實ヲ證スベキ書類ヲ添附スベシ
- 四 本申請書ニハ其ノ紙數ヲ附記シ二枚以上ニ涉ルトキハ其ノ綴目ニ契印スベシ
- 五 本申請書ニハ鹽製造又ハ承繼許可書類ヲ添附スベシ
- 六 鹽製造者住所氏名欄ニハ製造禁止ノ際ニ於ケル製造者ノ住所氏名ヲ記入スベシ但シ申請者ト同一人ナルトキハ之ヲ省略スルコトヲ得
- 七 煎蒸場所欄ニハ釜屋名ヲ附記スベシ
- 八 自作小作區分欄ニハ採鹹地ノ自作區分ニ依リ記入スベシ
- 九 賣渡鹹水及買受鹹水ニ付テハ其ノ賣渡先又ハ買受先毎ニ年月日數量代金ヲ區分シタル明細書ヲ添附スベシ
- 十 差引金額欄ニハ納付鹽賠償金額ト鹹水賣渡代金トノ合計金額ヨリ鹹水買受代金ヲ控除シタル殘額ヲ記入スベシ
- 十一 製鹽地段別異動其ノ他事故欄ニハ大正十四年ヨリ昭和二年ニ至ル間ノ製造禁止當時ニ對比シタル製鹽地ノ異動、製鹽不繼續其ノ他當該製鹽地ノ納付鹽若ハ鹹水ノ數量ノ區分シ難キニ至リタル事故等ヲ記入説明スベシ



第二編 專賣 第二章 鹽 製鹽地整理ニ關スル法律施行規則

- 十二 本申請書ニハ製造禁止ノ際ニ於ケル從業者ノ氏名、稱呼、雇傭區分、雇入年月、給額及交付金分與見込額ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ
- 十三 二以上ノ專賣官署ノ所屬區域ニ涉リ製鹽スル者ニ在リテハ本申請書末尾ニ他ノ申請書提出官署名ヲ朱記スベシ
- 十四 本申請書ヲ郵便ニテ差出ス場合ニ於テハ書留郵便ト爲スヲ要ス
- 十五 本申請書ニハ申請者、法定代理人、委任者及受任者ノ印鑑證明ヲ添附スベシ但シ同一官署ニ提出シタル他ノ申請書ニ添附シタルトキハ之ヲ略シ其ノ旨ヲ附記スベシ

第五號様式

昭和四年法律第五十二號第二條第二號製鹽地交付金交付申請書

(何通ノ内第何號何枚)

昭和三十四年法律第五十二號ニ依リ製鹽地ニ對スル交付金交付相成度同年大藏省令第六號第二條ニ依リ申請候也  
 昭和三十四年何月何日  
 專賣局長官宛  
 何府何郡何町何字何番地  
 何府何郡何町何字何番地  
 何府何郡何町何字何番地  
 何府何郡何町何字何番地  
 何府何郡何町何字何番地

種類	製鹽地	地番地目	段	別	製鹽地見積價額	禁止後(加工後)見込用途	禁止後(加工後)見込價額	加工ヲ要スルモノノ成工見込期間	見込工費	成工後見込價額
場所										
自作	小作	區分	法							
				町	町	町	町	町	町	町

備考

- 一 本申請書ハ煎熬場毎ニ調製シ二通以上ノ申請書ヲ提出スベキトキハ提出官署毎ニ各種申請書ヲ通ジタル總通數及番號ヲ附記スベシ
- 二 法定代理人又ハ委任ニ因リ代理人ニ依リ本申請書ヲ爲ストキハ其ノ權限ヲ證スベキ書類ヲ添附スベシ
- 三 相續ニ因リ本申請書ヲ爲ストキハ相續ノ事實ヲ證スベキ書類ヲ添附スベシ
- 四 本申請書ニハ其ノ紙數ヲ附記シ二枚以上ニ涉ルトキハ其ノ綴目ニ契印スベシ
- 五 本申請書ニハ土地臺帳謄本ヲ添附スベシ
- 六 所有者住所氏名欄ニハ製造禁止ノ際ニ於ケル所有者ノ住所氏名ヲ記入スベシ但シ申請者ト同一人ナルトキハ之ヲ省略スルコトヲ得
- 七 煎熬場所欄ニハ釜屋名ヲ附記スベシ
- 八 自作小作區分欄ニハ採鹹地ノ自作區分ニ依リ記入スベシ
- 九 種類欄ニハ煎熬場敷地、鹽貯藏場敷地、鹹水貯藏場敷地、採鹹地等ノ區分ヲ記入スベシ但シ同一地番内ニ在ルモノハ其ノ種類ヲ併記スルモ妨ナシ
- 十 一筆中交付金ヲ交付スベカラザル部分アルトキハ其ノ交付スベキ部分ノ段別ヲ内書朱記スベシ
- 十一 製鹽地見積價額欄ニハ製造禁止ノ際ニ於ケル其ノ見積價額ヲ、禁止後(加工後)見込價額欄ニハ禁止後製鹽地ヲ其ノ儘利用シ得ルモノニ付テハ其ノ見込價額ヲ、加工ノ上利用スルモノニ付テハ第十三條ノ規定ニ依リ計算シタル禁止後ノ見込價額ヲ、成工見込期間欄ニハ加工著手後成熟ニ至ルマデノ年月數ヲ、成工後見込價額欄ニハ成熟シタルトキノ見込價額ヲ記入スベシ
- 十二 製鹽地見積價額以下ノ各欄ハ一括シテ記入スルモ妨ナシ
- 十三 二以上ノ專賣官署ノ所屬區域ニ涉リ製鹽地ヲ有スル者ニ在リテハ本申請書末尾ニ他ノ申請書提出官署名ヲ朱記スベシ
- 十四 本申請書ヲ郵便ニテ差出ス場合ニ於テハ書留郵便ト爲スヲ要ス
- 十五 本申請書ニハ申請者、法定代理人、委任者及受任者ノ印鑑證明ヲ添附スベシ但シ同一官署ニ提出シタル他ノ申請書ニ添附シタルトキハ之ヲ略シ其ノ旨ヲ附記スベシ

第二編 專賣 第二章 鹽 製鹽地整理ニ關スル法律施行規則











(注意)

- 一 受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印シ公債領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ取扱店ニ差出シ公債ノ交付ヲ受クベシ
- 一 受取人ガ代人ヲ以テ公債ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ本人ニ於テ本書委任欄内ニ適宜ノ事項ヲ記載シ記名捺印スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出スベシ此ノ場合ニ於テ代人ハ本書ニ代人タル肩書ヲ附シ記名捺印スベシ
- 一 受取人ノ印章ハ交付金交付申請書ニ添附シタル印鑑ト同一ノモノニ限ル

印紙

委任狀

表記公債ノ受取方ヲ

ニ委任候也

昭和年月日

(住所氏名)印

○鹽製造禁止區域

昭和四年五月二十五日 大藏省告示第八十五號

鹽專賣法第六條及昭和四年法律第五十二號第一條第一項ノ規定ニ依リ昭和四年九月三十日限り左ノ區域ニ於テ鹽ヲ製造スルコトヲ禁止ス但シ副産鹽及再製鹽ヲ製造スルハ此ノ限ニ在ラズ

宮城縣

桃生郡 野蒜村

鹿鹿郡

渡波町大字根岸字前三句、石田釜、明神釜、岸釜

千葉縣

稻井村大字流留字家ノ前

東葛飾郡

石川縣

珠洲郡

(西海村大字高屋、笹波、馬糶、大谷、長橋、片岩、清水、仁江、眞浦ヲ除ク)

愛知縣

鳳至郡 (町野村ヲ除ク)

寶飯郡

鹽津村(大字竹谷字太田新田、西ノ濱二十番地、二十番地ノ十、梅敷一番地ノ七、二番地ノ八十四、十番地ノ一、十番地ノ三、十二番地ノ四、十六番地ノ一ノ内字太田新田製鹽地ニ屬スル煎熬場其ノ他ノ敷地、濱田八番地ノ一ノ内字太田新田六番地ノ四十三製鹽地ニ屬スル煎熬場其ノ他ノ敷地、前濱六番地ノ一、二十

(台八)

(台八)

五番地ノ二、二十八番地ノ一、濱家、油井十四番地ノ一ノ内字太田新田六番地ノ二十五及六番地ノ二十六製鹽地ニ屬スル煎熬場其ノ他ノ敷地、十五番地ノ一、大字拾石ヲ除ク)

形原町

幡豆郡

幡豆町

吉田町大字白濱新田字南切三十番地乃至四十番地、北切十二番地、三十八番地乃至四十七番地、大字吉田字取濱、高島新田

一色町大字生田字眞野新田、竹生新田一番地ノ二、一番地ノ八、一番地ノ七十三乃至一番地ノ八十九、一番地ノ百十四乃至一番地ノ百二十四、一番地ノ百二十六乃至一番地ノ百三十八、一番地ノ百五十、一番地ノ百五十二、一番地ノ百七十六乃至一番地ノ百八十、一番地ノ百八十二、一番地ノ二百十三、二番地ノ一、二番地ノ七、二番地ノ八、二番地ノ十乃至二番地ノ二十九、二番地ノ八十乃至二番地ノ八十二、三番地ノ一乃至三番地ノ六、大字細川字大岡

兵庫縣

印南郡

伊保村

曾根町字渡シ場、七軒、立場  
大鹽町字元録千九百七十七番地ノ一、千九百七十八番地、千九百七十九番地、千九百八十一番地、千九百八十二番地、千九百八十四番地、千九百八十五番地、千

飾磨郡

英賀保村

津田村

八木村八家、木場字前六反、前七反、千四百六十三番地  
白濱村字甲万代新開、乙万代新開、丙万代新開、丁万代新開、高須、北濱、十八反丙四百四十四番地乃至丙四百六十四番地

赤穂郡

赤穂町加里屋字磯、加藤、江戸千百十九番地

鹽屋村折方字シダ島

新濱村字中郷千六百七十九番地ノ一、千六百八十一番地、千六百八十二番地

尾崎村字明神木三千百七十一番地ノ一、本水尾三千七十四



番地ノ一、三千七十六番地乃至三千七十八番地、三千百九番地、三千百一十一番地乃至三千百十四番地、三千百十八番地ノ一、三千百十九番地、三千百二十一番地乃至三千百二十五番地、三千百二十六番地ノ一、沼リ水尾三千七十三番地ノ一、東海水尾三千五番地、三千六番地ノ一、三千七番地、三千八番地ノ一、三千十番地ノ一、三千十番地ノ二、三千十三番地、三千七百三十三番地

德島縣

德島市

新濱町、齋田町字西濱、東開一番地五番地十四番地合併、三番地、十五番地、二十三番地、八十五番地ノ一、八十五番地ノ二、八十八番地、八十九番地ノ一、九十一番地、百六番地ノ二、百六番地ノ五、百二十番地

名東郡

八万村

板野郡 撫養町立岩字元地十三番地、十四番地、三十七番地、三十九番地ノ一、三十九番地ノ二、四十番地、四十一番地、辨財天字三ツ井丁、派名、北濱字宮ノ東一番地、十番地ノ二、十二番地ノ三、十六番地、十八番地、二十番地、二十一番地、二十二番地ノ一、二十二番地ノ二、二十三番地ノ二、二十四番地ノ一、二十四番地ノ二、二十七番地、二十八番地ノ一、二十九番地、三十番地、三十一番地、三十六番地ノ一、三十八番地、齋田字大堤(十七番地ノ一、十七番地ノ二、十

香川縣

高松市

八番地ヲ除ク、南濱(字東濱二十四番地、二十五番地ノ一、二十五番地ノ二、二十七番地、二十九番地ノ一、二十九番地ノ二、三十番地、三十一番地ノ一、三十一番地ノ二、三十二番地、三十四番地、三十五番地ノ一、三十五番地ノ二ヲ除ク)  
瀬戸町小島田、明神字二軒家  
鳴戸村高島字山路百七番地、百九番地ノ一、百九番地ノ二、百九番地ノ二ノ二

丸龜市

沖松島百九十八番地乃至三百七十八番地、四百七十七番地、西濱町四百六番地ノ七、四百六番地ノ三ノ内四百六番地ノ七製鹽地ニ屬スル煎熬場其ノ他ノ敷地  
塩屋字外濱(八百二番地ノ二乃至八百二番地ノ十九ヲ除ク)

綾歌郡

坂出町字中筋

小豆郡

草壁町

安田村

四海村

土庄町字畝木東、吉ヶ浦

三豐郡 詫間村大字詫間字大新田、黒淵、大塚、新濱、城下、前山、柳添、塩生ヶ原六千五十三番地ノ三、六千五十四番地、六千五十五番地、古濱六百二十四番地、六百二十五番地、六百二十八番地、甲六百二十九番地ノ一、

[台八]

木田郡

庵治村

古高松村

屋島村大字西湯元字宮西、古濱

木太村字西濱(四千五百八十三番地ヲ除ク)

甲六百二十九番地ノ二  
香川郡 弦打村大字郷東字新開(五百八十七番地五百八十八番地五百八十九番地五百九十三番地合併、五百九十一番地ノ一、五百九十二番地合併ヲ除ク)

愛媛縣

新居郡

垣生村

神郷村

多喜濱村大字阿島字三喜濱、大字黒島字三喜濱、大字多喜濱字西濱

福岡縣

京都郡

小波瀬村

企救郡

曾根村

長崎縣

北松浦郡

今福村

大分縣

下毛郡

櫻洲村

宇佐郡

天津村

八幡村大字下乙女

高家村大字下高家字南塩田、北塩田、西濱、大字濱高家字龍宮廻

西國東郡

西眞玉村

吳崎村

封戸村大字水崎字蓬來丸千五百十九番地、千五百二十二番地  
和間村大字岩保新田字中東百三番地乃至百五番地、百六番地ノ二、百十番地、百二十八番地ノ二、大字松崎字肥塚二千四百九十一番地ノ一乃至二千四百九十一番地ノ三、二千四百九十一番地ノ十二乃至二千四百九十一番地ノ十七、二千四百九十二番地ノ七乃至二千四百九十二番地ノ十二、大磯

鹿兒島縣

始良郡

重富村

加治木町

敷根村大字麓、下井字州崎

東國分村大字小字内濱、大字湊字寶濱千四百十八番地ノ一

肝屬郡

○大藏省告示第二百二十六號 (昭和五年六月十六日)

鹽專賣法第六條及昭和四年法律第五十二號第一條第一項ノ規定ニ依リ昭和



五年九月三十日限り左ノ區域ニ於テ鹽ヲ製造スルコトヲ禁止ス但シ副産鹽及再製鹽ヲ製造スルハ此ノ限ニ在ラズ  
岡山縣

邑久郡 牛窓町

兒島郡 味野町字ウツ、前、角、八軒岡、八軒沖、八軒北、スサキ、

小釜、柳田、大下、二軒、貳軒、三軒、四軒、端

赤崎村大字赤崎字北竈屋、沖竈屋、柳田竈屋、天神竈屋、

角竈屋、天神沖、南字手、字野津、新竈屋二千八百

七十四番地、二千八百七十五番地

琴浦町大字下村字宮ノ下、和井田前千五百六十二番地ノ一、

千五百六十七番地乃至千五百六十九番地、千五百七

十番地ノ一、千五百七十番地ノ二、千五百七十一番

地乃至千五百七十三番地、大字田ノ口(字隅、沖、

水門、高、紺屋、明石ヲ除ク)、引網

宇野町大字田井字廣湯、大字宇野字古鹽濱

山田村大字後閑、大藪、沼、山田字南鹽濱、南鹽濱ノ内

胸上村大字東田井地、梶岡、胸上字西濱南二千六百七十番

地ノ一、字東濱

鉾立村

小田郡 神島内村

廣島縣

御調郡 向島東村字小千濱、藏本谷沖、沖新開

向島西村字二軒濱

吉和村

沼隈郡 田熊村

千年村

百島村

高須村

山波村

忠海町

吉名村

木谷村

東野村

中野村字塔越

南生口村大字御寺字元濱、村沖

東生口村大字洲江

早田原村

竹原町字吉良崎、本川、北堀千五百二十二番地、千五百二

十三番地、千五百二十六番地、千五百三十一番地ノ

二、千五百三十二番地ノ一、千五百三十三番地ノ一

山口縣

熊毛郡 平生町大字平生町字長濱第五百三十六番地乃至第五百四十

三番地、第五百四十四番地ノ一、第五百四十四番地

ノ二、第五百四十五番地ノ一、第五百四十五番地ノ

二、第五百四十五番地ノ四及以上土地地先官有地、

字角濱第五百四十六番地ノ一、第五百四十六番地ノ

四、第五百四十七番地、第五百四十八番地、第五百五

十一番地乃至第五百五十四番地及以上土地地先官有

地、字湊ノ内第十五番地乃至第十九番地及以上土地  
地先官有地

曾根村字御開作七番濱、御開作八番濱、御開作九番濱

麻郷村大字麻郷字菊屋、大黒屋

麻里府村

伊保庄村字高須濱

大島郡 小松町大字小松字御開作

都濃郡 下松町(大字東豊井字新崎、大字西豊井字重本屋、村重屋、

三谷屋ヲ除ク)

末武南村大字末武下字西沖、大字平田字東湖上

徳山町

富田町字小川屋開作、野村開作、道源開作

佐波郡 中關町大字濱方字古濱横入川

吉敷郡 秋穂二島村字北濱西ノ切、高須、沖西濱西ノ切、沖西濱東ノ

切、東濱沖ノ切、東濱北ノ切、北濱東ノ切

佐山村 佐山村字濱附一、二千四百三十七番地乃至二千四百四十

二番地、二千四百四十八番地、二千四百五十九

番地、字濱附三、二千四百九十四番地乃至二千五

百一番地、二千四百九十五番地及二千四百九十

八番地ノ地先官有地、二千五百九番地、二千五

百十一番地、二千五百十三番地

香川縣

丸龜市 西平山町、北平山町

香川郡 直島村字東風戸

第二編 專賣 第二章 鹽 製鹽地整理ニ關スル法律

小豆郡 淵崎村(大字淵崎字宮下濱ヲ除ク)

愛媛縣

越智郡 岩城村字船越

### ○製鹽地整理ニ關スル法律

明治四十三年四月七日 (總理、大藏  
法律第四十八號) (大臣副署)

第一條 鹽專賣法第六條及第四十條ノ二ニ依リ鹽又ハ鹹水ノ製造區域ヲ制  
限スル場合ニ於テハ政府ハ鹽又ハ鹹水ノ種類、製造方法ヲ區別シテ之ヲ  
制限スルコトヲ得

鹽又ハ鹹水製造區域ノ制限ニ依リ鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ禁止シタルトキハ  
政府ハ禁止ノ際ニ於ケル鹽又ハ鹹水ノ製造者、製鹽地ノ所有者、現ニ鹽  
又ハ鹹水ノ製造ニ専用スル建物設備器具器械ノ所有者ニ對シ其ノ請求ニ  
依リ命令ヲ定ムル所ニ從ヒ交付金ヲ下付ス

前項ノ鹽又ハ鹹水ノ製造者ハ明治四十二年十二月以前ニ以テ鹽又ハ鹹水  
製造ノ許可ヲ受ケ製造禁止ノ際現ニ其ノ製造ヲ爲ス者ニ限ル但シ相續ニ  
因リ鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ承繼シタル場合ニ於テハ被相續人ノ受ケタル製  
造ノ許可ハ相續人ニ於テ之ヲ受ケタルモノト看做ス



明治四十二年十二月ニ於ケル現狀ニ依リ鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ廢止シタルモノト認ムヘキ製鹽地及之ニ附屬スル建物設備器具器械ニ付テハ第一項ノ交付金ヲ下付セシム

明治四十二年十二月以前ニ於テ鹽又ハ鹹水ノ製造ニ著手セサル製鹽地及之ニ附屬スル建物設備器具器械ニ付テハ前項ニ同シ但シ明治四十二年十二月以前ニ於テ工事ニ著手シタル製鹽地又ハ製鹽地ニ附屬シタル建物設備器具器械ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二條 交付金ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一 鹽製造者ニ對シテハ其ノ一年間納付鹽賠償金額ノ二割ニ相當スル金額  
二 鹹水製造者ニ對シテハ其ノ一年間鹹水賣渡代金ノ二割ニ相當スル金額

三 製鹽地所有者ニ對シテハ製鹽地ノ價額ヨリ鹽又ハ鹹水製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額ヲ控除シタル金額  
四 鹽又ハ鹹水製造専用ノ建物設備器具器械ノ所有者ニ對シテハ其ノ建物設備器具器械ノ價額ヨリ鹽又ハ鹹水製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額ヲ控除シタル金額

第三條 前條製鹽地ノ價額ハ其ノ製鹽地納付鹽賠償金額ノ百分ノ十一ノ二倍ニ相當スル金額トス

第四條 前二條ノ納付鹽賠償金額ハ明治四十一年及明治四十二年ノ納付鹽賠償金額ノ平均ニ依リ之ヲ定ム但シ明治四十一年二月以後鹽ノ製造ニ著手シタル場合ニ於テハ明治四十二年ノ納付鹽賠償金額ニ依ル  
明治四十一年中又ハ明治四十二年中鹽ノ製造ヲ繼續セサルトキハ前條ノ

納付鹽賠償金額ハ兩年ノ中鹽ノ製造ヲ繼續シタル年ノ納付鹽賠償金額ニ依ル

製鹽地所有者又ハ鹽ノ製造者ニ異動ヲ生シ製鹽地ニ對スル明治四十一年分又ハ明治四十二年分納付鹽ノ數量ヲ區分シ難キトキハ前條ノ納付鹽賠償金額ハ兩年ノ中納付鹽ノ數量ヲ區分シ得ヘキ年ノ納付鹽賠償金額ニ依ル

鹹水賣渡代金ハ第一項ノ規定ニ準シ之ヲ定ム

第五條 左ノ場合ニ於テハ製鹽地ノ價額ハ前二條ノ規定ニ拘ラス鑑定人ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

- 一 鹽田ニ依ラスシテ鹽ヲ製造スルトキ
- 二 明治四十一年中及明治四十二年中共ニ鹽ノ製造ヲ繼續セス又ハ前條第一項但書ノ場合ニ於テ明治四十二年中鹽ノ製造ヲ繼續セサルトキ
- 三 明治四十二年二月以後ニ於テ鹽ノ製造ニ著手シタルトキ
- 四 製鹽地ノ所有者又ハ鹽ノ製造者ニ異動ヲ生シ製鹽地ニ對スル明治四十二年分及明治四十二年分納付鹽ノ數量ヲ共ニ區分シ難キトキ
- 五 所有者ヲ異ニスル製鹽地ノ間又ハ前四號ノ一ニ相當スル製鹽地ト他ノ製鹽地トノ間ニ納付鹽ノ數量ヲ區分シ難キトキ
- 六 第一條第五項但書ノ規定ニ該當スルトキ

第六條 鹽又ハ鹹水製造禁止後ニ於ケル製鹽地ノ見込價額ハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

第七條 鹽又ハ鹹水製造専用ノ建物設備器具器械ノ價額ヨリ鹽又ハ鹹水製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額ヲ控除シタル金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

ヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ハ更ニ鑑定人ヲ選定シ其ノ意見ヲ徵シ之ヲ裁定ス其ノ裁定ニ不服アルトキハ行政訴訟ヲ爲スコトヲ得

第八條 交付金ノ總額ハ三百二十萬圓以內トス

交付金ハ額面金額ニ依リ五分利付國債證券ヲ以テ之ヲ給付ス但シ國債證券ノ最小額面金額ニ滿タサル端數ハ現金ヲ以テ之ヲ給付ス

第九條 政府ハ前條ノ給付ニ必要ナル國債證券ヲ發行スルコトヲ得

第十條 鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ禁止シタル區域內ニ於ケル鹽又ハ鹹水製造専用ノ建物設備器具器械ニ對シテハ政府ハ監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

○明治四十三年法律第四十八號

施行規則

明治四十三年五月二日  
大藏省令第二十號

改正 明治四十四年第五號

第一條 鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ禁止スヘキ地域內ニ於ケル製鹽地及鹽又ハ鹹水ノ製造ニ専用スル建物設備器具器械ノ所有者ハ禁止告示後三十日以内ニ別記様式第一號乃至第三號ニ依リ其ノ物件ノ目錄ヲ所轄鹽專賣官署ニ提出スヘシ

第二編 專賣 第二章 鹽 明治四十三年法律第四十八號施行規則

前項ノ目錄提出後其ノ記載事項ニ増減變更アリタルトキハ其ノ都度申告スヘシ

第二條 明治四十三年法律第四十八號ニ依リ交付金下付ヲ請求セムトスル者ハ鹽又ハ鹹水製造禁止後三十日以内ニ別記様式第四號乃至第七號ニ依リ交付金下付申請書ヲ所轄鹽專賣官署ニ提出スヘシ

前項ノ申請書ニハ計算ノ基礎及必要ナル說明ヲ附記シ且別記様式第四號ノ申請書ニハ製造許可書又ハ製造承繼許可書ヲ第五號ノ申請書ニハ土地臺帳謄本ヲ第六號ノ申請書ニハ建物ノ圖面ヲ添付スヘシ

第三條 明治四十三年法律第四十八號中製鹽地ト稱スルハ採鹹地（水開、溝渠、沼井ヲ含ム）鹹水溜、煎蒸場敷地及煎蒸場ト同一構内又ハ之ニ準スヘキ場所ニ於テ現ニ鹽又ハ鹹水ノ製造又ハ貯藏ニ供用スル土地ヲ謂フ但シ製造者ノ住居ニ供用スル土地ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 交付金ヲ下付スヘキ建物ハ煎蒸場及之ト同一構内又ハ之ニ準スヘキ場所ニ於テ現ニ鹽又ハ鹹水ノ貯藏ニ専用スルモノニ限ル但シ一時鹽又ハ鹹水ノ貯藏ニ供スルモノハ之ヲ除ク

第五條 左ニ掲ケル種類ニ屬スル設備及器具器械ニ付テハ交付金ヲ下付ス但シ其ノ數量ハ專賣局長官之ヲ決定ス

- 一 枝條架其ノ他ノ海水濃縮裝置及之ト聯接スル裝置
- 二 原動機關（附屬唧筒共）沈澱器、結晶槽及其ノ据付裝置、傳動裝置、汽管、排水管
- 三 鹹泉井
- 四 海水、鹹水又ハ鹹泉ノ汲揚輸送裝置及汲揚用唧筒、水車



- 五 海水、鹹水又ハ鹹砂貯藏用容器
- 六 鹹水濾過器
- 七 鐵釜、石釜築造用ノ椽金及隅金並鈎金
- 八 竈、煙道、煙突
- 第六條 左ニ掲クル種類ニ屬スル器具ニシテ交付金ヲ下付スヘキ品目及其ノ數量ハ專賣局長官之ヲ決定ス
  - 一 鹽田面ノ爬起ニ用フルモノ
  - 二 撒砂ノ撒布及搔均シニ用フルモノ
  - 三 鹹砂ヲ集ムルニ用フルモノ
  - 四 鹹砂ヲ搦込ムニ用フルモノ
  - 五 鹹砂ヲ均スニ用フルモノ
  - 六 鹹砂ヲ掘出スニ用フルモノ
  - 七 鹹水浸出ニ用フルモノ
  - 八 釜中ノ鹽ヲ搔集メ又ハ搔出スニ用フルモノ
  - 九 鹽揚又ハ苦汁ノ除去ニ用フルモノ
  - 十 鹽列鹽切ニ用フルモノ
  - 十一 燃料ヲ焚クニ用フルモノ
  - 十二 釜掃除ニ用フルモノ
- 第七條 建物設備ノ所有者ニシテ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者鹽又ハ鹹水製造禁止告示後建物設備ヲ修繕、改築又ハ増築セムトスルトキハ所轄鹽專賣官署ノ承認ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テ其ノ價額ヲ増加シタルトキハ其ノ部分ニ對シ交付金ヲ下付セス
- 第八條 製鹽地建物設備器具器械ノ所有者ニシテ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者鹽又ハ鹹水製造禁止後其ノ物件ヲ讓渡シ又ハ其ノ位置、形狀ヲ

變更セムトスルトキハ所轄鹽專賣官署ノ承認ヲ受クヘシ其ノ請求ヲ爲シタル者亦同シ

相續ニ因リ前項ノ物件ヲ取得シタル者ハ直ニ其ノ旨ヲ所轄鹽專賣官署ニ申告スヘシ

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ交付金ヲ下付セス

- 一 第七條及第八條ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二 交付金ヲ下付スヘキ物件カ交付金下付決定前ニ滅失又ハ毀損シタルトキ
- 三 第二條ニ定メタル期間ニ交付金下付申請書ヲ提出セサルトキ

第十條 明治四十三年法律第四十八號第二條第二號ノ鹹水賣渡代金ハ確實ナリト認ムル帳簿書類ニ依リ專賣局長官之ヲ決定ス

第十一條 明治四十三年法律第四十八號第五條ノ場合ニ於テ其ノ數製鹽地ヲ併セ同法第三條ノ規定ニ依リ得ヘキトキハ之ニ依リ總價額ヲ算出シ其ノ範圍内ニ於テ各製鹽地ノ價額ヲ鑑定スヘシ但シ同法第五條第一號ノ場合、第五號中第一號ノ製鹽地ヲ包含スル場合及數製鹽地ヲ併合スルモ同法第三條ノ規定ニ依リ難キ場合ハ類地ニ比準シテ其ノ價額ヲ鑑定スヘシ

第十二條 鹽又ハ鹹水製造禁止後利用ノ爲加工ヲ要スル製鹽地ニ在リテハ成工後ニ於ケル見込價額ヨリ見込工費ト成工後ノ見込價額ヨリ見込工費ヲ減シタル金額ノ成工見込期間ニ於ケル年五歩ノ利子トヲ減シタル金額ヲ以テ製造禁止後ニ於ケル製鹽地ノ見込價額トシテ鑑定スヘシ

第十三條 明治四十三年法律第四十八號第五條及第六條ノ鑑定人ハ二人以上トシ專賣局長官之ヲ選定ス

第十四條 鑑定人ノ意見一致セサルトキハ各鑑定人ノ鑑定シタル價額ノ平均ヲ以テ鑑定價額トス

第十五條 鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ禁止シタル際鹽又ハ鹹水製造者ノ所有スル鹹水ハ所轄鹽專賣官署長ノ認可ヲ受ケ其ノ指定シタル期間ニ限り之ヲ製鹽スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ製鹽製造者ハ遲滞ナク其ノ數量、焚上期間及鹽製造見込高ヲ申告スヘシ

第十六條 鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ禁止シタル際現存スル未納付鹽ハ禁止後二日以内ニ前項ニ依リ製造シタル鹽ハ製造後五日以内ニ所轄鹽專賣官署ニ其ノ數量ヲ申告シ其ノ指定シタル期日以内ニ之ヲ納付スヘシ

第十七條 前二項ノ申告ヲ爲ササル者ハ科料ニ處ス

第十八條 交付金ノ下付請求者ニ對シ交付金ヲ給付セムトスルトキハ專賣局長官ハ明治四十年六月大藏省令第二十五號第二號書式ニ準シ交付金給付通知書ヲ發スヘシ

附則  
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十四條 明治四十三年法律第四十八號第五條及第六條ノ決定ハ專賣局長官之ヲ爲ス

前項ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ決定書ヲ作り之ヲ本人ニ交付スヘシ

第十五條 前條ノ決定ニ對シ不服ノ申立ヲ爲サムトスル者ハ決定書受領ノ日ノ翌日ヨリ起算シ十日以内ニ不服ノ事由ヲ具シ專賣局長官ヲ經テ大藏大臣ニ裁定ノ請求ヲ爲スヘシ

第十六條 大藏大臣前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ第十三條ニ依リ選定シタル鑑定人以外ノ者ヨリ二人以上ノ鑑定人ヲ選定シ再鑑定ヲ爲サシム

前項ノ鑑定人ハ少クトモ其ノ半數ヲ專賣官吏以外ノ者ヨリ選定ス

大藏大臣前條ノ請求ニ對シ裁定ヲ爲シタルトキハ其ノ裁定書ヲ作り之ヲ本人ニ交付ス

第十七條 政府ハ鑑定人ヲシテ自己、親族又ハ後見、雇傭、同居其ノ他利害關係アル者ノ利害關係ヲ有スル物件ニ付鑑定ヲ爲サシメサルコトヲ得

第十八條 鑑定人ノ意見一致セサルトキハ各鑑定人ノ鑑定シタル價額ノ平均ヲ以テ鑑定價額トス

第十九條 鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ禁止シタル際鹽又ハ鹹水製造者ノ所有スル鹹水ハ所轄鹽專賣官署長ノ認可ヲ受ケ其ノ指定シタル期間ニ限り之ヲ製鹽スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ製鹽製造者ハ遲滞ナク其ノ數量、焚上期間及鹽製造見込高ヲ申告スヘシ

第二十條 鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ禁止シタル際現存スル未納付鹽ハ禁止後二日以内ニ前項ニ依リ製造シタル鹽ハ製造後五日以内ニ所轄鹽專賣官署ニ其ノ數量ヲ申告シ其ノ指定シタル期日以内ニ之ヲ納付スヘシ

第二十一條 前二項ノ申告ヲ爲ササル者ハ科料ニ處ス

第二十二條 交付金ノ下付請求者ニ對シ交付金ヲ給付セムトスルトキハ專賣局長官ハ明治四十年六月大藏省令第二十五號第二號書式ニ準シ交付金給付通知書ヲ發スヘシ

附則  
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別記)

第一號様式



製鹽地目錄

製鹽地目錄		何府何郡何町何字何番地		何		何		何	
所有者住所氏名	製造方法種	何府何郡何町何字何番地	番地	目	段	別	何	何	何
專賣局長官宛									某
明治何年何月何日									某
(鹹水)製造者住所氏名									

備考

- 一 種類欄ニハ煎熬場敷地、鹽貯藏場敷地、鹹水貯藏場敷地及採鹹地等ノ區分ヲ記入スヘシ但シ同一地番内ニ在ルモノハ其ノ種類ヲ併記スヘシ
- 二 製造者及煎熬場ヲ異ニスル毎ニ煎熬場敷地、鹽貯藏場敷地、鹹水貯藏場敷地及採鹹地等ヲ區分スヘシ
- 三 煎熬場ニ在リテハ地番ノ欄ニ釜屋名ヲ附記スヘシ
- 四 本目錄ハ明治何年何月何日マテニ製鹽地所屬鹽專賣官署(支局、出張所)ニ提出スヘシ但シ二以上ノ鹽專賣官署ノ所屬區域ニ涉リ製鹽地ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ所屬區域毎ニ區分調製ノ上各別ニ提出シ他ノ鹽專賣官署ニ提出スヘキモノハ其ノ官署名ヲ附記スヘシ

第二號様式

(鹹水)製造專用建物目錄

(鹹水)製造專用建物目錄		何府何郡何町何字何番地		何		何		何	
所有者住所氏名	製造方法	何府何郡何町何字何番地	棟數	建坪	建設費	建設年月	何	何	何
專賣局長官宛									某
明治何年何月何日									某
(鹹水)製造者住所氏名									

備考

- 一 種類欄ニハ煎熬場、鹽貯藏場、鹹水貯藏場ノ區分ヲ記入スヘシ
- 二 構造欄ニハ階數(平家建、二階建)屋根(瓦葺、板葺、柿葺、杉皮葺、草葺、葎葺、鐵板葺)骨組(木造瓦張、木造板張、木造塗屋、煉瓦造、石造、土造、管ノ子張造)板、葎、葎、竹類(伏小屋造)骨組及屋根ヲ含ムノ區分ヲ記入スヘシ
- 三 建物場所欄ニハ郡市町村大字字地番及釜屋名ヲ記入スヘシ
- 四 本目錄ハ明治何年何月何日マテニ製鹽地所屬鹽專賣官署(支局、出張所)ニ提出スヘシ但シ二以上ノ鹽專賣官署所屬區域ニ涉リ建物ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ所屬區域毎ニ區分調製ノ上各別ニ提出シ他ノ鹽專賣官署ニ提出スヘキモノハ其ノ官署名ヲ附記スヘシ

第二編 專賣

第二章 鹽 明治四十三年法律第四十八號施行規則







明治四十一年	圓
明治四十二年	圓
平均	圓

備考

- 一 本申請書ハ各煎蒸場毎ニ調製シ二通以上ノ申請書ヲ提出スヘキトキハ提出官署毎ニ其ノ總通數及番號ヲ附記スヘシ但シ鹹水ノミノ製造ヲ爲ス者ニ在リテハ製鹽地所屬鹽專賣官署區域毎ニ調製スヘシ
- 二 申請者カ無能力者ナルトキハ法定代理人ノ記名捺印ヲ要ス此ノ場合ニ於テハ法定代理人タルコトヲ證スヘキ書類ヲ添附スヘシ
- 三 代理ヲ以テ本申請ヲ爲ストキハ委任狀ヲ添附スヘシ
- 四 本申請書ニハ其ノ紙數ヲ附記シ二枚以上ナルトキハ其ノ綴目ニ契印スヘシ
- 五 本申請書ニハ製造及承繼許可書類ヲ添附スヘシ
- 六 相續ニ因ラスシテ製造ノ承繼ヲ爲シタル者ノ納付鹽賠償金額又ハ鹹水賣上代金ニハ被承繼者ノ分ヲ計入スヘカラス
- 七 納付鹽賠償金額又ハ鹹水賣上代金ノ平均ハ厘位ヲ存スヘシ
- 八 製造許可後明治四十一年二月以後ニ於テ初テ製造ニ著手シタル者ノ納付鹽賠償金額又ハ鹹水賣上代金ハ明治四十二年分ノミヲ記入スヘシ
- 九 煎蒸場所欄ニハ釜屋名ヲ附記スヘシ
- 十 自作小作區分欄ニハ採鹹地ノ所屬ニ依リ區分記入スヘシ
- 十一 鹹水製造ノ場合ニ在リテハ各年分ニ付賣渡先毎ニ數量及金額ヲ區分シタル明細書ヲ添附スヘシ
- 十二 本申請書ハ明治何年何月何日マテニ製鹽地所屬鹽專賣官署(支局、出張所)ニ提出スヘシ但シ二以上ノ鹽專賣官署所屬區域ニ涉リ製造スル者ニシテ他ノ鹽專賣官署ニ提出スヘキモノハ其ノ官署名ヲ附記スヘシ
- 十三 本申請書ハ郵便ニテ差出スコトヲ得但シ書留郵便ト爲スヲ要ス
- 十四 本申請書ニハ印鑑證明ヲ添附スヘシ但シ同一官署ニ提出シタル他ノ申請書ニ添附シタルトキハ之ヲ略シ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第五號様式ノ一

製鹽地整理法第二條第三號交付金下付申請書(何通ノ内第何號)

明治四十三年法律第四十八號ニ依リ製鹽地ニ對スル交付金下付相成度同年大藏省令第二十號第二條ニ依リ申請候也

明治何年何月何日

何府何郡何町何村何字何番地

何

某印

專賣局長官宛

所有者住所氏名

何府何郡何町何字何番地

何

某

煎蒸場所

何府何郡何町何字何番地

製造方法

自作小作區分

(鹹水) 製造者住所氏名

何府何郡何町何字何番地

何

某

種類	製鹽地	地番	地目	段	別	地	價	第三條ニ依ルヘキモノノ價額	第五條ニ依ルヘキモノノ見積價額	禁止後見込價額	禁止後加工要スルモノノ加工後見込用途期	加工要スルモノノ加工後見込積工費	加工後見込價額
場所				町		圓		圓	圓	圓	圓	圓	圓



備考

- 一 本申請書ハ各煎蒸場毎ニ調製シ二通以上ノ申請書ヲ提出スヘキトキハ提出官署毎ニ其ノ總通數及番號ヲ附記スヘシ但シ鹹水ノミノ製造ヲ爲ス者ニ在リテハ製鹽地所屬鹽專賣官署區域毎ニ調製スヘシ
- 二 申請者カ無能力者ナルトキハ法定代理人ノ記名捺印ヲ要ス此ノ場合ニ於テハ法定代理人タルコトヲ證スヘキ書類ヲ添附スヘシ
- 三 代理ヲ以テ本申請ヲ爲ストキハ委任狀ヲ添附スヘシ
- 四 本申請書ニハ其ノ紙數ヲ附記シ二枚以上ニ涉ルトキハ其ノ綴目ニ契印スヘシ
- 五 本申請書ニハ土地臺帳謄本ヲ添附スヘシ
- 六 煎蒸場所欄ニハ釜屋名ヲ附記スヘシ
- 七 自作小作區分欄ニハ採鹹地ノ所屬ニ依リ區分記入スヘシ
- 八 種類欄ニハ煎蒸場敷地、鹽貯藏場敷地、鹹水貯藏場敷地及採鹹地等ノ區別ヲ記入スヘシ
- 九 一筆中交付金ヲ下付スヘカラサル部分アルトキハ其ノ下付スヘキ部分ノ段別ヲ内書朱記スヘシ
- 十 第三條ニ依ルヘキモノノ價額以下ノ各欄ハ一括シテ記入スルモ妨ナシ
- 十一 第三條ニ依ルヘキモノノ價額ニ在リテハ別記様式ノ調書ヲ添附スヘシ
- 十二 本申請書ハ明治何年何月何日マテニ製鹽地所屬鹽專賣官署(支局、出張所)ニ提出スヘシ但シ二以上ノ鹽專賣官署所屬區域ニ涉リ製鹽地ヲ有スル者ニシテ他ノ鹽專賣官署ニ提出スヘキモノハ其ノ官署名ヲ附記スヘシ
- 十三 本申請書ハ郵便ニテ差出スコトヲ得但シ書留郵便ト爲スヲ要ス
- 十四 本申請書ニハ印鑑證明ヲ添附スヘシ但シ同一官署ニ提出シタル他ノ申請書ニ添附シタルトキハ之ヲ略シ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第五號様式ノ二

納付鹽賠償金額調書(何通ノ内第何號)

何

某印

[台八]

異動年月日	土地所有者	鹽製造者	納付鹽賠償金額	備考
明治四十一年何月何日				
明治四十一年何月何日				
明治四十一年何月何日				
計				
明治四十二年何月何日				
明治四十二年何月何日				
明治四十二年何月何日				
計				

備考

- 一 本書ハ鹽田ニ依リ鹽ヲ製造スル場合ニ於ケル納付鹽賠償金額ヲ土地所有者又ハ鹽製造者ノ異動アリタル毎ニ其ノ年月日順ニテ區分掲上スヘシ
- 二 備考欄ニハ新ニ鹽ノ製造ニ著手シタル月日及休業ノ月日、期間等ヲ記入スヘシ

第六號様式

製鹽地整理法第二條第四號建物交付金下付申請書(何通ノ内第何號)

明治四十三年法律第四十八號ニ依リ建物ニ對スル交付金下付相成度同年大藏省令第二十號第二條ニ依リ申請候也

明治何年何月何日

何府何郡何町何村何字何番地

何

某印

第二編 專賣

第二章 鹽

明治四十三年法律第四十八號施行規則

[台八]











糸島郡

大分縣

南海部郡

佐賀縣

熊本縣

宇土郡ノ内戸馳村

葦北郡

天草郡

宮崎縣

鹿兒島縣

掛宿郡ノ内顯娃村

川邊郡

日置郡

薩摩郡

出水郡

肝屬郡ノ内東串良村

壺ヶ崎郡

專賣局長官ハ前項ノ規定ニ拘ラス副産鹽ノ製造ニ限リ取締上不便ナシト認ムル地ニ於テ其ノ製造ヲ許可スルコトヲ得

○大藏省告示第五十號(明治四十四年五月二日)

改正 大正元年第六一號

鹽專賣法第六條第四十條ノ二及明治四十三年法律第四十八號第一條第一項ニ依リ明治四十四年九月三十日限左ノ區域ニ於テ鹽及鹹水ヲ製造スルコトヲ禁止ス但シ鹹水混和以外ノ再製鹽ノ製造ハ此ノ限ニ在ラス

愛媛縣

温泉郡

越智郡ノ内弓削村

伊豫郡

福岡縣

宗像郡

築上郡

大分縣

東國東郡(姫島村ヲ除ク)

速見郡

大分郡

北海部郡

熊本縣

宇土郡

玉名郡

八代郡

鹿兒島縣

鹿兒島郡

掛宿郡

專賣局長官ハ前項ノ規定ニ拘ラス副産鹽ノ製造ニ限リ取締上不便ナシト認ムル地ニ於テ其ノ製造ヲ許可スルコトヲ得

○含鹽礦物輸入移入規則

明治三十九年三月三十日 大藏省令第十三號

改正 大正一一年第四九號

兵庫縣

三原郡

岡山縣

邑久郡ノ内裳掛村

兒島郡ノ内下津井町

小田郡ノ内金浦町

廣島縣

安藝郡

佐伯郡

賀茂郡ノ内仁方町

御調郡ノ内三庄村

深安郡

山口縣

玖珂郡(柳井町ヲ除ク)

熊毛郡ノ内伊保庄村(大字高須濱、小田濱ヲ除ク)阿月村、室積町

厚狹郡

豐浦郡ノ内彦島村

大津郡

德島縣

那賀郡

香川縣

大川郡

香川郡ノ内直島村字牛首、屏風

三豐郡ノ内梓田村

第一條 鹽專賣法第三條第二項ニ掲ケタル礦物ヲ輸入シタル者アル場合ニ

於テ稅關カ其ノ礦物百分中四十以上ノ鹽化曹達ヲ含有スルモノナリト檢

定シタルトキハ輸入者ハ稅關ノ指揮監督ニ從ヒ其ノ礦物ノ變性ヲ施スヘ

シ

前項輸入礦物ノ變性ハ其ノ礦物ノ重量百ニ對シ智利硝石ニ付テハ百分中

五以下ノ鹽化曹達ヲ含有スル智利硝石六十「カイニット」「シルヴェイニツ

ト」「ポリハリット」「キーゼリット」「カルナリット」「ハルトザルツ」其ノ

他ノ礦物ニ付テハ百分中五以下ノ鹽化曹達ヲ含有スル智利硝石「カイニ

ット」「シルヴェイニット」「ポリハリット」「キーゼリット」「カルナリット」

「ハルトザルツ」若ハ其ノ他ノ礦物六十ヲ混和シテ之ヲ爲スモノトス

第二條 鹽專賣法第三條第二項ニ掲ケタル礦物ヲ鹽專賣法ヲ施行セサル地

ヨリ移入シタル者ハ直ニ移入地所轄ノ地方專賣局ヘ其ノ品名、用途、數

量、仕入地名及積載船舶名ヲ記載シタル移入申告書ヲ提出スヘシ

第三條 前條ノ移入申告アリタル場合ニ於テ地方專賣局カ其ノ礦物百分中

四十以上ノ鹽化曹達ヲ含有スルモノナリト檢定シタルトキハ移入者ハ第

一條ニ準シ地方專賣局ノ指揮監督ニ從ヒ其ノ礦物ノ變性ヲ施スヘシ

附則

本令ハ明治三十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○鹽專賣法ヲ施行セサル地方ニ關

スル件

明治三十八年四月十四日 大藏省令第三百三十四號 (大藏大 臣副署)

改正 明治四四年第一三一號

鹽專賣法第四十二條ニ依リ左ノ地方ニハ當分ノ内同法ヲ施行セス



- 一 東京府管下小笠原島及伊豆七島
- 一 鹿兒島縣管下馬毛島、口ノ永良部島、竹島、硫黃島、鷹島、津唐瀬、黒島、東島、宇治島、雙島、草垣島、口之島、中之島、臥蛇島、小臥蛇島、平島、諏訪瀬島、悪石島、島子島、寶島、上ノ根島、横當島、喜界島、請島、與路島、徳之島、沖永良部島及與論島
- 一 沖繩縣管下伊平屋島、伊是名島、具志川島、野甫島、屋奈葉島、古宇利島、伊江島、瀬底島、面那島、伊計島、宮城島、平安座島、濱島、津堅島、久高島、前島、黒島、渡嘉敷島、座間味島、屋加比島、阿嘉島、慶留間島、久場島、渡名喜島、粟國島、島島、久米島、奥武島(島尻郡仲里村所屬)、大葉島、池間島、大神島、來間島、水納島、多良間島、竹富島、嘉彌真島、小濱島、黒島、新城島、西表島、内離島、外離島、沖神島、鳩間島、波照間島、大東島、魚釣島及與那國島
- 一 北海道廳管下得撫郡、新知郡、占守郡、紗那郡、振別郡、擇捉郡、葉取郡

### 第三章 樟腦及樟腦油

#### ○粗製樟腦樟腦油專賣法

明治三十六年六月十七日 (總理、内務、農商) 法律第五號 (務、大藏大臣副署)

- 第一條 政府ハ粗製樟腦、樟腦油ノ專賣權ヲ有ス
- 第二條 粗製樟腦、樟腦油ヲ製造スル者ハ總テ其ノ粗製樟腦、樟腦油ヲ政府ニ納付スヘシ納付ノ期限及場所ハ政府之ヲ指定ス
- 第三條 政府ハ收納シタル粗製樟腦、樟腦油ニ對シ補償金ヲ交付ス補償金ハ政府之ヲ定メ豫メ公示スヘシ
- 第四條 政府ヨリ賣渡シタル粗製樟腦、樟腦油ニ非サレハ所有、所持、讓渡、質入若ハ消費シ、外國ニ輸出シ又ハ内地臺灣間ノ輸送ヲ爲スコトヲ得ス但シ納付期限前又ハ正當ノ事由ニ因リ納付ヲ遲延シタル場合ニ於テ所有、所持スルハ此ノ限ニ在ラス
- 第五條 樟腦、樟腦油ハ政府指定ノ港灣ニ由ルニ非サレハ之ヲ外國ニ輸出シ又ハ内地臺灣間ノ輸送ヲ爲スコトヲ得ス
- 第六條 粗製樟腦、樟腦油ヲ製造セムトスル者又ハ粗製樟腦ヲ精製セムトスル者ハ製造場、竈數、一箇年ノ生産見込量目及製造者手ノ時期ヲ定メ政府ノ許可ヲ受クヘシ
- 前項ニ依リ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ製造ヲ廢止セムトスルキハ政府ノ許可ヲ受クヘシ
- 第七條 相續ニ因リ樟腦、樟腦油ノ製造ヲ繼承シタルトキハ政府ニ届出ツ

(台八)

ヘシ

- 相續ニ因ルノ外製造ヲ繼承セムトスルトキハ政府ノ許可ヲ受クヘシ
- 第八條 粗製樟腦、樟腦油ノ製造者ハ粗製樟腦ノ精製者ト相兼スルコトヲ得ス
- 第九條 政府ハ樟腦、樟腦油ノ需要供給ノ情況ニ依リ粗製樟腦、樟腦油ノ製造ヲ制限スルコトヲ得
- 第十條 樟腦、樟腦油ノ製造ノ許可ヲ受ケタル者本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違背シ又ハ豫定ノ條件ヲ履行セサルトキハ政府ハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得
- 審地ノ狀況ニシテ公安上必要アリト認ムルトキハ政府ハ粗製樟腦、樟腦油ノ製造ヲ停止シ又ハ製造ノ許可ヲ取消スコトヲ得
- 第十一條 樟腦、樟腦油ノ製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ製造ニ關スル事項ヲ帳簿ニ記載スヘシ
- 第十二條 當該官吏ハ樟腦、樟腦油ノ製造ニ關スル一切ノ帳簿ヲ検査シ又ハ樟腦、樟腦油ノ製造場、貯藏場其ノ他樟腦、樟腦油ノ所在ト認ムル場所ニ就キ検査ヲ爲シ其ノ他監督上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得
- 第十三條 樟腦、樟腦油ハ總テ定價ヲ以テ之ヲ賣渡ス但シ必要ト認ムル場合ニ競争ニ付スルコトヲ得
- 第十四條 政府ヨリ賣渡ヲ爲ササル粗製樟腦、樟腦油ニシテ犯人以外ノ所有ニ係ルモノハ之ヲ政府ニ收納ス此ノ場合ニ於テハ他物ヲ混和シタル粗製樟腦、樟腦油ヲ除クノ外第三條ニ準シ補償金ヲ交付ス
- 第十五條 納付前粗製樟腦、樟腦油ニ他物ヲ混和シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ粗製樟腦、樟腦油ハ之ヲ沒收ス
- 第十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ

其ノ犯罪ニ係ル樟腦、樟腦油ハ之ヲ沒收シ既ニ讓渡、消費シ又ハ輸出シタルトキハ其ノ代價ニ相當スル金額ヲ追徴ス

- 一 第四條又ハ第五條ニ違背シタル者
- 二 許可ヲ受ケスシテ粗製樟腦、樟腦油ヲ製造シ又ハ粗製樟腦ヲ精製シタル者
- 三 許可ヲ受ケスシテ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ製造ヲ廢止シタル者
- 四 第九條ノ制限又ハ第十條第二項ノ停止ノ處分ニ違背シタル者
- 第十七條 相續ニ因リ樟腦、樟腦油ノ製造ヲ繼承シタルトキ其ノ届出ヲ爲ササル者ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス
- 第十八條 樟腦、樟腦油ノ製造者帳簿ノ記載又ハ事實ノ申告ヲ詐リ若ハ之ヲ怠リタルトキハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス
- 第十九條 當該官吏ノ尋問ニ對シ虛偽ノ答辯ヲ爲シ又ハ當該官吏ノ職務執行ヲ拒ミ、之ヲ忌避シ若ハ之ニ支障ヲ加ヘタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正アルモノハ刑法ニ依ル
- 第二十條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違背シタル者ニハ刑法ノ減輕、[再犯加重及數罪俱發]ノ例ヲ用キス
- 第二十一條 當業者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ當業者ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 第二十二條 樟腦、樟腦油ノ製造者又ハ取引人ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違背シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以



テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十三條 間接國稅犯則者處分法及明治三十三年法律第五十二號ノ規定

ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

間接國稅犯則者處分法中收稅官吏及稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官

吏ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 本法施行ノ爲ニ必要ナル規定ニシテ主務大臣ノ定ムヘキ事項ハ

臺灣ニ於テハ臺灣總督之ヲ定ム

附則

第二十五條 本法ハ明治三十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣樟腦及樟腦油專賣規則並臺灣樟腦及樟腦油製造規則ハ之ヲ廢止ス

第二十六條 本法施行ノ際内地ニ於テ樟腦、樟腦油ノ製造者又ハ取引人ノ

所有スル粗製樟腦、樟腦油ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ニ準シ之ヲ政府

ニ納付スヘシ

第二十七條 本法施行ノ際内地ニ於テ樟腦、樟腦油ノ製造者又ハ取引人以

外ノ者ノ所有ニ係ル粗製樟腦、樟腦油ニ關シテハ本法ノ規定ヲ適用セス

第二十八條 本法施行ノ際内地ニ於テ樟腦、樟腦油ヲ製造スル者ハ明治三

十六年十一月一日迄ニ本法ニ依リ許可ヲ受クヘシ其ノ期間内ハ從前ノ製

造ヲ繼續スルコトヲ得

第二十九條 臺灣樟腦及樟腦油製造規則ニ依リ特許ヲ受ケタル者ハ其ノ期

間滿了ノ日迄本法ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

○粗製樟腦樟腦油專賣法施行細則

明治三十六年九月十五日  
大藏省令第二十三號

改正 明治三十七年第二號、三十八年第四三號、四〇年第三九號、第四四號、四三年第六號

大正九年第五二號、一〇年第七號、一一年第三號、第四九號

昭和四年第二八號

第一條 粗製樟腦、樟腦油ヲ製造セムトスル者又ハ粗製樟腦ヲ精製セムト

スル者ハ製造場、竈數、一箇年ノ生産見込量目及製造者手ノ時期ヲ定メ

所轄地方專賣局ニ出願スヘシ

第二條 所轄地方專賣局ニ於テ必要ト認メ製造場ノ圖面又ハ製造用器具、

器械ノ目錄ヲ提出スヘキコトヲ命シタルトキハ粗製樟腦、樟腦油製造者

又ハ粗製樟腦精製者ハ之ヲ提出スルコトヲ要ス

第三條 粗製樟腦、樟腦油製造者又ハ粗製樟腦精製者ハ左ノ各號ノ一ニ該

當スル場合ニ於テハ其ノ事由ヲ具シ所轄地方專賣局ニ出願スヘシ

一 製造場ヲ移轉セムトスルトキ

二 竈ノ撤去又ハ増設ヲ爲サムトスルトキ

第四條 製造者手ノ時期ヲ變更セムトスルトキ

四 製造者手ノ時期ヲ變更セムトスルトキ

第四條 相續ニ因リ粗製樟腦、樟腦油ノ製造又ハ粗製樟腦ノ精製ヲ繼承シ

タルトキハ相續人ヨリ其ノ旨所轄地方專賣局ニ届出ツヘシ

相續ニ因ルノ外製造又ハ精製ヲ繼承セムトスルトキハ製造者又ハ精製者

及繼承者連署シ所轄地方專賣局ニ出願スヘシ

第五條 粗製樟腦、樟腦油製造者又ハ粗製樟腦精製者ハ左ノ各號ノ一ニ該

當スル場合ニ於テハ所轄地方專賣局ニ届出ツヘシ

一 製造又ハ精製ヲ休止セムトスルトキ又ハ休止後更ニ製造又ハ精製ニ

著手セムトスルトキ

二 住所又ハ氏名若ハ名稱ヲ變更シタルトキ

第六條 粗製樟腦、樟腦油製造者又ハ粗製樟腦精製者製造場所在市町村ニ

者ノ一箇年生産見込量目ヲ更訂シ之ヲ製造者ニ通知スヘシ

第十一條 粗製樟腦、樟腦油製造者ハ粗製樟腦、樟腦油製造後六十日以内

ニ之ヲ所轄地方專賣局ニ納付スヘシ

第十二條 粗製樟腦、樟腦油製造者ハ粗製樟腦又ハ樟腦油ノ容器ニ製造ノ

場所、年月日及製造者ノ氏名ヲ記載スヘシ

第十三條 粗製樟腦、樟腦油製造者ハ代理人ヲ以テ粗製樟腦、樟腦油ノ納

付ヲ爲スコトヲ得

第十四條 粗製樟腦、樟腦油製造者又ハ其ノ代理人ヨリ粗製樟腦、樟

腦油ノ運送ヲ委託セラレタルトキハ運送中ハ其ノ代理人トナリタルモノ

ト看做ス

第十五條 一 地方專賣局ニ於テ收納スル粗製樟腦及樟腦油ノ標準品質左

ノ如シ

一 粗製樟腦

水分及固形夾雜物ノ容量百分ノ壹以下ニシテ其ノ硫酸反應著色ニ於テ

二十五分一沃素規定液ヲ過キス溫度ノ上昇ニ於テ攝氏溫度器二十度以

下ニシテ其ノ硫酸反應著色ニ於テ

前項ノ場合ニ於テハ納付ヲ爲スヘキ地方專賣局ヲ以テ第十一條ノ所轄地

方專賣局ト看做ス

第十五條ノ一 地方專賣局ニ於テ收納スル粗製樟腦及樟腦油ノ標準品質左

ノ如シ

一 粗製樟腦

水分及固形夾雜物ノ容量百分ノ壹以下ニシテ其ノ硫酸反應著色ニ於テ

二十五分一沃素規定液ヲ過キス溫度ノ上昇ニ於テ攝氏溫度器二十度以

下ニシテ其ノ硫酸反應著色ニ於テ

前項ノ場合ニ於テハ納付ヲ爲スヘキ地方專賣局ヲ以テ第十一條ノ所轄地

方專賣局ト看做ス

第十五條ノ一 地方專賣局ニ於テ收納スル粗製樟腦及樟腦油ノ標準品質左

ノ如シ

一 粗製樟腦

水分及固形夾雜物ノ容量百分ノ壹以下ニシテ其ノ硫酸反應著色ニ於テ

二十五分一沃素規定液ヲ過キス溫度ノ上昇ニ於テ攝氏溫度器二十度以

下ニシテ其ノ硫酸反應著色ニ於テ

現住セザルトキハ粗製樟腦、樟腦油專賣法ニ依ル事務ヲ處理セシムル爲  
管理人ヲ定メ所轄地方專賣局ニ届出ツヘシ

第七條 粗製樟腦、樟腦油製造者ハ各製造場ニ其ノ竈數、氏名及許可ノ年

月日ヲ記載シタル標札ヲ掲クヘシ

第八條 粗製樟腦、樟腦油製造者ハ管理人、焚夫、運搬夫其ノ他ノ從業者

ニ左ノ木製標札ヲ携帯セシムヘシ

表

住、所	管理人(焚夫等)氏	年 名
粗製樟腦、樟腦油製造人	氏 名	年 名

分五寸二

年 月 日

第九條 粗製樟腦、樟腦油製造者又ハ粗製樟腦精製者其ノ製造又ハ精製ヲ  
廢止セムトスルトキハ所轄地方專賣局ニ出願スヘシ

第十條 粗製樟腦、樟腦油專賣法第九條ニ依リ粗製樟腦、樟腦油ノ製造ヲ  
制限スル必要アリト認メタルトキハ地方專賣局ハ粗製樟腦、樟腦油製造



下ナルモノ

二 樟腦油

樟腦油固有ノ香氣ノ外異臭ヲ放タス且ツ攝氏溫度器十五度ノ時ニ於テ比重〇、九一以上ナルモノ

前項ニ於テ沃素規定液ト稱スルハ沃素百二十六、八六瓦ヲ沃度加里約三百瓦ト共ニ水ニ溶解シテ「リートル」ニ至ラシメタルモノヲ謂フ

第十五條ノ二 粗製樟腦樟腦油製造者ノ納付セムトスル粗製樟腦ニシテ前條標準品質ニ適合セサルトキハ製造者ハ其ノ總量目ニ左ノ乘率ヲ乘シタル量目ニ依リ納付ヲ爲スコトヲ得但シ色相不良ナルモノ又ハ著色十分一沃素規定液ヲ過クルモノ若ハ溫度ノ上昇三十度ヲ超ユルモノハ一級又ハ二級ヲ下スモノトス

水分及固形夾雜物百分率	率		
	十分一沃素規定液ヲ過カラス	十分一沃素規定液ヲ過カス	十分一沃素規定液ヲ過カス
0-1.	1.00	0.98	0.96
2.	0.98	0.96	0.94
3.	0.96	0.94	0.92
4.	0.94	0.92	0.90
5.	0.92	0.90	0.88
6.	0.90	0.88	0.86
7.	0.88	0.86	0.84
8.	0.86	0.84	0.82
9.	0.84	0.82	0.80
10.	0.82	0.80	0.78
11.	0.80	0.78	0.76
12.	0.78	0.76	0.74
13.	0.76	0.74	0.72
14.	0.74	0.72	0.70
15.	0.72	0.70	0.68

第十五條ノ三 粗製樟腦、樟腦油製造者ノ納付セムトスル粗製樟腦ニシテ其ノ品質粗悪ナルモノ又ハ其ノ樟腦油ニシテ標準品質ニ適合セサルモノハ製造者ヲシテ更ニ相當ノ處理ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第十六條 地方專賣局ハ粗製樟腦、樟腦油ノ品質ヲ鑑定シ之ニ相當スル補償金ヲ交付ス

粗製樟腦、樟腦油製造者前項ノ鑑定ニ不服ナルトキハ再鑑定ヲ求ムルコトヲ得

第十七條 粗製樟腦、樟腦油製造者又ハ其ノ代理人災害其ノ他ノ事故ニ因リ粗製樟腦、樟腦油ニ損害ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ事由ヲ具シ現ニ損害アリタル地ヲ所轄スル地方專賣局ニ届出ツヘシ

第十八條 樟腦、樟腦油ヲ買受クル者其ノ代金納付ノ擔保トシテ國債ヲ提供シタルトキハ專賣局長官ハ六箇月以内代金ノ延納ヲ許可スルコトヲ得

當時樟腦、樟腦油ノ買受ヲ爲ス者代金納付ノ擔保トシテ前項ノ擔保物件ヲ豫メ提供シ置クトキハ專賣局長官ハ其ノ價格ニ達スル迄代金ノ延納ヲ許可スルコトヲ得

前二項ニ依リ延納ヲ許可スルハ一回ノ買受代金五百圓以上ノ場合ニ限ル

代金延納ノ擔保ヲ提供スル者ハ無記名國債證券ノ提供ニアリテハ之ヲ供託シ其ノ供託受領書ヲ提出シ登錄國債ノ提供ニアリテハ擔保ノ登錄ヲ受ケ其ノ登錄通知書ヲ提出スヘシ登錄國債ニシテ乙種國債登錄簿ニ登錄シタルモノハ尙記名國債證券ヲ供託シ其ノ供託受領書ヲ提出スヘシ

第十八條ノ二 樟腦、樟腦油賣渡請求者其ノ賣渡ヲ受ケタルトキハ直ニ代金ヲ納付シ又ハ擔保ヲ提供シテ現品ヲ引取ルヘシ若シ五日以内ニ之ヲ引取

ラサルトキハ相當ノ保管料ヲ徵スルコトヲ得

第十九條

粗製樟腦、樟腦油又ハ精製樟腦ノ收納又ハ賣渡時間ハ公暇日ヲ除クノ外毎日午前九時ヨリ午後四時マテトス但シ既ニ收納ニ著手シタルモノニ付テハ午後四時ヲ過クルモノ之ヲ收納スルコトアルヘシ

第二十條

粗製樟腦、樟腦油製造者ハ少ナクトモ左ノ事項ヲ帳簿ニ記載スヘシ

一 原料ノ種類、量目、他ヨリ引取リタルモノニ在リテハ引取ノ日及其ノ引取先

二 使用シタル原料ノ種類、一釜毎ノ原料使用量目、釜數、使用原料總量目及其ノ使用ノ日

三 製造シタルモノノ種類、一釜毎ノ製造量目、製造總量目及其ノ製造ノ日

四 政府ニ納付シタルモノノ種類、量目、補償金額、納付ノ日

第二十一條

粗製樟腦精製者ハ少ナクトモ左ノ事項ヲ帳簿ニ記載スヘシ

一 粗製樟腦ノ量目、價額、買入ノ日及其ノ買入先

二 使用シタル粗製樟腦ノ量目及其ノ使用ノ日

三 製造シタルモノノ種類、量目及其ノ製造ノ日

四 他ニ引渡シタル精製樟腦ノ量目、價額、引渡ノ日及其ノ引渡先

第二十二條

削除

第二十三條

第十一條第十六條ニ關スル事務ハ福岡、熊本、鹿兒島各地方專賣局、徳島地方專賣局高知出張所、福岡地方專賣局長崎出張所、鹿兒島地方專賣局宮崎出張所及大阪地方專賣局葺合專賣官吏派出所ニ於テノミ之ヲ行フ

附則

第二編 專賣 第三章 樟腦及樟腦油 粗製樟腦樟腦油輸出又ハ輸送港灣指定ノ件

第二十四條 粗製樟腦、樟腦油專賣法第二十六條ニ該當スル粗製樟腦、樟腦油ノ所有者ハ明治三十六年十一月三十日マテニ其ノ粗製樟腦、樟腦油ヲ所轄樟腦事務所ニ納付スヘシ

第十一條第二項、第三項、第十三條、第十四條、第十五條及第十六條ノ規定ハ之ヲ前項ノ場合ニ準用ス

第二十五條 粗製樟腦、樟腦油專賣法第二十八條ニ依リ許可ヲ受ケムトスル者ニハ本則第一條ヲ準用ス

○樟腦、樟腦油ノ輸出又ハ輸送ヲ爲ス

コトヲ得ヘキ港灣指定ノ件

明治三十六年九月十五日 (内務、大藏) 勅令第四百四十二號 (大臣副署)

改正 明治四十四年第二三四號

大正四年第一七二號、一二年第二八九號

粗製樟腦、樟腦油專賣法第五條ニ依リ樟腦、樟腦油ノ輸出又ハ輸送ヲ爲スコトヲ得ヘキ港灣左ノ通指定ス

- 横濱港
- 神戸港
- 大阪港
- 敦賀港
- 下關港
- 門司港
- 基隆港
- 淡水港







還付ス

第二十四條 第二十条ノ價格ヲ以テ買受ケタルアルコールヲ讓渡シ、質入シ又ハ其ノ用途ヲ變更セントスルトキハ政府ノ許可ヲ受クベシ

第二十二條及前條ノ規定ハ前項ノアルコールヲ讓渡シ又ハ其ノ用途ヲ變更シタル場合ニ付之ヲ準用ス

第二十五條 第二十条ノ價格ヲ以テ買受ケタルアルコールノ使用數量ヲ買受數量ニ對シ正當ノ事由ナクシテ不足シタルトキハ其ノ不足數量ニ對シ第二十二條第二項及第三項並ニ第二十三條ノ規定ヲ準用ス

第二十六條 第二十条ノ用途ニ供スルアルコールニ付テハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ變性ヲ命ズルコトヲ得

第二十七條 第十九條ノ價格ヲ以テ政府ノ賣渡シタルアルコールヲ命令ノ定ムル所ニ依リ第二十条第二號又ハ第三號ノ用途ニ供シタル者ハ其ノ買受價額ト第二十条第二號又ハ第三號ノ規定ニ依リ算出シタル金額トノ差額ニ相當スル金額ノ交付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

第二十八條 アルコールハ政府又ハ政府ノ指定シタル賣捌人ニ非ザレバ之ヲ販賣スルコトヲ得ズ

第二十九條 アルコールハ政府ノ賣渡シタルモノニ非ザレバ之ヲ所有シ、所持シ、讓渡シ、質入シ又ハ消費スルコトヲ得ズ但シ試験研究ノ爲政府ノ許可ヲ得テ製造スル場合又ハアルコール製造者納付期日前若ハ正當ノ事由ニ因リ納付ノ遅延シタル場合ニ於テ所有又ハ所持スルハ此ノ限ニ在

其ノ用途ヲ變更シタル者  
三 第二十九條ノ規定ニ違反シ政府ノ賣渡サザルアルコールヲ所有シ、所持シ、讓渡シ、質入シ又ハ消費シタル者  
四 アルコール賣捌人ニ非ズシテアルコールヲ販賣シタル者  
第二十二條第二項及第三項並ニ第二十三條ノ規定ハ前項第二號ノ場合ニ付之ヲ準用ス

第三十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス  
一 第五條第二項ノ規定ニ依リ政府ノ指定シタル製造原料ヲ使用セザル者  
二 第八條ノ規定ニ違反シ酒母又ハ醗ヲ讓渡シ、質入シ、消費シ又ハ製造場ヨリ移出シタル者

第三十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス  
一 第十四條第二項ノ規定ニ依リ政府ノ命令シタル處理ヲ爲サザル者  
二 正當ノ事由ナクシテ政府ノ指定シタル納付期日ニアルコールヲ納付セザル者  
三 第三十條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サズ、虚偽ノ陳述ヲ爲シ又ハ其ノ職務ノ執行ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シタル者

第三十七條 第三十三條、第三十四條第三號若ハ第四號又ハ第三十五條第二號ノ罪ヲ犯シタル者アルトキハ其ノ犯罪ニ係ルアルコール、酒母、醗及其ノ容器並ニアルコール製造用機械器具ハ之ヲ沒收ス其ノアルコール、酒母又ハ醗ニシテ沒收スルコト能ハザルニ至リタルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第三十八條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者ニ付テハ刑罰第三十八條第三項但書、第三十九條第二項、第四十條、第四十一條、

第二編 專賣 第四章 アルコール アルコール專賣法

ヲズ

第三十條 當該官吏ハアルコール製造者、アルコール賣捌人又ハ第二十條ノ規定ニ依リアルコールヲ政府ヨリ買受ケタル者ニ對シテ質問ヲ爲シ又ハ左ニ掲グル物件ニ付検査ヲ爲シ若ハ監督上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 アルコール製造者、アルコール賣捌人又ハ第二十條ノ規定ニ依リアルアルコールヲ政府ヨリ買受ケタル者ノ所持スルアルコール  
二 アルコールノ製造、納付又ハ販賣ニ關スル一切ノ帳簿書類  
三 アルコールノ製造又ハ販賣上必要ナル建築物、機械、器具、容器、材料其ノ他ノ物件

第三十一條 本法ニ依リ納付セシムベキ金額ノ徵收ニ關シテハ國稅徵收法ヲ準用ス

第三十二條 政府ハアルコール製造ノ委託ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ委託ヲ受ケントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ガ申請ヲ爲スベシ

第七條、第八條、第十六條、第二十九條、第三十條、第三十九條及第四十一條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ付之ヲ準用ス

第三十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス  
一 政府ノ特許、許可又ハ委託ヲ受ケズシテアルコールヲ製造シタル者  
二 第四條ノ規定ニ違反シアルコールノ輸入又ハ移入ヲ爲シタル者  
三 政府ニ納付スベキアルコールヲ讓渡シ、消費シ又ハ隠匿シタル者

第三十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス  
一 第七條ノ規定ニ違反シ製造場若ハ藏置場ヲ新設、變更若ハ廢止シ又ハ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シタル者  
二 第二十四條第一項ノ規定ニ違反シアルコールヲ讓渡シ、質入シ又ハ

第四十八條第二項、第六十三條及第六十六條ノ規定ヲ適用セズ但シ第三十六條第三號ノ罪ヲ犯シタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十九條 アルコール製造者、アルコール賣捌人又ハアルコールヲ政府ヨリ買受ケタル者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人、其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第四十條 間接國稅犯則者處分法及明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ犯罪ニ付之ヲ準用ス  
間接國稅犯則者處分法中收稅官吏及稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フベキ官吏ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十一條 アルコール製造者其ノ製造ノ特許ヲ取消サレ又ハ其ノ業務ヲ廢止スルモ製造場又ハ藏置場ニアルコール、酒母又ハ醗ノ現存スル間ハ仍本法ヲ適用ス

第四十二條 本法ニ依リ特許又ハ委託ヲ受ケアルコールヲ製造スル者ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ特許又ハ委託ヲ受ケタル年及其ノ翌年ヨリ五年間其ノ事業ニ付所得稅及營業收益稅ヲ免除ス  
前項ノ規定ハ特許又ハ委託ヲ受ケタル者ガ其ノ製造場ヲ新設シタル場合ニ付之ヲ準用ス

附則  
第四十三條 本法ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
第四十四條 第三條ノアルコール製造者又ハ本法施行ノ際現ニアルコールノ製造方法ヲ試験研究スル爲アルコールノ製造ヲ爲ス者ニシテ本法施行後其ノ製造ヲ繼續セントスルモノハ本法施行ノ日ヨリ一月内ニ製造ノ特許又ハ許可ヲ受クベシ其ノ期間内ハアルコールノ製造ヲ爲スコトヲ得

七二七



前項ノ規定ニ依リ特許又ハ許可ヲ受ケル迄ノ間ニ製造シタルアルコールニ關シテハ本法ヲ準用ス

第四十五條 本法施行ノ際現ニアルコールノ販賣ヲ爲ス者ニシテ本法施行後其ノ販賣ヲ繼續セントスルモノハ本法施行ノ日ヨリ二月内ニアルコール賣捌人ノ指定ヲ受ケベシ其ノ期間内ハアルコールノ販賣ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ指定ヲ受ケル迄ノ間ニ於ケル販賣ニ付テハ本法ヲ準用ス

第四十六條 昭和十二年三月三十一日迄ニ酒精及酒精含有飲料稅法ニ依リ査定又ハ検査ヲ受ケタルアルコールニシテ本法施行ノ際現存スルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第四十七條 酒精及酒精含有飲料稅法第四條中「及清涼飲料」ヲ「清涼飲料及アルコール專賣法ノ適用ヲ受ケル酒精」ニ改ム

第四十八條 酒母、醱及麴取締法第一條中「酒類ノ製造免許」ノ下ニ「又ハアルコール專賣法ニ依リアルコール製造ノ特許、許可若ハ委託」ヲ加フ

### ○アルコール專賣法施行細則

昭和十二年四月一日  
大藏省令第十號

第一條 アルコール專賣法第三條ノアルコール製造者ニシテ其ノ製造ヲ繼續セントスル者ハ昭和十二年四月一日ヨリ一月内ニ第一號書式ノ特許申請書ニ第四條ノ許可申請書並ニ製造場毎ニ調製シタル敷地建物ノ詳細ナル圖面、製造用機械、器具、容器ノ目錄及アルコール製造方法書各二通ヲ添ヘ之ヲ專賣局長官ニ提出シ特許ヲ受ケベシ但シアルコール專賣法第三條第二項ノ場合ニ於テハ相續、會社ノ合併又ハ營業ノ讓受ノ事實ヲ證

スベキ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リアルコール製造ノ特許ヲ受ケタル者ニハ第二號書式ノ特許證ヲ交付ス

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シテハ專賣局長官ハアルコールノ製造ヲ特許セザルコトヲ得

- 一 取締上不適當ト認ムル場所ニ製造場ヲ設ケル者
- 二 資力不充分ト認メラルル者
- 三 前各號ノ外取締上不適當ト認ムル者

前項第二號及第三號ノ事實ノ有無ハ會社ニ在リテハ其ノ代表者ニ付、未成年者又ハ禁治産者ニ在リテハ其ノ法定代理人ニ付亦之ヲ定ム但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 アルコールノ製造場一個所トハ敷地ノ連續スルト否トヲ問ハズ總テ一製造場ト認ムベキモノヲ謂フ

第四條 アルコール製造者ハ製造場一個所毎ニ毎年其ノ年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ノ一年度内ニ製造スベキアルコールノ數量、製造方法及アルコール分ノ度數ヲ定メ其ノ年一月末日迄ニ第三號書式ノ許可申請書ヲ所轄地方專賣局ニ提出シ許可ヲ受ケベシ

前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ニハ第四號書式ノ許可證ヲ交付ス

第五條 災害其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ因リアルコール專賣法第六條

ノ制限石數以上ノ製造ヲ爲サザリシ事由ヲ記載シタル書面ハ年度終了後二十日内ニ所轄地方專賣局ニ提出スベシ

第六條 アルコール製造者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ事由ヲ具シ所轄地方專賣局ニ申請シ許可ヲ受ケベシ

- 一 製造場又ハ藏置場ヲ新設、變更若ハ廢止セントスルトキ
- 二 一年度内ニ製造スベキアルコールノ數量、製造方法及アルコール分ノ度數ヲ變更セントスルトキ
- 三 前各號ノ外アルコール專賣法ニ依リ政府ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更セントスルトキ

第七條 アルコール製造者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ所轄地方專賣局ニ申告スベシ

- 一 製造用機械、器具、容器ヲ新設又ハ變更セントスルトキ
- 二 製造場若ハ藏置場ノ模様替ヲ爲シ又ハ敷地ヲ變更セントスルトキ
- 三 製造ヲ休止セントスルトキ又ハ製造休止後更ニ製造ニ著手セントスルトキ
- 四 製造原料ヲ變更セントスルトキ
- 五 住所、居所、氏名、名稱又ハ會社ノ代表者ニ異動ヲ生ジタルトキ
- 六 アルコール、酒母又ハ醱其ノ他ノ半製品ニ亡失、腐敗其ノ他異狀アリタルトキ

前項第一號ノ新設又ハ變更アリタルトキハ當該官吏ハ其ノ機械、器具、容器ノ檢定ヲ爲スベシ此ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ之ニ番號、容量其ノ他必要ナル事項ヲ標記スルコトヲ得

アルコール製造者ハ前項ノ規定ニ依リ檢定ヲ受ケタル後ニ非ザレバ製造用機械、器具、容器ヲ使用スルコトヲ得ズ

第八條 アルコール製造者其ノ製造ニ係ル酒母又ハ醱ヲ製造場ヨリ移出スル爲許可ヲ受ケントスルトキハ第五號書式ノ許可申請書ヲ所轄地方專賣局ニ提出スベシ

第九條 相續又ハ會社ノ合併ニ因リアルコールノ製造業ヲ承繼シタルトキハ第六號書式ノ申告書ヲ專賣局長官ニ提出シ特許證ヲ交付ヲ受ケベシ

前項ノ申告書ニハ相續又ハ會社ノ合併ノ事實ヲ證スベキ書類並ニ被承繼者ノ特許證ヲ添附スルコトヲ要ス

第十條 アルコールノ製造業ヲ讓受ケアルコールヲ製造セントスル者ハ讓受前製造者ノ特許證並ニ製造者ト連署シタル第七號書式ノ特許承繼許可申請書ヲ專賣局長官ニ提出シ許可ヲ受ケベシ

前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者アルコール製造業ヲ讓受ケタルトキハ第八號書式ノ申告書ヲ專賣局長官ニ提出スベシ

第十一條 アルコール製造者其ノ製造ヲ廢止セントスルトキハ事由ヲ具シ第九號書式ノ特許取消申請書ヲ專賣局長官ニ提出スベシ

第十二條 アルコール專賣法第十二條ノ規定ニ依リアルコール製造ノ特許ヲ取消シタル場合ニ於テ酒母、醱其ノ他ノ半製品現存スルトキハ地方專賣局長ハアルコール製造者ノ申請ニ依リ相當期間ヲ定メ製造其ノ他必要ノ行爲ヲ繼續セシムルコトヲ得

第十三條 アルコール製造者其ノ特許證又ハ許可證ヲ亡失シタルトキハ直ニ其ノ事由ヲ具シ專賣局長官又ハ所轄地方專賣局長ニ申請シ之ガ再交付ヲ求ムベシ

第十四條 アルコール製造者ハ當該官吏ノ承認ヲ受ケルニ非ザレバ自己ノ所有ト否トヲ問ハズ製造用機械、器具、容器又ハ原料ヲ製造場ヨリ移出スルコトヲ得ズ



第十五條 アルコール製造者アルコール專賣法第五條第二項ノ規定ニ依リ原料ノ指定ヲ受ケタルトキハ當該官吏ノ検査ヲ受ケタル後ニ非ザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第十六條 左ニ掲グル場合ニ於テ當該官吏方承認ヲ受クベキコトヲ命ジタルトキハアルコール製造者ハ其ノ承認ヲ受クベシ  
一 酒母、醗又ハアルコールヲ他ノ容器ニ移替ヘントスルトキ  
二 アルコールヲ製造場内ニ移入セントスルトキ  
三 前各號ノ外當該官吏方指定シタル事項ヲ爲サントスルトキ

第十七條 アルコールノ賠償價格ハ毎年三月ニ於テ其ノ翌年度ニ適用スベキモノヲ定メ之ヲ告示ス但シ特殊ノ事由生ジタルトキハ之ヲ變更スルコトヲ得  
前項ノ賠償價格ニ付テハ其ノ製造場別生産能力又ハ使用シタル製造原料ニ依リ差等ヲ設ケルコトヲ得

第十八條 アルコール製造者ハ專賣局長官ノ定ムル手續ニ依リ其ノ製造シタルアルコールヲ所轄地方專賣局ニ納付スベシ但シ所轄地方專賣局ノ認可ヲ得タルトキハ所轄地方專賣局以外ノ地方專賣局ニ之ヲ納付スルコトヲ得

第十九條 地方專賣局長ハアルコール製造者ノ製造シタルアルコールニシテ左ノ要件ヲ具備セザルモノハ之ヲ收納セザルコトヲ得  
一 無色澄明ニシテ異臭ヲ有セザルコト  
二 中性ニシテ浮游物ヲ含マザルコト  
三 フーゼル油其ノ他ノ不純物ヲ含マザルコト  
第二十條 前條ノ規定ニ依リ收納セザルアルコールハ地方專賣局長ノ承認ヲ受ケ適當ナル處理ヲ爲スベシ

第七條第一項ノ規定ニ違反シ申告ヲ爲サズシテ製造用機械、器具、容器ヲ新設又ハ變更シタルトキ  
第二十二條ノ規定ニ違反シ帳簿ヲ調製セズ又ハ其ノ記載ヲ怠リ若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ  
第二十七條 アルコール製造者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス  
一 第七條第一項ノ規定ニ違反シ申告ヲ爲サズシテ製造場若ハ藏置場ノ模様替ヲ爲シ又ハ敷地ヲ變更シタルトキ  
二 第十四條ノ規定ニ違反シ當該官吏ノ承認ヲ受ケズシテ製造用機械、器具、容器又ハ原料ヲ製造場ヨリ移出シタルトキ  
三 第二十條ノ規定ニ違反シ地方專賣局長ノ承認ヲ受ケズシテアルコールノ處理ヲ爲シタルトキ  
四 第二十九條ノ規定ニ違反シ當該官吏ノ承認ヲ受ケズシテ酒母又ハ醗ヲ處分シタルトキ

第二十八條 アルコール製造者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス  
一 第七條第三項ノ規定ニ違反シ、檢定前ニ製造用機械、器具、容器ヲ使用シタルトキ  
二 第十五條ノ規定ニ違反シ検査ヲ受ケズシテ原料ヲ使用シタルトキ  
三 第十六條ノ規定ニ違反シ承認ヲ受ケズシテ酒母、醗又ハアルコールヲ他ノ容器ニ移替ヘタルトキ  
四 第十六條ノ規定ニ違反シ承認ヲ受ケズシテ製造場内ニアルコールヲ移入シタルトキ

第二十九條 アルコール製造者其ノ製造ノ特許ヲ取消サレ又ハ其ノ業務ヲ移入シタルトキ

第二編 專賣 第四章 アルコール アルコール專賣法施行細則

第二十一條 アルコールノ製造方法ヲ試験研究スル爲アルコール製造セントスル者ハ第十號書式ノ許可申請書ヲ專賣局長官ニ提出シ許可ヲ受クベシ  
前項ノ規定ニ依リアルコール製造ノ許可ヲ受ケタル者ニハ第十一號書式ノ許可證ヲ交付ス

第六條乃至第八條、第十一條乃至第十四條、第十八條乃至第二十條、第二十二條乃至第二十四條及第二十九條ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケアルコールヲ製造スル場合ニ付之ヲ準用ス  
第二十二條 アルコール製造者ハ第十二號書式ニ依リ帳簿ヲ調製シ製造ニ關スル事實ヲ記載スベシ

第二十三條 當該官吏ハ隨時アルコール製造場ニ臨ミアルコール、原料、製造用機械、器具、容器、帳簿又ハ書類ヲ検査スベシ  
第二十四條 當該官吏ハ監督上必要アリト認ムルトキハアルコール、酒母、醗其ノ他ノ半製品、原料又ハ製造用機械、器具、容器ニ封印ヲ施スコトヲ得

第二十五條 アルコール專賣法第三十二條ノ規定ニ依リアルコール製造ノ委託ヲ受ケントスル者ハ第三號書式ニ準ジ委託申請書ニ製造場毎ニ調製シタル敷地建物ノ詳細ナル圖面、製造用機械、器具、容器ノ目錄及アルコール製造方法書各二通ヲ添ヘ之ヲ專賣局長官ニ提出スベシ  
第六條乃至第八條、第十三條、第十四條、第十八條、第二十二條乃至第二十四條及第二十九條ノ規定ハ委託ヲ受ケアルコールノ製造ヲ爲ス場合ニ付之ヲ準用ス  
第二十六條 アルコール製造者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

廢止シタルトキ製造場又ハ藏置場ニ存在スル酒母又ハ醗ハ當該官吏ノ承認ヲ受ケ之ヲ處分スベシ但シ第十二條ニ該當スル場合ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ  
第三十條 アルコール專賣法第四十二條ノ規定ニ依リ所得稅又ハ營業收益稅ノ免除ヲ受ケントスル者ハ所得稅法又ハ營業收益稅法ノ規定ニ依ル所得又ハ純益金額ノ申告ト同時ニ其ノ旨所轄稅務署ニ申請スベシ  
前項ノ場合ニ於テ所得稅及營業收益稅ノ免除ヲ受クベキ事業ヨリ生ズル所得又ハ純益ト其ノ他ノ所得又ハ純益ト有スルトキハ之ヲ區別シタル計算書ヲ添附スベシ

第三十一條 アルコールノ製造業ヲ承繼シタル者ハ其ノ事業ニ付所得稅又ハ營業收益稅ノ免除期間ノ殘存スルトキニ限り其ノ免除期間ヲ繼承ス

第三十二條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
第三十三條 昭和十二年度ニ適用スベキアルコールノ賠償價格ハ其ノ年四月ニ於テ之ヲ定メ告示ス  
(第一號書式)  
アルコール製造特許申請書  
アルコール製造ノ特許相成度申請候也

年月日 住所 氏名 年 月 日生  
專賣局長官宛 備考  
七二二







記 號	蒸餾個數	原 料		摘	要
		合	量		
				一石當アルコール製成見込石數 ア仕込アルコール蒸餾見込石數	合度合

(第四號書式)

昭和 年度第 號

アルコール製造許可證

住 所

氏 名

又ハ名稱

右昭和 年度中左記ノ通アルコール製造ノ件許可ス  
年 月 日

地方專賣局長

製造場所所在地	製造スベキアルコール分ノ度数	製 造 量	製 造 方 法	製造者手豫定期
		石 數		月 日

(第五號書式)

酒母又ハ醪移出許可申請書

一 事由

一 種類

一 石 數

一 移出先

右許可相成度申請候也  
年 月 日

住 所

氏 名

年 月 日生

住 所  
製造者 氏 名  
承繼者 氏 名  
年 月 日生

(第六號書式)

地方專賣局長宛  
アルコール製造業承繼申告書

一 相續又ハ會社ノ合併ノ年月日

一 事由

右申告候也  
年 月 日

住 所

承繼者 氏 名

年 月 日生

專賣局長官宛

備 考

一 會社ノ申告ニ付テハ氏名ノ個所ニ會社名ヲ記載シ且代表者之ニ署

第二編 專賣 第四章 アルコール アルコール專賣法施行細則

(第七號書式)

アルコール製造特許承繼許可申請書

一 事由

右許可相成度申請候也  
年 月 日

住 所

製造者 氏 名

年 月 日生

住 所

承繼者 氏 名

年 月 日生

備 考

一 製造者又ハ承繼者會社ナルトキハ氏名ノ個所ニハ會社名ヲ記載シ

且代表者之ニ署名捺印スベシ

二 未成年者、禁治産者ニ在リテハ法定代理人之ニ連署捺印スベシ

(第八號書式)

アルコール製造特許承繼申告書

一 承繼年月日

一 事由

右申告候也



年月日

住所  
被承繼者 氏 名  
住所  
承繼者 氏 名

年月日生

專賣局長官宛

備考

- 一 承繼者又ハ被承繼者會社ナルトキハ氏名ノ個所ニハ會社名ヲ記載シ且代表者之ニ署名捺印スベシ  
二 未成年者、禁治産者ニ在リテハ法定代理人之ニ連署捺印スベシ

(第九號書式)

アルコール製造特許取消申請書

一 事由

一 製造場所在地

一 酒母、醗、半製品、納付未済アルコールノ現在高

右取消相成度申請候也

年月日

住所

氏 名

專賣局長官宛

備考

本申請書ニハアルコール製造特許證ヲ添附スベシ

(第十號書式)

アルコール試驗製造許可申請書

試驗製造ノ場所	期	間	製造方法	製造スベキアルコール分ノ度数	製造數量	目	的
					石		

右許可相成度申請候也

年月日

住所

職業 氏

名

年月日生

專賣局長官宛

(第十一號書式)

第 號

アルコール試驗製造許可證

住所  
職業  
氏名  
又ハ名稱

右アルコールノ試驗製造ヲ左記ノ通許可ス

年月日

專賣局長官

試驗製造ノ場所	期	間	製造方法	製造スベキアルコール分ノ度数	製造數量	目	的
					石		

(第十二號書式)

原料受拂帳

月	日	品	名	受	入	拂	出	現	在	高	缺	減	摘	要

酒母仕込帳







- (十二) 五倍子製劑
- (十三) ゴム和硫促進劑
- (十四) シトロネロール
- (十五) 樟腦
- (十六) 食酢
- (十七) 石鹼
- (十八) セルロイド
- (十九) ゼラニオール
- (二十) 臟器製劑
- (二十一) 煙草香料(外國ニ輸出スルモノニ限ル)
- (二十二) チアスターゼ類
- (二十三) チギタリス製劑
- (二十四) 燃料用變性酒精
- (二十五) ハイドロ亜硫酸亞達鹽類
- (二十六) 薄荷腦
- (二十七) ビタミン類
- (二十八) サボニン質製劑
- (二十九) プロテイン銀
- (三十) プロテイン銀
- (三十一) ヘキサメチレンテトラミン
- (三十二) 抱水クロラール
- (三十三) ラッカー及ラッカーシンナー
- (三十四) ラノリン

所轄販賣官署ニ提出スベシ

**第六條** 販賣官署ノ賣渡スアルコールハ販賣官署長ノ定メタル場所ニ於テ買受人ニ引渡スモノトス

**第七條** アルコールヲ買受ケタル者正當ノ事由ナクシテ販賣官署長ノ定ムル引渡豫定日ヲ過ギ仍現品ヲ引取ラザルトキハ相當保管料ヲ徴ス但シ販賣官署ニ於テ賣渡契約ヲ解除シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

**第八條** アルコールヲ買受ケタル元賣捌人延納擔保トシテ國債ヲ提供シタルトキハ販賣官署長ハ一回ノ賣渡代金二千圓以上ノ場合ニ限り其ノ賣渡ノ差額ニ相當スル金額ニ對シ賣渡ノ日ヨリ三月内延納ヲ許可スルコトヲ得

元賣捌人延納擔保トシテ國債ヲ豫メ提供シ置クトキハ販賣官署長ハ前項ノ規定ニ準ジ賣渡代金ノ延納ヲ許可スルコトヲ得

延納擔保ヲ提供スル者ハ無記名國債證券ヲ提供スル場合ニ於テハ之ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ提出シ、登錄國債ヲ提供スル場合ニ於テハ擔保ノ登錄ヲ受ケ其ノ登錄濟通知書ヲ提出スヘシ乙種國債登錄簿ニ登錄シタルモノニ付テハ尙記名國債證券ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ提出スベシ

**第九條** アルコール專賣法第二十一條ノ規定ニ依リ提供スベキ擔保ハ金錢又ハ國債ニ限ル

金錢ヲ擔保トシテ提供スル場合ニ於テハ之ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ販賣官署長ニ提出スベシ

國債ヲ擔保トシテ提供スル場合ニ於テハ前條第三項ノ規定ヲ準用ス

**第十條** アルコールヲ買受ケタル者代金納付ノ期日迄ニ之ヲ納付セザルト

第二編 專賣

第四章

アルコール・アルコール賣捌規則

- (三十五) 龍腦
- (三十六) ワニス
- (三十七) 酒精濕硝化纖維素
- (三十八) 寫眞用感光乳劑
- (三十九) セロイヂン

三 輸出又ハ移出ノ用ニ供スルトキ(輸移出用アルコール)

**第二條** 販賣官署ハ左ニ掲グル場合ニ限りアルコールノ賣渡ヲ爲スモノトス

- 一 元賣捌人ヨリ賣渡請求アルトキ
  - 二 揮發油混入用アルコールハ官廳ヨリ賣渡請求アルトキ
  - 三 工業用アルコールハ前條第二號ニ掲グル物品ノ製造者ヨリ一回三百石以上ノ賣渡請求アルトキ
  - 四 輸移出用アルコールハ之ヲ輸出シ又ハ移出スル者ヨリ一回十石以上ノ賣渡請求アルトキ
- アルコールノ製造方法ヲ試驗研究スル爲政府ノ許可ヲ受ケ製造シタルアルコールハ前項ノ規定ニ拘ラズ之ヲ其ノ製造者ニ賣渡スコトヲ得

**第三條** 販賣官署及其ノ販賣區域ハ專賣局長官之ヲ定ム

**第四條** 賣捌人、賣捌人ニ非ズシテアルコールヲ販賣官署ヨリ買受ケタル者又ハアルコール專賣法第二十七條ノ規定ニ依リ交付金ノ交付ヲ請求セントスル者ハ第一號書式ニ依リ帳簿ヲ調製シアルコールノ受拂ヲ記載スベシ

**第二章 賣渡**

**第五條** アルコールノ賣渡ヲ受ケントスル者ハ第二號書式ノ賣渡請求書ヲ

キハ年六分ノ割合ヲ以テ遲延利息ヲ徵スルコトアルベシ

**第十一條** 工業用アルコールヲ買受ケタル者ハ販賣官署ノ指示スル場所及日時ニ於テ當該官吏ノ立會ヲ受ケ其ノアルコールニ變性ヲ施スベシ但シ販賣官署長ニ於テ其ノ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ變性ニ於テアルコールニ混和スベキ物品及其ノ數量ハ別表ニ定ムル標準ニ據ルベシ

前項ノ規定ニ依リ難キ場合ニ於テハ所轄地方專賣局ノ承認ヲ受ケ其ノ變性方法ノ一部ヲ變更スルコトヲ得

變性ニ立會ヒタル當該官吏ハ第三號書式ノ變性濟證明書ヲ買受人ニ交付スベシ

**第十二條** 前條ノ規定ニ依リアルコールニ變性ヲ施シタル者之ヲ目的ノ用途ニ使用シタルトキハ所轄地方專賣局又ハ其ノ出張所ニ申告シ使用濟證明ヲ受クベシ

前項ノ申告アリタルトキハ當該官吏ハ製品、殘渣、機械、器具、容器及帳簿書類ヲ検査シ第四號書式ノ使用濟證明書ヲ使用者ニ交付スベシ

**第十三條** 工業用アルコールヲ目的ノ用途ニ使用スルニ際シ作業中アルコールノ分離シタルモノアルトキハ所轄地方專賣局又ハ其ノ出張所ニ申告シ其ノ數量及アルコール分ノ檢定ヲ受クベシ

前項ノ場合ニ於テハ分離シタルアルコールノ數量ヲ控除シタルモノヲ以テ使用數量トス

**第十四條** 前條ノ分離シタルアルコールハ當該官吏ニ申告シ之ヲ同一ノ用途ニ使用スルコトヲ得

第十二條第二項ノ規定ハ前項ニ依リ使用シタルアルコールニ付之ヲ準用







キハ販賣官署ハ書類ノ提出ナキ數量ニ對シ其ノ賣渡價額トアルコール專賣法第十九條ノ規定ニ依リ算出シタル金額トノ差額ニ相當スル金額ヲ納付セシム

一 工業用アルコールヲ買受ケタル者第十六條ノ變性濟證明書、使用濟證明書、輸出免狀及外國ニ陸揚セルコトヲ證スベキ書類ヲ期間内ニ提出セザルトキ

二 輸移出用アルコールヲ買受ケタル者第十七條ノ輸出免狀及外國又ハ仕向地ニ陸揚セルコトヲ證スベキ書類ヲ期間内ニ提出セザルトキ

第三十一條 工業用アルコール又ハ輸移出用アルコールヲ買受ケタル者其ノ目的ノ用途ニ使用又ハ供シタル數量ガ賣渡數量ニ對シ不足シタル場合ニ於テ正當ノ事由ナシト認ムルトキハ販賣官署ハ不足數量ニ付其ノ賣渡價額トアルコール專賣法第十九條ノ規定ニ依リ算出シタル金額トノ差額ニ相當スル金額ヲ納付セシム

第四章 賣捌人

第三十二條 賣捌人ヲ分チテ元賣捌人及小賣人トス

元賣捌人ハ販賣官署ヨリアルコールヲ買受ケ之ヲ小賣人又ハ一回二斗以上ニ限リ直接消費者ニ賣渡スモノトス

小賣人ハ元賣捌人ヨリアルコールヲ買受ケ之ヲ消費者ニ賣渡スモノトス

元賣捌人ハ他ノ元賣捌人ヨリアルコールヲ買受ケルコトヲ得

第三十三條 元賣捌人他ノ元賣捌人ヨリアルコールヲ買受ケタルトキ又ハ賣捌人籠落ニ因リアルコールヲ取得シ若ハ第四十六條ノ規定ニ依リアルコールヲ讓受ケタルトキハ七日内ニ其ノ旨所轄販賣官署ニ申告スベシ

第四十條 左ニ掲グル者ハ元賣捌人ニ指定スルコトヲ得ズ

一 アルコール專賣法第三十三條乃至第三十六條ノ規定ニ依リ處罰又ハ處分ヲ受ケ二年ヲ經ザル者

二 煙草專賣法第四十一條、第四十一條ノ二、第四十八條乃至第五十條、第五十二條、第五十四條乃至第六十條ノ規定ニ依リ處罰又ハ處分ヲ受ケ二年ヲ經ザル者

三 鹽專賣法第二十五條、第三十條ノ二乃至第三十一條ノ規定ニ依リ處罰又ハ處分ヲ受ケ二年ヲ經ザル者

四 粗製樟腦、樟腦油專賣法第十五條又ハ第十六條ノ規定ニ依リ處罰又ハ處分ヲ受ケ二年ヲ經ザル者

五 酒造税法第二十二條、第二十四條乃至第二十八條又ハ酒精及酒精含有飲料税法第十五條乃至第十九條ノ規定ニ依リ處罰又ハ處分ヲ受ケ二年ヲ經ザル者

六 破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタル時ヨリ復權ノ確定スルニ至ル迄ノ者

七 國稅滯納處分ヲ受ケ又ハ之ニ準ジタル處分ヲ受ケ一年ヲ經ザル者

八 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者又ハ禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル時ヨリ其ノ裁判ノ確定スルニ至ル迄ノ者

九 第五十條乃至第五十二條ノ規定ニ依リ賣捌人ノ指定ヲ取消サレ二年ヲ經ザル者

前項第一號乃至第五號又ハ第九號ニ該當スル者ハ小賣人ニ指定スルコトヲ得ズ

第二編 專賣 第四章 アルコール 賣捌規則

第三十四條 元賣捌人ハ專賣局長官、小賣人ハ地方專賣局長必要ニ應ジ五年内ノ期間ヲ以テ之ヲ指定ス

專賣局長官ハ元賣捌人ノ營業區域並ニ其ノ販賣スルアルコールノ容器及包裝ヲ定ムルコトヲ得

第三十五條 賣捌人容器詰アルコールヲ販賣スルトキハ其ノ容器ニ正味量及アルコール分ヲ表記スベシ

第三十六條 地方專賣局長ハ賣捌人ノ營業所及貯藏所ノ設備、アルコール保存方法並ニアルコールノ賣渡ニ付必要ナル事項ヲ指示スルコトヲ得

第三十七條 賣捌人ノ指定ヲ受ケントスル者ハ第八號書式ニ依リ申請スベシ但シ會社ニ在リテハ定款及其ノ登記抄本ヲ添付スルコトヲ要ス

賣捌人ノ指定期間滿了シ仍引續キ指定ヲ要スル場合ニ於テハ前項ノ申請ヲ俟タズ指定スルコトヲ得

第三十八條 賣捌人死亡シ又ハ隱居シタル場合ニ於テハ其ノ相續人ハ元賣捌人ニ在リテハ專賣局長官、小賣人ニ在リテハ地方專賣局長ニ申告シ

殘期間其ノ營業ヲ承繼スルコトヲ得但シ其ノ相續人が第四十條ノ規定ニ依リ賣捌人ニ指定スルコトヲ得ザル者ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ申告ハ賣捌人死亡又ハ隱居ノ日ヨリ二月内ニ第九號書式ニ依リ之ヲ爲スベシ

前二項ノ規定ハ賣捌人タル會社合併ニ因リ消滅シタル場合ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ合併ヲ證スル書類ヲ添付スベシ

第三十九條 賣捌人ト同一ノ家ニ在ル者相續ニ因ルノ外殘期間其ノ營業ヲ承繼セントスルトキハ第十號書式ニ依リ元賣捌人ニ在リテハ專賣局長官、小賣人ニ在リテハ地方專賣局長ニ申請シ其ノ許可ヲ受ケタベシ

ハ禁治産者ニ在リテハ其ノ法定代理人ニ付亦之ヲ定ム但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四十一條 元賣捌人ト小賣人トハ互ニ相兼ヌルコトヲ得ズ

第四十二條 元賣捌人營業所又ハ貯藏所ヲ設置セントスルトキハ專賣局長官ノ許可ヲ受ケタベシ

專賣局長官必要ト認ムル場合ニ於テハ元賣捌人ニ對シ營業所又ハ貯藏所ノ設置ヲ命ズルコトアルベシ

小賣人ノ營業所ハ一人ニ付一箇所トス但シ地方專賣局長必要ト認ムルトキハ二箇所以上ノ營業所ヲ設置ヲ許可スルコトヲ得

第四十三條 元賣捌人ハ專賣局長官ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ其ノ營業所又ハ貯藏所ヲ變更スルコトヲ得ズ

小賣人ハ地方專賣局長ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ其ノ營業所ヲ變更スルコトヲ得ズ

第四十四條 會社タル元賣捌人其ノ定款又ハ代表者ヲ變更セントスルトキハ專賣局長官ノ承認ヲ受ケタベシ

會社タル小賣人其ノ定款又ハ代表者ヲ變更シタルトキハ地方專賣局長ニ申告スベシ

第四十五條 元賣捌人其ノ營業ヲ廢止セントスルトキハ廢業ノ日ヨリ一月前ニ其ノ旨專賣局長官ニ申告スベシ

二箇所以上ノ營業所又ハ貯藏所ヲ有スル元賣捌人其ノ一個所又ハ數個所ヲ廢止セントスルトキハ專賣局長官ノ許可ヲ受ケタベシ

小賣人其ノ營業ヲ廢止セントスルトキハ其ノ旨地方專賣局長ニ申告スベシ二箇所以上ノ營業所ヲ有スル者其ノ一個所又ハ數個所ヲ廢止セントス



ルトキ亦同ジ

第四十六條 賣捌人死亡シ其ノ營業ヲ承繼スル者ナキトキ、指定期間満了シ引續キ指定セラレザルトキ、指定ヲ取消サレタルトキ又ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキニ於テ現存スルアルコールハ事實發生ノ日ヨリ一月内ニ賣捌人ニ讓渡スルコトヲ得

第四十七條 賣捌人ノ指定、廢止若ハ變更ニ關スル申請書又ハ申告書ハ凡テ之ヲ其ノ地所轄ノ地方專賣局又ハ其ノ出張所ニ提出スベシ

第五章 罰則

第四十八條 賣捌人、賣捌人ニ非ズシテアルコールヲ政府ヨリ買受ケタル者又ハアルコール專賣法第二十七條ノ規定ニ依リ交付金ノ交付ヲ受ケントスル者第四條ノ規定ニ違反シ帳簿ヲ調製セズ又ハ其ノ記載ヲ怠リ若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四十九條 第十八條ノ規定ニ違反シ許可ヲ受ケザル場所ニアルコール專賣法第二十條ノ規定ニ依リ價格ヲ以テ買受ケタルアルコールヲ藏置シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第五十條 賣捌人左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ三十圓以下ノ罰金若ハ科料ニ處シ又ハ元賣捌人ニ付テハ專賣局長官、小賣人ニ付テハ地方專賣局長其ノ指定ヲ取消スコトヲ得

一 指定セラレ、許可ヲ受ケ又ハ命ゼラレタル位置ニ營業所又ハ貯藏所ヲ設置セザルトキ

二 第四十二條第一項ノ規定ニ違反シ許可ヲ受ケズシテ元賣捌人其ノ營業所又ハ貯藏所ヲ設置シタルトキ

三 第四十三條ノ規定ニ違反シ許可ヲ受ケズシテ其ノ營業所又ハ貯藏所ヲ變更シタルトキ

第四十四條第一項ノ規定ニ違反シ會社タル元賣捌人承認ヲ受ケズシテ其ノ定款又ハ其ノ代表者ヲ變更シタルトキ

第四十五條第二項ノ規定ニ違反シ許可ヲ受ケズシテ元賣捌人其ノ營業所又ハ貯藏所ヲ廢止シタルトキ

第三十六條ノ規定ニ依リ地方專賣局長ガ指示シタル事項ニ違反シ當該官吏ノ注意ヲ受クルモ仍之ニ從ハザルトキ

第五十一條 左ノ場合ニ於テハ專賣局長官ハ元賣捌人ノ指定ヲ取消スコトヲ得

一 第三十三條ノ規定ニ違反シアルコールノ買受又ハ讓受ヲ申告セザルトキ

二 第三十五條ノ規定ニ違反シ正味量又ハアルコール分ヲ表記セザル器詰アルコールヲ販賣シタルトキ

三 第四十條第一項第一號乃至第八號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキ

四 アルコール買受代金一年一萬圓未滿ナルトキ

五 正當ノ事由ナクシテ納付期日ヲ過ギ仍アルコール賣渡代金ヲ完納セザルトキ

六 正當ノ事由ナクシテ一月以上營業ヲ爲サズ又ハ三月以上アルコールノ買受ヲ爲サザルトキ

第五十二條 左ノ場合ニ於テハ地方專賣局長ハ小賣人ノ指定ヲ取消スコトヲ得

一 第三十五條ノ規定ニ違反シ正味量又ハアルコール分ヲ表記セザル器詰アルコールヲ販賣シタルトキ

二 第四十條第一項第一號乃至第五號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキ

三 正當ノ事由ナクシテ二月以上營業ヲ爲サザルトキ

第五十三條 賣捌人ガ會社、未成年者又ハ禁治産者ナル場合ニ於テハ第五十一條第三號又ハ前條第二號ノ事實ノ有無ニ付テハ第四十條第三項ノ規定ヲ準用ス

第五十四條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五十五條 アルコール專賣法第二十條第二號ノ價格ヲ以テ買受ケタルアルコール又ハアルコール專賣法第二十七條ノ規定ニ依リ交付金ノ交付ヲ請求セントスルアルコールニ對シ變性濟證明又ハ使用濟證明ヲ受ケントスル者ハ當分ノ内之ヲ所轄稅務署ニ申請スルコトヲ得

(別表)

工業用アルコール變性標準

製造物品	アルコール一石ニ付混和スベキ物品及其ノ數量
一 アルカロイド及其ノ鹽類	木精七甬以上又ハベンゾール二甬以上 原料品七甬以上
二 エーテル	著色料(ペンゾファストスカイレット)タルモノ以下同ジ)一瓦以上 木精二甬以上 比重一・八三以上ノ硫酸二甬以上 製品二甬以上又ハ製造殘渣十五甬以上
三 エステル類	著色料一瓦以上 比重一・八三以上ノ硫酸百甬以上 比重一・一以上ノ製品二甬以上

四 體	其ノ他
エチレン及其ノ誘導體	木精、アセトン、アセトン油及石油ベ ンチン中一種若ハ數種ヲ通ジテ七甬以 上又ハベンゾール二甬以上 原料品又ハ製品ノ一種又ハ數種ヲ通ジ テ七甬以上

五 苛性カリ	雷 汞
木精及石油ベンチン中一種若ハ二種ヲ通ジテ七甬以上又ハベンゾール二甬以上 原料品十三甬以上	再餾凝縮液(凝縮液ヲ蒸餾シタルモノ ニシテ酒精、アルモノ)六甬以上 再餾凝縮液(雷汞化中蒸發スル瓦斯 ヲ凝縮瓶ニ導キ凝縮中セシメタルモノ ニシテ酒精、アルモノ)八甬以上 再餾酒精(爆粉製造ノ際使用シタル稀 薄酒精ヲ再餾シタルモノ)ニシテ七十三 乃至八十七パーセントノ酒精ヲ含有ス ルモノ)十六甬以上

六 火 藥	酒 精 濕 綿 火 藥 又 ハ 無 煙 火 藥
爆 粉	アニリンブリン一瓦以上 木精七甬以上

七 擬 眞 珠	八 香 水 其ノ他ノ化粧液
樟腦又ハ樟腦油ノ一種又ハ二種ヲ通ジ テ二甬以上 木精、アセトン、アセトン油及テレピ ン油中一種若ハ數種ヲ通ジテ七甬以上 又ハベンゾール二甬以上	原料品ノ全部



九 礦油	サルバルサ ン類	木精七冠以上 原料品三十八冠以上 比重〇・七三以下ノエーテル三十八冠以上
	其ノ他	甲方法 木精七冠以上 原料品又ハ製品ノ一種又ハ數種ヲ通ジテ七冠以上
十 導引物 タルコ ル 分 導 引 物 の 生 成 品	乙方法 原料品又ハ製品ノ一種又ハ數種ヲ通ジテ十四冠以上	木精、アセトン及アセトン油中一種若ハ數種ヲ通ジテ七冠以上又ハベンゾール二冠以上
十一 コロチオン	甲方法 木精七冠以上 原料品又ハ製品ノ一種又ハ數種ヲ通ジテ七冠以上	木精七冠以上又ハベンゾール二冠以上
十二 五倍子製劑	乙方法 原料品又ハ製品ノ一種又ハ數種ヲ通ジテ十四冠以上	五倍子末三十冠以上
十三 ゴム和硫促進劑	甲方法 木精七冠以上 原料品又ハ製品ノ一種又ハ數種ヲ通ジテ七冠以上	木精七冠以上又ハベンゾール二冠以上
十四 シトロネロール	乙方法 原料品又ハ製品ノ一種又ハ數種ヲ通ジテ十四冠以上	木精七冠以上又ハベンゾール二冠以上
十五 樟腦	甲方法 木精七冠以上 原料品又ハ製品ノ一種又ハ數種ヲ通ジテ七冠以上	木精七冠以上又ハベンゾール二冠以上

十六 食酢	酸量(醋酸トシテ)一パーセント以上トナリ且酒精分十五パーセント以下トナル程度ノ種酢又ハ種酢及水
十七 石鹼	苛性曹達又ハ苛性カリ四百五十五以上樟腦油又ハ芳香性揮發油一冠以上又ハ製木精七冠以上及製品十三冠以上又ハ製品百冠以上
十八 セルロイド	木精、アセトン及アセトン油中一種若ハ數種ヲ通ジテ七冠以上又ハベンゾール二冠以上又ハ製品百八十八冠以上
十九 ゼラニオール	木精七冠以上又ハベンゾール二冠以上
二十 臟器製劑	木精七冠以上又ハベンゾール二冠以上
二十一 煙草香料	原料品ノ全部
二十二 チアスターゼ類	木精七冠以上又ハベンゾール二冠以上
二十三 チギタリス製劑	木精七冠以上
二十四 燃料用變性酒精	甲方法 木精七冠以上又ハベンゾール二冠以上 原料品又ハ製品ノ一種又ハ數種ヲ通ジテ七冠以上 乙方法 著色料〇・二瓦以上 比重〇・八六六以下ノ石油(攝氏二百八十度以下ニ於テ石油原油ヨリ餾出)

二十五 ハイドロ亜硫酸曹達鹽類	著色料一瓦以上 原料品又ハ製品ノ一種又ハ數種ヲ通ジテ七冠以上
二十六 薄荷腦	木精七冠以上又ハベンゾール二冠以上 原料品又ハ製品ノ一種又ハ數種ヲ通ジテ七冠以上
二十七 ビタミン類	甲方法 肝油一冠以上 製造殘渣八冠以上 乙方法 木精七冠以上又ハベンゾール二冠以上 製造殘渣八冠以上
二十八 サボニン質製劑	木精七冠以上又ハベンゾール二冠以上 原料品又ハ製品ノ一種又ハ數種ヲ通ジテ七冠以上
二十九 プローム樟腦	木精及石油ベンチン中一種若ハ二種ヲ通ジテ七冠以上又ハベンゾール二冠以上 原料品又ハ製品ノ一種又ハ數種ヲ通ジテ七冠以上
三十 プロテイン銀	木精七冠以上

三十一 ヘキサメチレンテトラミン	木精及石油ベンチン中一種若ハ二種ヲ通ジテ七冠以上又ハベンゾール二冠以上
三十二 抱水クロラール	木精七冠以上又ハベンゾール二冠以上
三十 カラック カラ ッ シ ン ナ ー	木精、アセトン及アセトン油中一種若ハ數種ヲ通ジテ七冠以上又ハベンゾール二冠以上
三十四 ラノリン	木精七冠以上 原料品、製品及製造殘渣中一種又ハ數種ヲ通ジテ十四冠以上
三十五 龍腦	木精及石油ベンチン中一種若ハ二種ヲ通ジテ七冠以上又ハベンゾール二冠以上
三十六 ワニス	木精、アセトン及アセトン油中一種若ハ數種ヲ通ジテ七冠以上又ハベンゾール二冠以上
三十七 酒精濃縮化纖維素	ベンゾール二冠以上
三十八 寫眞用感光乳劑	木精三冠以上 アセトン一冠以上
三十九 セロイチン	エーテル一冠以上 ベンゾール一冠以上 原料品七冠以上



アルコール買帳

年月日	受		入		出		現在數量	摘要
	數量	代金	數量	代金	數量	代金		
計								

備考

- 一 元賣捌人ハ本書式ニ依リ帳簿ヲ調製シ營業所及貯藏所毎ニ備付クベシ
- 二 アルコール分及容器ノ異ナル毎ニ口座ヲ分ツベシ
- 三 賣渡ニ付テハ賣渡一口毎ニ賣渡票ヲ調製シ其ノ日ノ賣渡ハ小賣人賣ト直接消費者賣トニ區分集計シ各其ノ合計高ヲ記載シ賣渡票ヲ保存シ置クモノトス
- 四 受入アルコールノ一石當運賃、其ノ他受入及其ノ他拂出ノ事由ヲ摘要欄ニ記載スベシ
- 五 本簿ノ使用ハ其ノ年四月ニ始マリ翌年三月ニ終ルモノトス

(第一號書式ノ二)

アルコール買受帳

年月日	容	器	アルコール分	買受數量	買受代金	摘要
計						

備考

- 一 小賣人ノ調製スベキ帳簿ハ本書式ニ依ルベシ但シ之ヲ横式ニ調製スルモ妨ナシ
- 二 買受先、讓受先及運賃ヲ摘要欄ニ記載スベシ
- 三 本簿ノ使用ハ其ノ年四月ニ始マリ翌年三月ニ終ルモノトス

(第一號書式ノ三)

アルコール受排簿

年月日	受		入		使用		品		分攤アルコール	回收アルコール	現在數量
	數量	代金	數量	代金	數量	代金	數量	代金			
計											











工業用アルコール變性濟證明書

買受人(申請者)ノ住所、氏名

右證明ス

年月日

買(讓)受先及買(讓)受月日	數量及アルコール分	使用期日	使用場所	使用目的	藏置場所	變性			
						日	場所	混和物	方法

在勤廳 官 氏 名 印

工業用アルコール使用濟證明書

使用者ノ住所、氏名

右證明ス

年月日

買(讓)受先及買(讓)受月日	變性日時及場所	數量及アルコール分	使用期日	使用場所	製		
					製造方法	名稱及數量	品性狀

在勤廳 官 氏 名 印



工業用アルコール變性證明申請書				
ル-コルアキベス施ヲ性變				
買受先 (讓受先)	數量及アルコール分	使用期日	使用場所	使用目的
性 變				
日 時	場 所	混 和 物	方 法	變性済アルコールノ藏置場
住 所				
氏 名 印				

地方專賣局長(出張所長)宛

住 所

氏 名 印

移出用アルコール檢定申請書				
ル-コルアキベス出移				
買受先 (讓受先)	容器及包裝	數量及アルコール分	檢定希望日時	檢定ヲ受クル場所
出 移				
豫定期日	移出港	積載船名	地 法 施行地内寄港	移出先
住 所				
氏 名 印				

移出用アルコール檢定申請書

右申請候也

年 月 日

地方專賣局長(出張所長)宛

住 所

氏 名 印

備考

移出先ニ於ケル荷受人ヲ豫定シ得ル場合ニ於テハ其ノ者ノ住所、氏名ヲ移出先欄ニ附記スベシ

第二編 專賣 第四章 アルコール アルコール賣捌規則



移出用アルコール檢定濟證明書		申請者ノ住所、氏名	
買受先 (讓受先)		容器及包装	數量及アルコール分
檢定日時	檢定場所	檢定場所	檢定場所
出		移	
豫定期日	移出港	積載船名	地施行地内寄港
移出先	檢定濟アルコールノ藏置場		
右證明ス 年月日			
在勤廳 官 氏 名 印			

アルコール元賣捌人(又ハアルコール小賣人)指定申請書	
申請人	住所
氏名	
生年月日	
現在營業ノ種類	
營業所豫定位置	
右申請候也 年月日	
專賣局長官(アルコール小賣人)宛 ハ地方專賣局長	
右 氏 名 印	

備考

- 一 申請人無能力者ナル場合ハ法定代理人、保佐人又ハ夫之ニ連署捺印スベシ
  - 二 申請人會社ナル場合ニ於テ申請書ニ記載シタル代表者以外ニ代表者アルトキハ其ノ氏名ヲ記載シタル書類ヲ添付スベシ
  - 三 現在營業ノ種類ハ詳細ニ記載シ且豫定營業所ニ於テ申請者以外ノ者カ營業ヲ有スル場合ハ之ヲ區分附記スベシ
- 第二編 專賣 第四章 アルコール アルコール賣捌規則



(第九號書式)

承繼年 月 日 及其ノ原因		アルコール元賣捌人(又ハアルコ ル小賣人) (營業承繼申告書)		
承繼人	住 所	營 業 所	氏 名	住 所
	住 所	營 業 所	氏 名	住 所
承繼人	住 所	營 業 所	氏 名	住 所
	住 所	營 業 所	氏 名	住 所
生 年 月 日	氏 名	住 所	住 所	住 所

右申告候也  
年 月 日

右  
氏 名 印  
(隠居ニ因ル承繼ノ場合ニ付テハ)  
被承繼人 氏 名 印

專賣局長官(アルコール小賣人)宛  
ハ地方專賣局長

備考

- 一 承繼人又ハ被承繼人無能力者ナル場合ハ法定代理人、保佐人又ハ夫之ニ連署捺印スベシ
- 二 家督相續ニ因ル承繼申告ニ付テハ相續届出後ノ戸籍抄本ヲ、遺産相續ニ因ル承繼申告ニ付テハ戸籍謄本ヲ添附スベシ
- 三 二個所以上ノ營業所ヲ有スル場合ハ其ノ本店所在地ノミヲ記載スベシ

(第十號書式)

承繼年 月 日		アルコール元賣捌人(又ハアルコ ル小賣人) (營業承繼許可申請書)		
承繼人	住 所	營 業 所	氏 名	住 所
	住 所	營 業 所	氏 名	住 所
承繼人	住 所	營 業 所	氏 名	住 所
	住 所	營 業 所	氏 名	住 所
生 年 月 日	氏 名	住 所	住 所	住 所

右申請候也  
年 月 日

右  
被承繼人 氏 名 印

專賣局長官(アルコール小賣人)宛  
ハ地方專賣局長

備考

- 一 承繼人又ハ被承繼人無能力者ナル場合ハ法定代理人、保佐人又ハ夫之ニ連署捺印スベシ
- 二 戸籍謄本ヲ添附スベシ
- 三 二個所以上ノ營業所ヲ有スル場合ハ其ノ本店所在地ノミヲ記載スベシ

第二編 專賣 第四章 アルコール アルコール賣捌規則



### 第五章 專賣法反則處分

#### ○煙草專賣法鹽專賣法粗製樟腦樟腦油專賣法違反事件ニ關スル件

明治四十年九月三十日 (總理、大藏) 勅令第三百一十一號 (大臣副署)

改正 明治四十二年第四〇號  
大正一一年第四〇三號  
昭和一二年第八三號

朕煙草專賣法、鹽專賣法、粗製樟腦、樟腦油專賣法違反事件ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
煙草專賣法第六十七條但書、鹽專賣法第三十八條第二項、アルコール專賣法第四十條第二項又ハ粗製樟腦、樟腦油專賣法第二十三條第二項ニ依リ間接國稅犯則者處分法中收稅官吏ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官吏ハ專賣官吏、收稅官吏、稅關官吏、警察官吏又ハ森林官吏トシ稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官吏ハ稅關官吏ノ發見ニ係ル違反事件ニ關シテハ違反事件發見地ヲ管轄スル稅關長トシ其ノ他ノ官吏ノ發見ニ係ル違反事件ニ關シテハ違反事件發見地ヲ管轄スル地方專賣局長トス  
煙草專賣法、鹽專賣法、アルコール專賣法及粗製樟腦、樟腦油專賣法違反事件ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法施行規則ヲ準用ス

#### 附則

本令ハ明治四十年十月一日ヨリ之ヲ施行ス  
明治三十七年勅令第六十四號、明治三十八年勅令第三百三十六號ハ之ヲ廢止ス

### 第三編 會計

#### 第一章 普通會計

##### ○會計法

大正十年四月八日 (國務各大) 法律第四十二號 (臣副署)

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國議會ノ協贊ヲ經タル會計法改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
會計法

##### 第一章 總則

- 第一條 政府ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル一會計年度所屬ノ歲入歲出ノ出納ニ關スル事務ハ翌年度七月三十一日迄ニ悉皆完結スヘシ
- 第二條 租稅其ノ他一切ノ收納ヲ歲入トシ一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入歲出ハ之ヲ總豫算ニ編入スヘシ
- 第三條 每會計年度ニ於ケル經費ノ定額ハ其ノ年度ノ歲入ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ
- 第四條 各官廳ニ於テハ法律勅令ヲ以テ規定シタルモノヲ除クノ外特別ノ資金ヲ有スルコトヲ得ス
- 第五條 政府ハ日本銀行ヲシテ國庫金出納ノ事務ヲ取扱ハシム  
前項ノ規定ニ依リ日本銀行ニ於テ受入レタル國庫金ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ預金トス

第三編 會計 第一章 普通會計 會計法

止ス  
明治三十六年勅令第四百四十一號中内地ニ關スル規定ハ之ヲ適用セス

第六條 政府ハ國庫金出納上必要アルトキハ大藏省證券ヲ發行シ又ハ日本銀行ヨリ借入ヲ爲スコトヲ得  
大藏省證券及借入金ハ當該年度ノ歲入ヲ以テ之ヲ償還スヘシ  
大藏省證券及借入金ノ最高額ハ毎年度帝國議會ノ協贊ヲ經テ之ヲ定ム

##### 第二章 豫算

- 第七條 歲入歲出ノ總豫算ハ前年ノ帝國議會集會ノ始ニ於テ之ヲ提出スヘシ  
必要避クヘカラサル經費及法律又ハ契約ニ基ク經費ニ不足ヲ生シタル場合ヲ除クノ外追加豫算ヲ提出スルコトヲ得ス
- 第八條 歲入歲出ノ總豫算ハ經常臨時ノ二部ニ大別シ各部中ニ於テ之ヲ款項ニ區分スヘシ  
總豫算ニハ帝國議會參考ノ爲ニ左ノ文書ヲ添附スヘシ  
一 歲入豫算明細書  
二 各省ノ豫定經費要求書但シ各項目ノ明細ヲ記入スヘシ
- 第九條 豫算中ニ設クヘキ豫備費ハ左ノ二項ニ分ツ  
第一 豫備金  
第二 豫備金  
第一 豫備金ハ避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フモノトス  
第二 豫備金ハ豫算外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ツルモノトス
- 第十條 豫備金ヲ以テ支辨シタルモノハ其ノ第一豫備金支出ニ係ルモノハ年度經過後其ノ第二豫備金支出ニ係ルモノハ次ノ常會ニ於テ帝國議會ニ提出シ其ノ承諾ヲ求ムルコトヲ要ス
- 第十一條 政府ハ豫算ニ定ムルモノ及特ニ帝國議會ノ協贊ヲ經タルモノヲ除クノ外災害事變其ノ他避クヘカラサル事由アル場合ニ於テハ翌年度ニ



互ル契約ヲ締結スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ翌年度ニ互ル契約ヲ爲スコトヲ得ヘキ金額ハ毎年度帝國議會ノ協贊ヲ經テ之ヲ定ム

第三章 收入

第十二條 租稅其ノ他ノ歳入ハ法令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ徵收又ハ收納スヘシ

法令ノ定ムル所ニ依リ當該官吏ノ資格アル者ニ非サレハ租稅其ノ他ノ歳入ヲ徵收又ハ收納スルコトヲ得ス但シ各廳事務員ヲシテ收納ヲ分掌セシムル場合又ハ日本銀行ヲシテ收納ヲ取扱ハシムル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第四章 支出

第十三條 各年度ニ於テ決定シタル經費ノ定額ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ經費ニ充ツルコトヲ得ス

第十四條 國務大臣ハ其ノ所管ニ屬スル收入ヲ國庫ニ納ムヘシ直ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス

國務大臣ハ豫算ニ定メタル目的ノ外ニ定額ヲ使用シ又ハ各項ノ金額ヲ彼此流用スルコトヲ得ス

第十五條 國務大臣其ノ所管定額ヲ支出セムトスルトキハ現金ノ交付ニ代ヘ日本銀行ヲ交拂人トスル小切手ヲ振出スヘシ但シ他ノ官吏ニ委任シテ小切手ヲ振出サシムルコトヲ得

第十六條 國務大臣ハ債主ノ爲ニスルニ非サレハ小切手ヲ振出スコトヲ得ス但シ以下四條ノ規定ニ依リ主任ノ官吏又ハ日本銀行ニ對シ資金ヲ交付スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 國務大臣ハ勅令ヲ以テ定ムル經費ニ限リ主任ノ官吏ヲシテ現金

支拂ヲ爲サシムル爲勅令ノ定ムル所ニ依リ之カ資金ヲ當該官吏ニ交付スルコトヲ得

第十八條 國務大臣ハ日本銀行ニ命シ國債ノ元利拂ヲ爲サシムル爲之カ資金ヲ日本銀行ニ交付スルコトヲ得

第十九條 國務大臣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ現金支拂ヲ爲サシムル爲當該官吏ヲシテ其ノ保管ニ係ル歳入金、歳出金又ハ歳入歳出外現金ヲ繰替使用セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ歳出金ニ繰替使用シタル現金ヲ補填スル爲國務大臣ハ之カ資金ヲ當該官吏ニ交付スルコトヲ得

第二十條 國務大臣隔地者ニ支拂ヲ爲サシムルトキハ必要ナル資金ヲ日本銀行ニ交付シ之カ支拂ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十一條 國務大臣ハ勅令ヲ以テ定メタル場合ニ限リ前金拂又ハ概算拂ヲ爲スコトヲ得但シ軍艦、兵器、彈藥若ハ外國ヨリ直接購入スル機械圖書ノ代價及官公署ニ對シ支拂フヘキ經費ヲ除クノ外物件ノ製造若ハ買入又ハ工事ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條 國務大臣ハ特殊ノ經理ヲ必要トスル場合ニ限リ勅令ノ定ムル所ニ依リ各廳事務費ノ全部又ハ一部ヲ主務官吏ニ對シ渡切ヲ以テ支給スルコトヲ得

第五章 決算

第二十三條 會計検査院ノ検査ヲ經テ政府ヨリ帝國議會ニ提出スル歳入歳出ノ總決算ハ翌年開會ノ常會ニ於テ帝國議會ニ之ヲ提出スヘシ

第二十四條 總決算ハ總豫算ト同一ノ様式ヲ用キ左ノ事項ノ計算ヲ明記スヘシ

歳入ノ部

歳入豫算額

測定済歳入額

收入済歳入額

不納缺損額

收入未済歳入額

歳出ノ部

歳出豫算額

豫算決定後増加歳出額

支出済歳出額

翌年度繰越額

不用額

第二十五條 總決算ニハ會計検査院ノ検査報告ト俱ニ左ノ文書ヲ添附スヘシ

一 歳入決算明細書

二 各省決算報告書

三 國債計算書

第六章 歳計剩餘定額繰越過年度支出豫算外收入及定額戻入

第二十六條 各年度ニ於テ歳計ニ剩餘アルトキハ其ノ翌年度ノ歳入ニ繰入ルヘシ

第二十七條 豫算ニ於テ特ニ明許シタルモノ及一年度内ニ終ルヘキ工事製造又ハ物品ノ買入若ハ運搬ニシテ避クヘカラサル事故ノ爲ニ竣功又ハ納入若ハ運搬ヲ遅延シ年度内ニ其ノ經費ノ支出ヲ終ラサリシモノハ之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

第二十八條 數年ヲ期シテ竣功スヘキ工事製造其ノ他ノ事業ニシテ繼續費トシテ總額ヲ定メタルモノハ毎年度ノ支出殘額ヲ竣功年度迄遞次繰越シ使用スルコトヲ得

第二十九條 過年度ニ屬スル經費ハ現年度定額ヨリ支出スヘシ但シ豫備金ヲ以テ補充シ得ヘキモノヲ除クノ外其ノ經費所屬年度ノ毎項定額中不用ト爲リタル金額ヲ超過スルコトヲ得ス

第三十條 出納ノ完結シタル年度ニ屬スル收入其ノ他豫算外ノ收入ハ總テ現年度ノ歳入ニ組入ルヘシ但シ支出済歳出ノ返納金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ各之ヲ交ニヒタル經費ノ定額ニ戻入ルルコトヲ得

第七章 契約

第三十一條 政府ニ於テ賣買貸借請負其ノ他ノ契約ヲ爲サシムルトキハ勅令ヲ以テ定メタル場合ヲ除クノ外總テ公告シテ競争ニ付スヘシ

國務大臣前項ノ方法ニ依リ契約ヲ爲スヲ不利ト認ムル場合ニ於テハ指名競争ニ付シ又ハ隨意契約ニ依ルコトヲ得但シ不動産賣拂ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八章 時効

第三十二條 金錢ノ給付ヲ目的トスル政府ノ權利ニシテ時効ニ關シ他ノ法律ニ規定ナキトキハ五年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス政府ニ對スル權利ニシテ金錢ノ給付ヲ目的トスルモノニ付亦同シ

第三十三條 金錢ノ給付ヲ目的トスル政府ノ權利ニ付消滅時効ノ中断停止其ノ他ノ事項ニ關シ適用スヘキ他ノ法律ノ規定ナキトキハ民法ノ規定ヲ準用ス政府ニ對スル權利ニシテ金錢ノ給付ヲ目的トスルモノニ付亦同シ

第三十四條 法令ノ規定ニ依リ政府ノ爲ス納入ノ告知ハ民法第百五十三條ノ規定ニ拘ラス時効中断ノ效力ヲ有ス



第九章 出納官吏

第三十五條 出納官吏ハ法令ノ定ムル所ニ依リ現金又ハ物品ヲ出納保管ス

出納官吏ハ其ノ出納保管ニ係ル現金又ハ物品ニ付一切ノ責任ヲ負ヒ會計

第三十六條 出納官吏其ノ保管ニ係ル現金又ハ物品ヲ亡失毀損シタルトキ

第三十七條 國務大臣ハ特ニ必要アル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ

第三十八條 第十五條ニ定メタル小切手振出ノ職務ハ現金出納ノ職務ト相

第十章 雜則

第三十九條 特別ノ須要ニ因リ本法ニ準據シ難キモノアルトキハ特別會計

第四十條 政府ハ其ノ所有又ハ保管ニ係ル有價證券ノ取扱ヲ日本銀行ニ命

第四十一條 日本銀行ハ其ノ取扱ヒタル國庫金ノ出納、國債ノ發行ニ依ル

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治二十七年法律第十六號、明治三十三年法律第五十號及明治四十四年法

律第二十四號ハ之ヲ廢止ス

本法施行前ニ爲シタル第二豫備金ノ支出並本法施行ノ日ノ屬スル年度ノ前

年度及前々年度ノ決算ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

本法施行前ニ期滿免除ト爲ラサル權利ニ付テハ本法其ノ他ノ法律中時効ニ

關スル規定ヲ適用ス但シ其ノ期間ノ起算點ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

本法施行前ニ進行ヲ始メタル期滿免除ノ期間カ本法其ノ他ノ法律ニ定メタ

ル時効ノ期間ヨリ長キトキハ從前ノ規定ニ依ル但シ其ノ殘期カ本法施行ノ

日ヨリ起算シ本法其ノ他ノ法律ニ定メタル時効ノ期間ヨリ長キトキハ其ノ

日ヨリ起算シテ本法其ノ他ノ法律ヲ適用ス

前三項ニ規定スルモノヲ除クノ外本法ノ施行ニ關シ必要ナル規定ハ勅令ヲ

以テ之ヲ定ム

○勅令第四百十二號 (明治四十三年九月三十日) (總理、大藏)

○勅令第四百十七號 (明治二十九年五月四日) (總理、大藏、拓

本令ハ明治四十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

○勅令第六十七號 (明治二十九年五月四日) (殖務大臣副署)

朕朝鮮ニ施行スル法律ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

朕會計法ヲ臺灣ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治二十二年法律第四號會計法ヲ臺灣ニ施行ス

○會計規則

大正十一年一月九日

(國務各大)

改正 昭和七年第一〇〇號、八年第三三〇號

朕會計規則改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一章 總則

第一節 會計年度所屬區分

第一條 歳入ノ年度所屬ハ左ノ區分ニ依ル

一 納期ノ一定シタル收入ハ其ノ納期末日ノ屬スル年度

二 隨時ノ收入ニシテ納入ノ告知書ヲ發スルモノハ納入ノ告知書ヲ發シ

タル日ノ屬スル年度

三 隨時ノ收入ニシテ納入ノ告知書ヲ發セサルモノハ領收ヲ爲シタル日

ノ屬スル年度

第二條 歳出ノ年度所屬ハ左ノ區分ニ依ル

一 國債ノ元利、年金、恩給ノ類ハ支拂期日ノ屬スル年度

二 諸拂戻金、缺損補填金、償還金ノ類ハ其ノ決定ヲ爲シタル日ノ屬ス

第三編 會計 第一章 普通會計 會計規則

ル年度

三 俸給、給料、手當、旅費、手数料ノ類ハ其ノ支給スヘキ事實ノ生シ

タル時ノ屬スル年度

四 使用料、保管料、電燈電力料ノ類ハ其ノ支拂ノ原因タル事實ノ存シ

タル期間ノ屬スル年度

五 工事製造費、物件ノ購入代價、運賃ノ類ハ其ノ支拂ヲ爲スヘキ日ノ

屬スル年度

六 前各號ニ該當セサル費用ニシテ繰替拂ヲ爲シタルモノハ其ノ繰替拂

ヲ爲シタル日ノ屬スル年度、其ノ他ノモノハ小切手ヲ振出シタル日ノ

屬スル年度

第二節 國庫金ノ出納

第三條 日本銀行ハ本令ニ依ルノ外大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ國庫金出納

ノ事務ヲ取扱フヘシ

日本銀行ニ於テ受入レタル國庫金ハ政府預金トシ其ノ種別及受拂ニ關ス

ル事項ハ大藏大臣ノ定ム

第四條 政府預金ニハ大藏大臣ノ特ニ定ムルモノニ限り相當ノ利子ヲ附セ

シム

第五條 毎年度所屬歳入金ヲ日本銀行ニ於テ受入ルルハ翌年度四月三十日



毎年度所屬歳出金ヲ日本銀行ニ於テ支拂フハ翌年度五月三十一日限トス

第二章 豫算

第一節 總豫算

第六條 大藏大臣ハ歳入ノ景況ヲ調査シ各省ノ豫定經費要求書ニ基キ歳入歳出總豫算ヲ調製スヘシ

總豫算ニハ歳計全體ニ關スル説明ヲ附スヘシ

第七條 歳入豫算ハ經常臨時共ニ款項ニ區分シテ調製シ成ルヘク歳入ノ性質ヲ明ニスヘシ

第八條 歳出豫算ハ經常臨時共ニ款項ニ區分シテ調製シ成ルヘク經費ノ目的ヲ明ニスヘシ

第九條 歳入歳出總豫算款項ノ區分ハ大藏大臣之ヲ定ム

第二節 歳入豫算明細書

第十條 大藏大臣ハ毎年度歳入ノ豫定高ヲ算定シ前年度ノ豫算額ト比較ヲ爲シ歳入豫算明細書ヲ調製スヘシ

歳入豫算明細書ハ經常臨時共ニ款項ニ區分シ更ニ各項ノ金額ヲ各目ニ區分シ各項毎ニ増減ノ事由及計算ノ基ク所ヲ示スヘシ

第三節 豫定經費要求書

第十一條 各省大臣ハ毎年度其ノ所管經費ノ豫定高ヲ算定シ前年度ノ豫算額ト比較ヲ爲シ豫定經費要求書ヲ調製シ前年度九月三十日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第十二條 各省ノ豫定經費要求書ハ經常臨時共ニ款項ニ區分シ各項中所要ノ金額ヲ各目ニ區分シ必要ノ場合ニ於テハ更ニ之ヲ細分シ經費所要ノ經由及計算ノ基ク所ヲ示スヘシ

第十三條 各省ノ豫定經費要求書ニハ各省所管經費全體ニ關スル説明及各款各項ノ説明ヲ附スヘシ

第十四條 各省大臣ハ毎年度決定ノ豫算定額ニ基キ支出官毎ニ所要ノ費額ヲ定メ支拂豫算ヲ調製シ之ヲ大藏大臣及會計検査院ニ送付スヘシ

第十五條 支拂豫算ヲ更定シタルトキハ其ノ計算書ヲ大藏大臣及會計検査院ニ送付スヘシ

第十六條 大藏大臣支拂豫算又ハ其ノ更定計算書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ日本銀行ニ通知スヘシ

第十七條 豫備金ハ大藏大臣之ヲ管理ス

第十八條 第一豫備金ヲ以テ補充シ得ヘキ費途ハ毎年度豫メ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條 各省大臣第一豫備金ノ支出ヲ要スルトキハ金額、理由及計算ノ基ク所ヲ明ニシタル要求書ヲ調製シ大藏大臣ノ承認ヲ經ヘシ

第二十條 大藏大臣第一豫備金ノ支出ヲ承認シタルトキハ之ヲ會計検査院ニ通知スヘシ

第二十一條 各省大臣第二豫備金ノ支出ヲ要スルトキハ金額、理由及計算ノ基ク所ヲ明ニシタル要求書ヲ調製シ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十二條 大藏大臣ハ前條ノ要求書ヲ調査シ意見ヲ附シテ勅裁ヲ請フヘシ

第二十三條 第二豫備金支出ノ勅裁アリタルトキハ大藏大臣ハ金額、理由及計算ノ基ク所ヲ明ニシタル書類ヲ添ヘ之ヲ會計検査院ニ通知シ且其ノ

事項及金額ヲ官報ニ掲載スヘシ

第二十四條 第一豫備金ヲ以テ補充シタル金額ハ各省大臣其ノ計算書ヲ調製シ各費途毎ニ説明ヲ附シ翌年度八月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

大藏大臣ハ第一豫備金支出ノ總計算書ヲ調製シ之ニ説明ヲ附シ各省大臣ヨリ送付シタル豫備金支出ノ計算書ト共ニ帝國議會ニ提出スルノ手續ヲ爲スヘシ

第二十五條 第二豫備金ヲ以テ支辨シタル金額ハ各省大臣其ノ調書ヲ調製シ各費途毎ニ説明ヲ附シ毎年度帝國議會常會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

大藏大臣ハ第二豫備金支出ノ總調書ヲ調製シ之ニ説明ヲ附シ各省大臣ヨリ送付シタル豫備金支出ノ調書ト共ニ帝國議會ニ提出スルノ手續ヲ爲スヘシ

第六節 翌年度ニ互ル契約

第二十六條 各省大臣災害事變其ノ他避クヘカラサル事由ノ爲會計法第十條第一項ノ規定ニ依リ翌年度ニ互ル契約ヲ結フノ必要アリト認ムルトキハ金額、理由及計算ノ基ク所ヲ明ニシタル要求書ヲ調製シ大藏大臣ノ承認ヲ經ヘシ

第二十七條 大藏大臣前條ノ承認ヲ爲シタルトキハ金額、理由及計算ノ基ク所ヲ明ニシタル書類ヲ添ヘ之ヲ會計検査院ニ通知スヘシ

第三章 收入

第一節 徴收

第二十八條 歳入徴收官ハ法律又ハ勅令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外各省大臣ノ定ムル各處ノ長ヲ以テ之ニ充ツ但シ各省大臣必要アリト認ム

ルトキハ大藏大臣ト協議シテ特例ヲ設クルコトヲ得

歳入徴收官必要アリト認ムルトキハ他ノ官吏ヲシテ其ノ徴收事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十九條 支出済ト爲リタル歳出ノ返納金ヲ歳入ニ組入レムトスル場合ニ於テハ該經費ヲ支出シタル支出官之カ歳入徴收官トシテ徴收ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十條 歳入徴收官租稅其ノ他ノ歳入ヲ徴收セムトスルトキハ法令ニ違フコトナキカ、所屬年度及歳入科目ヲ誤ルコトナキカヲ調査シ之ヲ決定スヘシ

第三十一條 歳入徴收官前條ノ決定ヲ爲シタルトキハ納人ニ對シ其ノ納付スヘキ金額、期日及場所ヲ記載シタル書面ヲ以テ納入ノ告知ヲ爲スヘシ但シ出納官吏又ハ出納員ニ即納セシムル場合ハ口頭ヲ以テ納入ノ告知ヲ爲スコトヲ得

第三十二條 納期ノ一定シタル收入ニシテ納期所屬ノ年度ニ於テ納入ノ告知書ヲ發セサルモノハ總テ納入ノ告知書ヲ發シタル年度ノ歳入ニ組入ルヘシ

第二節 收納

第三十三條 出納官吏又ハ出納員租稅其ノ他ノ歳入金ヲ收納シタルトキハ領收證書ヲ納人ニ交付スヘシ此ノ場合ニ於テハ出納官吏收納旨ヲ歳入徴收官ニ報告スヘシ

第三十四條 出納官吏又ハ出納員ノ收納シタル現金ハ出納官吏之ヲ日本銀行ニ拂込ムヘシ

第三十五條 日本銀行ニ於テ歳入金ヲ收納シ又ハ歳入金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ領收證書ヲ納人又ハ拂込人ニ交付シ領收済ノ旨ヲ歳入徴收官ニ報



告スヘシ

第三十六條 毎年度所屬歳入金ヲ出納官吏又ハ出納員ニ於テ收納スルハ翌年度四月三十日限トス

第三節 報告

第三十七條 歳入徴收官ハ毎月徴收報告書ヲ調製シ参照書類ヲ添ヘ之ヲ歳入事務管理廳ニ送付スヘシ

第三十八條 歳入事務管理廳ハ徴收報告書ニ依リ毎月徴收總報告書ヲ調製シ参照書類ヲ添ヘ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四章 支出

第一節 總則

第三十九條 勅令ヲ以テ指定シタル費途ニ對シテハ大藏大臣ノ承認ヲ經ルニ非サレハ之ニ他ノ費途ノ金額ヲ流用スルコトヲ得ス

大藏大臣前項ノ承認ヲ爲シタルトキハ之ヲ會計検査院ニ通知スヘシ

第四十條 豫備金ヲ以テ補充シ得ヘキ費途及豫備金ヲ以テ支辨スル費途ノ金額ハ他ノ費途ニ流用スルコトヲ得ス

第四十一條 各省大臣他ノ官吏ヲシテ其ノ所管定額ノ支出ヲ爲サシメムトスルトキハ支拂豫算ヲ定メテ之ヲ委任スヘシ

第四十二條 支出官ニ事故アルトキハ各省大臣ハ臨時他ノ官吏ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第四十三條 本章ノ規定ハ小切手法ノ適用ヲ妨ケス

第二節 小切手ノ振出

第四十四條 支出官ハ小切手振出前其ノ經費ハ豫算ノ目的ニ違フコトナキカヲ調査シ該經費ノ金額ヲ算定シ且該經費ハ支拂豫算額ニ超過スルコトナキカ、所屬年度及支出科目ヲ誤ルコトナキカヲ調査スヘシ

第四十五條 支出官ハ其ノ振出ス小切手ニ受取人ノ氏名、金額、年度、支出科目、番號其ノ他必要ナル事項ヲ記載スヘシ

第四十六條 小切手ハ一項毎ニ之ヲ振出スヘシ

第四十七條 支出官ノ振出ス小切手ハ大藏大臣ノ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外之ヲ記名式持參人拂ト爲スヘシ

第四十八條 支出官隔地ノ債主ニ支拂ヲ要スルトキハ支拂場所ヲ指定シ日本銀行ニ之カ資金ヲ交付シ其ノ旨ヲ債主ニ通知スヘシ

第四十九條 前項ノ規定ハ隔地ノ出納官吏ニ資金ヲ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第五十條 支出官小切手ヲ振出シタルトキハ其ノ都度之ヲ日本銀行ニ通知スヘシ

第五十一條 毎年度ニ屬スル經費ヲ精算シテ小切手ヲ振出スハ翌年度四月三十日限トス但シ國庫内ニ於ケル移換ノ爲ニスル支出又ハ會計法第十九條ノ規定ニ依リ歳出金ニ繰替使用シタル現金補填ノ爲ニスル支出ニ付テハ翌年度五月三十一日迄小切手ヲ振出スコトヲ得

第三節 支拂

第五十二條 小切手ノ呈示アリタルトキハ日本銀行ハ其ノ小切手法令ニ違フコトナキカ、券面金額カ支拂豫算各項定額ノ殘高ニ超過スルコトナキカヲ調査シ之カ支拂ヲ爲スヘシ

第五十三條 前項ノ小切手ニシテ其ノ振出日附ヨリ十日ヲ經過シタルモノト雖一年ヲ經過セサル場合ニ於テハ之カ支拂ヲ爲スヘシ

第五十四條 日本銀行第四十八條ノ規定ニ依リ資金ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ小切手ノ振出日附ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ債主又ハ出納官吏ニ對シ之カ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第五十五條 毎年度小切手振出濟金額中翌年度五月三十一日迄ニ支拂ヲ了

告スヘシ

セサル金額ニ相當スル資金ハ會計法第二十六條ノ歲計剩餘ニ組入レス之ヲ繰越整理スヘシ

第五十四條 前條ノ規定ニ依リ繰越シタル資金中小切手振出日附ヨリ一年ヲ經過シ未タ其ノ支拂ヲ了セサル金額ニ相當スルモノハ之ヲ其ノ期間滿了ノ日ノ屬スル年度ノ歳入ニ組入ルヘシ

第五十五條 前項ノ規定ハ日本銀行第五十二條ノ場合ニ於テ支拂ヲ了セサル金額ニ相當スル資金ノ返納ニ付之ヲ準用ス

第五十六條 支出官小切手ノ所持人ヨリ償還ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テハ之ヲ調査シ償還スヘキモノト認ムルトキハ事由ヲ具シ證據書類ヲ添ヘ之ヲ所管大臣ニ提出シ所管大臣ハ審査ノ上之カ支拂ヲ大藏大臣ニ請求スヘシ

第五十七條 前條ノ規定ハ支出官第五十二條ノ場合ニ於テ其ノ支拂ヲ受ケサル債主又ハ出納官吏ヨリ更ニ支拂ノ請求ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第四節 資金前渡、前金拂、概算拂及渡切經費

第五十七條 會計法第十七條ノ規定ニ依リ主任ノ官吏ヲシテ現金支拂ヲ爲サシムル爲其ノ資金ヲ當該官吏ニ前渡スルハ左ニ掲クル經費ニ限ル

一 陸軍ノ軍隊、學校及病院並海軍ノ部隊、學校、病院及艦船ニ屬スル經費

二 陸海軍ノ行軍又ハ演習ニ要スル經費

三 陸軍ニ於テ馬匹又ハ糧秣ヲ生産者ヨリ直接購入スル場合ニ要スル經費

四 官船ニ屬スル經費

五 外國ニ於テ支拂ヲ爲ス經費

第三編 會計 第一章 普通會計 會計規則

第三節 支拂

第六十條 運輸通信ノ不便ナル地方ニ於テ支拂ヲ爲ス經費

第六十一條 廳中常用ノ雜費及旅費但シ一年ノ總額五千圓ヲ超ユルコトヲ得ス

第六十二條 場所ノ一定セサル事務所ノ經費

第六十三條 各廳直轄ノ工事、製造又ハ造林ニ要スル經費但シ一主任官ニ付當時五萬圓ヲ超ユルコトヲ得ス

第六十四條 監獄作業賞與金

第六十五條 囚人及刑事被告人押送費

第六十六條 證人、鑑定人、通事又ハ參考人ニ支給スル旅費其ノ他ノ給與

第六十七條 前條ノ規定ニ依リ資金ヲ前渡スルハ左ノ區分ニ依ル

一 當時ノ費用ニ係ルモノハ每一月分以内ノ費額ヲ豫定シテ交付スヘシ但シ外國ニ於テ支拂ヲ爲ス經費、運輸通信ノ不便ナル地方ニ於テ支拂ヲ爲ス經費又ハ支拂場所ノ一定セサル經費ハ事務ノ必要ニ依リ六月分以内ヲ交付スルコトヲ得

二 隨時ノ費用ニ係ルモノハ所要ノ費額ヲ豫定シ事務上差支ナキ限リ成ルヘク分割シテ交付スヘシ

第六十八條 會計法第二十一條ノ規定ニ依リ前金拂ヲ爲シ得ルハ左ニ掲クル經費ニ限ル但シ第九號乃至第十三號ニ掲クル經費ニ付テハ所管大臣大藏大臣ト協議スルコトヲ要ス

一 軍艦、兵器又ハ彈藥ノ代價

二 外國ヨリ直接購入スル機械又ハ圖書ノ代價

三 朝鮮、臺灣、樺太、關東州又ハ南洋群島内ニ居住スル者ニ支給スル徵兵旅費

四 運賃

五 外國ニ於テ支拂ヲ要スル土地又ハ家屋ノ借料及公課



第三編 會計 第一章 普通會計 會計規則

- 六 政府ノ買収又ハ收用ニ係ル土地ノ上ニ存スル物件ノ移轉料
- 七 官公署ニ對シ支拂フヘキ經費
- 八 外國ニ於テ研究又ハ調査ニ從事スル者ニ支給スル學資金其ノ他ノ給與
- 九 交通至難ノ場所ニ勤務スル者又ハ艦船乗組ノ者ニ支給スル俸給其ノ他ノ給與
- 十 軍人、軍屬及陸海軍ノ職工ニ支給スル旅費
- 十一 外國在勤陸海軍武官ニ支給スル俸給其ノ他ノ給與
- 十二 補助金
- 十三 諸謝金
- 第六十條 會計法第二十一條ノ規定ニ依リ概算拂フ爲シ得ルハ左ニ掲クル經費ニ限ル但シ第三號ニ掲クル經費ニ付テハ所管大臣大藏大臣ト協議スルコトヲ要ス
- 一 旅費
- 二 官公署ニ對シ支拂フヘキ經費
- 三 補助金又ハ補助給金
- 第六十一條 會計法第二十二條ノ規定ニ依リ事務員ノ全部又ハ一部ヲ主務官吏ニ對シ渡切ヲ以テ支給シ得ルハ左ニ掲クル官署ノ經費ニ限ル
- 一 在外各廳
- 二 逓信官署
- 三 區裁判所出張所
- 四 朝鮮、臺灣、樺太、關東州及南洋群島ニ於ケル官署
- 前項ノ官署ノ種類、渡切ト爲スヘキ歲出科目及支給方法ハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

第五節 繰替拂

- 第六十二條 各省大臣ハ左ニ掲クル經費ノ支拂ヲ爲サシムル爲出納官吏ヲシテ其ノ保管ニ係ル前渡ノ資金ヲ繰替使用セシムルコトヲ得但シ第四號ニ掲クル經費ニ繰替使用スヘキ資金ハ艦船經費繰替金ニ限ル
- 一 旅費
- 二 埋葬費
- 三 在外公館ニ於ケル難民貸與金
- 四 海軍省所管艦船經費
- 第六十三條 所管大臣ハ左ニ掲クル官署ノ出納官吏又ハ出納員ヲシテ其ノ取扱ニ係ル歲入金、歲出金及歲入歲出外現金ヲ交互ニ繰替使用セシムルコトヲ得
- 一 鐵道官署
- 二 逓信官署
- 前項ノ規定ニ依ル現金ノ繰替使用ニ關スル手續ハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム
- 第六節 年度開始前支出
- 第六十四條 各省大臣ハ資金前渡ヲ爲シ得ル經費ニ限リ必要已ムヲ得サル場合ニ於テハ當該年度開始前之カ資金ヲ交付スルコトヲ得
- 第六十五條 前條ノ場合ニ於テハ各省大臣其ノ前渡ヲ要スル經費ヲ算定シ計算書ヲ調製シテ之ヲ大藏大臣及會計検査院ニ送付スヘシ
- 大藏大臣前項ノ計算書ノ送付ヲ受ケタルトキハ審査ノ上之ヲ日本銀行ニ通知スヘシ
- 第七節 報告
- 第六十六條 支出官ハ毎月支出濟額報告書ヲ調製シテ之ヲ所管大臣ニ送付ス

第六十七條 所管大臣ハ支出濟額報告書ニ依リ毎月支出總報告書ヲ調製シ

支出濟額報告書ヲ添ヘ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五章 決算

第一節 總決算

第六十八條 歲入歲出總決算ハ總豫算ト同一ノ區分ニ依リ大藏大臣之ヲ調製スヘシ

第六十九條 大藏大臣ハ總決算ニ歲入決算明細書、各省決算報告書及國債計算書ヲ添ヘ會計検査院ニ送付ノ手續ヲ爲スヘシ

第二節 歲入決算明細書、各省決算報告書及收入支出計算書

第七十條 大藏大臣ハ歲入豫算明細書ト同一ノ區分ニ依リ歲入決算明細書ヲ調製シ各項毎ニ豫算ニ對スル増減ノ事由ヲ説明スヘシ

第七十一條 歲入事務管理廳ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ毎年度收入濟歲入額ニ付豫算ニ對スル増減計算書ヲ調製シ翌年度七月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第七十二條 各省大臣ハ各省豫定經費要求書ト同一ノ區分ニ依リ其ノ省所管ニ屬スル經費ノ決算報告書ヲ調製シ翌年度七月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第七十三條 歲入徵收官ハ會計検査院ニ證明ノ爲歲入徵收額計算書ヲ調製シ證書類ヲ添ヘ其ノ歲入事務管理廳ニ送付シ歲入事務管理廳ハ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

第七十四條 支出官ハ會計検査院ノ證明ノ爲支出計算書ヲ調製シ證書類ヲ添ヘ其ノ所管大臣ニ送付シ所管大臣ハ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

第七十五條 前二條ノ計算書ハ歲入事務管理廳又ハ所管大臣ヨリ特ニ委任

第三編 會計 第一章 普通會計 會計規則

ヲ受ケタル官吏ヲシテ直ニ之ヲ會計検査院ニ送付セシムルコトヲ得

第三節 國債計算書

第七十六條 國債計算書ハ大藏大臣之ヲ調製スヘシ

第七十七條 國債計算書ニハ左ニ掲クル事項ヲ示スヘシ

- 一 當該年度末日ニ於ケル國債ノ種類及現在高ヲ示ス計算
- 二 當該年度ニ於テ償還シ及支拂ヒタル各種國債ノ元高及利子ノ計算
- 三 最近五年度間ニ於ケル各種國債増減ノ情況ヲ示ス計算

第六章 定額繰越及定額戻入

第一節 定額繰越

第七十八條 各省大臣會計法第二十七條及第二十八條ノ規定ニ依リ定額ノ繰越ヲ要スルトキハ翌年度四月三十日迄ニ繰越計算書ヲ調製シ各事件毎ニ其ノ事由ヲ示シ大藏大臣ノ承認ヲ求ムヘシ

繰越計算書ハ歲出豫算ト同一ノ區分ニ依リ調製シ左ニ掲クル事項ヲ示スヘシ

- 一 繰越ヲ要スル項ノ定額
- 二 定額中支出濟ト爲リタル額及當該年度所屬トシテ支出スヘキ額
- 三 定額中翌年度ニ繰越ヲ要スル額
- 四 定額中不用ト爲ルヘキ額

第七十九條 會計法第二十七條ノ規定ニ依リ繰越ヲ爲サシムルトキハ豫算ニ於テ明許シタル場合ヲ除クノ外前條ノ繰越計算書ニ契約書ノ寫其ノ他ノ參照書類ヲ添付スヘシ

第八十條 大藏大臣各省定額ノ繰越ヲ承認シタルトキハ繰越計算書ノ寫ヲ添ヘ之ヲ會計検査院ニ通知スヘシ

第二節 定額戻入



第八十一條 支出済ト爲リタル歳出ノ返納金ハ其ノ支拂ヒタル經費ノ定額ニ之ヲ戻入ルルコトヲ得但シ重大ナル過失ニ因リ誤拂過渡ト爲リタル金額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十二條 支出官前條ノ規定ニ依リ定額ニ戻入レムトスルトキハ返納人ヲシテ其ノ金額ヲ返納セシムヘシ

第八十三條 日本銀行ニ於テ前條ノ返納金ヲ領收シタルトキハ之ニ相當スル金額ヲ支拂豫算定額ニ戻入ノ記帳ヲ爲シ其ノ旨ヲ支出官ニ通知スヘシ

第八十八條 政府ト契約ヲ結ハムトスル者ハ現金又ハ國債ヲ以テ契約金額百分ノ十以上ノ保證金ヲ納ムヘシ  
指名競争ニ付シ又ハ隨意契約ニ依ル場合ニ於テハ各省大臣ハ保證金ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトヲ得前條第三號及第四號ノ場合亦同シ

第七章 契約

第一節 總則

第八十五條 各省大臣又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏契約ヲ爲サムトスルトキハ契約ノ目的、履行期限、保證金額、契約違反ノ場合ニ於ケル保證金ノ處分、危險ノ負擔其ノ他必要ナル事項ヲ詳細ニ記載シタル契約書ヲ作成スヘシ

第九十一條 財産ノ貸付料ハ法律勅令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外之ヲ前納セシムヘシ但シ貸付期間ノ長期ニ涉ルモノニ付テハ毎年定期ニ之ヲ納付セシムルコトヲ得

第八十六條 契約書ニハ當該官吏記名捺印スルコトヲ要ス

第九十二條 各省大臣三千圓ヲ超ユル工事、製造又ハ物件ノ買入ニ付テハ竣功又ハ完納ノ後之ヲ監督又ハ検査シタル官吏又ハ技術者ヲシテ其ノ調書ヲ作成セシムヘシ

第八十七條 各省大臣ハ左ニ掲ケル場合ニ於テハ第八十五條ニ規定スル契約書ノ作成ヲ省略スルコトヲ得但シ第五號ノ場合ニ於テハ大藏大臣ト協議スルコトヲ要ス

第九十三條 前條第二項ノ支拂ヲ爲サムトスルトキハ工事又ハ製造ニ付テハ其ノ既済部分ニ對スル代價ノ十分ノ九、物件ノ買入ニ付テハ其ノ既納部分ニ對スル代價ヲ超ユルコトヲ得但シ箇々ニ分立シ得ヘキ性質ノ工事又ハ製造ニ於ケル各箇ノ完済部分ニ對シテハ其ノ代價ノ全額迄ヲ支拂

一 三千圓ヲ超ユル指名競争契約又ハ隨意契約ヲ爲ストキ  
二 外國ニ於テ五千圓ヲ超ユル指名競争契約又ハ隨意契約ヲ爲ストキ  
三 驛賣ニ付スルトキ  
四 物品賣拂ノ場合ニ於テ買受人直ニ代金ヲ納付シ其ノ物品ヲ引取ルトキ  
五 第一號及第二號以外ノ隨意契約ニ付各省大臣契約書ヲ作成スルノ必

五以上ノ保證金ヲ納ムヘシ  
第九十四條 競落者契約ヲ結ハサルトキハ保證金ハ政府ノ所得トス  
第九十五條 競争ハ第九十九條ニ規定スル場合ヲ除クノ外總テ入札ノ方法ヲ以テ之ヲ行フヘシ

フコトヲ得

第九十四條 前二條ノ規定ハ工事又ハ製造以外ノ請負契約ノ全部又ハ一部ノ履行ニ對シ支拂ヲ爲サムトスル場合ニ之ヲ準用ス

第九十五條 本章ニ定ムルモノノ外契約ニ關シ必要ナル事項ハ大藏大臣之ヲ定ム

第二節 一般競争契約

第九十六條 一般ノ競争ニ加ラムトスル者ニ必要ナル資格ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依ル

第九十七條 各省大臣ハ左ノ各號ノ一ニ該當スト認メタル者ヲ爾後二年間競争ニ加ラシメサルコトヲ得之ヲ代理人、支配人、番頭、手代又ハ技術者トシテ使用シタル者亦同シ

一 契約ヲ履行スルニ當リ故意ニ工事、製造又ハ物件ヲ粗雑ニシ又ハ其ノ品質數量ニ關シ欺罔ノ行爲アリタル者

二 競争ニ際シ不當ニ價格ヲ競上ケ又ハ競下クル目的ヲ以テ連合ヲ爲シタル者

三 競争ノ加入ヲ妨害シ又ハ競落者ノ契約締結若ハ契約ノ履行ヲ妨害シタル者

四 検査監督ニ際シ掛員ノ職務執行ヲ妨ケタル者

五 正當ノ理由ナクシテ契約ヲ履行セザリシ者

六 前各號ノ一ニ該當スト認メラレタル後二年ヲ經過セサル者ヲ契約ニ際シ代理人、支配人、番頭、手代又ハ技術者トシテ使用スル者

第九十八條 各省大臣ハ前條ノ規定ニ該當スル者ヲ入札代理人トシテ使用スル者ヲ競争ニ加ラシメサルコトヲ得

第九十九條 競争ニ加ラムトスル者ハ現金又ハ國債ヲ以テ見積金額百分ノ



トヲ得

第四百七條 落札ト爲ルヘキ同價ノ入札ヲ爲シタル者二人以上アルトキハ直ニ抽籤ヲ以テ落札者ヲ定ムヘシ

前項ノ場合ニ於テ當該入札者中出席セサル者又ハ抽籤ヲ爲ササル者アルトキハ入札ニ關係ナキ官吏ヲシテ之ニ代リ抽籤ヲ爲サシムヘシ

第四百八條 入札者若ハ落札者ナキ場合又ハ落札者契約ヲ結ハサル場合ニ於テ更ニ入札ニ付セムトスルトキハ第四百二條ノ期間ハ五日迄ニ之ヲ短縮スルコトヲ得

第四百九條 各省大臣勳產ノ賣拂ニ付特別ノ事由ニ因リ必要アリト認ムル場合ニ於テハ大藏大臣ト協議シ本節ノ規定ニ準シ賣賣ニ付スルコトヲ得

第三節 指名競争契約

第四百十條 會計法第三十一條第二項ノ規定ニ依ルノ外左ニ掲ケル場合ニ於テハ指名競争ニ付スルコトヲ得

一 契約ノ性質又ハ目的ニ依リ競争ニ加ルヘキ者少數ニシテ一般ノ競争ニ付スルノ必要ナキトキ

二 一萬圓ヲ超エサル工事若ハ製造ヲ爲サシメ又ハ五千圓ヲ超エサル財産ノ買入ヲ爲ストキ

三 貸借料年額又ハ總額三千圓ヲ超エサル物件ノ借入ヲ爲ストキ

四 豫定貸借料年額又ハ總額千圓ヲ超エサル物件ノ貸付ヲ爲ストキ

五 豫定代價二千圓ヲ超エサル財産ノ賣拂ヲ爲ストキ

六 前四號以外ノ契約ニシテ其ノ金額四千圓ヲ超エサルトキ

隨意契約ニ依ルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ指名競争ニ付スルコトヲ妨ケス

第四百十一條 指名競争ニ付セムトスルトキハ成ルヘク五人以上ノ入札者ヲ

指定スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ第四百三條ニ規定シタル事項ヲ各入札者ニ通知スヘシ

第四百十二條 各省大臣會計法第三十一條第二項ノ規定ニ依リ指名競争ニ付シテ契約ヲ結ヒタルトキハ事由ヲ詳具シ直ニ之ヲ會計検査院ニ通知スヘシ

第四百十三條 第九十七條乃至第一百一條、第四百四條乃至第四百七條ノ規定ハ指名競争契約ノ場合ニ之ヲ準用ス

各省大臣必要ナシト認ムル場合ニ於テハ第九十九條ノ保證金ハ之ヲ免除スルコトヲ得

第四節 隨意契約

第四百十四條 會計法第三十一條第二項ノ規定ニ依ルノ外左ニ掲ケル場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

一 契約ノ性質又ハ目的カ競争ヲ許ササルトキ

二 急迫ノ際競争ニ付スルノ暇ナキトキ

三 政府ノ行爲ヲ秘密ニスルノ必要アルトキ

四 五千圓ヲ超エサル工事若ハ製造ヲ爲サシメ又ハ三千圓ヲ超エサル財産ノ買入ヲ爲ストキ

五 貸借料年額又ハ總額千五百圓ヲ超エサル物件ノ借入ヲ爲ストキ

六 豫定貸借料年額又ハ總額五百圓ヲ超エサル物件ノ貸付ヲ爲ストキ

七 豫定代價千圓ヲ超エサル財産ノ賣拂ヲ爲ストキ

八 前四號以外ノ契約ニシテ其ノ金額二千圓ヲ超エサルトキ

九 勞力ノ供給ヲ請負ハシムルトキ

十 運送又ハ保管ヲ爲サシムルトキ

十一 官廳相互間ニ於テ契約ヲ爲ストキ

十二 農工場、學校、試験所、監獄其ノ他之ニ準スヘキモノノ生産又ハ製造ニ係ル物品ノ賣拂ヲ爲ストキ

十三 法律勅令ノ規定ニ依リ財産ノ讓與又ハ無償貸付ヲ爲シ得ル者ニ其ノ財産ノ賣拂又ハ貸付ヲ爲ストキ

十四 非常災害アリタル場合ニ於テ罹災者ニ政府ノ生産ニ係ル建築材料ノ賣拂ヲ爲ストキ

十五 外國ニ於テ契約ヲ爲ストキ

十六 道府縣市町村其ノ他ノ公法人、公益法人、産業組合又ハ慈善ノ爲ニ設立シタル教育所ヨリ直接ニ物件ノ買入又ハ借入ヲ爲ストキ

十七 移住地域内ニ於ケル土木工事ヲ其ノ移住民ノ共同請負ニ付スルトキ

十八 學術又ハ技藝ノ保護獎勵ノ爲之ニ必要ナル物件ノ賣拂又ハ貸付ヲ爲ストキ

十九 産業又ハ拓殖事業ノ保護獎勵ノ爲之ニ必要ナル物件ノ賣拂若ハ貸付ヲ爲ストキ又ハ生産者ヨリ直接ニ其ノ生産若ハ製造ニ係ル物品ノ買入ヲ爲ストキ

二十 公共用、公用又ハ公益事業ニ供スル爲必要ナル物件ヲ直接ニ公共團體又ハ起業者ニ賣拂又ハ貸付ヲ爲ストキ

二十一 土地、建物、林野又ハ其ノ産物ヲ之ニ特別ノ緣故アル者ニ賣拂又ハ貸付ヲ爲ストキ

二十二 事業經營上特ニ必要ナル物品ノ買入ヲ爲シ若ハ製造ヲ爲サシメ又ハ土地建物ノ借入ヲ爲ストキ

二十三 法律勅令ノ規定ニ依リ問屋業者ニ販賣ヲ委託スルトキ又ハ之ヲシテ販賣ヲ爲サシムルトキ

前項第十九號乃至第二十三號ノ場合ニ於テハ所管大臣豫メ大藏大臣ト協議スルコトヲ要ス

第四百十五條 競争ニ付スルモノ入札者ナキトキ又ハ再度ノ入札ニ付スルモ落札者ナキトキハ隨意契約ニ依ルコトヲ得但シ保證金及期限ヲ除クノ外最初競争ニ付スルトキ定メタル價格其ノ他ノ條件ヲ變更スルコトヲ得ス

第四百十六條 落札者契約ヲ結ハサルトキハ其ノ落札金額ノ制限内ニ於テ隨意契約ニ依ルコトヲ得但シ期限ヲ除クノ外最初競争ニ付スルトキ定メタル條件ヲ變更スルコトヲ得ス

第四百十七條 前二條ノ場合ニ於テ豫定價格又ハ落札金額ヲ分割計算シ得ル場合ニ限リ該價格又ハ金額ノ制限内ニ於テ各目的ニ付之ヲ數人ニ分割シテ契約ヲ爲スコトヲ妨ケス

第四百十八條 隨意契約ニ依ラムトスルトキハ成ルヘク二人以上ヨリ見積書ヲ徴スヘシ

第四百十九條 各省大臣會計法第三十一條第二項ノ規定ニ依リ隨意契約ニ依リタル場合ニ於テハ事由ヲ詳具シ直ニ之ヲ會計検査院ニ通知スヘシ

第八章 保管金及有價證券

第四百二十條 政府ハ法律勅令ノ規定ニ依ルニ非サレハ公有又ハ私有ノ現金又ハ有價證券ヲ保管セス

第四百二十一條 政府ノ保管ニ係ル現金ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ大藏省預金部ニ預入ルヘシ

第四百二十二條 政府ノ所有又ハ保管ニ係ル有價證券ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ日本銀行ヲシテ之カ取扱ヲ爲サシム

第四百二十三條 政府ノ保管ニ係ル現金又ハ政府ノ所有若ハ保管ニ係ル有價



證券ノ取扱手續ニ關シテハ法律勅令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外大藏大臣之ヲ定ム

第九章 出納官吏

第一節 總則

第二百二十四條 本令ニ於テ出納官吏ト稱スルハ現金ノ出納保管ヲ掌ル官吏ヲ謂フ

第二百二十五條 出納官吏ハ各省大臣又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏之ヲ命ス

第二百二十六條 各省大臣又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏必要アリト認ムルトキハ出納官吏ノ代理官又ハ分任官ヲ置クコトヲ得

前項ノ代理官ハ出納官吏ノ事務ノ全部ヲ代理シ分任官ハ其ノ一部ヲ分掌スルモノトス

第二百二十七條 所管大臣ハ會計法第三十七條ノ規定ニ依リ左ニ掲ケル官署ノ事務員ヲシテ現金ノ出納保管ニ關スル事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

一 鐵道官署

二 逓信官署

前項ノ外特別ノ必要アル場合ニ於テハ各省大臣大藏大臣ト協議シ其ノ廳ノ事務員ヲシテ現金ノ出納保管ニ關スル事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二百二十八條 前條ノ規定ニ依リ現金ノ出納保管ニ關スル事務ノ分掌ヲ命セラレタル事務員ハ主任出納官吏又ハ分任出納官吏所屬ノ出納員トシテ其ノ事務ヲ取扱フヘシ

第二百二十九條 出納員ノ領收シタル現金ハ之ヲ所屬出納官吏ニ拂込ムヘシ但シ所管大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキハ他ノ出納官吏又ハ出納員ニ交付セシムルコトヲ得

第二百三十條 出納官吏又ハ出納員其ノ保管ニ屬スル現金ヲ亡失シ又ハ其ノ

行爲ニ因リ政府ニ損失ヲ生セシメタル場合ニ於テハ所管大臣ハ遲滞ナク之ヲ大藏大臣及會計検査院ニ通知スヘシ

第三百一十一條 出納官吏及出納員ハ本令ニ定ムルモノヲ除クノ外大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ現金ノ出納保管ヲ爲スヘシ

第二節 責任

第三百十二條 出納官吏ハ其ノ責任ニ屬スル現金ノ出納保管ニ付單ニ自ラ事務ヲ執ラサルコトヲ理由トシテ其ノ責任ヲ免ルルコトヲ得ス但シ其ノ代理官、分任官又ハ所屬出納員ノ行爲ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ出納員ノ責任ニ付之ヲ準用ス

第三百十三條 代理出納官吏、分任出納官吏又ハ出納員ハ其ノ行爲ニ付會計法第三十五條ノ責任ヲ免ルルコトヲ得ス

第三百十四條 各省大臣ハ出納官吏又ハ出納員ノ行爲ニ因リ政府ニ損失ヲ生セシメタリト認ムル場合ニ於テハ會計検査院ノ判決前ト雖其ノ出納官吏又ハ出納員ニ對シ賠償ヲ命スルコトヲ得

第三百十五條 前條ノ場合ニ於テ其ノ賠償ヲ命セラレタル出納官吏又ハ出納員其ノ責ヲ免ルヘキ理由アリト信スルトキハ計算書ヲ調製シ證據書類ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ之ヲ會計検査院ニ送付シ其ノ判決ヲ求ムルコトヲ得

所管大臣ハ前項ノ場合ト雖其ノ命シタル損失金ノ賠償ヲ猶豫セス會計検査院ニ於テ出納官吏又ハ出納員ニ對シ賠償ノ責ナシト判決シタルトキハ其ノ既納ニ係ル賠償金ハ直ニ之ヲ還付スヘシ

第三節 検査及證明

第三百十六條 出納官吏ノ帳簿金櫃ハ毎年三月三十一日又ハ轉免、死亡、退職其ノ他異動アリタルトキ所管大臣検査員ヲ命シテ之ヲ検査セシムヘシ

シ但シ臨時ニ資金ノ前渡ヲ受ケタル官吏ノ帳簿金櫃ハ定時ノ検査ヲ要セス

大藏大臣又ハ各省大臣必要アリト認ムルトキハ臨時ニ検査員ヲ命シテ出納官吏又ハ出納員ノ帳簿金櫃ヲ検査セシムヘシ

第三百十七條 前條ノ検査ヲ執行スルニ當リ當該出納官吏又ハ出納員事故ニ因リ自ラ検査ヲ受クルコト能ハサルトキハ其ノ代理者又ハ特ニ所管大臣ノ命シタル官吏ニ於テ立會ヲ爲スヘシ

第三百十八條 出納官吏又ハ出納員ノ帳簿金櫃ヲ検査シタルトキハ檢定書二通ヲ作成シ検査員及當該出納官吏、出納員又ハ立會人之ニ記名捺印シ一通ハ當該出納官吏、出納員又ハ立會人ニ交付シ一通ハ所管大臣ニ提出スヘシ

第三百十九條 出納官吏又ハ出納員他ノ公金ノ出納ヲ兼掌スルトキハ金櫃ノ検査ヲ執行スル者ハ併セテ他ノ公金ノ検査ヲ行フヘシ

第三百二十條 租稅其ノ他ノ歳入金ノ收納ヲ掌ル官吏ハ會計検査院ノ検査判決ヲ受クル爲出納計算書ヲ調製シ證據書類ヲ添ヘ歳入徵收官ヲ經由シテ之ヲ會計検査院ニ提出スヘシ

第三百二十一條 資金ノ前渡ヲ受ケタル官吏ハ會計検査院ノ検査判決ヲ受クル爲出納計算書ヲ調製シ證據書類ヲ添ヘ支出官ヲ經由シテ之ヲ會計検査院ニ提出スヘシ

第三百二十二條 歳入歳出外現金ノ出納ヲ掌ル官吏ハ會計検査院ノ検査判決ヲ受クル爲出納計算書ヲ調製シ證據書類ヲ添ヘ所管大臣又ハ其ノ指定シタル官吏ヲ經由シテ之ヲ會計検査院ニ提出スヘシ

第三百二十三條 第六十三條ノ規定ニ依リ現金ノ繰替作用ヲ爲ス官吏ハ會計検査院ノ検査判決ヲ受クル爲出納計算書ヲ調製シ證據書類ヲ添ヘ所管大臣

臣又ハ其ノ指定シタル官吏ヲ經由シテ之ヲ會計検査院ニ提出スヘシ

第三百十四條 分任出納官吏ノ出納ハ總テ主任出納官吏ノ計算トシ出納員ノ出納ハ總テ所屬出納官吏ノ計算トシテ取扱ヒ其ノ報告書及計算書ハ各別ニ提出スルコトヲ要セス但シ所管大臣又ハ會計検査院ニ於テ必要アリト認ムルトキハ特ニ分任出納官吏又ハ出納員ヲシテ報告書又ハ計算書ヲ提出セシムルコトアルヘシ

第三百十五條 出納官吏交替シタルトキハ其ノ在職期間ニ執行シタル出納ノ計算書ヲ調製シ第四百十條乃至第四百十三條ノ手續ヲ爲スヘシ

第三百十六條 出納官吏又ハ出納員死亡其ノ他ノ事故ニ因リ自ラ計算書ヲ調製スルコト能ハサルトキハ所管大臣ノ命シタル官吏ヲシテ之ヲ調製セシムヘシ

出納官吏又ハ出納員定期内ニ計算書ヲ送付セサルトキハ所管大臣ハ他ノ官吏ニ命シテ之ヲ調製セシムヘシ

前二項ノ規定ニ依リ調製シタル計算書ハ出納官吏又ハ出納員ノ自ラ調製シタルモノト看做シ會計検査院ニ於テ検査判決ヲ爲スヘシ

第三百十七條 出納官吏又ハ出納員ノ計算書ハ提出ノ後修正變更スルコトヲ得ス

第十章 日本銀行ノ計算報告及出納證明

第三百十八條 日本銀行ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ國庫金ノ出納報告書ヲ大藏大臣ニ提出スヘシ

第三百十九條 日本銀行ハ會計検査院ノ検査ヲ受クル爲國庫金ノ出納計算書ヲ調製シ證據書類ヲ添ヘ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

日本銀行ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ國債ノ發行ニ依ル收入金、國債元利拂資金及隔地者拂資金ノ收支ヲ整理シ之ヲ前項ノ計算書ニ掲記スヘシ



大藏大臣ハ第一項ノ計算書ヲ調査シ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

第百五十條 日本銀行ハ會計検査院ノ検査ヲ受クル爲メ政府ノ所有又ハ保管ニ係ル有價證券受拂計算書ヲ調製シ證書類ヲ添ヘ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

大藏大臣ハ前項ノ計算書ヲ調査シ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ  
第百五十一條 政府ノ爲ニ取扱フ現金又ハ有價證券ノ出納保管ニ關シ政府ニ損害ヲ與ヘタル場合ニ於ケル日本銀行ノ賠償責任ニ付テハ民法及商法ニ依ル

第十一章 帳簿

第百五十二條 大藏省ハ日記簿、原簿及補助簿ヲ備ヘ國庫金ノ出納ヲ登記スヘシ

第百五十三條 大藏省ハ歳入歳出ノ主計簿ヲ備ヘ歳入主計簿ニハ歳入ノ豫算額、調定済額、收入済額、不納缺損額及收入未済額ヲ登記シ歳出主計簿ニハ歳出ノ豫算額、豫算決定後増加額、支出済額、翌年度繰越額及殘額ヲ登記スヘシ

第百五十四條 歳入徴收官ハ徴收簿ヲ備ヘ歳入ノ調定済額、收入済額、不納缺損額又收入未済額ヲ登記スヘシ

第百五十五條 歳入事務管理廳ハ歳入簿ヲ備ヘ歳入ノ豫算額、調定済額、收入済額、不納缺損額及收入未済額ヲ登記スヘシ

第百五十六條 支出官ハ支出簿ヲ備ヘ歳出ノ支拂豫算額、支出済額及支拂豫算殘額ヲ登記スヘシ

第百五十七條 各省ハ歳出簿ヲ備ヘ歳出ノ豫算額、豫算決定後増加額、支出済額、翌年度繰越額及殘額ヲ登記スヘシ

項ハ大藏大臣之ヲ定ム

附則

第百六十六條 本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第百六十七條 左ノ勅令ハ之ヲ廢止ス

仕拂命令委任規程

會計年度開始前現金支出規則

明治二十二年勅令第二百二十一號

金庫規則

明治二十三年勅令第二號

明治二十三年勅令第二十號

明治二十三年勅令第三十二號

明治二十三年勅令第三十五號

明治二十三年勅令第四號

明治二十三年勅令第九十八號

明治二十三年勅令第九十三號

明治二十三年勅令第二百七十三號

明治二十三年勅令第二百九十五號

明治二十四年勅令第一號

明治二十四年勅令第二十四號

明治二十四年勅令第七十五號

明治二十四年勅令第六十三號

明治二十六年勅令第五十一號

明治二十六年勅令第七十號

明治二十六年勅令第二百二十八號

第百五十八條 出納官吏及出納員ハ現金出納簿ヲ備ヘ現金ノ出納ヲ登記スヘシ

第百五十九條 前七條ニ規定スル帳簿ノ様式及記入ノ方法ハ大藏大臣之ヲ定ム

第百六十條 日本銀行ハ左ニ掲ケル帳簿ヲ備ヘ政府ノ爲ニ取扱フ現金ノ出納又ハ有價證券ノ受拂ヲ登記スヘシ

一 國庫金ノ出納ヲ登記スヘキ帳簿

二 支拂豫算額及支拂済額ヲ登記スヘキ帳簿

三 國債ノ發行ニ依ル收入金ニ關スル出納ヲ登記スヘキ帳簿

四 國債元利拂資金ノ出納ヲ登記スヘキ帳簿

五 隔地者拂資金ノ收支ヲ登記スヘキ帳簿

六 有價證券ノ受拂ヲ登記スヘキ帳簿

前項ノ帳簿ノ様式及記入ノ方法ハ大藏大臣ノ認可ヲ經テ日本銀行之ヲ定ム

第百六十一條 大藏大臣ハ會計検査官立會ノ上毎年七月三十一日前年度ノ主計簿ヲ締切ルヘシ

第十二章 雜則

第百六十二條 本令ニ依リ會計検査院ニ提出スル計算證明書類ノ様式及提出期限ニ付テハ會計検査院ノ定ムル所ニ依ルヘシ

第百六十三條 前條ノ計算證明書類ヲ除クノ外本令ニ規定スル書類ノ様式ハ大藏大臣之ヲ定ム

第百六十四條 本令ニ依リ記名捺印ヲ要スル場合ニ於テハ外國ニ在リテハ署名ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第百六十五條 本令ニ定ムルモノヲ除クノ外收入及支出ニ關シ必要ナル事

明治二十七年勅令第四十號

明治二十七年勅令第七十六號

明治二十八年勅令第四百號

明治二十九年勅令第五百十八號

明治二十九年勅令第二百四十號

明治二十九年勅令第二百六十八號

明治二十九年勅令第三百七十三號

明治三十年勅令第十五號

明治三十年勅令第二十一號

明治三十年勅令第五十八號

明治三十年勅令第二百二十七號

明治三十一年勅令第三十七號

明治三十一年勅令第三十八號

帝國大學資金並學校及圖書館資金所屬森林原野並產物特別處分規則

明治三十一年勅令第七十四號

明治三十二年勅令第二十五號

明治三十二年勅令第二百六號

明治三十二年勅令第二百二十九號

明治三十二年勅令第三百三號

明治三十二年勅令第三百六十三號

明治三十二年勅令第三百七十五號

明治三十二年勅令第四百十三號

明治三十二年勅令第四百二十四號

明治三十二年勅令第四百三十七號



- 明治三十三年勅令第三十九號
- 明治三十三年勅令第二百八十號
- 明治三十三年勅令第三百四十二號
- 明治三十三年勅令第四百八號
- 明治三十四年勅令第八號
- 明治三十四年勅令第二百二十號
- 明治三十五年勅令第二百五號
- 明治三十五年勅令第二百三十六號
- 明治三十六年勅令第二十三號
- 明治三十六年勅令第八十號
- 明治三十七年勅令第十號
- 明治三十七年勅令第十七號
- 明治三十七年勅令第五十四號
- 明治三十七年勅令第七十八號
- 明治三十七年勅令第二百十七號
- 明治三十八年勅令第二十二號
- 明治三十八年勅令第三十二號
- 明治三十八年勅令第三十五號
- 郵便電信及電話官署經費渡切規則
- 明治三十八年勅令第二百二十八號
- 明治三十八年勅令第二百一號
- 明治三十八年勅令第二百二號
- 明治三十八年勅令第二百六十五號
- 明治三十八年勅令第二百九十號

- 明治三十九年勅令第九十三號
- 明治三十九年勅令第一百號
- 明治三十九年勅令第二百四十六號
- 明治三十九年勅令第二百七十號
- 明治四十年勅令第八十四號
- 明治四十年勅令第五十號
- 明治四十年勅令第二百二十七號
- 明治四十年勅令第二百六十一號
- 明治四十年勅令第三百四十一號
- 明治四十一年勅令第三百三十八號
- 明治四十一年勅令第五百五十八號
- 明治四十一年勅令第二百四十八號
- 明治四十一年勅令第三百一十一號
- 明治四十二年勅令第六十一號
- 明治四十二年勅令第二百二十六號
- 明治四十三年勅令第三百四十一號
- 明治四十三年勅令第四百八號
- 明治四十三年勅令第四百九號
- 明治四十四年勅令第六十一號
- 明治四十四年勅令第六十二號
- 明治四十四年勅令第五十六號
- 明治四十四年勅令第二百二十號
- 明治四十四年勅令第二百七十九號
- 明治四十四年勅令第二百九十二號

- 大正元年勅令第七號
- 大正二年勅令第三百三號
- 大正三年勅令第三號
- 大正三年勅令第三百三十五號
- 大正三年勅令第三百三十六號
- 大正四年勅令第五十五號
- 大正四年勅令第七十八號
- 大正四年勅令第八十七號
- 大正四年勅令第九十五號
- 大正四年勅令第二百二十五號
- 大正五年勅令第四十五號
- 大正五年勅令第五十五號
- 大正五年勅令第六十二號
- 大正五年勅令第七十三號
- 大正五年勅令第八十八號
- 大正五年勅令第九十八號
- 大正五年勅令第二百十九號
- 大正六年勅令第五十二號
- 大正六年勅令第六十二號
- 大正六年勅令第八十一號
- 大正六年勅令第二百三十四號
- 大正七年勅令第二百二十二號
- 大正八年勅令第三號
- 大正八年勅令第二十六號

大正八年勅令第三百六十二號  
 大正九年勅令第二百五號  
 大正九年勅令第三百三十六號  
 大正九年勅令第五百四十七號  
 大正十年勅令第四百四號  
 大正十年勅令第四百二十八號  
 大正六年勅令第三百三十二號ハ當分ノ内仍其ノ效力ヲ有ス  
**第六十八條** 金庫ニ納付セシムル爲納入ノ告知アリタル歳入金ニシテ本令施行前收納ヲ了セサルモノハ該納入ノ告知ニ依リ日本銀行ニ於テ之カ收納ヲ取扱ハシム  
 前項ノ規定ハ定額戻入ノ爲納入ノ告知アリタル返納金ニシテ本令施行前領收ヲ了セサル場合ニ之ヲ準用ス  
**第六十九條** 仕拂命令ニシテ本令施行前其ノ支拂ヲ了セサルモノハ仕拂命令ニ關スル從前ノ手續ニ依リ日本銀行ニ於テ本令施行後一年間之カ支拂ヲ取扱ハシム  
 第五十五條ノ規定ハ前項ノ支拂期間經過後仍會計法附則第五項ノ規定ニ依リ期間ノ滿了セサル債務ノ仕拂ニ付之ヲ準用ス  
**第七十條** 大正十一年五月三十一日迄ニ支拂ノ請求ナキ大正十年度仕拂命令濟金額ニ相當スル資金ハ從前ノ例ニ依リ當該年度ノ歳出支拂未濟金トシテ之ヲ繰越整理スヘシ  
**第七十一條** 本令施行前繰越整理ニ係ル資金及前條ノ繰越整理ニ係ル資金ニシテ大正十二年三月三十一日迄ニ支拂ヲ了セサルモノハ之ヲ大正十一年度ノ歳入ニ組入ルヘシ  
**第七十二條** 大正十年度支出濟歳出額ハ同年度歳入歳出ノ總決算及主計



第三編 會計

第一章 普通會計

會計規則ノ規定ニ依ル帳簿様式記入方法等

簿ニ於テハ仕拂命令濟歲出額ニ併算スヘシ  
 大正十一年度仕拂命令濟歲出額ハ同年度歲入歳出ノ總決算及主計簿ニ於  
 テハ支出濟歲出額ニ併算スヘシ  
 第七十三條 大正十年度分ニ限リ金庫ニ備ヘタル支出簿ハ第六十條第  
 二號ノ帳簿ニ代用セシムルコトヲ得  
 第七十四條 前六條ニ規定スルモノヲ除クノ外本令施行ニ關シ必要ナル  
 規定ハ大藏大臣之ヲ定ム

○會計規則其ノ他ノ收入支出ニ關スル  
 命令ノ規定ニ對シ特例ヲ設ケル件

大正十二年九月七日 (總理、大藏  
 勅令第四百六號 (大臣副署)

震災ニ基ク特別ノ事情ニ因リ必要アル場合ニ於テハ大藏大臣ハ會計規則其  
 ノ他ノ收入支出ニ關スル命令ノ規定ニ對シ特例ヲ設ケルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○大藏大臣ノ承認ヲ經ルニ非サレハ他  
 ノ費途ノ金額ヲ流用スルコトヲ得サ  
 ル費途ノ件

大正十二年六月十三日 (總理、大藏  
 勅令第三百五號 (大臣副署)

改正 昭和四年第三一〇號

左ノ名稱ノ費途ニハ大藏大臣ノ承認ヲ經ルニ非サレハ他ノ費途ノ金額ヲ流  
 用スルコトヲ得ス

- 一 俸給
- 二 機密費
- 三 交際費
- 四 宴會費
- 五 接待費
- 六 渡切費
- 七 新營費
- 八 補助費
- 九 外國旅費

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○會計規則及各特別會計規則ノ規定ニ  
 依リ調製スルコトヲ要スル帳簿ノ様  
 式及記入ノ方法並書類ノ様式

大正十一年三月二十九日  
 大藏省令第二十號

改正 大正一三年第九號、一四年第一〇號、一五年第三八號  
 昭和元年第六號、二年第四號、第二〇號、第三〇號、四年第三號、第五號、第一  
 三號、第一八號、五年第一五號、六年第三四號、七年第七號、八年第二號、九年  
 第一〇號、第一三號

會計規則及各特別會計規則ノ規定ニ依リ調製スルコトヲ要スル帳簿ノ様式  
 及記入ノ方法並書類ノ様式左ノ通之ヲ定ム

- 一 支拂豫算書 別表第一號書式ニ依ル
- 一 支拂豫算更定計算書 別表第二號書式ニ依ル
- 一 年度開始前支出計算書 別表第三號書式ニ依ル
- 一 徵收報告書 別表第四號書式ニ依ル
- 一 徵收總報告書 別表第五號書式ニ依ル
- 一 徵收簿 別表第六號書式ニ依ル
- 一 歳入簿 別表第七號書式ニ依ル
- 一 支出濟額報告書 別表第八號書式ニ依ル
- 一 支出總報告書 別表第九號書式ニ依ル
- 一 繰越計算書 別表第十號書式ニ依ル
- 一 支出簿 別表第十一號書式ニ依ル
- 一 歳出簿 別表第十二號書式ニ依ル
- 一 現金領收證書 別表第十三號書式ニ依ル
- 一 現金出納簿 別表第十四號書式ニ依ル
- 一 國庫日記簿 別表第十五號書式ニ依ル
- 一 國庫原簿 別表第十六號書式ニ依ル
- 一 歳入主計簿 別表第十七號書式ニ依ル
- 一 歳出主計簿 別表第十八號書式ニ依ル
- 一 作業會計、海軍工廠資金會計、朝鮮鐵道用品  
 資金會計及臺灣官設鐵道用品資金會計日記簿  
 別表第十九號書式ニ依ル

第三編 會計

第一章 普通會計

會計規則ノ規定ニ依ル帳簿様式記入方法等

- 一 造幣局會計日記簿 別表第二十號書式ニ依ル
- 一 帝國鐵道會計日記簿 別表第二十一號書式ニ依ル
- 一 健康保險會計日記簿 別表第二十一號ノ二書式ニ依ル
- 一 簡易生命保險會計日記簿 別表第二十二號書式ニ依ル
- 一 郵便年金會計日記簿 別表第二十二號ノ二書式ニ依ル
- 一 大藏省預金部會計日記簿 別表第二十二號ノ三書式ニ依ル
- 一 朝鮮簡易生命保險會計日記簿 別表第二十二號ノ四書式ニ依ル
- 一 家畜再保險會計日記簿 別表第二十二號ノ五書式ニ依ル
- 一 勞働者災害扶助責任保險會計日記簿 別表第二十二號ノ六書式ニ依ル
- 一 通信事業會計日記簿 別表第二十二號ノ七書式ニ依ル
- 一 米穀需給調節會計日記簿 別表第二十三號書式ニ依ル
- 一 製鐵所會計日記簿 別表第二十三號ノ二書式ニ依ル